

- 子宮復舊狀態如何 四二二(昭五、一)
- 正規產褥ニ於ケル子宮底ノ高サト產褥時日トノ關係ヲ記セ 四二三(昭六、一)
- 正規產褥ニ於ケル子宮底下降ノ經過ヲ記セ 四三三(昭十、一)
- 褥婦ノ生理的體温ニ就テ記セ 四三三(昭十、一)
- 產褥ニ於ケル子宮底ノ高サニ就キテ 四三三(昭十、一)
- 初生兒ノ臍帶ニ就テ 四三三(昭十、一)
- 生後十日間ニ現ヘルル初生兒ノ變化如何 四三三(昭十、一)
- 臍乳ニ就イテ簡單ニ記述セヨ 四三三(昭十、一)
- 初生兒期間中ノ兒體ニ就テ知ルトコロヲ記セ 四三三(昭十、一)
- 初生兒ノ排便及排尿ニ就イテ記セ 四三三(昭十、一)

產褥取扱法

- 褥婦ノ離床ニ就キ述ベ其ノ理由ヲ説明セヨ 四三三(昭十、一)
- 褥婦ノ意義及是ニ對スル助産婦トシテノ處置ニ就テ簡單ニ記セ 四三三(昭十、一)
- 最モ適當ナル離床ニ就テ記セ 四三三(昭十、一)
- 正常產褥ニ於ケル褥婦ノ外陰部ニ對スル處置ニ就テ記セ 四三三(昭十、一)
- 褥婦ノ離床ニ就キ述ベヨ 四三三(昭十、一)
- 褥婦ノ安靜ノ程度ト就床期間ニ就テ述ベヨ 四三三(昭十、一)
- 產褥ニ見ル膀胱及直腸ノ障礙ヲ舉グ且ツ其ノ處置ヲ記セ 四三三(昭十、一)

初生兒臍帶斷端ノ處置及沐浴ニ就テ記セ

- 初生兒臍帶斷端ノ處置及沐浴ニ就テ記セ 四三三(昭十、一)
- 生母ノ授乳ヲ禁止スベキ場合及之ニ處スル榮養法ニ就テ記セ 四三三(昭十、一)
- 牛乳榮養法ニ於テ注意スベキ主ナル點其ノ理由ヲ説明セヨ 四三三(昭十、一)
- 新産兒ノ着衣及襁褓ニ就テ 四三三(昭十、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 葡萄狀胎ノ診斷 四三三(昭十、一)
- 鬼胎ニ就テ記述セヨ 四三三(昭十、一)
- 葡萄狀胎ノ定義及本症ヲ診斷スルニ當リ根據ナル點ヲ記セ 四三三(昭十、一)
- 正シキ位置ニ附着セル胎盤ノ早期剝離ノ原因徵候及處置 四三三(昭十、一)
- 羊水過多症ノ診斷及經過 四三三(昭十、一)
- 羊水過少症ノ診斷並ニ症狀 四三三(昭十、一)
- 胎兒異常 四三三(昭十、一)
- 胎兒死亡ノ運命 四三三(昭十、一)
- 胎兒死亡セル胎兒ノ運命ニ就イテ簡明ニ記述セヨ 四三三(昭十、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 妊娠中絶ノ豫防及處置ニ就テ記セ 五二二(昭五、一)
- 流産ノ徵候及處置ヲ記セ 五二二(昭五、一)
- 完全流産ト不完全流産ノ診斷ヲ問フ 五二二(昭五、一)
- 石兒ヲ説明セヨ 五二二(昭五、一)

母體性器異常

- 懸垂腹ノ原因症狀及處置 五二二(昭五、一)
- 懸垂腹ニ就テ記述セヨ 五二二(昭五、一)
- 後屈セル子宮ノ妊娠セル場合ヲ説明セヨ 五二二(昭五、一)

母體全身異常

- 子癩ノ症狀及處置 五二二(昭五、一)
- 妊娠中ニ發スル浮腫ノ原因及處置ニ就テ記セ 五二二(昭五、一)
- 妊娠時浮腫ノ原因及其ノ處置 五二二(昭五、一)
- 妊婦ニ起ル浮腫ノ原因及ビ其ノ豫後ヲ述ベヨ 五二二(昭五、一)
- 妊娠中ニ發スル浮腫ノ原因及處置ニ就テ 五二二(昭五、一)
- 妊婦ノ偶發病トハ如何 五二二(昭五、一)
- 妊娠腎孟炎ノ原因症狀及處置ヲ記セ 五二二(昭五、一)

- 幸幅兒ヲ説明セヨ 六二二(昭六、一)
- 早期破水ニヨル分娩ノ障害及其處置ヲ記セ 六二二(昭六、一)
- 早期破水ノ原因及ビ之ガ分娩ニ及ボス影響ニ就イテ記セ 六二二(昭六、一)
- 早期破水ニ就テ記セ 六二二(昭六、一)
- 臍帶脫出ヲ來スベキ場合ヲ列舉シ並ニ其ノ危害ヲ舉ゲヨ 六二二(昭六、一)
- 上肢ト下肢ト内診上ノ特質徵ヲ記セ 六二二(昭六、一)
- 口ノ内診上ノ特質徵ヲ記セ 六二二(昭六、一)
- 妊娠末期ニ於テ第一顔面位ト診斷シ得ル外診上ノ所見ヲ記セ 六二二(昭六、一)
- 骨盤端位分娩ノ取扱上注意事項ヲ記セ 六二二(昭六、一)
- 紙狀胎兒ニ就イテ記セ 六二二(昭六、一)
- 分娩經過中胎兒死亡ノ原因及徵候ヲ簡單ニ記述セヨ 六二二(昭六、一)
- 初生兒假死トハ何ゾ之ニ對スル處置ヲ簡明ニ記セ 六二二(昭六、一)

- 分娩中胎兒危險ノ徴候ニ就イテ記セ 六、三六(昭五、二)
- 胎兒假死ノ前徴及早期呼吸ニ就イテ簡單ニ記述セヨ 六、三六・六、三六(昭六、一)
- 初生兒假死ノ處置ニ就イテ記述セヨ 六、二六(昭七、二)
- 新産兒假死ノ原因及徴候ヲ問フ 六、二八・六、二九(昭七、三)
- 胎兒假死ノ前徴及早期呼吸ニ就テ母體異常 六、二六・六、二六(昭七、三)
- 痙攣性陣痛ニ就イテ 六、三〇(昭七、二)
- 痙攣性陣痛ニ就イテ 六、三〇(昭七、二)
- 後産期出血ノ原因及處置 六、四三・六、四四(昭七、二)
- 子宮破裂ノ原因及症狀ヲ述ベヨ 六、四二・六、四三(昭四、一)
- 會陰破裂ノ原因及處置ヲ記述セヨ 六、四三・六、四三(昭五、二)
- 會陰破裂ノ原因及豫防法 六、四三・六、四三(昭七、二)
- 弛緩性出血ノ原因及處置ニ就イテ記セ 六、四三・六、四三(昭八、一)
- 弛緩性子宮出血ノ原因及診斷處置ヲ記セ 六、四三・六、四三(昭九、二)
- 弛緩性子宮出血トハ如何、及其原因處置ニ就イテ記セ 六、四三・六、四三(昭十、二)
- 弛緩性子宮出血ノ原因鑑別及處置ヲ問フ 六、四三・六、四三(昭十一、二)
- 弛緩性子宮出血ノ原因症狀及產婆トシテノ處置ヲ述ベヨ 六、四三・六、四三(昭十一、二)

第七集 異常產褥・補足知識

- 梅毒乳房ノ疾患 七、二〇(昭二、一)
- 惡露分泌ノ障害 七、二〇(昭二、二)
- 產褥熱ノ原因徴候及豫防的措置ヲ記セ 七、二一・七、二一(昭七、一)
- 惡露蓄積症ニ就テ記セ 七、二二(昭八、一)
- 乳汁分泌過少ニ就テ記セ 七、二二(昭八、二)
- 產褥熱ノ豫防上產婆並ニ褥婦ノ心得ニ就テ記セ 七、二二・七、二二(昭九、一)
- 產褥ニ於テ子宮底ノ正常下降ノ障礙ニ就テ 七、二三(昭十、一)
- 產褥婦ノ發熱スル場合ヲ列舉シ簡單ニ說明セヨ 七、二三・七、二三(昭十、二)

新産兒異常

- 初生兒「メレナ」(黒吐病)ニ就テ記セ 七、二四(昭三、一)
- 分娩ト直接關係ヲ有スル初生兒ノ重ナル疾患ノ名稱三ツヲ舉ゲヨ 七、二四(昭三、二)
- 嚔口瘡ニ就テ記セ 七、二五(昭三、三)
- 初生兒消化不良ニ就イテ 七、二六(昭五、一)
- 初生兒黒吐病ニ就テ記セ 七、二六(昭八、一)
- 頭血腫ニ就テ記セ 七、二七(昭八、二)

〔一九〕新潟縣

第一集 豫備知識

- 子宮膀胱直腸ノ位置形狀 一、一八(昭二、一)
- 消毒法ノ種類及應用 一、二二(昭四、一)
- 產婆用具ノ消毒法 一、二七(昭五、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ狀態

- 胎盤ノ構造及其ノ作用 二、二六・二、二六(昭十、二)
- 羊水トハ如何、妊娠分娩ニ必要ナル理由 二、二六・二、二六(昭十一、二)
- 胎兒體位、體向ニ就イテ知ル處ヲ記セ 二、二三・二、二四(昭五、一)
- 成熟兒頭諸徑線ノ名稱及其測定點及ビ長サ 二、二七(昭七、一)
- 體勢、體位、及體向ヲ舉ゲテ說明セヨ 二、二三(昭九、一)
- 胎勢胎位胎向ニ付イテ知ル所ヲ記セ 二、二五(昭七、一)

妊婦ノ診察

- 胎兒ノ心音ニ就テ知ル處ヲ記セ 二、三三(昭二、二)
- 妊婦ノ聽診部位及其ノ價値 二、三三(昭七、一)
- 心音トハ何ゾ及之ヲ聽取シ得ベキ部位ヲ說明セヨ 二、三三(昭九、一)
- 骨盤外計測法及正規骨盤ノ各距離徑線ヲ記セ 二、三三・二、三三(昭十、一)
- 骨盤外計測法及正規骨盤ノ各徑線並ニ其ノ距離ヲ記セ 二、三三・二、三三(昭十、二)
- 胎兒位置ノ檢定法 二、三三(昭二、一)
- 胎兒生死ノ檢定法 二、三三(昭二、二)
- 妊娠六九月十月ニ於ケル徴候 二、三三(昭四、一)
- 妊娠ノ確數 二、三三(昭五、一)
- 妊娠十ヶ月ノ徴候 二、三三(昭五、二)
- 妊娠八ヶ月ト妊娠末期トノ差異 二、三三(昭六、一)
- 妊娠八ヶ月ト十ヶ月トノ區別 二、三三(昭七、一)

- 妊娠十ヶ月末ニ於ケル妊婦ノ状態ヲ記セ (三)一九五(昭八、一)
- 妊娠ノ確徴ヲ記セ (三)二〇〇(昭八、一)
- 初産ト經産トノ差別及ビ分娩ニ及ボス影響 (三)二〇一・二〇二(昭十、一)
- 妊娠五ヶ月末ト妊娠末期トノ差異 (三)一九四(昭十、一)
- 妊娠第十ヶ月末ノ徴候 (三)一九五(昭十、一)
- 妊娠五ヶ月ト九ヶ月ノ妊婦ノ差異ヲ記セ (三)一九六(昭十、一)
- 妊娠第十ヶ月ノ徴候 (三)一九七(昭十、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 第一發頭位ノ分娩機構 (三)一〇八(昭三、一)
- 分娩ノ母體ニ及ボス影響 (三)一〇九(昭六、一)
- 娩出期(分娩第二期)ノ經過ヲ記セ (三)一〇五(昭八、一)
- 妊娠末期ノ徴候及ビ會陰保護ノ時期 (三)一〇六・一〇七(昭十、一)
- 内診ニ依リテ陣痛開始ヲ診斷スル方法如何 (三)一〇八(昭二、一)
- 後産期ニ於ケル處置 (三)一〇九(昭二、一)
- 分娩ノ準備 (三)一〇九(昭五、一)
- 初生兒沐浴ニ就イテ (三)一〇九(昭五、一)
- 會陰保護ノ時期 (三)一〇九(昭五、一)
- 分娩直後ノ處置 (三)一〇九(昭五、一)

- 産婦ニ腹壓ヲ命ジ又禁ズベキ時期及其ノ理由 (三)一〇七(昭七、一)
- 會陰保護ノ目的及其ノ方法 (三)一〇八・一〇九(昭八、一)
- 分娩直後ニ於ケル初生兒ノ處置 (三)一〇九(昭九、一)
- 初生兒ノ沐浴方法ヲ記セ (三)一〇九(昭九、一)
- 胎兒娩出直後ノ處置 (三)一〇九(昭十、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 惡露ノ經過 (三)一〇五(昭五、一)
- 産褥ノ生殖器復舊ニ就テ (三)一〇五(昭五、一)
- 産褥中子宮復古状態 (三)一〇六(昭六、一)
- 産褥ニ於ケル子宮復古状態ヲ記セ (三)一〇六(昭六、一)
- 正規産褥ノ經過ヲ記セ (三)一〇七(昭八、一)
- 惡露ノ成分及其經過ヲ記セ (三)一〇七(昭八、一)
- 正規産褥ニ於ケル惡露ノ成分及ビ其ノ經過ヲ記セ (三)一〇七(昭九、一)
- 産褥ノ生殖器ニ起ル復舊状態ヲ記セ (三)一〇七(昭九、一)
- 産褥ノ生殖器以外ニ起ル變化ヲ述ベヨ (三)一〇七(昭十、一)
- 惡露ノ成分性状及ビ其ノ經過ヲ記セ (三)一〇七(昭十、一)
- 正常産褥第五日目ノ子宮底ノ高さ惡露ノ性状ニツキ記セ (三)一〇七(昭十、一)
- 産褥ノ生殖器ニ起ル復舊状態ヲ記セ (三)一〇七(昭十、一)

惡露ノ性状及其ノ經過ヲ記セ

乳汁ノ成分及授乳ト産褥生殖器トノ關係

産褥取扱法

- 産褥ニ於ケル産褥ノ取扱法 (三)一〇七(昭三、一)
- 産褥取扱ヒニ就キテ知ル處ヲ記セ (三)一〇七(昭四、一)
- 産褥ノ看護上注意スベキ事項 (三)一〇七(昭五、一)
- 産褥ノ看護上留意スベキ點ヲ記セ (三)一〇七(昭八、一)
- 産褥ノ看護上注意スベキ點ヲ記セ (三)一〇七(昭八、一)
- 産褥ノ看護上注意スベキ點ヲ記セ (三)一〇七(昭九、一)
- 正規産褥ノ看護法 (三)一〇七(昭十、一)
- 産褥經過ノ良否ハ何ニヨリテ判斷スルヤ (三)一〇七(昭十、一)
- 産褥ノ良否ニヨリテ判斷スルヤ (三)一〇七(昭十、一)
- 産褥經過ノ良否ハ何ニヨリテ判斷スルヤ (三)一〇七(昭十、一)
- 産褥經過ノ良否ハ何ニヨリテ判斷スルヤ (三)一〇七(昭十、一)
- 人工營養トハ何ゾ及之ヲ行フベキ場合 (三)一〇七(昭二、一)
- 産褥ノ乳汁分泌不十分ナル時ニ於ケル母子ニ對スル處置 (三)一〇七(昭二、一)
- 初生兒ノ看護法 (三)一〇七(昭十、一)
- 新産兒ノ取扱法 (三)一〇七(昭十、一)

第五集 異常妊娠

- 妊娠中起リ易キ疾病ノ二、三ヲ説明シ併セテ

其ノ處置ヲ記セ

- 妊娠中起リ易キ疾患ノ症狀及其ノ處置 (三)一〇七(昭九、一)
- 妊娠中起リ易キ疾病ニ就イテ記セ (三)一〇七(昭十、一)
- 妊娠中ニ起リ易キ疾病ヲ説明セヨ (三)一〇七(昭十、一)

胎兒附屬物異常

- 前置胎盤ノ診斷及其ノ處置 (三)一〇七(昭二、一)
- 正常位置ニアル胎盤早期剝離ノ原因、徴候、處置ヲ記セ (三)一〇七(昭七、一)
- 正常位置ニ於ケル胎盤ノ早期剝離ノ原因、徴候、處置及其ノ處置 (三)一〇七(昭十、一)
- 正常位置ニ於ケル胎盤早期剝離ノ原因、徴候及處置ヲ記セ (三)一〇七(昭十、一)
- 羊水過多症トハ何ゾ及ビ之ガ母體ニ及ボス影響 (三)一〇七(昭八、一)
- 羊水過多症ノ妊娠及分娩ニ及ボス影響並ニ其處置 (三)一〇七(昭九、一)
- 羊水ノ異常ニヨル異常妊娠及其ノ分娩産褥ニ及ボス影響 (三)一〇七(昭十、一)
- 異常ナル羊水ノ妊娠及分娩ニ及ボス影響並ニ其ノ處置 (三)一〇七(昭十、一)
- 羊水過多症ノ妊娠及分娩ニ及ボス影響並ニ其處置 (三)一〇七(昭十、一)

○羊水異常ノ妊娠分娩及産褥ニ及ボス影響 五、七八(昭十、四)

○臍帯異常ハ分娩ニ如何ナル影響アルヤ其ノ處置ヲ記セ 六、五四・六、五五(昭十、一)

胎兒異常

○妊娠中胎兒死亡ノ原因並ビニ徵候 五、九七・二、三五(昭七、一)

○妊娠中絶ノ原因及其處置 五、一〇五・五、一〇六(昭三、一)

○流産ノ徵候及其ノ處置 五、一〇九・五、一一〇(昭五、一)

○子宮外妊娠ノ徵候及其ノ處置 五、一四・五、一四六(昭九、二)

母體全身異常

○妊娠中ニ發スル浮腫ノ原因及處置 五、一八三・五、一九六(昭二、一)

○妊婦浮腫ノ原因症狀及其ノ處置 五、一八三・五、一九六(昭七、一)

○妊婦浮腫ニ就イテ知ル處ヲ記セ 五、一八四(昭十、一)

○子癩ノ素因、症狀及ビ其ノ豫防的處置 五、一八四(昭十、一)

○妊娠中ノ浮腫ハ如何ナル場合ニ起ルヤ各場合ニ於ケル處置 五、一八五・五、一八六(昭十、一)

○妊娠時ニ於ケル腎臟疾患ノ徵候及處置 五、一七五・五、一七五(昭五、二)

○妊婦ノ腎盂炎ニ就テ記セ 五、一七五・五、一七六(昭十、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

○異常ナル臍帯ノ分娩ニ及ボス影響及處置 六、四九・六、四九(昭九、一)

胎兒異常

○頭蓋位ニ於ケル上肢脱出ノ原因處置 六、一六(昭二、一)

○各頭蓋位ノ區別及機械的作用ノ差 六、二五(昭二、一)

○顔面位ノ診斷並ニ其ノ處置 六、二七・六、二八(昭五、一)

○骨盤端位ト横位ノ内診上ノ差異 六、二七(昭七、一)

○双胎兒分娩取扱上特ニ注意スベキ點ヲ記セ 六、一〇八(昭九、一)

○双胎妊娠ノ確徵及分娩經過及處置 六、一〇八・六、一〇九(昭十、一)

○双胎分娩取扱上特ニ注意スベキ點アラバ記セ 六、一〇八(昭十、一)

○初生兒假死ノ原因及其處置 六、一七・六、一七(昭二、一)

○子宮内胎兒窒息ノ原因及其ノ處置 六、二〇・六、二〇(昭九、一)

○新産兒假死トハ如何及處置 六、一七五・六、一七六(昭十、一)

母體異常

○異常陣痛ノ原因及處置 六、一〇八・六、一〇九(昭二、一)

○異常陣痛ニ基因スル分娩障害ヲ記セ 六、一〇〇(昭四、一)

○陣痛微弱ノ原因及其ノ處置 六、一〇五・六、一〇六(昭八、二)

○過激陣痛ニヨリ起ル陣痛並ニ其處置 六、三六・六、三六(昭九、一)

○微弱陣痛ノ原因、分娩ニ及ボス影響並ニ其ノ

處置

○異常陣痛トハ如何ソノ處置 六、一〇五・六、一〇六(昭十、一)

○狭窄骨盤ハ何ニヨリテ判定スルヤ 六、三七(昭五、一)

○産褥時ニ見ル膀胱及ビ直腸ノ障碍及其ノ處置 六、四〇(昭九、一)

○會陰破裂ニ就キ詳記セヨ 六、四二(昭二、一)

○後産期出血ノ原因及其ノ處置 六、四三・六、四四(昭五、一)

○分娩第三期及直後ノ異常出血ノ原因及處置 六、四四(昭六、一)

○分娩中出血ノ原因並ニ處置 六、四四(昭八、一)

○分娩直後ニ起ル異常出血ノ原因及其ノ處置 六、四三・六、四四(昭八、二)

○第三期及ビ直後ノ異常出血ノ原因及ビ症狀處置ヲ述ベヨ 六、四三・六、四四(昭十、一)

○分娩經過中ノ異常出血ノ原因處置 六、四三(昭十、一)

○分娩直後ニ起ル異常出血ノ原因及其ノ處置 六、四三(昭十、一)

○分娩直後ニ於ケル異常出血ノ原因症狀及其ノ處置 六、四三・六、四四(昭十、一)

第七集 異常産褥・補足知識

褥婦異常

○産褥熱ノ徵候及其ノ豫防法 七、一六・七、一〇(昭二、一)

○産褥熱ノ原因徵候及豫防法 七、一三・七、一六・七、一〇(昭三、一)

○産褥熱ノ豫防 七、一〇(昭五、一)

○産褥中ノ乳房疾患ニ就イテ知ル所ヲ記セ 七、一〇(昭六、一)

○褥婦ニ創傷傳染ノ起リ易キ理由及ビ豫防法 七、一三・七、一〇(昭七、一)

○産褥中ノ異常出血ノ原因及處置 七、一三・七、一六(昭七、一)

○産褥熱ノ原因症狀及ビ其ノ處置 七、一三・七、一六・七、一〇(昭八、一)

○乳房炎ノ原因徵候並ニ其ノ處置 七、一四(昭八、二)

○産褥時ニ於ケル乳房ノ疾病 七、一四(昭十、一)

○産褥時ニ於ケル泌尿器ノ疾病 七、一三・七、一六・七、一〇(昭十、一)

○産褥熱ノ原因症狀及處置 七、一三・七、一六・七、一〇(昭十、一)

○惡露トハ何ゾヤ不正惡露ノ原因並處置ヲ記セ 七、一三・七、一六・七、一〇(昭十、一)

○産褥時乳房ノ疾病ニツキ記セ 七、一三・七、一六(昭十、一)

○褥婦ニ來ル膀胱及直腸ノ障碍並ニ其ノ處置 七、一三(昭十、一)

○初生兒ノ主ナル疾病ノ名稱及處置ヲ述ベヨ 七、一四(昭七、一)

○産褥ト頭血腫トノ區別及發生部位處置ヲ記セ 七、一〇・七、一四・三、七、一三(昭七、一)

○主ナル初生兒ノ疾病ノ名稱症狀及其ノ處置 七、一〇・七、一三(昭八、一)

○早産兒トハ何ゾ及其ノ取扱法 七、一四(昭八、二)

○早産兒トハ何ゾ及其ノ取扱方法 七、一三(昭十、一)

(110) 富山縣

第一集 豫備知識

- 骨盤腔ニ就テ記セ 一三九・一四〇・一四一(昭二、三)
- 骨盤軸・唾液腺・囊狀靱帶ヲ簡單ニ説明セヨ 一三七・一三三・一三六(昭四、一)
- 眞結合線ニ對シ知ル處ヲ記セ 一四三(昭五、三)
- 骨盤軸ヲ簡單ニ説明セヨ 一三〇(昭六、三)
- 骨盤腔ヲ畫キ各部ノ名稱ヲ記セ 一三三(昭九、一)
- 骨盤腔内ニ於ケル各臟器ノ名稱並其ノ位置ヲ記セ 一三九・一四〇(昭九、二)
- 小骨盤腔縱斷面ヲ圖解シテ骨盤ノ傾斜及骨盤軸ヲ説明セヨ 一三六(昭十、二)
- 骨盤腔内ニ於ケル臟器ノ名稱及機能ヲ記セ 一三九(昭十、一)
- 骨盤腔内ニ於ケル各臟器ノ關係ヲ記セ 一三五(昭十、二)
- グラーフ氏胞ニツキ簡單ニ説明セヨ 一四〇(昭三、二)
- 廣靱帶ニツキ簡單ニ説明セヨ 一三九(昭三、二)
- バルトリン氏腺ヲ簡單ニ説明セヨ 一三九(昭六、三)
- ドーグラス氏窩ヲ簡單ニ説明セヨ 一三六(昭六、三)
- グラーフ氏胞ヲ簡單ニ説明セヨ 一四〇(昭六、二)
- 皮膚ノ生理的作用ヲ記セ 一四二(昭一、一)
- 消化液ヲ分泌スル臟器ノ名稱及其ノ位置ヲ記セ 一四二(昭一、一)
- 胸部ニ於ケル内臟ノ名稱及其ノ位置ヲ記セ 一四二(昭三、一)
- 正常尿ニ就テ知ル所ヲ記セ 一四四(昭三、一)
- 腎臟ノ位置形狀並其ノ構造ヲ記セ 一四九(昭四、一)
- 白血球ノ機能ヲ簡單ニ説明セヨ 一四三(昭四、一)
- 皮膚ノ機能ヲ簡單ニ説明セヨ 一四五(昭四、一)
- 血液ノ性質ヲ記セ 一四五(昭四、一)
- 血液ニ就テ詳記セヨ 一四七(昭五、一)
- 胃ノ位置形狀並其ノ構造ヲ記セ 一四七(昭五、一)
- 膝關節ニ對シ知ル處ヲ記セ 一四七(昭五、一)
- 肋骨ニ對シ知ル處ヲ記セ 一四五(昭五、一)
- 冠狀動脈ニ對シ知ル處ヲ記セ 一四八(昭五、一)
- 縫匠筋ニ對シ知ル處ヲ記セ 一四八(昭五、一)
- 延髓ニ對シ知ル處ヲ記セ 一四八(昭五、一)
- 交感神經ニ對シ知ル處ヲ記セ 一四八(昭五、一)
- 迴盲部ニ對シ知ル處ヲ記セ 一四八(昭五、一)
- 肝臟ノ位置形狀並其ノ機能ヲ記セ 一四八(昭五、一)
- 横紋筋ヲ簡單ニ説明セヨ 一四八(昭六、二)
- 胸腺ヲ簡單ニ説明セヨ 一四八(昭六、二)
- 靱帶ヲ簡單ニ説明セヨ 一四七(昭六、二)

- 結腸ヲ簡單ニ説明セヨ 一四二(昭六、三)
- 大腸ニ就テ知ル處ヲ記セ 一四二(昭七、一)
- 肝臟ノ機能ヲ記セ 一四二(昭九、二)
- 血液ニ就テ知ルトコロヲ記セ 一四五(昭十、一)
- 大腸ノ位置形狀並其ノ生理的作用ヲ記セ 一四二・一四九(昭十、一)
- 消化液ヲ分泌スル腺ノ名稱並其ノ位置ヲ記セ 一四五(昭十、二)
- 皮膚ノ生理的作用ヲ記セ 一四五(昭十、二)
- 腎臟ノ位置形狀並其ノ機能ヲ記セ 一四五(昭十、二)
- 齒牙ニツイテ説明セヨ 一四五(昭十、二)
- 神經ノ機能ヲ説明セヨ 一四五(昭十、二)
- 淋巴液ノ生成並其ノ作用ヲ記セ 一四六(昭十、二)
- 股關節ヲ説明セヨ 一四六(昭十、二)
- 羊水ニ就テ知ルトコロヲ記セ 一四六(昭十、二)
- 胎盤ノ構造ヲ記セ 一四六(昭十、二)
- 胎盤ニ就テ知ルトコロヲ記セ 一四六(昭十、二)
- 胎盤ノ解剖並作用ヲ問フ 一四六(昭十、二)
- 胎盤ノ形成及妊娠經過ニ於ケル其ノ變化ヲ記セ 一四六(昭十、二)
- 羊水ニ就テ知ル所ヲ記セ 一四六(昭十、二)
- 胎兒ノ榮養ニ就テ詳記セヨ 一四七(昭十、二)
- 左記ニ對シ簡單ニ説明セヨ 一四七(昭十、二)
- 胎兒ノ榮養ニ就テ詳記セヨ 一四七(昭十、二)
- 一、廣靱帶 二、大肉門 三、グラーフ氏胞 四、アランチ氏靜脈管 五、絨毛間腔 一四七・一四八・一四九・一五〇・一五一(昭十、二)
- 脈絡膜ノ血行ヲ簡單ニ説明セヨ 一四七(昭四、一)
- ボタリー氏管ヲ簡單ニ説明セヨ 一四七(昭四、一)
- ボタリー氏動脈管ニ對シ知ル處ヲ記セ 一四七(昭五、一)
- 卵黃囊ニ對シ知ル處ヲ記セ 一四七(昭五、一)
- 小肉門ヲ簡單ニ説明セヨ 一四七(昭六、一)
- 卵圓孔ヲ簡單ニ説明セヨ 一四七(昭六、一)
- 成熟兒ノ徵候ヲ記セ 一四七(昭九、一)
- 胎兒ノ血液循環ヲ圖解セヨ 一四七(昭十、一)
- 胎兒ノ榮養ヲ記セ 一四七(昭十、一)
- 妊娠子宮ノ變化ニ就テ記セ 一四七(昭十、一)
- 内診時軟部産道ニ對スル觸診要點ヲ記セ 一四七(昭四、一)
- 骨盤外計測ニ就テ知ル所ヲ詳記セヨ 一四七(昭五、一)
- 骨盤外測定法ノ目的部位並其ノ平均距離ヲ記セ 一四七(昭五、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 羊水ニ就テ知ル處ヲ記セ 一四六(昭十、二)
- 胎盤ノ機能ヲ説明セヨ 一四六(昭十、二)
- 胎盤ニ就テ知ルトコロヲ記セ 一四六(昭十、二)
- 胎盤ノ解剖並作用ヲ問フ 一四六(昭十、二)
- 胎盤ノ形成及妊娠經過ニ於ケル其ノ變化ヲ記セ 一四六(昭十、二)
- 羊水ニ就テ知ル所ヲ記セ 一四六(昭十、二)
- 胎兒ノ榮養ニ就テ詳記セヨ 一四七(昭十、二)
- 左記ニ對シ簡單ニ説明セヨ 一四七(昭十、二)
- 胎兒ノ榮養ニ就テ詳記セヨ 一四七(昭十、二)
- 一、廣靱帶 二、大肉門 三、グラーフ氏胞 四、アランチ氏靜脈管 五、絨毛間腔 一四七・一四八・一四九・一五〇・一五一(昭十、二)
- 脈絡膜ノ血行ヲ簡單ニ説明セヨ 一四七(昭四、一)
- ボタリー氏管ヲ簡單ニ説明セヨ 一四七(昭四、一)
- ボタリー氏動脈管ニ對シ知ル處ヲ記セ 一四七(昭五、一)
- 卵黃囊ニ對シ知ル處ヲ記セ 一四七(昭五、一)
- 小肉門ヲ簡單ニ説明セヨ 一四七(昭六、一)
- 卵圓孔ヲ簡單ニ説明セヨ 一四七(昭六、一)
- 成熟兒ノ徵候ヲ記セ 一四七(昭九、一)
- 胎兒ノ血液循環ヲ圖解セヨ 一四七(昭十、一)
- 胎兒ノ榮養ヲ記セ 一四七(昭十、一)
- 妊娠子宮ノ變化ニ就テ記セ 一四七(昭十、一)
- 内診時軟部産道ニ對スル觸診要點ヲ記セ 一四七(昭四、一)
- 骨盤外計測ニ就テ知ル所ヲ詳記セヨ 一四七(昭五、一)
- 骨盤外測定法ノ目的部位並其ノ平均距離ヲ記セ 一四七(昭五、一)

- 正規妊娠ニ於ケル診察ノ要點ヲ列記セヨ 三三三・三三六(昭六、一)
- 母體ニ必要ナル測定法ヲ述ベヨ 三三三(昭七、一)
- 内診ハ如何ナル場合ニ行フカ又内診時ノ注意ニ就テ記セ 三三〇・三三三(昭八、一)
- 骨盤外計測ニヨリ推知シ得ラル、諸點ヲ述ベヨ 三三六(昭八、一)
- 胎兒各部分ノ外診上ノ特徴ヲ記セ 三三三(昭八、一)
- 妊娠診察上ノ要點ヲ列舉セヨ 三三六(昭八、一)
- 母體ニ必要ナル測定法ニ就テ説明セヨ 三三三(昭七、一)
- 妊娠五ヶ月以前ニ於テ之ヲ確診シ得ルヤ否ヤ、確診シ得ルトセバ如何ナル徵候ニ依ルカ 三三七(昭三、一)
- 分娩豫定日計算法ヲ問フ 三三三(昭七、一)
- 妊娠六ヶ月ニ於ケル母體ノ徵候ヲ説明セヨ 三三九(昭九、一)
- 妊娠末期ニ於ケル母體ノ徵候ヲ記セ 三三九(昭十、一)
- 初妊ト經妊トノ鑑別ヲ記セ 三三八(昭十、一)

妊婦攝生法

- 妊娠後半期ノ攝生法ヲ説明セヨ 三三六(昭九、一)
- 妊婦ノ攝生法ヲ問フ 三三九(昭七、一)
- 妊婦ノ攝生法ヲ記セ 三三九(昭七、一)
- 妊娠中ノ栄養ニ就テ特ニ注意スベキ點ヲ説明セヨ 三三五(昭十四、一)

妊娠中ノ栄養ニ就テ記セ

三三三(昭七、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 分娩時ニ於ケル陣痛ノ胎兒心音ニ及ボス其ノ原因ヲ問フ 三三八(昭八、一)
- 分娩ノ胎兒ニ及ボス影響ヲ記セ 三三八(昭八、一)
- 正常分娩破水前後ニ於ケル母體及胎兒ノ状態處置ヲ記セ 三三九(昭十、一)
- 胎盤娩出ニ就テ知ル所ヲ記セ 三三九(昭十、一)
- 總テノ頭位ニ於ケル胎兒頭ノ應形ヲ列記セ 三三六(昭四、一)
- 各頭位ニ於ケル第三週轉ヲ説明セヨ 三三六(昭四、一)
- 正規分娩ニ於ケル卵胞ノ形成及其ノ破裂ノ原因ヲ記セ 三三二(昭七、一)
- 分娩ノ母體ニ及ボス影響ヲ記セ 三三二(昭七、一)
- 胎盤剝離ノ徵候ヲ記セ 三三二(昭七、一)
- 收縮輪ノ成因及其分娩ニ於ケル意義ヲ説明セヨ 三三〇・三三三(昭五、一)
- 分娩ノ母體ニ及ボス影響ヲ記セ 三三三(昭七、一)
- 正規分娩ノ場合各期ニ於ケル時間ヲ説明セヨ 三三三(昭七、一)
- 陣痛ト胎兒心音トノ關係ニ就テ記セ 三三三(昭七、一)

分娩時診察

- 前頭位兒頭骨盤腔内ニ於ケル高サノ診斷ニ就テ記セ 三三九(昭七、一)
- 分娩第二期ニ於ケル處置ヲ問フ 三三三(昭七、一)
- 分娩第三期ニ於ケル處置ヲ詳記セヨ 三三六(昭九、一)

分娩取扱法

- 分娩第二期ニ於ケル處置ヲ問フ 三三三(昭七、一)
- 分娩第三期ニ於ケル處置ヲ詳記セヨ 三三六(昭九、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 産褥時ニ惡露ノ性状ニ對シ如何ニ注意スベキカ 三三三(昭五、一)
- 妊娠褥婦ニ於ケル體温脈搏ノ生理的變化ニ就テ記セ 三三三(昭六、一)
- 妊娠褥婦ノ體温ニ就テ知ル處ヲ記セ 三三三(昭八、一)
- 惡露ニ就テ記セ 三三三(昭八、一)
- 妊娠褥婦ノ體温ニ就テ記セ 三三三(昭十、一)
- 惡露ニ就テ記セ 三三七(昭七、一)
- 胎糞ヲ簡單ニ説明セヨ 三三七(昭七、一)
- 娩出後ニ於ケル新生兒ノ經過ヲ述ベヨ 三三七(昭七、一)
- 飢餓熱ノ原因及處置ヲ記セ 三三九(昭八、一)

産褥取扱法

- 産褥時ニ離床ニ如何ニ注意スベキカ 三三六(昭五、一)
- 産褥時ニ陰部ノ處置ニ如何ニ注意スベキカ 三三六(昭五、一)
- 褥婦ノ取扱法ニ就テ要點ヲ記セ 三三六(昭八、一)
- 妊娠褥婦ノ栄養ニ就テ記セ 三三六(昭八、一)
- 褥婦ノ栄養法ヲ記セ 三三六(昭十、一)
- 産褥時ニ乳腺ノ處置ニ如何ニ注意スベキカ 三三六(昭五、一)
- 初生兒人工營養ヲ行フニ當リ注意スベキ點ヲ列記セヨ 三三六(昭六、一)
- 授乳並ニ離乳ニ就テ知ル所ヲ記セ 三三六(昭七、一)
- 乳母ノ選定ニ就テ記セ 三三七(昭九、一)
- 斷乳ハ如何ナル場合ニ行フカニ對シ答ヘヨ 三三七(昭九、一)
- 初乳ノ性状及主要ナル成分ヲ問フ 三三五(昭十、一)
- 初生兒ノ沐浴ニ就テ記セ 三三六(昭十、一)
- 初生兒ノ人工營養ニ就テ記セ 三三六(昭十、一)
- 初生兒ノ人工營養法ヲ記セ 三三六(昭十、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 惡性脈絡膜上皮腫ヲ簡單ニ説明セヨ 三三三(昭七、一)
- 葡萄狀胎兒ニ就テ説明セヨ 三三三(昭七、一)
- 正常位ニ於ケル胎盤ノ早期剝離ノ原因並ニ處

置ヲ記セ

- 前置胎盤ト正常位胎盤早期剝離トノ鑑別ヲ記セ 五五三・五五六(昭八、三)
- 胎盤早期剝離ノ診斷及ビ處置ヲ記セ 五五五・五五六(昭十一、一)
- 正常位胎盤ノ早期剝離ニ就テ記セ 五五二(昭十一、三)
- 胎盤ノ異常ガ分娩ニ及ボス影響ヲ列舉シテ簡單ニ說明セヨ 五六一(昭十一、一)
- 臍帶異常ノ種類及其ノ處置ヲ記セ 六四八(昭六、三)

胎兒異常

- 胎兒死亡ノ原因並ニ症狀 五七七・二二三五(昭三、三)
- 胎兒死亡ノ原因並ニ徵候處置ヲ記セ 五九七・二二三五・五二〇一(昭十四、一)

○子宮外妊娠ノ經過ヲ記セ

母體性器異常

- 子宮ノ位置異常ニ於ケル妊娠經過ニ就テ知ル所ヲ記セ 五二五(昭三、一)
- 淋病ガ産科領域ニ於テ母子ニ如何ナル影響ヲ及ボスカ 五二八(昭五、一)

母體全身異常

- 妊娠中頻發スル浮腫ヲ生徵トスル諸疾患ノ妊娠婦ニ及ボス影響 五二六三・五二九四(昭六、一)
- 妊娠悪阻ノ診斷及處置ヲ記セ 五二四六・五二九三(昭十三、一)
- 妊娠中浮腫ヲ起スベキ原因並ニ處置ヲ記セ 五二四六・五二九三(昭十三、一)

- 虚脱症狀ヲ簡單ニ說明セヨ 五三六三・五三九六(昭十一、三)
- 妊娠ノ呼吸困難ハ何ニヨツテ起ルカ 五三三〇(昭七、一)
- 左記疾患ガ妊娠ニ及ス影響ヲ簡單ニ說明セヨ
チフス、肺結核、梅毒、腎臟炎、子宮癌 五三二五・五三九三・五三九四・五三九五(昭十一、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 異常分娩ヲ來スベキ卵膜異常ノ主ナルモノヲ舉ゲテ知ル所ヲ記セ 六三三(昭八、一)
- 早期破水ガ及ボス影響ニ就テ記セ 六二七(昭九、一)
- 早期破水ノ原因徵候並ニ處置ヲ記セ 六二六・六二五・六二九(昭十一、一)

胎兒異常

- 次ノ各妊娠胎兒ノ位置ニ就テ外診ノミニ依テ診斷ノ精確實ナルモノト可能ナルモノトヲ區別シ其ノ理由ヲ簡單ニ說明セヨ
(一)後頭位 (二)顔面位 (三)臀位 (四)横位
(五)頭部ノ深在横位 (六)前頭位 (七)前頭位
六二九(昭十一、一)
- 胎兒ノ異常ニヨリ起ル異常分娩ヲ列舉シテ簡單ニ說明セヨ 六六〇(昭九、一)

○前頭位兒頭ノ骨盤腔内ニ於ケル高サノ診斷ニ就テ記セ

- 各頭位ニ於ケル第三廻轉ヲ說明セヨ 六二二(昭二、一)
- 顔面位ノ分娩機轉ニ就テ記セ 六二〇(昭四、三)
- 骨盤端位ノ分娩ニ於テ初生兒ニ危險ヲ招來スベキ原因ニ就テ說明セヨ 六二五(昭七、一)

○前頭位頭部ノ分娩機轉ヲ記セ

- 上肢脱出ノ分娩ニ對スル影響ヲ問フ 六二〇(昭十、一)
- 分娩時上肢脱出ヲ起ス凡テノ場合ヲ舉ゲテ簡單ニ對スル處置ヲ述ベヨ 六二五(昭七、一)
- 分娩時凡テノ胎位ニ於ケル上肢脱ニ對スル處置ニ就テ知ル所ヲ記セ 六二三(昭十一、一)

○双胎ノ妊娠經過ヲ記セ

- 初生兒假死ノ原因ヲ問フ 六二七(昭二、一)
- 初生兒假死ノ原因ヲ列記セヨ 六二七(昭三、一)
- 初生兒假死ノ原因並ニ其ノ處置ヲ記セ 六二七(昭七、一)
- 胎兒死亡ノ原因徵候處置ヲ記セ 六二五・六二七・六二九(昭十、一)
- 初生兒假死ノ原因徵候處置ヲ記セ 六二七(昭十一、一)

母體異常

- 陣痛異常ノ原因及處置ヲ記セ 六三〇三・六三二四(昭五、一)

○母體ヨリ來ル分娩障礙ノ原因ヲ舉ゲ之ニ簡單ナル說明ヲ加ヘヨ

- 狭窄骨盤ノ種類ヲ記セ 六三四(昭四、三)
- 狭窄骨盤ノ分娩時ニ起シ得ベキ異常ヲ列記シ其ノ診斷及處置ヲ記セ 六三五・六三六・六三七(昭六、三)
- 狭窄骨盤ニ就テ知ル處ヲ說明セヨ 六三五(昭八、一)
- 分娩時ニ於ケル子宮口ノ擴張困難ヲ來ス原因ニ就テ知ル處ヲ記セ 六三九(昭九、三)
- 狭窄骨盤ニ就テ知ルトコロヲ記セ 六三三(昭十一、一)
- モンブルグ氏止血法ヲ簡單ニ說明セヨ 六四三(昭七、一)
- 中央會陰破裂ヲ簡單ニ說明セヨ 六四三(昭七、一)
- 子宮破裂ニ就テ知ル所ヲ記セ 六四二(昭七、一)
- 分娩時出血ヲ來ス疾病ノ名稱並ニ其ノ時期ヲ列記セヨ 六四四(昭七、三)
- 子宮破裂ニ就テ記セ 六四四(昭十、一)
- 後産期出血ノ原因並ニ處置ヲ記セ 六四三・六四四(昭十一、一)
- 産科領域ニ於ケル急性貧血ニ就テ知ル所ヲ記セ 六四七(昭八、一)

第七集 異常產褥・補足知識

褥婦異常

- 産褥異常出血ヲ來ス原因ヲ舉ゲ簡單ニ之ヲ說

- 産褥子宮ノ復舊不全症ノ原因及處置ヲ問フ 七三三・七三九(昭一、一) 明セヨ
- 乳汁分泌異常ノ種類及處置ヲ記セ 七五五・七五七(昭一、一)
- 乳嘴創傷ノ原因並ニ豫防法 七二〇・七二一(昭三、一)
- 産褥時ニ於ケル異常出血ノ種類及原因ヲ問フ 七二九・七三〇(昭三、一)
- 悪露蓄積症ニ就テ記セ 七三三(昭六、一)
- 乳汁漏ヲ簡單ニ説明セヨ 七三九(昭六、一)
- 産褥子宮ノ復舊不全症ノ原因並ニ症候ヲ記セ 七三六(昭七、一)
- 産褥熱ノ徵候並其ノ豫防法ヲ記セ 七五五・七五七(昭七、一)
- 産褥子宮ノ復舊不全ヲ來スベキ原因ヲ記セ 七二六・七二〇(昭九、一)
- 乳腺炎ノ原因徵候處置ヲ記セ 七二五(昭十、一)
- 産褥期ニ起ルベキ重ナル疾病ノ種類ト原因ヲ列記セヨ 七二九(昭十、一)
- 乳汁分泌異常ノ種類及處置ヲ記セ 七二〇・七二一(昭十、一)
- 産褥時ニ於ケル異常出血ノ原因及處置ヲ記セ 七二九・七三〇(昭十、一)
- 乳汁分泌異常ニ就テ知ル所ヲ記セ 七二〇(昭十、一)
- 臍「ヘルニア」ニ就テ記セ 七二四・七二五(昭三、一)
- 遺傳毒兒ノ徵候ヲ記セ 七二五(昭四、一)
- 分娩ニ直接關係セル初生兒疾患ヲ簡單ニ説明セヨ 七二五(昭四、一)
- 産褥ト頭血腫トノ鑑別ヲ記セ 七二四・七二五(昭五、一)
- 初生兒ニ最モ多キ傳染性疾患ヲ舉ゲ且ツ簡單ニ各症狀ヲ説明セヨ 七二〇(昭六、一)
- 初生兒ノ消化不良症ノ原因及症候ヲ述ベヨ 七二〇(昭六、一)
- 分娩ト直接關係ヲ有スル初生兒疾患ニ就テ記セ 七二〇(昭七、一)
- 驚口瘡ノ原因及處置ヲ記セ 七二〇(昭八、一)
- 乳兒脚氣ノ原因及處置ヲ記セ 七二〇・七二一(昭八、一)
- 初生兒臍破傷風ノ原因及處置ヲ記セ 七二〇(昭八、一)
- 初生兒分焼痲痺ニ就テ記セ 七二〇(昭九、一)
- 初生兒ニ最モ多キ傳染性疾患ノ名稱並ニ其ノ主ナル症狀ヲ記セ 七二〇(昭十、一)
- 初生兒ノ最モ多キ疾病ノ名稱並ニ主ナル症狀ヲ記セ 七二〇・七二一(昭十、一)
- 初生兒ニ起リ易キ疾病ノ名稱原因主徵ヲ記セ 七二〇・七二一(昭十、一)
- 産褥ト頭血腫トノ鑑別ヲ記セ 七二四・七二五(昭十、一)
- 産褥ト頭血腫トノ鑑別ヲ記セ 七二四・七二五(昭十、一)
- 早熟嬰兒ノ看護法 七二四・七二五(昭十、一)
- 早生兒ノ看護法ヲ問フ 七二四・七二五(昭八、一)
- 早産ノ原因及早産兒ノ看護法ヲ記セ 七二四・七二五(昭十、一)

看護法及介助法

- 産褥ト頭血腫トノ鑑別ヲ記セ 七二四・七二五(昭七、一)
- 初生兒ニ最モ多キ傳染性疾患ヲ舉ゲ且ツ簡單ニ各症狀ヲ説明セヨ 七二〇(昭五、一)
- 初生兒ノ消化不良症ノ原因及症候ヲ述ベヨ 七二〇(昭六、一)
- 分娩ト直接關係ヲ有スル初生兒疾患ニ就テ記セ 七二〇(昭七、一)
- 驚口瘡ノ原因及處置ヲ記セ 七二〇(昭八、一)
- 乳兒脚氣ノ原因及處置ヲ記セ 七二〇・七二一(昭八、一)
- 初生兒臍破傷風ノ原因及處置ヲ記セ 七二〇(昭八、一)
- 初生兒分焼痲痺ニ就テ記セ 七二〇(昭九、一)
- 初生兒ニ最モ多キ傳染性疾患ノ名稱並ニ其ノ主ナル症狀ヲ記セ 七二〇(昭十、一)
- 初生兒ノ最モ多キ疾病ノ名稱並ニ主ナル症狀ヲ記セ 七二〇・七二一(昭十、一)
- 初生兒ニ起リ易キ疾病ノ名稱原因主徵ヲ記セ 七二〇・七二一(昭十、一)
- 産褥ト頭血腫トノ鑑別ヲ記セ 七二四・七二五(昭十、一)
- 産褥ト頭血腫トノ鑑別ヲ記セ 七二四・七二五(昭十、一)
- 早熟嬰兒ノ看護法 七二四・七二五(昭十、一)
- 早生兒ノ看護法ヲ問フ 七二四・七二五(昭八、一)
- 早産ノ原因及早産兒ノ看護法ヲ記セ 七二四・七二五(昭十、一)

〔三〕 石川縣

第一集 豫備知識

- 産婆ハ如何ナル業務ナリヤ 一八一(昭五、一)
- 骨盤第一外斜徑ヲ説明セヨ 一三六(昭六、一)
- 小骨盤各部ニ於ケル各徑線ヲ説明シ且ツ其ノ最大徑線ヲ舉ゲヨ 一三五(昭六、一)
- 骨盤軸ヲ記セ 一三七(昭七、一)
- 卵巣發育ノ經過ヲ記セ 一〇二(昭三、一)
- 排卵機能ヲ詳記セヨ 一〇七(昭四、一)
- 卵巣ニ就テ知ル所ヲ記セ 一〇七(昭四、一)
- グラマー氏細胞ヲ簡單ニ説明セヨ 一〇七(昭四、一)
- グラマー氏ニ就キ産婆學上知ル處ヲ記セ 一〇七(昭五、一)
- 卵管ニ就テ説明セヨ 一〇七(昭五、一)
- 受精卵ニ就テ説明セヨ 一〇七(昭五、一)
- 卵胞ニ就テ説明セヨ 一〇七(昭五、一)

第二集 正常妊娠

- フニールプリンゲル氏ニ就キ産婆學上知ル處ヲ記セ 一〇二(昭五、一)
- 胎盤ノ構造及作用ヲ記セ 一三六・一三五(昭二、一)
- 胎盤ノ構造及機能 一三五・一三五(昭二、一)
- 胎盤ノ發生並ニ其ノ構造及機能ヲ記セ 一三三・一三五(昭五、一)
- 胎盤ニ就テ知ル所ヲ記セ 一三三(昭五、一)
- 正常妊娠ニ於ケル胎盤ニ就テ記セ 一三三(昭五、一)
- 卵膜ニ就テ説明セヨ 一三三(昭五、一)
- アラランチ氏ニ就キ産婆學上知ル處ヲ記セ 一三三(昭五、一)
- 胎兒ノ肉門ニ就テ説明シ併セテ産婆學上如何ナル價値ヲ有スルカヲ述ベヨ 一三三・一三六(昭八、一)
- 胎盤血行ト胎血行トノ差異ヲ述ベヨ 一三三(昭九、一)
- 成熟胎兒ノ頭蓋ト成人ノ頭蓋トノ差異ヲ列記シ並ニ成熟兒頭ノ諸徑線ニ就テ記セヨ 一三三・一三六(昭十、一)
- 卵圓孔ニ就テ説明セヨ 一三三(昭十、一)

ニテ施行スルヤ

七二四(昭十、一)

○妊娠子宮膨大ノ爲メニ起ル母體ノ變化ヲ述ベヨ 三二二(昭十、一)

妊婦ノ診察

- 妊婦ノ視診及觸診ニテ知り得ベキ事項ヲ記セ 三二三(昭三、一)
- 妊婦腹部ニ於テ聴取シ得ベキ音及其ノ音ノ特徵並ニ意義ニ就テ記セ 三二四(昭六、一)
- 胎兒心音ニ就テ知ル處ヲ記セ 三二五(昭七、一)
- 臍帶雜音ヲ記セ 三二六(昭七、一)
- 浮球感覺ヲ記セ 三二七(昭七、一)

○左ノ事項ハ妊娠徵候ノ何レニ屬スルヤ

- (イ)子宮雜音 (ロ)臍帶雜音 (ハ)初乳分泌
- (ニ)妊娠線 (ホ)乳暈ノ着色 三二八・三三〇(昭三、一)

○四月十七日正規分娩セル産婦ノ推定妊娠日ヲ簡單ニ説明セヨ 三三〇(昭四、一)

○最終月經不明ナル場合分娩豫定時期ヲ如何ニシテ定ムルカ 三三二(昭七、一)

○妊娠月數ニ比シ子宮ノ過大ナル場合ト過小ナル場合トヲ記セ 三三三(昭八、一)

○妊娠前半期ニ於テ如何ニシテ妊娠タルコトヲ知ルヤ 三三三(昭八、一)

○三月廿五日常ノ如ク一週日月經アリ以後無月經、分娩豫定日ヲ定メヨ 三三三(昭九、一)

○只一回ノ性交(四月十日)ノ分娩豫定日ヲ定メ

○動胎初感ノ日ガ三月廿日ノ分娩豫定日ヲ定メ 三三三(昭九、一)

○現今子宮底ノ高サ臍ト恥骨接合(縫合)トノ中央ニアリ分娩豫定日ヲ定メヨ 三三三(昭九、一)

○妊娠ノ疑徴及確徴ヲ記セヨ 三三五・三三六(昭十、一)

○左記事項ハ妊娠徵候ノ何レニ屬スルヤ 三三五・三三六(昭十、一)

○臍帶雜音、妊娠線、子宮ノ膨大、月經閉止、惡心嘔吐 三三五・三三六(昭十、一)

○妊娠末期ニ於ケル初産婦ト經産婦トノ區別ヲ舉ゲヨ 三三六(昭十、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ狀態

- 娩出力ニツイテ 三三六(昭十一、一)
- 胎盤剝離ノ時期並ニ其徵候ヲ記セ 三三六・三三三(昭十一、一)
- 分娩時ニ於テ胎兒ノ變態ヲ記セ 三三八(昭三、一)
- 收縮輪ヲ簡單ニ説明セヨ 三三九(昭四、一)
- ダンカン氏式胎盤娩出ヲ簡單ニ説明セヨ 三三九(昭四、一)
- 腹壓ニ就テ知ル所ヲ記セ 三三九(昭四、一)
- 胎盤娩出ノ時期及徵候並ニ胎盤娩出遅延時ノ處置ヲ記セ 三三九・三四〇(昭五、一)
- シムルツエ氏ニ就キ産婆學上知ル處ヲ記セ 三四〇(昭五、一)

○戰慄陣痛ヲ説明セヨ 三三九(昭六、一)

○前羊水ヲ説明セヨ 三四〇(昭六、一)

○子宮口全開大ノ時期並ニ之ヲ知り得ル徵候ヲ説明セヨ 三四〇(昭七、一)

○産痛ニ就テ知ル處ヲ記セ 三四一(昭六、一)

○假陣痛ニ就テ知ル處ヲ記セ 三四一(昭六、一)

○兒頭排露ニ就テ知ル處ヲ記セ 三四二(昭七、一)

○胎盤後血腫ニ就テ知ル處ヲ記セ 三四二(昭七、一)

○第一後頭位分娩第四週轉ニ就テ知ル處ヲ記セ 三四二(昭七、一)

○前陣痛ヲ記セ 三四三(昭八、一)

○收縮輪ヲ記セ 三四三(昭八、一)

○分娩第一期トハ如何ナル時期ヲ云フカ及ビ其ノ經過ヲ記セ 三四三(昭八、一)

○通過管ハ如何ニシテ形成セラルルヤ 三四三(昭九、一)

○胎胞(卵胞)ハ如何ニシテ形成セラルルヤ 三四四(昭九、一)

○胎盤後血腫ハ如何ニシテ形成セラルルヤ 三四四(昭九、一)

○産痛ハ如何ニシテ形成セラルルヤ 三四五(昭九、一)

○正規陣痛ニ就テ知ル處ヲ記セ 三四五(昭九、一)

○分娩第三期ノ機轉ヲ述ベヨ 三四六(昭十、一)

○分娩直後ニ於ケル子宮底ノ高サニ就テ記セ 三四六(昭十、一)

○第二後頭位ノ分娩機轉ヲ記セ 三四七(昭十、一)

○兒頭出後其ノ胎位胎向ハ如何ニシテ知り得ル

○腹壓ヲ加減スベキ場合ヲ説明セヨ 三四六(昭十一、一)

○分娩ノ胎兒ニ及ボス影響 三四六(昭十一、一)

○分娩直後ニ於ケル褥婦ノ狀態ニ就テ説明セヨ 三四七(昭十一、一)

○第二後頭位ノ第二週轉(廻轉)ヲ説明シ併テ其ノ起ル理由場所時期ヲ記セヨ 三四七(昭十一、一)

○分娩第一期ニ於テ子宮口ハ如何ニシテ開大スルヤ 三四七(昭十一、一)

○兒頭ノ應形機能ニ就テ記セ 三四八(昭十一、一)

○陣痛ノ極期ヲ説明セヨ 三四八(昭十一、一)

○陣痛ノ作用ヲ説明セヨ 三四九(昭十一、一)

○前陣痛ヲ説明セヨ 三四九(昭十一、一)

○戰慄陣痛ヲ説明セヨ 三四九(昭十一、一)

○分娩第一期ノ經過ヲ説明セヨ 三四九(昭十一、一)

○分娩第二期トハ如何ナル時期ナルヤ及此ノ時期ニ於ケル處置ヲ記セ 三四九(昭十一、一)

○臍帶纏絡時ノ處置ヲ記セ 三四九(昭十一、一)

○分娩第三期ニ於ケル初生兒ノ處置 三四九(昭十一、一)

○クレイヂ氏ニ就キ産婆學上知ル處ヲ記セ 三四九(昭十一、一)

○胎盤娩出時一定ノ方向ニ捻轉スルハ如何ナル理由ナルヤヲ説明セヨ 三四九(昭十一、一)

- 胎帯切斷ノ時期ニ就テ知ル處ヲ記セ 三〇三九(昭七、一)
- 分娩第一期ノ處置ヲ問フ 三〇八四(昭八、一)
- 分娩直後ニ於ケル産褥婦(褥婦)ノ處置如何 三〇八七(昭九、一)
- 胎帯纏絡ニ於ケル處置ヲ問フ 三〇九〇(昭九、一)
- 正規分娩ノ際會陰保護ノ必要ナル理由及之ヲ行フベキ時期ヲ述ベヨ 三〇九五・三〇九六(昭十、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 正規産褥ノ経過ヲ記セ 四〇七〇(昭一、一)
- 産褥第六日ニ於ケル子宮底ノ位置、頸管ノ大サ、惡露ノ状態並ニ其ノ褥婦ノ取扱法ヲ記セ 四〇七六・四〇七五・四〇七四(昭三、一)
- 産褥第六日ニ於ケル子宮底ノ位置、頸管ノ大サ 四〇七六(昭三、一)
- 正規褥婦ニ就キ産褥子宮ノ腹壁上ヨリ觸知シ得ザルニ至ル時期ヲ記セ 四〇七三(昭四、一)
- 産褥ヲ説明セヨ 四〇七五(昭五、一)
- 漿液性惡露ヲ説明セヨ 四〇七六(昭五、一)
- 第五日目ニ於ケル子宮底ノ高サト惡露ノ性状 四〇七五・四〇七六(昭五、一)
- 初乳ト永久乳(常乳)トノ差異ヲ問フ 四〇七五(昭七、一)
- 分娩直後ニ於ケル生殖器ノ状態ヲ記セ 四〇七四(昭七、一)

産褥取扱法

- 正規惡露ニ就イテ述ベヨ 四〇八八(昭八、一)
- 初乳ニ就テ記セ 四〇八八(昭十、一)
- 後陣痛ニ就テ記セ 四〇九三(昭十、一)
- 漿液性惡露ニ就イテ記セ 四〇九六(昭十、一)
- 産褥第四日ノ褥婦ノ状態及其ノ取扱法 四〇九七・四〇九八(昭十、一)
- 後陣痛ヲ説明セヨ 四〇九四(昭十、一)
- 分娩直後ニ於ケル生殖器ノ状態ニ就テ記セ 四〇七四(昭十、一)
- 正常惡露ニ就テ記セ 四〇七六(昭十、一)
- 褥婦尿閉ノ原因及症狀ヲ記セ 四〇七六・四〇七五(昭十、一)
- 魔乳ヲ説明セヨ 四〇七六(昭十、一)
- 初生兒臍帶脱落ノ時期ヲ説明セヨ 四〇七六(昭十、一)
- 新産兒(初生兒)ノ體重體温呼吸糞尿ニ就テ知ル處ヲ記セ 四〇九八・四〇九七(昭九、一)
- 新産兒(初生兒)ノ乳房ニ就テ知ル處ヲ記セ 四〇九八(昭九、一)
- 新産兒餓餓熱ノ原因及處置ヲ問フ 四〇九〇(昭十、一)
- 左記事項ヲ説明セヨ 胎糞、褥婦ノ腹帶、新産兒授乳回数、新産兒體重、クレデ氏點眼法 四〇九三・四〇九二・四〇九一・四〇九〇(昭十、一)
- 褥婦ノ養生法ヲ記セ 四〇九六(昭三、一)
- 産褥六日目ニ於ケル褥婦ノ取扱 四〇九二(昭三、一)

- 褥婦第一週ノ飲食物ハ如何ニヌベキカ 四〇九八(昭四、一)
- 正規褥婦ノ離床、入浴ノ時期ヲ記セ 四〇七二・四〇七三(昭四、一)
- 正規褥婦ニ就キ普通ノ飲食物ヲ攝取シ得ル時期ヲ記セ 四〇八八(昭四、一)
- 産褥第一週ニ於ケル褥婦ノ處置及看護法 四〇七五(昭六、一)
- 褥婦診察ノ際注意スベキ事項ヲ擧ゲ且ツ其ノ理由ヲ説明セヨ 四〇七五(昭六、一)
- 産褥第四日ノ褥婦取扱法 四〇七四(昭十一、一)
- 褥婦外陰部ノ處置ニ就イテ 四〇七三(昭十三、一)
- 褥婦乳房ノ處置ニ就イテ 四〇七三(昭十三、一)

- 胎帯切斷ノ處置ニ就イテ 四〇九八(昭五、一)
- 牛乳栄養ニ就イテ 四〇九八(昭五、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 鬼胎トハ如何ナルモノナリヤ及之ニ對スル處置ヲ問フ 五〇四四・五〇八八・五〇九〇(昭七、一)
- 前置胎盤ノ診斷及種類並ニ之ガ分娩ニ及ボス影響 五〇五三・五〇五二・五〇五五(昭五、一)
- 正常位ニ於ケル胎盤早期剝離ノ徴候及障礙ヲ記セ 五〇五三・五〇五九(昭十、一)
- 羊水過多症ノ診斷並ニ障礙ニ就テ記セ 五〇五三・五〇五二(昭四、一)
- 羊水過多ノ妊娠分娩ニ及ボス影響 五〇五三(昭十、一)
- 羊水過多症ト胎兒胎トノ鑑別ニ就テ 五〇五七(昭十、一)
- 浸軟兒ヲ説明セヨ 五〇九〇(昭五、一)
- 死亡胎兒ニ起ル變化ヲ記セ 五〇九〇(昭七、一)
- 妊娠前半期ニ於ケル胎兒死亡ノ症狀及其ノ變化ヲ問フ 五〇九六・五〇九七(昭十、一)
- 死亡胎兒ノ運命ニ就テ記セ 五〇九六(昭十、一)
- 切迫流産ヲ説明セヨ 五〇九八(昭五、一)

○不完全流産ヲ説明セヨ 五、二二(昭五、一)

第六集 異常分娩

六、三〇(昭三、一)

○稽留性流産ヲ説明セヨ 五、二五(昭五、一)

○胎兒附屬物異常

六、三〇(昭三、一)

○流産ノ症状及其ノ處置ヲ問フ 五、一〇〇(昭八、一)

○異常破水ノ種類及之ニ因ル障害ヲ述ベヨ 六、三〇(昭三、一)

○母體性器異常

六、三〇(昭三、一)

○妊娠後中期ニ於ケル出血ニ就テ知ル所ヲ記セ 五、一三三(昭三、一)

○胎兒異常

六、三三(昭七、一)

○妊娠八ヶ月ニ起ル生殖器出血ノ原因ヲ述ベヨ 五、二〇〇(昭九、一)

○胎兒異常

六、三三(昭七、一)

○子癩トハ如何ナル疾病ナリヤ且本病ノ原因並ニ前驅症狀ヲ記セ 五、一四〇(昭四、一)

○胎兒異常

六、三三(昭七、一)

○子癩ニ於ケル處置ヲ問フ 五、一四〇(昭四、一)

○胎兒異常

六、三三(昭七、一)

○子癩ノ原因ヲ記シ産婆トシテ探ルベキ處置如何 五、一四〇(昭四、一)

○胎兒異常

六、三三(昭七、一)

○妊娠後阻ノ發スル時期症狀影響並ニ其ノ處置ヲ述ベヨ 五、一四〇(昭四、一)

○胎兒異常

六、三三(昭七、一)

○妊娠「ネフローゼ」(妊娠腎)ノ原因症狀及處置ヲ述ベヨ 五、一四〇(昭四、一)

○胎兒異常

六、三三(昭七、一)

○脚氣ト妊娠トノ關係ヲ簡單ニ説明セヨ 五、一三六(昭五、一)

○胎兒異常

六、三三(昭七、一)

○腎臓炎ト妊娠トノ關係ヲ簡單ニ説明セヨ 五、一三六(昭五、一)

○胎兒異常

六、三三(昭七、一)

○妊娠分婏産褥ト肺結核トノ關係ニ就テヲ述ベヨ 五、一三八(昭五、一)

○胎兒異常

六、三三(昭七、一)

○前頭位ノ診斷及處置 六、一〇四(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇四(昭五、一)

○第二顔面位ノ先進部ヲ記セ 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○第二顔面位ノ兒心音聽取ノ部位ヲ記セ 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○第二顔面位ニ於テ産瘤ノ生ズル場所ヲ記セ 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○第二顔面位ノ兒頭ノ變形ヲ記セ 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○分婏中胎兒死亡ヲ來ス場合ヲ列記セヨ 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○双胎分婏ノ取扱ニ就キ注意スベキ事項ヲ記セ 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○一卵性双胎ト二卵性双胎トハ如何ニシテ區別シ得ベキヤ 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○紙狀胎兒ヲ説明セヨ 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○分婏中ニ於ケル胎兒假死ノ徵候ヲ記セ 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○新産兒假死ノ徵候ヲ記セ 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○母體異常

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○痙攣陣痛ニ就イテ知ル所ヲ記セ 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○陣痛微弱ノ分婏第三期ニ及ボス影響及其ノ處置ヲ問フ 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○分婏時胎兒危險ノ徵候 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○陣痛微弱ニ於ケル處置ヲ問フ 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○微弱陣痛ノ障礙ニ就イテ記セ 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○過強(過劇)陣痛ノ原因及其ノ障礙ヲ述ベヨ 六、一〇六(昭五、一)

○胎兒異常

六、一〇六(昭五、一)

○或ル妊娠ノ骨盤ヲ計測セルニ左記ノ如シコノ骨盤ノ種類及斯ル骨盤ヲ有スル婦人ノ分婏時ニ起ル障碍ヲ記セ 二一〇〇種

○胎兒異常

二一〇〇種

○腸骨前上棘間距離 一六〇〇種

○胎兒異常

一六〇〇種

○外結合線 二二〇〇種

○胎兒異常

二二〇〇種

○腸骨間距離 二二〇〇種

○胎兒異常

二二〇〇種

○大轉子間距離 二五〇〇種

○胎兒異常

二五〇〇種

○左右外斜徑 各一八〇種

○胎兒異常

各一八〇種

○廣骨盤ヲ説明セヨ 六、三六五(昭五、一)

○胎兒異常

六、三六五(昭五、一)

○胎盤又ハ卵膜殘留ノ徵候及之ガ爲ニ蒙ル影響ヲ記セ 六、四四二(昭四、一)

○胎兒異常

六、四四二(昭四、一)

○分婏第三期ニ於ケル異常出血ノ原因及處置ヲ記セ 六、四四二(昭四、一)

○胎兒異常

六、四四二(昭四、一)

○分婏第三期ニ於ケル異常出血ノ原因並其ノ處置ヲ問フ 六、四四二(昭四、一)

○胎兒異常

六、四四二(昭四、一)

○後産出血ノ原因及其ノ應急處置ヲ問フ 六、四四二(昭四、一)

○胎兒異常

六、四四二(昭四、一)

○第三期陣痛微弱ヲ説明セヨ 六、四四二(昭四、一)

○胎兒異常

六、四四二(昭四、一)

○惡露ノ異常ニ就テ知ルトコロヲ記セ 六、四四二(昭四、一)

○胎兒異常

六、四四二(昭四、一)

○子宮復舊不全トハ如何及之ガ原因ヲ記セ 七、五〇四(昭四、一)

○胎兒異常

七、五〇四(昭四、一)

○惡露ノ異常ニ就テ知ルトコロヲ記セ 六、四四二(昭四、一)

○胎兒異常

六、四四二(昭四、一)

○子宮復舊不全トハ如何及之ガ原因ヲ記セ 七、五〇四(昭四、一)

○胎兒異常

七、五〇四(昭四、一)

○惡露ノ異常ニ就テ知ルトコロヲ記セ 六、四四二(昭四、一)

○胎兒異常

六、四四二(昭四、一)

○子宮復舊不全トハ如何及之ガ原因ヲ記セ 七、五〇四(昭四、一)

○胎兒異常

七、五〇四(昭四、一)

○惡露ノ異常ニ就テ知ルトコロヲ記セ 六、四四二(昭四、一)

○胎兒異常

六、四四二(昭四、一)

○子宮復舊不全トハ如何及之ガ原因ヲ記セ 七、五〇四(昭四、一)

○胎兒異常

七、五〇四(昭四、一)

○惡露ノ異常ニ就テ知ルトコロヲ記セ 六、四四二(昭四、一)

○胎兒異常

六、四四二(昭四、一)

○子宮復舊不全トハ如何及之ガ原因ヲ記セ 七、五〇四(昭四、一)

○胎兒異常

七、五〇四(昭四、一)

○惡露ノ異常ニ就テ知ルトコロヲ記セ 六、四四二(昭四、一)

○胎兒異常

六、四四二(昭四、一)

○子宮復舊不全トハ如何及之ガ原因ヲ記セ 七、五〇四(昭四、一)

○胎兒異常

七、五〇四(昭四、一)

○惡露ノ異常ニ就テ知ルトコロヲ記セ 六、四四二(昭四、一)

○胎兒異常

六、四四二(昭四、一)

○子宮復舊不全トハ如何及之ガ原因ヲ記セ 七、五〇四(昭四、一)

○胎兒異常

七、五〇四(昭四、一)

○惡露ノ異常ニ就テ知ルトコロヲ記セ 六、四四二(昭四、一)

○胎兒異常

六、四四二(昭四、一)

- 産褥時ニ於ケル泌尿器ノ疾病ヲ簡單ニ説明セ
セ、二〇(昭五、一)
- 産褥熱ノ原因及其ノ豫防法ヲ記セ
セ、二一・二二(昭八、一)
- 産褥時ニ於ケル異常出血ノ原因ヲ問フ
セ、二二(昭八、一)
- 乳腺炎
セ、二三(昭九、一)
- 産褥中ニ於ケル乳房ノ疾患及其ノ豫防並ニ處
置ヲ問フ
セ、二四(昭七、一)
- 片側下肢ノ浮腫ヲ説明セヨ
セ、二五(昭七、一)
- 永キ血性惡露ヲ説明セヨ
セ、二六(昭七、一)
- 乳汁漏、梅毒、吸收熱ヲ説明セヨ
セ、二七・二八・二九(昭七、一)
- 後天性乳汁分泌過少症ノ原因及處置
セ、二九(昭七、一)
- 白腹腫ノ原因及症狀ヲ記セ
セ、三〇(昭七、一)

新産兒異常

- 初生兒ノ罹リ易キ眼疾患ヲ詳記セヨ
セ、三一(昭七、一)
- 微毒兒ノ徴候ヲ記セ
セ、三二(昭八、一)
- 頭血腫ハ如何ニシテ形成セラレ、ヤ
セ、三三(昭九、一)
- 先天性微毒
セ、三四(昭九、一)
- 膿漏眼
セ、三五(昭九、一)
- 驚口瘡
セ、三六(昭九、一)
- 汗 疹
セ、三七(昭九、一)
- 新産兒(初生兒)ノ罹リ易キ疾病ニシテ發熱ヲ
伴フモノ、名稱及其ノ原因ヲ述ベヨ
セ、三八(昭十、一)
- 新産兒驚口瘡ノ原因及處置ヲ問フ
セ、三九(昭十、一)
- 新産兒吐乳ノ原因及處置ヲ問フ
セ、四〇(昭十、一)
- 皮膚糜爛ノ原因及處置ヲ問フ
セ、四一(昭十、一)
- 臍出血ノ原因及處置ヲ問フ
セ、四二(昭十、一)
- 新産兒ノ吐血ヲ説明セヨ
セ、四三(昭十、一)
- 新産兒ノ瀉藥ヲ説明セヨ
セ、四四(昭十、一)
- 新産兒ノ分娩ニ因ル損傷
セ、四五(昭十、一)
- 兔唇、臍息肉、驚口瘡ヲ説明セヨ
セ、四六(昭十、一)
- 新産兒先天微毒ノ徴候ヲ記セ
セ、四七(昭十、一)
- 新産兒破傷風ノ徴候ヲ記セ
セ、四八(昭十、一)
- 新産兒膿漏眼ノ原因及症狀ヲ記セ
セ、四九(昭十、一)
- 新産兒ノ吐乳ノ原因及症狀ヲ記セ
セ、五〇(昭十、一)
- 新生兒皮膚ノ糜爛ノ原因ト症狀ヲ記セ
セ、五一(昭十、一)

○早産ノ原因ト早産兒ノ看護法ヲ問フ
セ、五二・五三・五四(昭十、一)

○如何ナル者ガ産婆開業ヲ爲シ得ルヤ
セ、五五(昭七、一)

〔三三〕 福 井 縣

第一集 豫備智識

- 小骨盤各部ノ最大徑線ト其ノ測點ヲ問フ
一、五五(昭二、一)
- 外骨盤徑線ノ名稱及其ノ距離ヲ答ヘヨ
一、五六(昭五、一)
- 内性器ト膀胱、直腸、腹膜トノ關係ヲ圖解シ、
各部ノ名稱ヲ問フ
一、五七(昭六、一)
- 授卵機能ト月經ニ就テ
一、五八(昭七、一)
- 急ヲ要スル場合産婆ノ手指ノ消毒法ヲ記セ
一、五九(昭三、一)
- 産科學上クレゾール石鹼液ノ特用セラレ、理
由及其ノ用途ヲ問フ
一、六〇(昭三、一)
- 産婆學上必要ナル消毒藥ヲ列舉シ及ビ其特徴
ヲ記セ
一、六一(昭三、一)
- 二%ノクレゾール水五百立方釐ノ調製方法ヲ
記セ
一、六二(昭十、一)
- 一パーセント「クレゾール水」ニ立ノ調製法
ヲ記セ
一、六三(昭十、一)

〔三四〕 福 井 縣

産婆ニ關スル法令

○左記材料ニ就キ最も適當ノ消毒方法ヲ記セ
ガ―ゼ、ネラトソン氏カテーテル、刷毛、
臍帶剪刀
一、六四・一、六五・一、六六(昭十、一)

○二%「クレゾール」水「リットル」ノ調製方法
ヲ問フ
一、六七(昭十、一)

○手指及外陰部ノ消毒方法ヲ記セ
一、六八(昭十、一)

第二集 正常妊娠

- 胎盤ノ構造並ニ其ノ機能ヲ説明セヨ
一、六九(昭十、一)
- 羊水ノ效用ヲ記セ
一、七〇(昭十、一)
- 受胎卵ノ子宮内膜ニ着床スル經過ヲ問フ
一、七一(昭十、一)
- 排出卵ガ受精セル場合ト受精セザル場合ニ於
ケル子宮内膜ノ相異ヲ述ベヨ
一、七二(昭十、一)

- 胎盤ノ構造並ニ其ノ機能ヲ説明セヨ 二一三六・二一三四(昭七、一)
- 胎兒ノ新陳代謝ニ就テ 二一三三(昭二、一)
- 初生兒ト胎兒トノ血行ノ差異ヲ述ベヨ 二一三二(昭三、一)
- 要胎ヲ説明セヨ 二一三七(昭五、三)
- 妊卵ノ栄養ニ就テ説明セヨ 二一三七(昭六、二)
- 胎盤血行ヲ始ムル以前ニ於ケル胎兒血行ヲ問フ 二一三〇(昭七、二)
- 骨盤腔ノ各平面ニ於ケル最大徑線並ニ成熟兒頭ノ最小平面ヲ問フ 一五三・二一〇一(昭七、一)
- 初生兒發育狀態ハ何ニヨリテ知ルカ 二一八五(昭七、二)
- 胎兒ノ胎勢、胎位、胎向トハ如何 二一三三(昭八、二)
- 妊娠時消化器系統ニ於ケル變化ヲ記セ 二一七三(昭三、二)
- 妊娠線ニツキ記セ 二一七六(昭十一、二)
- 妊婦ノ診察 二一三三(昭十一、二)
- 妊婦ノ腹部聽診ニ際シ聽取シ得ル音ノ種類並ニ診斷的價値ヲ問フ 二一三五(昭十一、二)
- 妊娠中胎兒死亡ノ徵候 二一三五(昭十一、二)
- 妊娠子宮ノ異常ナル膨大ヲ起スベキ疾病ノ名稱ヲ擧ゲ其ノ鑑別法ヲ問フ 二一三〇(昭三、一)
- 後頭位ニ於ケル胎兒心音ヲ最モ明瞭ニ聽取スル部位ヲ答ヘヨ 二一〇〇(昭五、一)
- 妊娠ト鑑別スベキ疾病ヲ擧ゲ其ノ區別ヲ問フ 二一五六(昭六、一)
- 妊娠八ヶ月ト十ヶ月トノ區別ヲ記セ 二一五〇(昭十、一)
- 初妊婦ト經産婦トノ鑑別及兩者分娩經過ノ相異ヲ擧ゲヨ 二一六二・二一六三(昭十一、一)
- 胎兒死亡ノ診斷 二一三五(昭十一、一)
- 妊娠ノ徵候ヲ記セ 二一三七(昭十一、一)
- 妊婦ノ攝生法中其ノ主要ナルモノヲ列擧セヨ 二一五六(昭十一、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ狀態

- 流産ト早産トノ區別如何 二一〇〇(昭七、一)
- 胎兒分娩後子宮底臍上四指横徑ニ狭ク固ク觸知セリ如何ナル場合カ其ノ處置 二一七二(昭二、一)
- 胎盤剝離ノ徵候ヲ記セ 二一七三(昭二、一)
- 分娩開始ヲ如何ニシテ診定スルヤ 二一七六(昭四、三)
- 收縮輪ニ就テ記セ 二一七〇(昭五、一)
- 陣痛並ニ骨盤ニ異常ナクシテ分娩遷延スル場合ニハ如何ナル原因ヲ考フベキカ 二一七五(昭五、一)
- 胎盤剝離ノ徵候 二一七六(昭六、一)
- 分娩開始後ニ於テ如何ナル場合ニ自然分娩可能ナルベシト推定シ得ルヤ 二一七五(昭六、一)

- 正規産ニ於ケル胎盤剝離ノ徵候ヲ述ベヨ 二一六二(昭六、二)
- 第一後頭位ニ於ケル第四廻轉ノ方向及ビ其ノ起ル理由ヲ記セ 二一〇六・二一〇二(昭七、一)
- 正規分娩ニ於ケル兒頭骨盤腔進出ノ度程ハ如何ニシテ知ルヤ 二一三九(昭七、二)
- 分娩ニ際シ腹壓ヲ禁ズベキ場合ニ就イテ知ル處ヲ記セ 二一三三(昭七、二)
- 後産剝離ノ徵候ヲ問フ 二一六二(昭七、二)
- 胎盤剝離ノ機轉及方式ヲ記セ 二一六四・二一六五(昭八、一)
- 分娩ニ依リテ起ル兒頭ノ變化ヲ述ベ且ツ其ノ意義ヲ問フ 二一八五・二一八六・二一九四(昭八、一)
- 正常分娩ニ於ケル胎盤剝離ノ徵候ヲ問フ 二一六三(昭十一、一)
- 分娩第三期トハ如何及其ノ取扱法ヲ記セ 二一三六・二一三六(昭十一、一)
- 胎盤排出遅延ニ對スル處置並ニ胎盤ノ検査ニ就テ記セ 二一三二・二一三二(昭十一、一)

分娩時診察

- 第二後頭位ノ骨盤澗部ニ於ケル内診上ノ處見ヲ問フ 二一八六(昭二、一)
- 外診上正規分娩經過時期ヲ述ベヨ 二一三五(昭五、一)
- 開口期ニ産婆ノ注意スベキ事項ヲ明記セヨ 二一六六(昭三、一)

分娩取扱法

- 開口期ニ産婆ノ注意スベキ事項ヲ明記セヨ 二一六六(昭三、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ狀態

- 正規産褥第五日目ニ於ケル子宮底ノ高サヲ記セ 二一八二(昭三、一)
- 正規産褥第五日目ニ於ケル惡露ノ性状ヲ記セ 二一八二(昭三、一)
- 正規産褥ニ於ケル子宮ノ狀態ニ就イテ知ル所ヲ記セ 二一八二(昭三、一)
- 産褥ニ於ケル生殖器ノ復舊狀態ヲ説明セヨ 二一八〇(昭八、一)

- ◎ 惡露ニ就テ知ル所ヲ記セ 四〇七(昭十、二)
- ◎ 産褥時ニ於ケル生殖器ノ復舊機轉ヲ記セ 四一〇(昭十一、一)
- ◎ 正常産褥ニ於ケル子宮底下降ノ經過及惡露ノ經過ト性狀ニ就テ記セ 四一三・四一六(昭十一、一)
- ◎ 初乳ニ就テ記セ 四一八(昭十一、一)
- ◎ 胎糞、初生兒消化不良便、初生兒母乳及人工營養便ノ區別ヲ舉ゲヨ 四一七(昭十一、一)
- ◎ 初生兒生後二十日間ノ生理的現象ヲ述ベヨ 四二七(昭三、一)
- ◎ 初生兒分娩後十日間ノ體溫體重ニ就テ記セヨ 四二五(昭五、一)
- ◎ 初生兒黃疸ニ就テ記セ 四二六(昭五、二)
- ◎ 初生兒ノ說明セヨ 四二九(昭五、二)
- ◎ 初生兒ノ黃疸及其ノ豫後ニ就テ記セ 四三〇(昭九、二)
- ◎ 眞乳産乳初乳ヲ説明セヨ 四三二(昭十、二)
- ◎ 新産兒體重減少ノ意義ヲ問フ 四三三(昭十一、二)
- ◎ 新産兒體溫脈搏ニ就テ 四三六(昭十一、二)
- ◎ 新産兒餓餓熱(湯熱)ニ就キ記セ 四三九(昭十一、二)
- ◎ 正規産褥ノ離床、入浴、作業ヲ問フ 四四一・四四二・四四三・四四四(昭五、一)
- ◎ 産褥經過ノ良否ハ何ニテ決定スルカ 四四四(昭五、一)
- ◎ 正規産褥ノ普通食攝取ヲ問フ 四四七(昭五、一)
- ◎ 惡露觀察上注意スベキ諸點ヲ舉ゲヨ 四四九(昭七、二)

産褥取扱法

- ◎ 産褥ノ就床期間ニ就テ知ル所ヲ記セ 四一六(昭八、一)
- ◎ 産褥時ニ於ケル攝生法 四一六(昭十一、二)
- ◎ 産褥ノ離床ニ付テ 四一〇(昭十一、一)
- ◎ 産褥中注意ヲ要スベキ事項ヲ舉ゲヨ 四一九(昭十一、一)
- ◎ 如何ナル場合ニ母乳ヲ廢ス可キカ 四二一(昭十一、一)
- ◎ 褥婦ガ初メテ其生兒ニ授乳シ得ル時期ヲ説明スベシ 四二六(昭四、二)
- ◎ 離乳ノ時期ト方法ヲ詳記セヨ 四二〇(昭八、二)
- ◎ 離乳ノ時期並ニ其ノ方法ヲ記セ 四三〇(昭十、一)
- ◎ 新産兒營養ノ種類並ニ方法ヲ問フ 四三九(昭十一、一)
- ◎ 人乳營養ト牛乳營養トノ差異ヲ述ベヨ 四三九(昭十一、二)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- ◎ 鬼胎妊娠ト正規妊娠トノ類症鑑別ヲ問フ 四一八(昭九、二)
- ◎ 胎兒附屬物ノ徵候ヲ問フ 四二五(昭十一、一)
- ◎ 胎盤早期離剝ノ徵候ヲ問フ 四二五(昭十一、一)
- ◎ 妊娠中ニ於ケル内出血ノ原因及症狀ヲ記セ 四三三・四三四(昭十一、二)
- ◎ 羊水ノ多少ハ妊娠及分娩ニ如何ナル影響ヲ及 四三三・四三四(昭十一、二)

ボスヤ

胎兒異常

- ◎ 浸軟兒ヲ説明セヨ 四七九(昭八、一)
- ◎ 胎兒死亡ノ診斷 四八〇(昭五、二)
- ◎ 死亡胎兒ノ子宮内滞留ニ依ル運命ニ就テ記セ 四八二(昭十一、二)
- ◎ 喇叭管妊娠中絶ト流産ノ鑑別ヲ記セ 四八九(昭七、一)
- ◎ 妊娠子宮嵌頓ノ徵候ヲ問フ 四九三(昭三、一)
- ◎ 産褥ニ淋病アル場合初生兒ニ如何ナル影響ヲ與フルカ及其ノ取扱法ヲ問フ 四九四(昭五、二)
- ◎ 妊娠子宮ノ嵌頓症狀及其ノ原因ヲ問フ 四九七・四九八(昭八、一)
- ◎ 異常妊娠ノ原因トナルベキ子宮疾患ヲ舉ゲ其ノ症狀ト處置トニ就テ簡單ニ説明セヨ 四九八(昭九、二)
- ◎ 妊娠二ヶ月末ニ下血セリソノ原因及ビ區別ヲ述ベヨ 五〇一(昭十一、一)
- ◎ 妊娠中ニ於ケル出血ノ原因ヲ記セ 五〇二(昭十一、二)
- ◎ 妊娠三ヶ月ノ終リニ出血セリ如何ナル場合カ其區別ヲ舉ゲヨ 五〇三(昭四、二)
- ◎ 子癩ノ處置ヲ問フ 五〇七(昭三、一)
- ◎ 妊娠時浮腫ノ原因ヲ述ベヨ 五〇八(昭四、二)

母體性器異常

- ◎ 子癩ニ罹リ易キ妊娠ノ狀態ヲ問フ 四八五(昭五、二)
- ◎ 妊娠浮腫ノ原因ニ付キ注意スベキ事項ヲ記セ 四八六(昭七、二)
- ◎ 妊娠後半期ニ於ケル浮腫ニ付テ述ベ且ツ其ノ豫後ヲ問フ 四八七・四八八(昭八、一)
- ◎ 妊娠中ニ浮腫ヲ惹起スル疾病ヲ舉ゲ且ツ其ノ胎兒ニ及ボス影響ヲ述ベヨ 四八九・四九〇(昭九、二)
- ◎ 子癩ノ原因症狀及ビ其ノ取扱法ヲ記セ 四九三・四九四(昭十、一)
- ◎ 子癩前驅症ノ症狀並ニ其ノ處置ヲ問フ 四九三・四九四(昭十一、二)
- ◎ 子癩ノ症狀及豫防法ヲ問フ 四九三・四九四(昭十一、二)
- ◎ 妊娠ト肺結核トノ關係ヲ述ベヨ 四九五(昭八、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- ◎ 分娩開始後二十時間ヲ經過セシモ産道及胎兒ニ異常ナキニ關ラズ尙破水セズソノ處置ヲ問フ 五〇三(昭十一、一)
- ◎ 早期破水ノ危害ヲ舉ゲ及其處置ヲ問フ 五〇七・五〇八(昭四、二)
- ◎ 早期破水ノ原因、症狀並ニ處置ヲ問フ 五〇七・五〇八(昭四、二)
- ◎ 分娩時左ノ胎位ニ於テ初メテ恥骨弓下ニ現バ、ル、部分ヲ問フ 五〇八(昭四、二)

胎兒異常

- ◎ 分娩時左ノ胎位ニ於テ初メテ恥骨弓下ニ現バ、ル、部分ヲ問フ 五〇八(昭四、二)

第一後頭位 第二顔面位 第一完全臀位 第二完全足位

- フアイト・スメリー氏法ヲ問フ 六二七(昭三、二)
- 臀位分娩機轉及注意スベキ事項ヲ記セ 六一五・六一七(昭六、二)
- 横位ニテ自然分娩ヲナシ得ル場合ヲ説明セヨ 六一八(昭六、二)
- 上肢脱垂ヲ來シ易キ原因並之ヲ來シタル場合母兒兩者ニ於ケル危険及處置ヲ問フ 六一九(昭六、二)
- 伸展各位ニ於ケル取扱上ノ注意ヲ記セ 六一三(昭七、二)
- 骨盤端位ノ場合ノ分娩機轉及其ノ理由ヲ問フ 六一二(昭七、二)
- 前頭位ノ分娩機轉ヲ説明セヨ 六一〇五・六一〇八(昭九、二)
- フアイト・スメリー氏法ニ就イテ知ル處ヲ記セ 六一七〇(昭九、二)
- 羊水過多症、高年期ノ初産婦、双胎ニ就イテ産婆ノ取扱上注意スベキ事項ヲ述ベヨ 六一五・六一六・六一七(昭五、二)
- 双胎兒分娩經過ノ概要 六一〇四(昭三、二)
- 胎兒窒息ノ徴候ヲ記シ其ノ原因ヲ述ベヨ 六一三六・六一三〇(昭三、二)
- 初生兒假死ノ蘇生法ノ種類ヲ述ベヨ 六一二八(昭五、二)
- シニルチエ氏振搖法ノ優劣點ヲ記シ併セテ如何ナル場合ニ應用スルカ 六一二九(昭七、二)
- 新産兒假死ノ原因並ニ其ノ症状ヲ問フ 六一三六・六一三九(昭十、二)
- 新産兒假死ノ原因及ビ其ノ取扱法ヲ記セ 六一三六・六一三九(昭十、二)

母體異常

- 分娩各期ニ於ケル陣痛微弱ノ處置ヲ問フ 六三五・六四四(昭三、二)
- 過強陣痛ノ原因及處置ヲ問フ 六三〇五・六三二四(昭六、二)
- 過強陣痛ノ症状分娩經過並ニ處置ヲ問フ 六三五・六三六(昭十、二)
- 原發性陣痛微弱ノ原因ヲ問フ 六三〇六(昭十、二)
- 微弱陣痛ノ種類ヲ説明シ且其ノ開口期ニ於ケル處置ヲ記セ 六三〇四・六三三八(昭三、二)
- 過強陣痛ニ就テ記セ 六三三(昭三、二)
- 計測セズシテ狭窄骨盤ヲ推定スル諸點ヲ舉ゲヨ 六一七九(昭五、二)
- 子宮破裂ノ切迫徴候並ニ其處置ヲ問フ 六一四六・六一四四(昭二、二)
- 不良ナル會陰保護法ノ及ボス影響ヲ述ベ併セテ其除去法ヲ問フ 六一四八(昭四、二)
- 分娩各期ニ於ケル異常外出血ヲ來ス場合ヲ問フ 六一四四(昭六、二)
- 妊、産婦ガ急性貧血ヲ呈スルハ如何ナル異常ヲ考フベキカ及其ノ處置ヲ記セ 六一四六・六一四八(昭七、二)
- 弛緩性子宮出血ノ原因及處置ヲ問フ 六一四五・六一四四(昭十、二)
- 分娩第三期ニ於ケル異常性器出血ニ就テ述ベヨ 六一四四(昭三、二)
- 分娩直後ニ於ケル異常出血ノ原因及其ノ處置ヲ問フ 六一四八(昭四、二)

如何

第七集 異常産褥・補足知識

褥 婦 異常

- 産褥ニ於ケル泌尿障礙ニ就テ 七一四(昭二、二)
- 産褥ノ疾病ヲ舉ゲヨ 七一三(昭二、二)
- 産褥ノ發熱スル場合ヲ記セ 七一四(昭三、二)
- 乳腺炎ノ豫防法ヲ問フ 七一三(昭五、二)
- 白股腫トハ何ゾヤ 七一四(昭五、二)
- 産褥時ニ於ケル排尿障礙ノ原因ヲ述ベヨ 七一五(昭五、二)
- 産褥ニ於テ子宮底ノ正規下降ノ障害ハ如何ナル原因ニ依ルモノナルヤ 七一五(昭五、二)
- 白股腫ノ原因症状ヲ簡單ニ記セ 七一五(昭六、二)
- 産褥熱ノ原因症候並ニ其ノ看護法ヲ述ベヨ 七一五(昭六、二)
- 産褥ノ創傷中毒症トハ如何ナルモノカ 七一三・七一六・七一六(昭十、二)
- 初生兒疾患ヲ舉ゲ且ツ「メレナ」ニ就テ記載セヨ 七一〇・七一九(昭二、二)

新産兒異常

- 産痛ト頭血腫トノ鑑別點ヲ舉ゲヨ 七一七(昭二、二)
- 初生兒膿漏眼ノ原因及豫防法ヲ問フ 七一五・七一〇(昭四、二)
- 驚口瘡ノ原因及豫防法ヲ問フ 七一五(昭四、二)
- 初生兒ニ發シ易キ傳染性疾患ノ名稱ヲ頭血腫ノ原因症状ヲ簡單ニ記セ 七一四(昭六、二)
- 初生兒消化不良症ノ原因症状ヲ問フ 七一四(昭六、二)
- 乳兒ノ消化器障礙ニ就キ知ル所ヲ記セ 七一四(昭七、二)
- 新産兒黄疸ニ就テ 七一四(昭十、二)
- 父及母ノ微毒ト胎兒トノ關係ニ就テ述ベヨ 七一六(昭十、二)
- 新産兒膿漏眼ニ就テ記セ 七一六(昭十、二)
- 産痛ト頭血腫ノ區別ヲ舉ゲヨ 七一六(昭十、二)
- 新産兒ノ傳染性疾患ヲ舉ゲ其ノ豫防法及看護法ヲ述ベヨ 七一三(昭十、二)
- 早産兒看護法ヲ記セ 七一五(昭四、二)
- 早産兒ノ看護法ヲ説明セヨ 七一五(昭十、二)
- 産婆規則ニヨリ産婆ニ許サレタル技術上ノ範圍ヲ問フ 七一六(昭七、二)

産婆ニ關スル法令

〔三三三〕 岐阜縣

第一集 豫備知識

- 骨盤軸(誘導線)ニ就テ詳記セヨ 一ノ七〇(昭八、一)
- 骨盤軸ヲ説明セヨ 一ノ七〇(昭九、一)
- 榮養素ヲ問フ 一ノ七二(昭八、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 妊娠トハ如何ナル状態ヲ云フヤ 二ノ三〇(昭二、一)
- 妊娠中ニ於ケル羊水ノ價值 二ノ三〇(昭六、一)
- 臍帯ノ構造及其ノ切斷ノ方法ヲ記セ 二ノ三三・二三四(昭六、一)
- 絨毛ノ作用ヲ記セ 二ノ三三(昭十、一)
- 妊娠中ニ於ケル羊水ノ效用 二ノ三〇(昭三、一)
- 成熟兒ノ身長體重臍帯ノ長さ及胎盤ノ重量ヲ記セ 二ノ三〇・二三一・二三二(昭五、一)
- 初生兒頭蓋ノ凶門及徑線ヲ圖解セヨ 二ノ三三(昭五、一)
- アラントチ氏管ヲ説明セヨ 二ノ三四(昭十、一)
- 成熟胎兒ノ徵候ヲ述ベヨ 二ノ三〇(昭三、一)

妊婦ノ診察

- 妊娠中子宮粘膜ノ變化ヲ問フ 二ノ三三(昭五、一)
- ヘガール氏ノ徵候ヲ説明セヨ 二ノ三三(昭九、一)
- 妊婦腹部聽診ニ際シ聽取シ得ル音ヲ列記シ且ツ妊娠末期ニ於ケル頭位第二體向ノ胎兒心音ヲ最も良ク聽取シ得ル部位ヲ記セ 二ノ三〇・二三一(昭五、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 早産ト流産トヲ説明セヨ 二ノ三〇(昭八、一)
- 正規分娩ニ於テ胎兒ノ受クル影響 二ノ三五(昭二、一)
- 震戦陣痛トハ何ゾヤ而シテ其最も強烈ニ感ズル時期ヲ示セ 二ノ三二(昭三、一)
- 分娩時ニ於ケル胎兒ノ各胎位ヲ列記シ其ノ先遣部ヲ舉ゲヨ 二ノ三〇・二三一(昭三、一)
- 前驅陣痛ヲ説明セヨ 二ノ三〇(昭六、一)
- 收縮輪ニ就イテ記セ 二ノ三〇(昭六、一)
- 胎盤ニ就イテ記セ 二ノ三〇(昭六、一)
- 兒頭ノ挿入ニ就イテ記セ 二ノ三二(昭六、一)
- 産褥形成ノ時期 二ノ三三(昭六、一)
- 胎盤形成ノ時期ヲ記セ 二ノ三三(昭六、一)
- 胎盤剝離ノ徵候 二ノ三三(昭九、一)
- 第一呼吸ヲ説明セヨ 二ノ三〇(昭十、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 産褥ニ於ケル子宮ノ變化ヲ記セ 二ノ三二(昭三、一)
- 産褥十日間ノ子宮底ノ高サヲ詳記セヨ 二ノ三二・二二三(昭五、一)
- 分娩直後分娩第四日同第十日同四十二日ノ子宮底ノ位置ヲ問フ 二ノ三二・二二三(昭八、一)
- 初乳ト成乳(眞乳)ノ區別 二ノ三〇(昭七、一)
- 褥婦ノ生理的體温ニ就テ記シ産褥攝生法ノ要點ヲ述ベヨ 二ノ三二(昭十、一)
- 胎兒娩出直後並ニ産褥第一日ヨリ第七日ニ至ル子宮底ノ位置ヲ問フ 二ノ三二(昭十、一)
- 初乳ニ就テ簡單ニ記セ 二ノ三二(昭十、一)
- 新産兒ノ一時性熱發(饑餓熱)ノ原因及ビ産婆ノ取ルベキ處置 二ノ三二(昭十、一)
- 新産兒ノ體重ニ就イテ 二ノ三二(昭十、一)
- 産褥初期ニ於ケル母體並ニ新産兒ニ就キ發熱スル場合ヲ問フ 二ノ三二・二二三(昭十、一)
- 胎糞ニ就テ簡單ニ記セ 二ノ三二(昭十、一)
- 廢乳ニ就テ簡單ニ記セ 二ノ三二(昭十、一)

産褥取扱法

- 褥婦ニ就テ注意スベキ緊要點ヲ記セ 二ノ三二(昭十、一)

- 胎兒娩出直後ノ子宮ノ状態ヲ問フ 二ノ三六(昭十、一)
- 胎盤ヲ説明セヨ 二ノ三六(昭十、一)
- 兒頭ノ接觸ヲ説明セヨ 二ノ三六(昭十、一)
- 後頭位ニテ破水後分娩難易ノ目標トナル事項ヲ列舉セヨ 二ノ三七(昭十、一)
- 胎盤ノ形成スル理及其效用 二ノ三六(昭十、一)
- 分娩ノ始マリタル事ヲ如何ニシテ知ルヤ 二ノ三六(昭十、一)
- 恥骨結合内面ノ診斷的價値 二ノ三六(昭十、一)
- 臍帯切斷時期併ニ時期ニ關セズ切斷スル場合ヲ示セ 二ノ三九・二四〇(昭二、一)
- 縫合凶門ノ名稱ヲ列舉シ併セテ分娩ニ於ケル價値ヲ問フ 二ノ三八・二三九(昭三、一)
- 臍帯切斷ノ時期及方法 二ノ三九・二四〇(昭四、一)
- 臍帯ノ構造及其ノ切斷ノ方法ヲ記セ 二ノ三九・二四〇(昭六、一)
- 會陰保護ヲ始ムベキ時期ヲ記セ 二ノ四〇(昭六、一)
- 臍帯切斷ノ時期ヲ記セ 二ノ三九(昭六、一)
- 分娩時側臥位ヲ取ルベキ場合三ツ及其理由 二ノ三七(昭九、一)
- 産褥就床ノ時期 二ノ三五(昭十、一)
- 會陰保護ノ要領ヲ問フ 二ノ三二(昭十、一)
- クレーデ氏點眼法ニ就テ簡單ニ記セ 二ノ三七(昭十、一)

○分娩ノ翌日褥婦ヲ診察スル時注意スベキ事項ヲ列舉スルコト

四三九(昭三、一)

○産褥経過ノ良否ヲ定ムベキ事項ヲ説明セヨ

四三四(昭六、二)

○褥婦衛生法ノ要點ヲ述ベヨ

四六八(昭十二、一)

○離乳ニ就テ記セ

四七〇(昭二、一)

○分娩後二日乃至三日間乳汁不十分ナル時ニ褥婦ニ初生兒ニ對スル處置ヲ記セ

四二〇(昭二、一)

○褥婦及ビ新生兒ニ就テ注意スベキ緊要點ヲ記セ

四三三・四三二(昭二、一)

○初生兒第一週ニ於テ牛乳ヲ人工營養トシテ用ユル場合ノ稀釋法ト一回ノ分量

四三六(昭六、一)

○脱脂乳ニ就テ簡單ニ記セ

四一四(昭七、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

○前置胎盤ノ妊娠ニ産褥トノ關係ヲ問フ

四三六(昭二、一)

○妊娠経過中ニ子宮ノ異常ニ膨大スル場合ヲ列舉シ其ノ各々ノ鑑別法ヲ附記セヨ

四三〇(昭二、一)

○羊水過少ガ胎兒ニ如何ナル影響ヲ及ボスカ

四二〇(昭四、一)

○妊娠中死亡セル胎兒ノ變化ヲ記セ

四一九(昭五、一)

○常習性流産トハ如何
四一〇(昭二、一)

○子宮外妊娠ノ種類ヲ圖ヲ以テ説明シ且ツ症状ノ主ナルモノヲ述ベヨ
四二九・四二八・四二七(昭七、一)

○子宮外妊娠ノ名稱ヲ舉ゲ之ヲ簡單ニ圖解セヨ
四二九(昭六、一)

母體性器異常
○子宮脱ト腫脱トヲ説明セヨ
四一八(昭八、一)

○後屈妊娠子宮ノ運命ヲ問フ
四一〇(昭十、一)

○妊娠ト梅毒ノ關係ニツキ簡單ニ述ベヨ
四一三(昭七、一)

○妊娠期中生殖器出血ヲ認ムルハ如何ナル場合カ尙之ニ就キ産婆ノ取ルベキ處置ヲ簡單ニ述ベヨ
四二六・四二五(昭七、一)

母體全身異常
○妊娠悪阻ノ後
四三三(昭七、一)

第六集 異常分娩
○體勢體位陣痛異常ナクシテ分娩障礙ヲ來スハ如何ナル場合カ、而シテ其ノ處置ヲ問フ
四三七(昭七、一)

胎兒附屬物異常
○早期破水ノ分娩ニ及ボス影響ト其處置ヲ記セ
四二七・四二六(昭三、一)

○早期破水ノ分娩障礙ヲ述ベヨ
四二七(昭六、一)

○延滞破水トハ何カ其ノ母兒ニ及ボス障礙並ニ處置ヲ述ベヨ
四三三・四三二(昭八、一)

○臍帯脱出ト下垂ノ異ナル點ヲ記セ
四三三(昭五、一)

胎兒異常
○腦水腫ノ診斷如何
四三〇(昭三、一)

○頭位ノ分娩中最モ容易ナルモノヨリ順次的ニ記セ
四二五(昭四、一)

○頭蓋位ニ於ケル上肢ノ脱出ト下垂トノ區別ヲ述ベヨ
四二五(昭六、一)

○體勢及胎向ノ分娩ニ及ボス影響
四二四(昭八、一)

○上肢下垂上肢脱出トヲ説明セヨ
四二五(昭八、一)

○双胎兒分娩時臍帯斷端結紮不完全ハ親子ニ如何ナル結果ヲ來スカ及ビ若シ來セバ其ノ理由ヲ説明セヨ
四二五(昭四、一)

母體異常
○陣痛微弱ト其ノ處置
四三三・四三二(昭二、一)

○痙攣陣痛ノ原因ト處置
四三三・四三二(昭三、一)

○狭窄骨盤ノ妊娠経過ニ就イテ
四三三(昭九、一)

○膀胱充滿ノ分娩並ニ産褥経過ニ及ボス影響ニ就イテ
四三三・四三二(昭九、一)

○成熟兒分娩ニ於テ母體ニ梅毒、脚氣、妊娠腎臟炎アル場合ノ兒ノ營養法ヲ問フ
四二九(昭二、一)

○胎兒脚氣ノ症状及處置ヲ問フ
四二九(昭二、一)

○初生兒眼漏眼ノ原因及其處置
四二九(昭三、一)

○産瘤頭血腫ノ鑑別及産瘤ノ産科學的意義
四二九・四二八(昭四、一)

アレバ其ノ狀況ヲ記セ

分娩時診察

○分娩時内診ノ目的ヲ問フ

分娩取扱法

○胎盤剝離ノ徵候併ニ後産ノ検査事項

○前陣痛トハ如何

○初生児沐浴ノ温度及沐浴ニ要スル時間並ニ生後第一回沐浴(初湯)時ノ注意事項

○初生児沐浴ノ方法ト之ニ關スル注意

○分娩直後初生児取扱法ヲ問フ

○分娩直後ノ初生児ノ處置

○會陰保護法ニ就キ記セ

○産婦淋毒罹患シ居ルヲ豫想シ得タル時分娩介助者ノトルベキ注意如何

○分娩直後ノ初生児ニ對スル處置ヲ記セ

三ノ八四(昭三、一)

三ノ二四(昭十、一)

三ノ六二・三ノ九〇(昭二、一)

三ノ一六(昭三、一)

三ノ七〇(昭五、一)

三ノ二九・三ノ七〇(昭六、一)

三ノ二七(昭七、一)

三ノ二七(昭八、一)

三ノ三〇(昭二、一)

三ノ二九(昭二、一)

三ノ二七(昭三、一)

○正常惡露ノ性状及持續ニ付キ記セ

○正規産褥ニ於ケル惡露ノ性状及經過ヲ記セ

○正常惡露ニ就イテ

○褥婦ノ子宮底ガ腹壁カラ全ク觸レナクナル時期

○褥婦血性惡露ノ消失スル時期

○褥婦ノ乳房ガ著明ニ緊張スル時期

○乳熱トハ如何

○初生児ノ體温及體重ニ就テ

○初生児ノ體温及體重ニ就テ

○妊娠分娩産褥ニ於ケル尿管ニ就テ説明セヨ

○産褥婦ノ局部處置法

○正規産褥ノ取扱法ヲ問フ

○産褥經過ノ良不良ノ判定ニ就キ記セ

○褥婦ニ入浴ヲ許スベキ時期

○初乳ノ效用及ビ分娩後初メテノ授乳時期

○乳母ノ選擇ニ就テ

○牛乳選擇上注意事項

○初乳ノ效用

○初乳ノ效用及分娩後初メテノ授乳時期

○母乳トシテ不適當ナル疾病ノ主ナルモノヲ舉

四ノ三六(昭二、一)

四ノ三六(昭四、一)

四ノ三六(昭六、一)

四ノ三六(昭七、一)

四ノ三六(昭八、一)

四ノ三六(昭九、一)

四ノ三六(昭十、一)

四ノ三六(昭十一、一)

四ノ三六(昭十二、一)

四ノ三六(昭十三、一)

四ノ三六(昭十四、一)

四ノ三六(昭十五、一)

四ノ三六(昭十六、一)

四ノ三六(昭十七、一)

四ノ三六(昭十八、一)

四ノ三六(昭十九、一)

四ノ三六(昭二十、一)

四ノ三六(昭二十一、一)

四ノ三六(昭二十二、一)

四ノ三六(昭二十三、一)

ゲテ其ノ理由ヲ説明セヨ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

○母乳ヲ禁止スベキ場合ニ就キ記セ

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

○葡萄狀胎兒ノ診斷並ニ豫後

○葡萄狀胎兒ハ母體ニ對シ何故危險ナリヤ

○正規妊娠ト葡萄狀胎兒トノ鑑別ニ就テ述ベヨ

○胎兒鬼胎ノ症狀ト豫後

○前置胎盤ノ種類並ニ徵候

○前置胎盤ノ種類及出血ノ模様

○前置胎盤ニ就キ述ベヨ

○前置胎盤ノ種類及出血ノ模様如何

○前置胎盤ノ種類及出血ノ模様如何

○前置胎盤ノ種類及出血ノ模様如何

○羊水過多症ノ妊娠、分娩、産褥時ニ於ケル障礙

○妊娠後半期ニ於ケル羊膜水腫及ビ之ガ其ノ他

○羊水過多症ノ診斷

○胎兒異常

○妊娠中ニ於ケル胎兒死亡ノ原因

○胎兒中胎兒死亡ノ原因及徵候

○妊娠中胎兒死亡ノ原因ト死亡胎兒ノ運命ニ就

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

四ノ三二(昭三、一)

○妊娠中胎兒死亡ノ原因ト其ノ胎兒ノ運命ヲ記

○常習性流産及早産ノ原因其レニ對スル注意

○子宮外妊娠破裂ノ徵候

○母體性器異常

○妊娠中ニ於ケル出血ノ原因ヲ列舉セヨ

○妊娠時子宮出血ヲ來ス原因ヲ列記セヨ

○妊娠中ニ於ケル出血ノ原因ト處置

○母體全身異常

○阻發現ノ時期ニ就テ知ルトコロヲ記セ

○子宮ノ原因

○妊娠浮腫ノ原因ニ就テ

○子宮ノ症狀ニ就キ記述セヨ

○子癩ノ症狀並ニ處置

○妊娠浮腫ノ原因ヲ記セ

第六集 異常分娩

胎兒附屬異常

○延滞破水時産婆ノナスベキ處置如何且處置セ

○放置セシ場合如何ナル事ガ起リ得ルヤ

○放置セシ場合如何ナル事ガ起リ得ルヤ

○放置セシ場合如何ナル事ガ起リ得ルヤ

○放置セシ場合如何ナル事ガ起リ得ルヤ

○放置セシ場合如何ナル事ガ起リ得ルヤ

○放置セシ場合如何ナル事ガ起リ得ルヤ

○放置セシ場合如何ナル事ガ起リ得ルヤ

○放置セシ場合如何ナル事ガ起リ得ルヤ

○放置セシ場合如何ナル事ガ起リ得ルヤ

○放置セシ場合如何ナル事ガ起リ得ルヤ

○放置セシ場合如何ナル事ガ起リ得ルヤ

◎臍帶異常ノ種類

- ◎〔註〕只臍帶ノ異常トアルハ妊娠中ノ異常ヲモ考フベシ
- ◎臍帶纏絡ノ胎兒並ニ分娩ニ及ボス影響如何 六〇三(昭六、一)
- ◎分娩時臍帶脱出及纏絡ニヨリ起ル障碍ニツキテ述ベヨ 六〇四・六〇五(昭七、一)
- ◎臍帶ノ長サノ異常ヲ有スル胎兒ノ分娩介助ニ就イテ 六〇六(昭八、一)

胎兒異常

- ◎新産兒先天性畸形ヲ説明セヨ 六〇六・六〇七(昭十、一)
- ◎横位ノ原因及外診上ノ所見 六〇八・六〇九(昭二、一)
- ◎骨盤端位分娩ガ頭位分娩ニ比シテ一般ニ危険多キ主ナル理由 六〇九(昭六、一)
- ◎顔面線ニ就テ説明セヨ 六一〇(昭八、一)
- ◎腎線ニ就イテ説明セヨ 六一〇(昭八、一)
- ◎横位ヲ診斷シタル時ノ産婆ノ處置 六一一(昭三、一)
- ◎初生兒假死ニ就イテ知ルトコロヲ記セ 六一二(昭四、一)
- ◎胎兒子宮内窒息ノ主ナル原因及徴候 六一三・六一四(昭五、一)
- ◎分娩時胎兒心音ニ變化ヲ來セリトセバ如何ナル事ヲ意味スルヤ 六一三(昭七、一)
- ◎早期呼吸ニ就イテ説明セヨ 六一五(昭八、一)
- ◎分娩中胎兒ノ生命ノ危険ノ徴候ト其ノ處置 六一六・六一七(昭三、一)

- ◎分娩中ノ胎兒死亡ノ原因ヲ問フ 六二五(昭十、一)

母體異常

- ◎分娩第二期ニ於テ現ハレタル微弱陣痛ノ分娩ニ及ボス影響如何 六二六(昭六、一)
- ◎分娩第二期ニ於ケル陣痛微弱ノ障碍 六二七(昭三、一)
- ◎膀胱ノ充盈ガ分娩各期ニ及ボス影響及妊娠初期ニ於ケル排尿困難ノ主ナル原因ヲ問フ 六二八・六二九(昭五、一)
- ◎狹骨盤ヲ疑ハシムル既往症ノ徴候ヲ記セ 六三〇(昭五、一)
- ◎狹骨盤ヲ疑ハシムル婦人外觀上ノ徴候ヲ記セ 六三一(昭五、一)
- ◎狹骨盤ヲ疑ハシムル妊娠末期ノ様子ヲ簡單ニ記セ 六三二(昭五、一)
- ◎狹骨盤ヲ疑ハシムル分娩時ノ様子ヲ簡單ニ記セ 六三三(昭五、一)
- ◎妊娠時並ニ分娩時子宮出血ノ原因 六三四(昭二、一)
- ◎弛緩性出血ノ診斷 六三五(昭四、一)
- ◎頸管破裂ノ診斷 六三六(昭四、一)
- ◎弛緩性子宮出血ト頸管破裂トノ症狀ヲ述ベ兩者ノ鑑別點ニ及ベ 六三七(昭五、一)
- ◎分娩時出血ニヨル母體危險徴候 六三八(昭九、一)
- ◎胎盤娩出後如何ナル場合ニ多量ノ性器出血(生殖器出血)ヲ見ル事アリヤ 六三九(昭十、一)
- ◎分娩直後ニ於ケル異常出血ト其ノ處置 六四〇・六四一(昭十、一)

◎分娩第一期第二期ニ於ケル出血ノ原因ヲ列舉セヨ

- ◎會陰裂傷ニ對シトルベキ處置如何 六四二(昭七、一)

第七集 異常産褥・補足知識

褥婦異常

- ◎妊娠分娩産褥時ニ於ケル生殖器出血ノ原因ヲ列舉セヨ 七〇六(昭六、一)
- ◎惡露惡臭ヲ發スルハ如何ナル原因ニヨルカ 七〇七(昭十一、一)
- ◎産褥熱患者ヲ取扱ヒツ、産婆ハ助産ノ求メニ應ズベキヤ若シ應ズルトセバ如何ナル注意ヲ要スルヤ 七〇八(昭十一、一)
- ◎産褥熱ノ豫防方法如何 七〇九(昭十一、一)

新産兒異常

- ◎乳兒脚氣ニ就テ記セ 七一〇(昭十一、一)
- ◎驚口瘡ノ原因症候豫防法 七一〇(昭十一、一)

- ◎分娩時ニ生ゼシ頭血腫ト産瘤トノ區別 七二〇(昭五、一)
- ◎母體疾患ニ原因スル初生兒疾病ヲ舉ゲ豫防法アラバ之ヲ記セ 七二一(昭六、一)
- ◎驚口瘡ノ徴候 七二二(昭七、一)
- ◎初生兒膿漏眼ニ就テ記セ 七二三(昭九、一)
- ◎初生兒膿漏眼ノ原因及豫防法ニ就キ記セ 七二四・七二五(昭九、一)
- ◎新産兒ノ先天性微毒ヲ思ハシムル徴候 七二六(昭十、一)
- ◎先天性微毒ヲ説明セヨ 七二七(昭十、一)
- ◎新産兒分娩ニヨル損傷ヲ説明セヨ 七二八(昭十、一)
- ◎新産兒ノ主ナル疾患ヲ舉ゲ其ノ症狀ヲ簡單ニ説明セヨ 七二九(昭十一、一)
- ◎分娩時ニ生ズル頭血腫ト産瘤トノ區別及ビ其ノ處置ヲ問フ 七三〇・七三一(昭十一、一)
- ◎新産兒膿漏眼ニ對スル注意事項ヲ問フ 七三二・七三三(昭十一、一)
- ◎産婆ニ關スル法令 七三三(昭十一、一)
- ◎死産證書ハ如何ナル場合ニ認ムルヤ 七三四(昭九、一)

【二五】三 重 縣

第一集 豫備知識

- 産婆ノ業務範圍
 - 一〇一 (昭四、一)
- 三十グラムノクレゾール石鹼ヲ使用シ二%ク
レゾール水ノ調製方法ヲ記セ
 - 一〇二 (昭三、二)
- 二%クレゾール水三百五十瓦ノ調製方法ヲ記
セ
 - 一〇三 (昭三、一)
- 婦人骨盤狭部ノ位置及其ノ部分ニ於ケル最も
短キ徑線如何
 - 一〇四 (昭二、二)
 - 一〇五 (昭七、二)
 - 一〇六 (昭八、二)
 - 一〇七 (昭九、一)
 - 一〇八 (昭十、一)
 - 一〇九 (昭十、二)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 外直徑線(一名外結合線)及其ノ長サヲ問フ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 骨盤誘導線ニ就テ知ル所ヲ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 骨盤ヲ構成スル諸骨ノ名稱位置形狀ヲ記セ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 骨盤上口(入口)ニ於ケル徑線ヲ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 小骨盤腔ノ區分ニ就テ述ベヨ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 骨盤ノ誘導線ニ就テ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 骨盤ヲ構成スル骨ノ名稱並其ノ位置ヲ記セ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 骨盤ノ傾斜ニ就イテ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)

- 骨盤上口(入口)ニ就テ知ル所ヲ記セ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- グラーフ氏臍胞ニ就テ知ル處ヲ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 完成卵(成熟卵)トハ如何
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 排卵機能トハ如何
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 乳房ノ構造ヲ記セ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 輸卵管ニ就テ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- グラーフ氏濾胞ニ就テ記セ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 黄体ニ就テ知ル所ヲ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 喇叭管並卵巢ノ位置形狀及機能ニ就テ知ル所
ヲ記セ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 衣服ノ消毒法ニ就イテ記セ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 分焼ニ要スル器具ノ消毒方法ヲ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- クレゾール石鹼液ノ使用方法ヲ記セ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 助産ニ消毒ノ必要ナル理由ヲ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 羊水及び其效用ニ就キ知ル所ヲ記セ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 胎盤ノ構造及效用
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 胎兒ノ栄養ハ如何ナル臟器ニヨリ行ハル、ヤ
其ノ名稱及構造機能
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 胎盤ノ發生時及ビ其ノ完成期
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)

- 卵膜ノ構造
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 後産(産後)トハ如何
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 臍帯靜脈ノ徑路如何
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 臍靜脈ノ徑路ヲ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 羊水ノ效用ヲ記セ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 卵膜ノ構造ヲ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 卵膜ニ就テ説明セヨ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 胎兒卵圓孔ノ作用
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 妊娠初期ニ於ケル胎兒ノ栄養機能
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 卵圓孔ニ就イテ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 成熟胎兒ノ徴候ヲ記セ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 妊娠各月ニ於ケル胎兒ノ状態ヲ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 體勢(胎姿、胎勢)體位(胎位)體向(胎向)ヲ説
明セヨ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 左記術語ヲ説明セヨ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 體位、體向、體勢、流産、早産
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 成熟胎兒ノ徴候ヲ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 胎兒ノ血液循環ニ就テ知ル所ヲ記セ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 妊娠子宮ノ變化
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 黄体ノ作用ヲ記セ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 分娩ノ胎兒心音ニ及ボス影響如何
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)

- 妊娠中難産法ニヨリ感得ル音ノ種類
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 妊娠中胎兒死亡ノ徴候
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 妊婦ノ診察要項ヲ記セ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 妊婦ノ診察ニ對シ注意スベキ事項ヲ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 妊娠月數ニ比シテ子宮體ガ過大トナル場合及
過小トナル場合ニ就テ述ベヨ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 分娩ノ種類ニ就イテ記セ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 正規産流産早産産産ノ區別ヲ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 分娩中腹壓ヲ用ヒテ差支ナキ時期
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 卵膜破裂ノ原因及破裂最良ノ時期
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 開口期陣痛ノ作用
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 分娩時ノ子宮收縮輪トハ如何
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 娩出力ノ主ナルモノヲ述ベヨ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 分娩時兒頭ノ適合作用トハ如何
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 産痛ノ診察上ニ於ケル價値
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 初生兒ノ初メテ呼吸スル理由ヲ述ベヨ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 分娩ノ胎兒ニ及ボス影響如何
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 分娩時各體位ニ於ケル胎兒先産部ヲ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)
- 第一羊水(前羊水)ノ作用ヲ述ベヨ
 - 一〇一 (昭二、二)
 - 一〇二 (昭七、二)
 - 一〇三 (昭八、二)
 - 一〇四 (昭九、一)
 - 一〇五 (昭十、一)
 - 一〇六 (昭十、二)
- 初生兒ノ第一呼吸ヲ管ム時間及原因ニ就テ記セ
 - 一〇七 (昭八、二)
 - 一〇八 (昭九、一)
 - 一〇九 (昭十、一)
 - 一〇一〇 (昭十、二)

妊婦ノ診察

○卵膜ニ就テ説明シ其ノ破裂スル原因及破裂ニ最良ナル時期ヲ記セ

三一九・三四八・三四九(昭十、一)

○娩出力ニ就テ記セ

三三三(昭十三、二)

○分娩ガ胎兒頭部ニ及ボス影響ヲ記セ

三八五・三八八(昭十、一)

分娩時診察

○第一後頭位ノ外診所見ヲ記セ

四一〇〇(昭十三、一)

分娩取扱法

○分娩第二期ニ於テ産婆ノ取ルベキ處置

三二〇一(昭十二、一)

○會陰保護ヲ始ムベキ時期如何

三二〇〇(昭十二、一)

○臍帯ノ纏絡ニ對スル處置

三二〇〇(昭十二、一)

○クレーデ氏眼疾豫防法

三二〇二(昭十二、一)

○分娩直後ニ於ケル初生兒ノ處置ヲ記セ

三二〇七(昭九、一)

○臍帯切斷ノ時期方法ヲ述ベヨ

三二〇九・三二一一(昭十二、一)

○初生兒沐浴法並ニ注意スベキ點ヲ述ベヨ

三二二九・三二三〇(昭十一、一)

○初生兒ノ沐浴ニ就テ述ベヨ

三二二九・三二三〇(昭十一、一)

○會陰保護術ヲ行フ時期

三二二九(昭十二、一)

○會陰保護術ノ要領

三二二〇(昭十二、一)

○クレーデ氏壓出法ニ就テ記述セヨ

三二二五(昭十三、一)

○初生兒ノ沐浴ニ就テ述ベヨ

三二二九(昭十二、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

○所謂乳熱トハ如何ナルモノヲイフカ

四一六四(昭十二、一)

○子宮ノ復故機構

四二二(昭三、一)

○初乳ト眞乳トノ區別

四二〇(昭六、一)

○子宮粘膜炎ノ復舊機構

四一九(昭六、一)

○正規産褥中惡露ノ経過ニ就テ述ベヨ

四二〇(昭八、一)

○正常惡露ノ経過ニ就テ述ベヨ

四二〇(昭九、一)

○正規産褥ノ臨牀的経過ヲ記セ

四二〇(昭十、一)

○産褥一週間以内ニ於ケル母體ノ發熱ニ就テ記セ

四二五(昭十一、一)

○産褥ノ経過ニ就テ記セ

四二〇(昭十三、一)

○産褥初期ニ於ケル子宮底降下ノ状況ヲ記セ

四二三(昭十三、一)

○初乳ノ性状及其作用ヲ記セ

四二〇(昭十三、一)

○正規産褥ニ於ケル惡露ノ経過ニ就テ知ル所ヲ記セ

四二〇(昭十三、一)

○新生兒一時性熱發ノ原因處置

四二〇(昭十四、一)

○新生兒ノ一時性熱發(飢餓熱)ノ症候原因並ニ處置ヲ説明セヨ

四二〇(昭六、一)

○新生兒ノ消化器及消化作用ノ特徴ヲ記セ

四二〇(昭八、一)

○初生兒體重ノ變化ヲ記セ

四二〇(昭十三、一)

○産褥時ニ注意スベキ諸件

四二〇(昭十二、一)

○産褥中早期離床ノ利害

四二〇(昭五、一)

○産褥中早期離床ノ利害

四二〇(昭七、一)

○産褥離床時期ハ何ヲ標準トシテ決定スルヤ

四二〇(昭七、一)

○産褥時ニ注意スベキ諸件

四二〇(昭十二、一)

○産褥中早期離床ノ利害

四二〇(昭五、一)

○産褥中早期離床ノ利害

四二〇(昭七、一)

○産褥離床時期ハ何ヲ標準トシテ決定スルヤ

四二〇(昭七、一)

○梅毒ノ取扱方法ヲ記セ

四二二七(昭十一、一)

○妊婦並ニ産婦ニ於テ尿貯溜セル場合ニ起ル障

四二二七(昭十一、一)

礙ヲ舉ゲ其ノ處置ニ就テ詳記セヨ

四二二七(昭十一、一)

○人工營養ノ優劣並ニ牛乳稀釋法

四二二四・四二二五(昭十二、一)

○離乳ノ方法

四二二〇(昭五、一)

○乳母選定上ノ注意

四二二七(昭六、一)

○初生兒ノ營養法ヲ記セ

四二二七(昭八、一)

○人工營養トシテ牛乳ノ使用法如何

四二二二(昭九、一)

○人工營養ニ就テ述ベヨ

四二二九(昭十、一)

○新産兒ノ衣服ニ就テ述ベヨ

四二二九(昭十、一)

○牛乳ノ選擇及使用方法ヲ記セ

四二二〇(昭十、一)

○授乳ヲ禁ズベキ場合ヲ問フ

四二二〇(昭十、一)

○人乳ト牛乳ノ比較ヲ記セ

四二二五(昭十一、一)

○人工營養ニ就テ知ル所ヲ記セ

四二二九(昭十三、一)

○牛乳營養ニ就テ注意スベキ事項ヲ記セ

四二二二(昭十三、一)

○乳母ノ選定方法ニ就テ述ベヨ

四二二七(昭十三、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

○血狀鬼胎トハ如何

四二二〇(昭七、一)

○羊水過少ノ分娩ニ及ボス影響

四二二七(昭五、一)

胎兒異常

胎兒異常

胎兒異常

胎兒異常

胎兒異常

胎兒異常

胎兒異常

胎兒異常

胎兒異常

胎兒異常

胎兒異常

胎兒異常

胎兒異常

○早期破水ノ原因續發障及ソノ處置ニ就テ記セ

四二六・四二七・四二九(昭八、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

○人工妊娠中絶ヲ行フベキ適應症ヲ列記セヨ

四三二一(昭十一、一)

○胎兒死亡後ノ變化

四二九(昭五、一)

○懸垂腹ノ原因及障

四二六・四二六(昭四、一)

○妊娠ト微毒ニ就テ知ル所ヲ記述セヨ

四二九(昭十三、一)

○妊娠中子宮出血ノ原因

四二〇(昭六、一)

○妊娠末期ノ異常出血ヲ説明セヨ

四二二(昭十、一)

○子癇ノ症狀及産婆ノ施スベキ處置

四二二・四二七(昭四、一)

○妊娠ニ現ハレル浮腫ノ原因

四二六(昭九、一)

○産婦ハ三十八歳ノ初産婦ニシテ妊娠第十ヶ月

初ナリ骨盤外計測上正常ニシテ第一骨盤端位

ニシテ下肢ノ浮腫強度ナリ胎兒外診上異常ヲ

認メズ陣痛ナシソノ他母體ノ異常ヲ證明セズ

カ、ル場合起リ得ベキ障ト産婆ノ處置ニ就

イテ記述セヨ

四二八・四二九(昭十、一)

◎早期破水ニ母體及胎兒ニ如何ナル影響ヲ及ボ
スヤ並ニ產婆ノ取ルベキ處置ニ就テ述ベヨ

六二七・六二九(昭三、二)

◎臍帶絡ニ對スル處置

三三〇(昭二、二)

胎兒異常

◎骨盤端位ノ原因ヲアゲソノ母兒ニ及ボス障
ヲ説明セヨ

六二四・六二六(昭九、二)

◎骨盤端位分娩ヲ取扱フ場合產婆ハ如何ナル
ニ注意スベキカ

六二七(昭七、一)

◎分娩中胎兒危險ノ徵候及處置

六三六・六三九(昭三、二)

◎分娩中胎兒危險ノ徵候並ニ處置

六三六・六三九(昭六、二)

◎初生兒假死ノ原因處置

六三八・六三九(昭八、一)

◎新産兒假死ノ處置ニ就テ述ベヨ

六三二(昭七、一)

母體異常

◎陣痛過劇ニヨツテ起ル陣害及ビ處置

六三九・六三六(昭三、二)

◎陣痛過劇ニヨツテ起ル陣害

六三九(昭四、一)

◎痙攣性陣痛トハ如何及其ノ原因

六三三・六三四(昭六、一)

◎陣痛機能微弱ノ原因並ニ母兒ニ及ボス影響
ニ就テ記述セヨ

六三〇・六三〇(昭九、二)

◎狹窄骨盤ノ檢定法

六三七(昭三、二)

◎過大骨盤トハ如何

六三七(昭六、二)

◎妊産婦ヲ診察セル時產婆如何ナル徵候アル時
狹窄骨盤ヲ疑フヤ其徵候ヲ列記セヨ

六三二(昭八、一)

◎弛緩性(無力性)後産期出血ニ對シテ腔内検査
法ヲ行フノ可否ヲ説明セヨ

六四一(昭八、一)

◎後産期ニ於ケル異常ナル生殖器出血ヲアゲソ
ノ鑑別診斷ニ就テ述ベヨ

六四二・六四三(昭八、二)

◎胎盤ノ稽留ニ就テ知ルトコロヲ詳述セヨ

六四八(昭十、二)

◎弛緩性(無力性)後産期出血ト頸管裂傷トノ鑑
別並ニ處置上ノ注意ヲ舉ゲヨ

六四六・六四六(昭七、一)

◎會陰破裂ノ原因

六四七(昭七、二)

◎弛緩性後産期出血ノ症狀並ニ產婆ノ取ルベキ
應急處置ニ就テ述ベヨ

六四三・六四四(昭七、二)

第七集 異常產褥・補足知識

褥婦異常

◎產褥熱ノ豫防方法

六四〇(昭三、一)

◎尿ヲ消毒スル必要アル疾病ノ名稱

六四二(昭七、一)

◎白股腫ヲ説明セヨ

六四二(昭八、一)

◎產褥熱ハ如何ニセバ豫防シ推知シ得ラルヤ其
ノ知レル所ヲ記セ

六四〇・六四一(昭九、一)

◎產褥中發熱ノ原因トナル主ナル疾患ヲ舉ゲヨ

六四三(昭九、二)

◎產褥第一週内ニ起ル發熱ノ原因ニ就テ記述セヨ

六四四(昭十、二)

- ◎產褥熱ハ如何ニシテ豫防シ豫知シ得ラル、ヤ
詳記セヨ 七〇〇・七一九(昭十二、一)
- ◎白股腫ニ就キ記述セヨ 七〇一(昭十、一)
- 新産兒異常
- ◎初生兒黃疸ノ原因處置 七〇二・七〇五(昭三、一)
- ◎血腫ト産痛トノ區別 七〇〇(昭五、一)
- ◎初生兒破傷風ノ原因 七三六(昭五、一)

- ◎臍出血ノ原因 六四四(昭七、一)
- ◎初生兒丹毒ノ原因症狀 七三六・七三七(昭七、二)
- ◎乳兒脚氣ノ症狀及處置ヲ記セ 七〇八・七〇九(昭八、一)
- ◎新産兒ノ發熱ヲ説明セヨ 七三九(昭十、一)
- ◎初生兒ノ臍部ヨリ傳染スル疾病ノ名稱、症狀、
豫防ニ就テ記セ 六四五(昭十一、一)

(二六) 滋賀縣

第一集 豫備知識

- ◎骨盤ヲ構成スル骨ノ名稱ヲ問フ 一三三(昭四、一)
- ◎骨盤腔内ニ存スル臟器ノ名稱ヲ舉ゲヨ 一三九(昭八、二)
- ◎真結合線ニ答ヘヨ 一四〇(昭八、二)
- ◎輸卵管ノ作用 一四二(昭三、一)
- ◎卵巢ノ機能 一四二(昭三、一)
- ◎黃體ニ答ヘヨ 一四〇(昭八、二)
- ◎排卵現象ト月經トノ關係ヲ問ク 一四二(昭九、一)
- ◎内生殖器ト靱帶トノ關係ニ就テ議ルトコロ
ヲ記セ 一四四(昭十、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ狀態

- ◎食道ト氣管トハ何レガ前何レガ後ニアリヤ 一四六(昭三、一)
- ◎血液ノ成分 一四六(昭三、一)
- ◎正常尿ニ就テ知ル所ヲ記セ 一四四(昭三、一)
- ◎腎臟ノ位置形狀及機能ヲ問フ 一四五・一四九(昭五、二)
- ◎腎臟ノ生理的作用 一四九(昭七、二)
- ◎肺臟ノ位置構造及生理的作用 一五〇(昭八、一)
- ◎產婆ニ必要ナル消毒藥ノ名稱及其ノ使用法 一五三(昭八、一)
- ◎胎盤ノ構造並ニ作用 一五六・一五三(昭二、一)
- ◎胎盤ノ構造及機能 一五五・一五五(昭二、一)
- ◎胎盤完成ノ時期 一五七(昭三、一)

- 假羊水トハ何カ 三二五(昭三、一)
- 脱落膜ニ就テ知レル處ヲ記セ 三二三(昭三、一)
- 胎盤ノ構造並ニ作用ヲ問フ 三二六・三二四(昭四、二)
- 胎盤ニ就テ識ルトコロヲ記セ 三二三(昭九、二)
- 羊水ノ性状及其ノ効用ヲ問フ 三二五・三二九(昭四、二)
- 妊娠九ヶ月末ニ於ケル胎兒ノ身長並ニ體重 三二九(昭三、一)
- 成熟胎兒ノ頭蓋ニ就テ記セ 三二七(昭八、一)
- 胎兒血液循環ト初生兒血液循環トノ相違點ヲ示セ 三二六(昭十、一)
- 胎盤血行ニ就テ詳記セヨ 三二四(昭十、一)
- 妊娠ノ母體ニ及ボス影響ヲ問フ 三二六・三二七(昭十、二)
- 妊婦ノ診察 三二六・三二七(昭二、一)
- 眞結合線ノ測定ト其ノ意義ヲ問フ 三二二(昭二、一)
- 胎兒心音聽取ニ就テ記セ 三二四(昭四、一)
- 内診上胎兒各部分ノ特徴及鑑別ヲ記セ 三二四(昭十、二)
- 妊婦診察時聽取シ得ル腹内音ノ種類ヲ舉ゲ其ノ性質聽取場所及聽取時間ヲ問フ 三二四(昭十、一)
- 胎兒心音ノ聽取部位ト胎位トノ關係ヲ詳述セ 三二四・三二六(昭十、二)
- 骨盤ノ内及外計測法ヲ記セ 三二四(昭二、一)
- 胎兒生死ノ診斷 三二四(昭三、一)
- 過大妊娠子宮ノ原因 三二五(昭三、一)

- 最終月經第一日ハ昭和二年十二月廿五日ナリ 三二三(昭三、一)
- 分娩豫定日ハ如何 三二四(昭四、一)
- 妊娠五ヶ月ノ徴候 三二六(昭五、一)
- 初妊妊婦ノ區別 三二二(昭七、二)
- 外診ニ依リ妊娠月數ヲ診斷スル方法 三二二(昭七、二)
- 妊娠ト誤診サレ易キ疾病ヲ舉ゲ妊娠トノ鑑別ヲ記セ 三二六(昭七、二)
- 妊娠各月ノ徴候 三二四(昭八、一)
- ヘガール氏ノ徴候ニ就テ知ル所ヲ記セ 三二二(昭九、一)
- 正規妊娠ト誤リ易キ疾病ヲ列記シ類症鑑別上ノ主ナル點ヲ舉ゲヨ 三二六(昭十、一)
- 妊婦ノ飲食物ニ關スル注意ヲ述ベヨ 三二四(昭三、一)
- 第三集 正常分娩 三二四(昭十、一)
- 分娩ノ狀態 三二四(昭十、一)
- 第二後頭位ノ分娩機轉 三二六(昭三、一)
- 開口期ト娩出期トハ如何ニシテ區別スルヤ 三二六・三二七(昭三、一)
- 兒頭ノ第四迴轉トハ如何カ 三二六・三二七(昭三、一)
- 開口期ト娩出期トハ如何ニシテ區別スルヤ 三二六(昭三、一)
- 陣痛ノ作用 三二五(昭三、一)
- 陣痛ノ種類及其ノ作用 三二五(昭六、一)
- 陣痛ノ種類及其ノ作用 三二五(昭七、一)

- 胎盤剝離ノ徴候ヲ記セ 三二六(昭九、一)
- 子宮收縮輪ヲ説明セヨ 三二四(昭九、二)
- 假羊水ト前羊水トノ區分ヲ説明セヨ 三二四(昭九、二)
- 排出力(娩出力)トハ何ゾ並ニ陣痛トノ區別ヲ記セ 三二五・三二七(昭十、二)
- 腹壓ヲ説明セヨ 三二三(昭十、一)
- 胎胞ヲ説明セヨ 三二九(昭十、一)
- 破水ヲ説明セヨ 三二四(昭十、一)
- 排膿撥露ヲ説明セヨ 三二五(昭十、一)
- 第二後頭位ノ分娩機轉ヲ問フ 三二八(昭十、二)
- 内診上胎兒各部分ノ特徴及鑑別 三二五(昭六、一)
- 分 娩 取 扱 法 三二五(昭三、一)
- 胎盤切斷ニ際シテ注意スベキ點 三二七(昭三、一)
- 新生兒沐浴ノ湯ノ温度並ニ時間 三二七(昭三、一)
- クレード氏點眼法ノ目的 三二七(昭四、一)
- 分娩直後ノ母體ノ處置法 三二七(昭四、一)
- 分娩直後ニ於ケル母體ノ處置ヲ問フ 三二七(昭四、二)
- 新生兒沐浴ニ就テ記セ 三二九(昭四、二)
- 會陰保護法 三二九(昭五、一)
- 胎盤ノ剪斷法 三二九(昭七、一)
- 分娩ニ際シ腹壓ニ關シテ注意スベキ事項ヲ記セ 三二五(昭七、二)
- 後産排出後ノ處置 三二五(昭八、一)

- 後産期處置上注意スベキ主ナル事項ヲ列記セ 三二四(昭十、一)
- 分娩直後ニ於ケル産婆ノ注意事項ヲ問フ 三二六(昭十、一)
- 正規分娩第三期ニ於ケル産婆ノ注意事項ヲ問フ 三二七・三二八(昭十、一)
- 新生兒沐浴時ノ注意事項ヲ述ベヨ 三二七・三二八(昭十、一)
- 新生兒沐浴時ノ位置及腹壓ニ就テ記セ 三二八・三二九(昭十、二)
- 分娩終了直後ニ就キ述ベヨ 三二五(昭十、一)
- クレード氏點眼法ニ就テ記セ 三二七(昭十、一)
- 胎盤切斷ノ處置ヲ問フ 三二七(昭十、一)
- 初生兒臍帶切斷ノ處置 三二七(昭十、一)
- 産褥ノ狀態 三二六(昭二、一)
- 正規惡露ニ就テ知レル所ヲ記セ 三二六(昭三、一)
- 惡露ノ血色ヲ帶アルハ産褥幾日頃マデナルヤ 三二六(昭三、一)
- 子宮ノ復舊作用ニ就テ 三二六(昭四、一)
- 正規産褥ノ經過 三二六(昭五、一)
- 正規産褥ニ於ケル子宮ノ復古狀態ヲ記セ 三二六(昭八、一)
- 産褥初期ニ於ケル尿閉ノ原因ヲ問フ 三二六(昭十、一)
- 正常産褥ニ於ケル子宮及惡露ノ狀態ヲ問フ 三二六(昭十、一)

第四集 正常産褥

- ◎ 正規産褥ニ於ケル子宮復舊ノ經過ヲ記セ 四二二(昭三、一)
- ◎ 正規産褥ニ於ケル子宮體ノ復舊現象ヲ述ベヨ 四二三(昭三、一)
- ◎ 正規産褥ニ於ケル惡露ノ状態ヲ問フ 四二四(昭三、一)
- ◎ 新生兒黃疸消失ノ時期 (四九六)(昭三、一)
- ◎ 臍帶脱落ノ時期 四一〇(昭三、一)
- ◎ 新生兒體重減少ノ度並ニ恢復ノ時期 四八五(昭三、一)
- ◎ 初生兒黃疸ニ就キ記セ 四九六(昭三、一)
- ◎ 産褥ニ於ケル排尿障害ニ就テ述ベヨ 四二六(昭四、二)
- ◎ 褥婦看護法 四二七(昭六、一)
- ◎ 褥婦ノ看護法 四二七(昭七、一)
- ◎ 産褥ニ於ケル排尿障害ニ就テ記セ 四二六(昭八、二)
- ◎ 褥婦ノ食餌ハ如何ニスベキヤ 四二八(昭十、一)
- ◎ 褥婦ニ對スル産褥中注意スベキ要項ヲ記セ 四二三(昭十、二)
- ◎ 褥婦ノ寢具及衣服ニ就テ記セ 四二七(昭十、一)
- ◎ 乳母ノ選擇方法 四二七(昭四、一)
- ◎ 乳汁分泌ノ影響ニ就テ 四二七(昭四、一)
- ◎ 離乳期ノ乳兒ニ對スル注意 四二七(昭五、一)
- ◎ 新生兒ノ母乳養法ニ就テ記セ 四二七(昭七、二)
- ◎ 産褥第一週ニ於ケル新生兒取扱上ノ注意ヲ問フ 四二四(昭九、一)
- ◎ 乳母選擇上ノ標準 四二七(昭九、二)
- ◎ 牛乳稀釋法ニ就テ識ルトコロヲ記セ 四二七(昭十、一)

- ◎ 新生兒ノ看護ハ如何ナル點ニ留意スベキカ 四三二(昭三、一)

第五集 異常妊娠

- ◎ 妊娠ニ起リ易キ疾病ヲ列舉シ其ノ症状ヲ記セ 五三二(昭三、一)
- ◎ 胎盤ノ早期剝離ト前置胎盤トノ鑑別 五三四(昭七、二)
- ◎ 正常位ニ於ケル胎盤早期剝離ノ原因並ニ處置ヲ記セ 五三二・五三六(昭九、一)
- ◎ 羊水過多症ノ分娩時ノ障碍ヲ列記セヨ 五七三(昭九、二)
- ◎ 羊水過多症ト双胎妊娠トノ診斷上ノ區別ヲ問フ 五七七(昭十、一)
- ◎ 胎兒異常
 - ◎ 妊娠中胎兒死亡ノ原因及症状ヲ記セ 五七三・五三五(昭四、二)
 - ◎ 妊娠中胎兒死亡ノ原因ヲ問フ 五七七(昭九、一)
 - ◎ 流産ノ處置 五二〇(昭二、一)
 - ◎ 不完全流産ノ診斷 五二二(昭三、一)
 - ◎ 流産ノ原因及症状ヲ記セ 五二五・五二七(昭八、一)
 - ◎ 流産ノ原因及症状ヲ記セ 五二五・五二六(昭十、二)
 - ◎ 喇叭管流産トハ何カ 五二九(昭三、一)
 - ◎ 子宮外妊娠ノ種類及之等ノ主ナル症状ヲ舉ゲ 五三六・五三九(昭十、二)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- ◎ 早期破水ノ障害 六一七(昭二、二)
- ◎ 人工破水ヲ行フベキ場合ヲ問フ 六三九(昭三、一)
- ◎ 分娩第二期ニ於テ兒頭ノ骨盤入口上ニ固定セザル場合ヲ列舉セヨ 六五(昭九、二)
- ◎ 早期破水ノ原因及取扱法ヲ問フ 六二六・六二九(昭十、一)

胎兒異常

- ◎ 反屈位ノ分娩困難ナル理由 六一〇(昭三、一)
- ◎ 各種ノ骨盤端位分娩中胎兒ノ豫後最モ惡キハ何カ 六一四(昭三、一)
- ◎ 横位ノ恐レラル、ハ何故ゾヤ 六一〇(昭三、一)
- ◎ 横位ノ處置 六一三(昭三、一)
- ◎ 双胎兒ノ性ハ如何 六一七(昭三、一)
- ◎ 双胎兒ノ診斷 六一五(昭五、二)
- ◎ 複胎妊娠ノ診斷 六一五(昭六、二)
- ◎ 双胎分娩ノ經過及其ノ取扱法 六一四・六一六(昭八、二)
- ◎ 双胎兒分娩ニ起リ易キ障碍及其ノ取扱上特ニ注意スベキ事項ヲ舉ゲヨ 六一〇(昭九、一)
- ◎ 双胎分娩ノ取扱上特ニ注意スベキ點 六一〇(昭十、一)

- ◎ 卵管破裂ノ症状及處置ヲ問フ 五二四(昭三、一)
- ◎ 子宮外妊娠ノ種類及處置ヲ記セ 五二八・五二九(昭三、一)
- ◎ 子宮外妊娠ニ就テ記セ 五二八(昭十、一)
- ◎ 母體性器異常
 - ◎ 妊娠子宮ノ後傾後屈症ハ如何ナル經過ヲ取ルヤ 五二九(昭三、一)
 - ◎ 徵毒ト産婆學トノ關係 五二九(昭三、二)
 - ◎ 妊娠ト徵毒トニ就テ記セ 五二九(昭六、二)
- ◎ 妊娠經過中妊娠ト關係アル出血ノ原因及其處置ヲ問フ 五三〇(昭十、一)

母體全身異常

- ◎ 子癩ノ豫防法 五二六(昭三、一)
- ◎ 妊娠浮腫ノ原因 五二六(昭三、一)
- ◎ 妊娠惡阻ノ症状並ニ處置 五二六・五二九(昭三、一)
- ◎ 妊娠中ニ來ル浮腫ノ原因如何 五二六(昭四、一)
- ◎ 子癩ノ原因及ビ分娩トノ關係 五二五・五二六(昭五、二)
- ◎ 子癩ニ就テ知ル處ヲ記セ 五二七(昭七、二)
- ◎ 妊娠ニ因ツテ發スル全身病三ツヲ舉ゲ其ノ症状ヲ略記セヨ 五二四(昭十、一)
- ◎ 子癩ニ對スル處置ヲ問フ 五二七(昭十、一)

○新生兒重症假死ノ處置 六三六(昭五、二)
 ○分娩時ニ於ケル胎兒窒息ノ原因及其ノ徵候ニ就イテ記セ 六三〇・六三三(昭九、二)

母體異常

○陣痛微弱ノ處置 六三四(昭二、二)
 ○分娩時產道ノ壓迫症狀ヲ舉ゲヨ 六三三(昭三、一)
 ○陣痛異常ノ種類ヲ舉ゲ其ノ取扱法ヲ説明セヨ 六三〇・六三三(昭九、二)

○子宮隣接器官ノ異狀ニ因スル分娩遲延ノ診斷並ニ處置 六三六(昭四、一)
 ○狹窄骨盤ニ於ケル分娩經過ヲ述ベヨ 六三七(昭四、二)

○分娩直後ニ於ケル出血ノ處置 六四四(昭五、一)
 ○會陰破裂ノ原因及症狀 六四三・六四四(昭六、一)
 ○會陰破裂ノ原因及症狀 六四三・六四四(昭七、一)
 ○胎兒分娩後出血多量ナル場合ハ如何ナル原因ニヨルカ其ノ處置ヲ問フ 六四四(昭十、一)
 ○分娩直後ニ於ケル出血ニ就キ産婆トシテ注意スベキ事項ヲ舉ゲヨ 六四四(昭十、一)
 ○分娩後ニ於ケル出血多量ノ原因及其ノ處置ヲ問フ 六四三・六四四(昭十、一)

第七集 異常產褥・補足知識

產褥異常

○產褥熱發生ノ時期 六二六(昭三、一)
 ○乳腺炎ノ豫防法 七一〇(昭三、一)
 ○產褥性敗血症ニ就テ記セ 七〇八(昭八、一)
 ○乳汁過少ノ原因並ニ其ノ處置 七〇九(昭九、一)
 ○子宮ノ復舊收縮ヲ障礙スベキ原因ヲ列舉セヨ 七〇五(昭九、三)
 ○產褥ノ排尿異常ヲ起ス場合及其ノ處置ヲ記セ 七二五(昭十、一)
 ○產褥膀胱加答兒ノ原因及症狀並ニ其ノ處置ヲ問フ 七二八(昭十、一)

○產褥熱ノ豫防法ヲ記セ 七〇五・七〇六(昭十、二)
 ○產褥子宮復舊不完全症ノ原因及處置ヲ問フ 七〇五・七〇六(昭十、二)
 ○產褥中ニ於ケル異常出血ノ原因ヲ列記セヨ 六三三(昭五、一)
 ○產褥熱ノ原因及症狀及其ノ豫防方法ヲ記セ 七二二・七二六・七二〇(昭十、二)
 ○產褥熱ノ原因及症狀及其ノ豫防方法ヲ記セ 七二二・七二六・七二〇(昭十、二)
 ○胎「ヘルニア」ニ就テ知レル所ヲ記セ 七二四(昭十、二)
 ○先天性梅毒兒ノ養養法 七二六(昭十、二)

新産兒異常

○乳兒脚氣ノ診斷並處置 七二〇・七二二(昭三、二)
 ○臍息肉ノ處置 (中略) (昭三、二)
 ○初生兒臍漏眼ニ就イテ知ル處ヲ記セ 七二四(昭四、一)
 ○新生兒ニ來リ易キ疾病ノ名稱 七二三(昭五、一)
 ○初生兒ノ消化障害ニ就イテ 七二九(昭六、一)
 ○新生兒ノ臍疾患ニ就テ記セ 七二四(昭六、二)
 ○新生兒ノ消化障礙ニ就テ 七二九(昭七、一)
 ○驚口瘡ノ原因及處置ヲ問フ 七二九(昭八、二)
 ○初生兒「メレナ」ノ原因及症狀並ニ處置ヲ問フ 七二九(昭九、一)

○初生兒臍漏眼ノ豫防法並ニ助産婦トシテノ處置及注意事項ヲ記セ 七二〇・七二二(昭十、二)
 ○驚口瘡ノ原因及處置 七二九(昭十、二)
 ○乳兒吐乳ノ原因及處置 七二九(昭十、二)
 ○乳兒脚氣ノ原因及處置ヲ記セヨ 七二〇・七二二(昭十、二)
 ○初生兒「メレナ」ノ原因及症狀並ニ處置ヲ問フ 七二九(昭十、二)
 ○早産兒ノ看護法ノ要點ヲ述ベヨ 七二九(昭十、二)

(二七) 京都府

第一集 豫備知識

○排卵ノ機能ニ就テ記セ 一三〇(昭二、一)
 ○産婆ニ消毒ノ必要ナル理由及手ノ消毒法ヲ記セ 一三二・一三三(昭三、一)
 ○フェニールブリンゲル氏手指消毒法ニ就イテ説明セヨ 一三〇(昭十、一)
 ○産科領域ニ於ケル消毒薬ノ種類及用法ヲ記シ併セテ手指ノ消毒法ヲ述ベヨ 一三三・一三九(昭十、二)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

○臍帯ニ就テ記セ 一四〇(昭三、一)
 ○胎落膜ニ就テ記セ 一四三(昭四、一)
 ○羊水ノ妊娠及分娩ニ對スル價值 一四九(昭六、一)
 ○胎落膜ノ種類及其ノ運命 一五〇(昭七、一)
 ○羊水ノ效用ヲ問フ 一五六(昭十、一)
 ○胎盤ノ構造並ニ機能ニ就キ知レル所ヲ記セ 一五六・一五七(昭十、二)
 ○胎向ニ就イテ説明セヨ 一五八(昭十、二)
 ○大肉門ニ就イテ知レル事ヲ記セ 一五八(昭十、二)
 ○ボタリー氏管ニ就イテ記セ 一五九(昭十、二)

- ◎成熟胎兒ニ於ケル頭蓋ノ諸徑線並ニ縫合ニ就テ記セ
三二七・三二八(昭二、三)
- ◎成熟初生兒ノ徴候
三二七(昭三、四)
- ◎成熟胎兒ノ頭部ノ大サニ就キ知ル所ヲ記セ
三二七(昭三、四)
- ◎妊娠線ニ就イテ知レル事ヲ記セ
三二六(昭二、三)
- ◎正規妊娠ニ於ケル子宮體部ノ變化ニ就テ記セ
三二六(昭四、五)

妊婦ノ診察

- ◎妊娠後半期ニ於テ聴取シ得ベキモノヲ舉ゲ簡單ニ説明セヨ
三二九(昭六、七)
- ◎通常用ヒラル、骨盤計測法及ビ成熟日本婦人ニ於ケル値ヲ記シ分娩トノ關係ヲ問フ
三二九(昭九、一〇)
- ◎胎兒心音ノ診斷的意義ニ就テ
三三〇・三三一・三三二(昭九、一〇)
- ◎妊婦ノ腹部聴診ニ際シ聴取シ得ベキ音ノ種類及其ノ性質ニ就キ記セ
三三〇(昭九、一〇)
- ◎腹部ヲ觸診シテ知リ得ベキ胎兒身體各部ノ特徴ヲ記セ
三三〇(昭十、一一)
- ◎妊娠ト誤診サレ易キ疾病ノ名稱並ビニ其ノ區別點ヲ記セ
三三〇(昭三、四)
- ◎妊娠時期ノ判定法
三二九(昭六、七)
- ◎妊婦ノ腹部診察ニヨリ診斷シ得ベキ事項ニ就テ
三二五(昭七、八)

- ◎初妊婦妊娠末期ニ於ケル内診所見如何
三二五(昭八、九)
- ◎諸種妊娠徴候ノ診斷的價値ニ就テ
三二六(昭八、九)
- ◎ビスカウエツク氏妊娠徴候ニ就イテ知ル所ヲ記セ
三二七(昭十、一一)
- ◎妊娠中胎兒死亡ノ徴候ヲ記セ
三二五(昭九、一〇)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- ◎産痛及頭血腫ニ就テ且ツ産痛ノ産科學上ニ於ケル意義
三二八・三二九(昭二、三)
- ◎正規分娩ノ胎兒ニ及ボス影響
三二八(昭三、四)
- ◎胎胞ノ形成及其ノ分娩ニ及ボス價値
三二八・三二九(昭三、四)
- ◎分娩時ニ努責ヲ命ズル場合並ニ之ヲ禁ズル場合ヲ列舉セヨ
三二八(昭四、五)
- ◎産痛ニツキテ知レル所ヲ記セ
三二八(昭四、五)
- ◎正規分娩ニ於ケル開口期ノ経過ヲ説明セヨ
三二八(昭六、七)
- ◎分娩ニ依リテ起ル胎兒頭ノ變化ニ就テ
三二八(昭八、九)
- ◎産出力トシテノ腹壓ノ效用ニ就イテ
三二八(昭九、一〇)
- ◎陣痛トハ如何ナルモノカ、並ニ其ノ作用、種類及性質ヲ記セ
三二八・三二九(昭九、一〇)
- ◎正規分娩ノ持續時間ヲ各期別ニ依リ記セ
三二八(昭十、一一)
- ◎分娩ノ胎兒ニ及ボス影響ニ就イテ
三二五(昭十、一一)

- ◎娩出力(排出力)ニ就テ知ル所ヲ記セ
三三三(昭十、一一)
- ◎胎胞(卵胞)ノ成立機轉ト其ノ效用ヲ述ベヨ
三三三(昭十、一一)
- ◎産痛ヲ簡單ニ説明セヨ
三三三(昭十、一一)

分娩時診察

- ◎第一後頭位分娩ニ際シテ分娩ノ進行程度ヲト知シ得ル諸徴候ヲ舉ゲテ簡單ニ説明セヨ
三三三(昭十、一一)
- ◎分娩中ニ於テ胎兒體ノ進行程度ヲ知リ得ベキ方法並ニ症狀ニツキテ説明セヨ
三三三・三三三(昭十、一一)
- ◎産婦ノ内診ヲ行フ際ニ操作上特ニ注意スベキ事項並ニ検査スベキ主要點ヲ記セ
三三三・三三三(昭十、一一)

分娩取扱法

- ◎胎帯經絡ハ分娩ニ對シ如何ナル影響ヲ及ボス
三三三(昭二、三)
- ◎正規分娩第二期ノ取扱法ニ就テ記セ
三三三(昭二、三)
- ◎産婦ノ胎帯ヲ簡單ニ説明セヨ
三三三(昭五、六)
- ◎胎帯切斷ノ時期及方法
三三三・三三三(昭五、六)
- ◎産婦ニ腹壓ヲ命ズベキ場合及之ヲ禁ズベキ場合ヲ列舉シ各之ガ理由ヲ説明セヨ
三三三(昭六、七)
- ◎分娩直後初生兒ニ施スベキ處置
三三三(昭八、九)
- ◎會陰保護ノ要點
三三三(昭八、九)
- ◎分娩直後母體ニ對スル産婆ノ注意スベキ要點ヲ記セ
三三三(昭八、九)

- ◎會陰保護ノ要領ヲ述ベヨ
三三三(昭十、一一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- ◎正規産褥ニ於ケル子宮底ノ位置ヲ分娩後五日間各日ニ就キ説明セヨ
三三三(昭二、三)
- ◎産褥ノ脈搏及體溫ニ就テ
三三三(昭三、四)
- ◎正規産褥ニ於ケル惡露ニ就テ述ベヨ
三三三(昭三、四)
- ◎産褥二週間マデノ子宮底ノ高サニ就テ記セ
三三三(昭四、五)
- ◎産褥初期ノ臨床的経過ヲ述ベヨ
三三三(昭五、六)
- ◎後陣痛ヲ簡單ニ説明セヨ
三三三(昭六、七)
- ◎惡露ニ就イテ知ル所ヲ記セ
三三三(昭六、七)

- ◎ 正規産褥子宮ノ復舊現象 昭六、二
- ◎ 正規産褥ニ於ケル惡露ノ経過及性状ヲ記セ 昭六、三
- ◎ 正規産褥第三日ニ於ケル母兒ノ状況ニ就イテ 昭七、一
- ◎ 正規産褥ニ於テ子宮底ノ上下スル模様ヲ述ベヨ 昭八、一
- ◎ 分娩後最初ノ十日間ニ於ケル乳汁分泌状態、子宮外診所見、惡露、兒ノ體重、臍帶、授乳量等ノ大體ノ變遷ニ就テ 昭八、二
- ◎ 分娩直後ヨリ産褥第五日ニ到ル迄ニ於ケル子宮底ノ位置並ニ之レガ上下スル理由ニ就キテ述ベヨ 昭八、三
- ◎ 漿液性惡露 昭九、一
- ◎ 正規産褥ニ於ケル子宮底ノ高サノ變化 昭九、二
- ◎ 産褥第一週間ノ惡露ノ變化狀況ニ就テ 昭十、一
- ◎ 産褥ニ起ル生理的全身ノ變化ニ就テ記セ 昭十、二
- ◎ 産褥第一週間ノ子宮復舊状態並ニ惡露ノ變化狀況ニ就テ 昭十、三
- ◎ 正常産褥ニ於ケル全身ノ變化 昭十、四
- ◎ 正規産褥ニ於ケル惡露ノ性状及其變化ヲ問フ 昭十一、一
- ◎ 正規産褥第七日ニ於ケル母體及新産兒ノ狀況ニ就テ記セ 昭十一、二
- ◎ 初乳ニ就キ簡單ニ記セ 昭十一、三
- ◎ 初生兒ノ體溫排尿及排便ニ就テ記セ 昭十二、一
- ◎ 初生兒ヲ簡單ニ説明セヨ 昭十二、二
- ◎ 湯熱(饑餓熱)ヲ簡單ニ説明セヨ 昭十二、三
- ◎ 初生兒ノ體溫體重排便ニ就イテ記セ 昭十二、四
- ◎ 臍帶斷端ノ脱落機轉ヲ説明シ且其ノ處置ニ就イテ述ベヨ 昭十二、五
- ◎ 産褥訪問ニ際シテ行フベキ事項ヲ順序ニ從ツテ列舉セヨ 昭十二、六
- ◎ 正規産褥ニ於テ産褥ノ離床並ニ排便排尿ニ就テ注意スベキ事 昭十三、一
- ◎ 産褥中ニ於ケル外陰部ノ處置 昭十三、二
- ◎ 産褥ニハ産褥第何週ヨリ入浴ヲ許スベキヤ 昭十三、三
- ◎ 産褥ノ取扱法中重要ナル點ニ就テ列記セヨ 昭十三、四
- ◎ 産褥ノ離床時期ニ就テ論ゼヨ 昭十三、五
- ◎ 産褥看護ノ要點ヲ述ベヨ 昭十三、六
- ◎ 初乳ノ效用 昭十四、一
- ◎ 産褥及初生兒診察ニ際シテ産褥ノ注意スベキ諸點 昭十四、二
- ◎ 正規産褥ニ於ケル左記事項ニ就テ記セ 昭十四、三
- ◎ 初乳ノ效用 (イ) 脈搏 昭十四、四

- ◎ 離乳ヲ行フベキ時期及ビ其ノ方法 昭四、一
- ◎ 授乳ニ就キ産褥ノ注意スベキ諸點 昭七、一
- ◎ 人工營養法ハ如何ナル場合ニ如何ナル方法ヲ行フヤ 昭八、一
- ◎ 人工營養時ニ於ケル牛乳ノ稀釋法 昭八、二
- ◎ 臍帶斷端ノ脱落機轉ヲ説明シ且其ノ處置ニ就イテ述ベヨ 昭十、一
- ◎ 新産兒ニ於ケル人工營養ニ際シテノ牛乳稀釋法 昭十、二
- ◎ 産褥ニ授乳ヲ禁止スベキ場合ヲ舉ゲヨ 昭十一、一
- ◎ 新産兒ニ於ケル授乳ノ持續時間ト一日中(廿四時間)ノ回数ハ如何程ガ適當ナリヤ 昭十一、二
- ◎ 母乳栄養ノ有利ナル理由ヲ記セ 昭十一、三
- ◎ 新産兒(初生兒)看護上注意スベキ要件ヲ列記セ 昭十一、四
- ◎ 如何ナル場合ニ乳母ヲ必要トスルヤ且ツ之ガ選擇上ノ注意事項ヲ列舉セヨ 昭十三、一
- ◎ 離乳ノ必要ナル理由及其ノ時期並ニ方法ニ就テ記セ 昭十三、二

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- ◎ 葡萄胎狀ト羊水過多症トノ鑑別 昭十一、一

- ◎ 葡萄胎狀胎ノ診察 昭四、一
- ◎ 葡萄胎狀胎分産時及ビ分娩後ニ於テ産褥ノ注意スベキ事項 昭六、一
- ◎ 葡萄胎狀胎妊娠ノ経過徴候並ニ診察 昭八、一
- ◎ 妊娠時子宮増大速度ノ異常ヲ來スベキ場合ヲ列舉シソノ主要ナル鑑別點ニ就テ記セ 昭八、二
- ◎ 正常位置ニ於ケル胎盤ノ早期剝離ノ原因及症狀ヲ記セ 昭三、一
- ◎ 胎盤早期剝離ノ原因ヲ列記セヨ 昭八、一
- ◎ 妊娠中絶ノ誘因トナルベキ胎盤及臍帶異常ニ就テ記セ 昭十、一
- ◎ 羊水過少ハ母體及ビ胎兒ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤ 昭五、一
- ◎ 羊水過多症ノ診察及其ノ妊娠及分娩ニ及ボス影響ヲ問フ 昭九、一
- ◎ 胎兒異常 昭十一、一
- ◎ 妊娠中胎兒死亡ノ徴候ヲ記セ 昭十一、二
- ◎ 流産ノ原因及處置 昭四、一
- ◎ 妊娠中絶ヲ疑ハシムル諸徴候ヲ記セ 昭五、一

○子宮外妊娠ノ種類及嚮候併せて其危険ナル理由ヲ記セ 五二三八・五二四二・五二四三(昭二、三)

○子宮外妊娠ノ原因及其ノ經過ヲ記セ 五二四〇・五二四三(昭三、三)

母體性器異常

○妊娠中ニ發スル子宮出血ノ種類及其處置ニ就キ知ル所ヲ記セ 五二〇八・五二〇九(昭三、三)

○妊娠中ニ來ル子宮出血ノ意義並ニ處置ヲ述ベ 五二〇〇・五二〇九(昭三、三)

母體全身異常

○子癩ノ分娩ニ及ボス影響如何 五二六二(昭二、三)

○妊娠時ニ來ル浮腫ニ就テ記セ 五二八二(昭三、三)

○妊娠時ノ產褥時ニ於ケル經過ト其ノ看護法ニ就テ記セ 五二七三・五二七五(昭六、三)

○妊娠浮腫ノ原因及處置ヲ問フ 五二六六・五二六九(昭七、三)

○醫師ノ治療ヲ絕對ニ必要トスベキ妊娠悪阻患者ノ症狀如何 五二六六(昭八、三)

○子癩ノ嚮候概略及產婆トシテノ處置 五二五三・五二五七(昭十、三)

○子癩ニ就キ知ル所ヲ記セ 五二四七(昭十、三)

○妊婦ノ靜脈痛ノ原因症狀及處置ヲ問フ 五二〇四・五二〇五(昭十一、三)

○子癩ノ症狀ヲ記シ之ニ對シテ產婆ノ探ルベキ處置ヲ簡單ニ記スベシ 五二五二・五二五七(昭十三、三)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

○分娩時兒頭ノ骨盤内固定ヲ障害スルスベテノ場合ヲ列記セヨ 六二〇(昭二、三)

○早期破水ノ原因 六二六(昭三、三)

○早期破水ニヨル分娩障害ニ就イテ 六二七(昭四、三)

○胎盤ノ一部殘留セル時母體ハ如何ナル症狀ヲ呈スルヤ並ニ其ノ診斷ト處置ヲ問フ 六二五(昭五、三)

○人工破水ヲ行フベキ場合ヲ列舉シ其ノ理由ヲ説明セヨ 六二九・六三二(昭七、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ、骨盤位ニシテ破水後胎盤ノ脱出セルトキ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二六(昭九、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ骨盤位ニシテ破水前ナル時ハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二七(昭九、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作三十秒間歇一分三十秒ニシテ左手ノ脱出セルトキ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○前頭位ハ如何ナル場合ニ來リ易キカ更ニ其ノ分娩機轉ヲ詳述セヨ 六二〇三・六二〇八(昭十一、三)

○雙胎ノ診斷ニ就キ記セ 六二〇九(昭十一、三)

○双胎妊娠ノ診斷及鑑別ニ就イテ記セ 六二〇五・六二〇七(昭三、三)

○双胎ノ診斷ニ就イテ記セ 六二〇五(昭十一、三)

○胎兒子宮内窒息ノ原因嚮候並ニ初生兒假死ノ取扱法ヲ述ベヨ 六二〇〇・六二〇三・六二〇六(昭七、三)

○新産兒假死ノ成因並ニ分娩前後ニ於ケル假死ノ嚮候及ビ其ノ處置ニ就イテ 六二〇六・六二〇九(昭十、三)

○分娩直後新産兒假死ニ陥レルトキノ處置ヲ問 六二〇六・六二〇九(昭十、三)

胎兒附屬物異常

胎兒異常

○分娩時兒頭ノ骨盤内固定ヲ障害スルスベテノ場合ヲ列記セヨ 六二〇(昭二、三)

○早期破水ノ原因 六二六(昭三、三)

○早期破水ニヨル分娩障害ニ就イテ 六二七(昭四、三)

○胎盤ノ一部殘留セル時母體ハ如何ナル症狀ヲ呈スルヤ並ニ其ノ診斷ト處置ヲ問フ 六二五(昭五、三)

○人工破水ヲ行フベキ場合ヲ列舉シ其ノ理由ヲ説明セヨ 六二九・六三二(昭七、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○三十歳ノ三回經産婦陣痛殆ド整調ニシテ相當強ク發作五十秒間歇一分二十秒ナリ破水後ニ於テノ先進部ハ頭部ニシテ矢狀縫合ハ略横徑ニ一致シ、小顳門ハ左側ニ偏知シ大顳門ハフレガタク更ニ第一度ノ平等狹窄骨盤ヲ合併シ陣痛發作時羊水ノ流出ヲミルトキハ如何ナル處置ヲ取ルベキカ 六二九(昭九、三)

○胎兒異常 六三〇(昭十一、三)

○胎兒異常 六三五・六三六・六三七(昭六、三)

○分娩時ノ出血ノ原因ヲ舉ゲヨ

六四八(昭三、一)

第七集 異常産褥・補足知識

褥婦異常

- 産褥ニ於ケル出血ノ原因ヲ問フ 四三六・七三三(昭二、一)
- 産褥性子宮周囲炎ニ就テ記セ 七三〇(昭四、一)
- 體温脈搏ノ状態ハ産褥熱ノ輕重ノ判定ニ對シ補助トナリ得ルカ若シナリ得ルトセバ其鑑別如何 七二六(昭四、一)
- 乳腺炎ニ就イテ 七九四(昭五、一)
- 産褥ニ於ケル乳房諸疾患ノ種類及其ノ取扱ヒ方ヲ記セ 七三二(昭六、一)
- 妊産褥婦ノ排尿障害ト其ノ處置ニ就テ 二一七・六三六・七二五(昭八、一)
- 産褥ニ起ル膀胱及直腸障害ニ就テ 六四〇(昭八、一)
- 産褥熱患者取扱後ニ於ケル産褥ノ心得 七三四(昭九、一)
- 産褥熱ノ症狀並ニ之ヲ取扱ヒタル産褥ノ心得ニ就テ記セ 七二六・七三四(昭九、一)
- 敗血性産褥創傷傳染ノ處置ト豫防法 七三三・七三〇(昭九、一)
- 褥婦ノ子宮回復不全ニ就テ記セ 七三三(昭十、一)
- 産褥熱ノ原因及誘因ヲ問フ 七二二・七二四(昭十、一)
- 乳腺炎ノ原因ト其ノ豫防法ニ就テ述ベヨ 七二九(昭十、一)

新産兒異常

- 初生兒膿漏眼及之レガ處置ニツイテ 七二六(昭二、一)
- 初生兒膿漏眼ニ就テ 七二四(昭二、一)
- 初生兒鞏膜硬症ノ原因及徴候ニ就テ 七二七(昭三、一)
- 初生兒黒吐病(メレナ)ノ症狀及處置 七二九(昭四、一)
- 初生兒(メレナ)ニ就テ 七二五・七二五(昭六、一)
- 初生兒發熱ヲ來ス疾患並ニ之ガ原因 七三〇(昭六、一)
- 先天性微毒兒ノ主ナル徴候 七二五(昭八、一)
- 初生兒(メレナ)ニ就テ知ル所ヲ記セ 七二九(昭九、一)
- 分娩外傷ニツキ知ル處ヲ記セ 七二九(昭十、一)
- 新産兒破傷風ノ原因症狀及處置ヲ記セ 七三五(昭十、一)
- 新産兒(初生兒)ノ哺乳困難ヲ來ス可キ疾病ヲ列舉セヨ 七二四(昭十、一)
- 新産兒(初生兒)ノ臍疾患ヲ列舉シ其ノ症狀ヲ記セ 七二四(昭十、一)
- 驚口瘡ノ原因症狀及處置ヲ問フ 七二九(昭十、一)
- 新産兒膿漏眼ニ就イテ 七二九(昭十、一)
- 新産兒メレナニ就テ述ベヨ 七二九(昭十、一)
- 早産兒ノ看護上ノ注意點 七二二(昭二、一)
- 早産兒ノ看護法ニ就テ注意ス可キ事項ヲ述ベヨ 七二二(昭三、一)

〔二八〕 奈良縣

第一集 豫備知識

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 臍帯及ビ胎盤ノ構造並作用ヲ記セ 二二五・二二五・二二六・二二六(昭二、一)
- 胎盤ニ就テ記セ 二二五(昭三、一)
- 胎盤ニ就テ記セ 二二六(昭四、一)
- 羊水ニ就テ説明シ且其ノ效用ヲ述ベヨ 二二六・二二六(昭四、一)
- 卵膜ニ就テ記セ 二二〇(昭五、一)
- 胎盤ニ就テ記セ 二二五(昭六、一)
- 胎盤ニ就テ記セ 二二六(昭九、一)
- 羊水ニ就テ 二二六(昭十、一)
- 胎盤ノ構造及其ノ作用ヲ記セ 二二六・二二六(昭十、一)

- 早産兒看護ニ關スル産褥ノ心得 七二五(昭七、一)
- 早産兒看護ノ要點(一般家庭ヲ標準トシテ)ヲ述ベヨ 七二五(昭七、一)

- 胎兒附屬物ニ就テ各其ノ名ヲ舉ゲ簡單ニ其ノ作用ヲ記セ 七二〇(昭十、一)
- 羊水ノ作用ヲ問フ 七二二(昭十、一)
- 成熟胎兒頭蓋ノ縫合及肉門ニ就テ記セ 七二〇(昭十、一)
- 成熟胎兒ノ徴候ヲ記セ 七二〇(昭十、一)
- 胎勢、胎位、胎向及ビ分類ヲ説明セヨ 七二二・七二二(昭十、一)
- 成熟兒ノ徴候並ニ看護法 七二〇・七二二(昭十、一)

妊婦ノ診察

- 内診ニ就キテノ注意並ニ検査スベキ事項ヲ舉ゲヨ 二二五・二二五(昭二、一)
- 妊婦ノ腹部ヨリ聴取シ得ベキ音ニ就キテ記セ 二二〇(昭五、一)
- 妊婦ト診斷スベキ確徴ヲ説明セヨ 二二〇(昭三、一)
- 妊婦ノ確徴ヲ詳記セヨ 二二〇・二二〇(昭七、一)
- 初妊婦ト經妊婦トノ鑑別ヲ記セ 二二二(昭八、一)
- 正規ノ妊娠徴候 二二二(昭十、一)
- 妊娠ノ徴候 二二二(昭十、一)
- 妊娠五ヶ月以後ニ於ケル各月ノ子宮及胎兒ノ大サノ變化ニ就テ記セ 二二九・二二九(昭十、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 胎胞、産痛、兒頭發露、排露、破水ニ就テ説明セ
三三九・三三八・三三六・三四四 (昭二、一)
- 正規分娩ニ於ケル兒頭産道通過ノ状況ヲ述ベ
三四〇・三四一 (昭二、二)
- 胎兒ニ就テ説明シ併セテ分娩トノ關係ヲ記セ
(三七一)・(三七五) (昭三、一)
- 正規分娩第二期ノ經過ヲ問フ
三四五 (昭四、一)
- 第二後頭位ノ分娩機轉
三四七 (昭六、一)
- 正規分娩第一期ノ經過ヲ述ベヨ
三四七 (昭八、一)
- 産痛發生ノ原因並ニ其ノ部位ヲ記セ
三四八・三四九 (昭八、二)
- 兒頭産出時ニ於ケル回轉ニ就テ記セ
三四九・三四〇 (昭九、一)
- 第二後頭位ニ於ケル分娩機轉
三四九 (昭十、一)
- 陣痛ト分娩痛トノ關係ヲ記セ
三四〇 (昭十、二)
- 胎胞ノ形状並ニ分娩トノ關係ヲ記セ
三四一・三四二 (昭十、三)
- 正規分娩ノ臨牀的經過ヲ述ベヨ
三四二 (昭十一、一)
- 陣痛ノ種類ヲ列舉シ各々ニ就テ簡單ニ説明セ
三四三 (昭十一、二)
- 正常分娩第二期ノ經過ニ就テ記セ
三四四 (昭十一、三)

分娩時診察

- 内診ニ就テノ注意並ニ検査スベキ事項ヲ舉ゲ
三四五・三四六 (昭十二、一)
- 第二後頭位ノ外診内診上ノ所見並ニ兒頭ノ分娩機轉ヲ記セヨ
三四五 (昭十二、二)
- 第一後頭位ノ外診内診ノ所見並ニ其分娩機轉ヲ記セ
三四六・三四七 (昭四、一)
- 第一後頭位ノ外診内診上ノ所見並ニ其ノ分娩機轉ヲ記セ
三四七・三四八 (昭七、一)

分娩取扱法

- 胎胞ノ處置ヲ記セヨ
三四七 (昭三、一)
- 分娩直後ニ於ケル初生兒ノ處置
三四七 (昭四、一)
- 胎胞ノ處置ヲ記セ
三四七 (昭五、一)
- 初生兒ノ方法ニ就テ
三四八 (昭六、一)
- 分娩直前ニ於ケル産婦ノ處置
三四八 (昭十、一)
- 胎胞ノ處置
三四九 (昭十、二)
- 後産産出ニ對スル處置ヲ説明セヨ
三四九 (昭十一、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 後陣痛ニツイテ
三四九 (昭十二、一)
- 産褥期間ニ於ケル子宮ノ状態ヲ記セ
三四九 (昭十二、二)
- 分娩直後ニ於ケル子宮ニ就テ記シ併テ其ノ復
三四九 (昭十二、三)

舊状態ヲ述ベヨ

- 正規産褥ニ於ケル惡露ノ經過並ニ子宮ノ變化ヲ記セ
三四〇 (昭三、一)
- 産褥ニ於ケル惡露及ビ子宮ノ變化ヲ記セ
三四〇 (昭三、二)
- 後陣痛ニ就テ記セ
三四一 (昭四、一)
- 正規産褥ニ於ケル乳汁分泌ニ就キテ記セ
三四一 (昭五、一)
- 正規産褥ニ於ケル子宮ノ復古状態ヲ述ベヨ
三四一 (昭六、一)
- 正規産褥ニ於ケル惡露ノ變化ヲ述ベヨ
三四二 (昭七、一)
- 正規産褥ノ經過ヲ記セ
三四二 (昭七、二)
- 産褥子宮ノ復故作用
三四二 (昭八、一)
- 正規産褥ノ經過
三四二 (昭十、一)
- 正規産褥ニ於ケル子宮ノ復古状態ヲ述ベヨ
三四二 (昭十一、一)
- 正規産褥ニ於ケル惡露ノ變化
三四三 (昭十二、一)
- 正常産褥ニ就テ記セ
三四三 (昭十二、二)
- 正常産褥ニ於ケル惡露ニ就テ
三四三 (昭十二、三)
- 初生兒黃疸ニ就イテ
三四四 (昭二、一)
- 初生兒黃疸ニ就イテ
三四四 (昭四、一)
- 初生兒饑餓熱ニ就キテ記セ
三四四 (昭五、一)
- 胎胞ノ脱落スル模様及其ノ時期ヲ問フ
三四五 (昭十二、二)
- 産褥取扱法
三四五 (昭九、一)
- 産褥ニ就キ注意スベキ事項ヲ舉ゲヨ
三四五 (昭九、二)
- 分娩直後及第一日ニ於テ最モ産褥ニ注意スベ
三四五 (昭九、三)

○羊膜水腫ノ徵候並ニ妊娠分娩時ノ處置ヲ問フ

- 羊水過多症ノ原因、症狀、處置 五九三・(昭三、一)
- 羊膜水腫ノ原因診斷處置ヲ記セ 五九〇・五九三・五七五 (昭六、二)
- 羊水過多症ノ原因、症狀及處置ニ就テ 五七〇・五七三・五七五 (昭八、二)

胎兒異常

- 妊娠中胎兒死亡ノ原因及ビ徵候ヲ記セ 五九七・二二三五 (昭四、一)
- 妊娠中胎兒死亡ノ原因及其ノ症狀 五九七・二二三五 (昭五、一)
- 妊娠中ノ胎兒死亡原因及症狀ニ就テ記セ 五九七・二二三五 (昭五、二)

- 流産ノ原因症狀並ニ處置ヲ記セ 五〇五・五〇九・五一一〇 (昭三、二)
- 流産ノ原因、症狀、處置 五〇五・五〇九・五一一〇 (昭六、二)
- 流産ノ原因徵候處置ヲ記セ 五〇五・五〇九・五一一〇 (昭九、一)
- 流産ノ原因徵候並ニ取扱法 五〇五・五〇九・五一一〇 (昭十、一)

母體性器異常

- 妊娠中出血ノ原因及處置ヲ記セ 五〇二・五〇九 (昭二、二)
- 妊娠中出血ノ原因並ニ處置ヲ記セ 五〇二・五〇九 (昭七、一)
- 妊娠中出血ノ原因トソノ處置 五〇二・五〇九 (昭十、二)
- 妊娠腎臟炎ノ症狀及處置ヲ述ベヨ 五〇三・五〇九 (昭二、一)
- 惡阻ノ症狀並ニ處置ヲ記セ 五〇三・五〇九 (昭三、一)
- 妊婦ノ浮腫ニ就テ記セ 五〇三 (昭三、二)

○惡阻ノ症狀並ニ處置ヲ記セ

- 子癇ノ徵候及處置ヲ記セ 五二六・五三九 (昭五、一)
- 惡阻ノ症狀並ニ處置ヲ記セ 五二五・五三七 (昭五、二)
- 妊婦ニ來ル浮腫ニ就テ說明セヨ 五二六・五三九 (昭七、一)
- 妊娠中ニ發スル浮腫ノ種類並ニ其ノ處置ヲ問フ 五二六・五三九 (昭七、二)

- 子癇ノ症狀及其ノ處置ニ就テ記セ 五二五・五三七 (昭三、二)
- 子癇ノ症狀及處置ニ就テ 五二五・五三七 (昭四、一)
- 妊娠ニヨル浮腫ト他ノ疾病ニヨル浮腫トノ間ニハ如何ナル相違アリヤ 五二五 (昭四、二)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 早期破水ノ起ル理由及其ノ分娩ニ及ボス影響 六〇六・六〇七 (昭十、一)
- 早期破水トハ如何其ノ分娩經過ニ及ボス影響ヲ記セ 六〇五・六〇七 (昭十、二)
- 臍帶(臍帶脱出)ノ原因及處置 六〇五・六〇六 (昭二、一)
- 臍帶脱出ノ原因及處置ヲ述ベヨ 六〇五・六〇六 (昭八、二)
- 骨盤端位ノ外診所見並ニ分娩ノ難易ヲ說明セ 六〇九・六二五 (昭三、二)

胎兒異常

○子宮破裂及其ノ處置

六四〇 (昭十、二)

第七集 異常產褥・補足知識

褥婦異常

- 產褥熱ノ豫防トシテ產婆ノ心得ベキ事項並ニ之ヲ診斷上ノ注意點ヲ記セ 七一〇・七三三 (昭二、一)
- 產褥子宮復故不全ノ原因及ビ其ノ處置ヲ記セ 七五五・七五七 (昭四、一)
- 產褥熱ノ症狀及ビ豫防法ヲ記セ 七二六・七三〇 (昭五、一)
- 產褥期ニ於ケル異常出血ニ就テ記セ 七二七 (昭八、二)
- 產褥熱ニ就テ記セ 七二九 (昭九、一)
- 產褥熱ノ症狀及豫防法 七二六・七三〇 (昭十、一)

新産兒異常

- 初生兒メレナ(黒吐病)ノ症狀並ニ處置ヲ記セ 七二九 (昭三、二)
- 驚口瘡ノ症狀豫防法並ニ處置ヲ記セヨ 七二九 (昭三、一)
- 乳兒脚氣ニ就テ記セ 七三〇 (昭四、二)
- 初生兒膿瘻眼ノ原因症狀豫防法 七二九 (昭六、二)
- 初生兒「メレナ」ノ症狀並ニ處置ヲ記セ 七二九 (昭七、一)
- 臍出血ノ原因並ニ處置ヲ記セ 七三四 (昭九、一)
- 頭蓋血腫ノ成因トソレト產瘤トノ鑑別 七二五・七二九 (昭十、二)
- 初生兒「メレナ」ノ症狀並ニ處置 七二九 (昭十、一)
- 初生兒臍出血ニ就テ述ベヨ 七三四 (昭十、二)

- 第一顔面位ノ外診内診上ノ所見並ニ分娩機轉ヲ記セ 六二六・六三九・六三四 (昭五、一)
- 第一骨盤端位ノ外診所見及ビ分娩ノ難易ヲ說明セヨ 六四九・六二五 (昭五、二)
- 顔面位ノ診斷並ニ分娩ヲ遂ゲ能ハザル場合ヲ說明セヨ 六二七・六四〇 (昭七、一)
- 双胎妊娠ノ徵候及診斷ヲ問フ 六四〇・六四〇 (昭二、一)
- 双胎妊娠ノ徵候診斷及分娩時ニ於ケル處置ヲ記セ 六四〇・六四〇 (昭四、二)
- 双胎妊娠ノ徵候、分娩時ニ於ケル處置 六四〇・六四〇 (昭十、二)
- 初生兒假死ノ原因及狀態(徵候)ヲ記セ 六二七・六二九 (昭二、一)
- 初生兒假死ノ原因徵候及處置ヲ記セ 六二七・六二九 (昭二、二)
- 初生兒假死ノ徵候及原因處置 六二七・六二九・六二九 (昭五、二)
- 陣痛微弱ノ原因及處置ヲ記セ 六三〇・六三三 (昭三、一)
- 陣痛微弱ノ分娩ニ及ボス影響 六三〇 (昭十、一)
- 微弱陣痛ノ分娩ニ及ボス影響 六三〇 (昭十、二)
- 狹窄骨盤ヲ想像シ得ベキ場合ヲ說明セヨ 六三九 (昭四、二)
- 胎盤殘留ノ原因及處置ヲ述ベヨ 六四八・六四九・六四五・六四五 (昭九、一)

○初生兒ノ罹リ易キ主ナル疾患ヲ擧ゲヨ
○新産兒膿漏眼ニ就テ

七二三(昭十三、三)
七二四(昭十四、一)

○未熟兒ノ徴候並ニ其ノ看護法ヲ記セ

七二六(昭八、三)

〔二九〕和歌山縣

第一集 豫備知識

- 外骨盤徑線ノ名稱及其ノ距離
- 同 上
- 骨盤誘導線ヲ答ヘヨ
- 婦人小骨盤内ニ存在スル臟器ノ名稱及其ノ一般作用ヲ問フ
- 骨盤誘導線ヲ答ヘヨ
- 骨盤傾斜ヲ簡單ニ答ヘヨ
- 婦人骨盤内ニ存在スル臟器ヲ簡單ニ答ヘヨ
- 眞結合線ヲ簡單ニ答ヘヨ
- 骨盤誘導線
- 骨盤誘導線
- 男女骨盤ノ差異及婦人小骨盤内ニ存在スル臟器ノ名稱
- 小骨盤腔内各徑線ノ名稱並ニ距離ニツイテ記セ
- 小骨盤腔内各徑線ノ名稱ヲ列擧シ其ノ距離ニ

一三六(昭二、一)
一三五(昭三、一)
一三五(昭四、一)
一三五(昭五、一)
一三五(昭六、一)
一三五(昭六、二)
一三五(昭六、三)
一三五(昭八、一)
一三五(昭十、一)
一三八・一三九(昭十一、一)
一三〇(昭七、一)

- 月經ト排卵トノ時間的關係
- 黄体ヲ答ヘヨ
- 月經ノ意義
- グラウフ氏臍胞
- 月經ト排卵トノ關係
- グラウフ氏臍胞(卵胞)ヲ説明セヨ
- 手指ノ消毒法ニ就テ
- 妊娠婦ノ外陰部消毒法ニ就テ
- 同 上
- 陰腔消毒ハ何故完全ニ行ヒガタキヤ
- 分娩時ニ於イテ急救ノ場合ニ産婆トシテ手指消毒ヲ如何ニスルカ
- 外陰部ノ消毒法ニ就テ
- 産婆ノ手指消毒ニ就テ詳記セヨ

一三五(昭十四、一)
一三八(昭五、一)
一三〇(昭六、一)
一三〇(昭七、一)
一三〇(昭八、一)
一三八(昭九、一)
一三〇(昭十一、一)
一三〇(昭十二、一)
一三四(昭二、一)
一三四(昭三、一)
一三四(昭四、一)
一三四(昭六、一)
一三四(昭五、一)
一三四(昭七、一)
一三四(昭七、二)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- ワルトン氏膠様質ヲ答ヘヨ
- 假羊水ヲ答ヘヨ
- 臍帶ノ效用
- 臍帶結節ヲ答ヘヨ
- ワルトン氏膠様質ヲ簡單ニ答ヘヨ
- 羊水ノ效用
- 脫落膜
- 羊水トハ何ゾヤ其ノ效用
- ボタリー氏管ニ就イテ知レル事ヲ記セ
- 胎盤形成前ニ於ケル胎兒ノ栄養ニ就テ記セ
- 胎門ヲ簡單ニ答ヘヨ
- 大胎門ノ閉鎖時期ヲ最モ簡單ニ答ヘヨ
- 品胎ヲ答ヘヨ
- 胎位、胎向ハ妊娠經過中ニ一定不變ノモノナリヤ
- ボタリー氏動脈管ヲ答ヘヨ
- 成熟兒身丈體重肩幅ヲ答ヘヨ
- 矢狀縫合
- 妊娠各月ノ終リニ於ケル胎兒身長概算法
- 妊娠後半期各月ニ於ケル胎兒發育狀態
- ボタロ氏動脈管
- 成熟胎兒ノ身長體重皮膚ニ就キ記セ

一三六(昭四、一)
一三七(昭四、一)
一三五(昭五、一)
一三五(昭五、二)
一三五(昭六、一)
一三六(昭六、一)
一三六(昭七、一)
一三三(昭七、一)
一三三(昭八、一)
一三三(昭八、二)
一三三(昭八、三)
一三三(昭八、四)
一三三(昭八、五)
一三三(昭八、六)
一三三(昭八、七)
一三三(昭八、八)
一三三(昭八、九)
一三三(昭八、十)
一三三(昭八、十一)
一三三(昭八、十二)

- 成熟胎兒ニ就テ記セ
- 胎兒ノ血行ニ就テ記セ
- 妊娠中尿意頻數、利尿困難ヲ來ス理由及其ノ處置ヲ問フ
- 後頭位ニ於ケル胎兒心音ヲ聴取シ得ベキ部位
- 腹部觸診ニヨリテ如何ナルコトヲ知ルヤ
- 腹部聽診ニヨリ如何ナル音ヲ聴取スルヤ
- 兒體各部觸診上ノ特徴ヲ問フ
- 正規妊娠ニ於ケル胎兒心音ノ聴取部位
- ミハエリス氏菱形高ヲ説明セヨ
- 妊娠ニツキ視診及觸診ニテ知リ得ベキ事項ヲ記セ
- ミハエリス氏菱形高ニ就テ簡單ニ説明セヨ
- 妊娠六ヶ月ノ子宮底ノ高サ及子宮體ノ大サヲ簡單ニ答ヘヨ
- 想像妊娠
- ピスカチエツク氏妊娠徴候
- 妊娠ノ半確徴
- 妊娠ノ半確徴
- ハガール氏徴候及ピスカチエツク氏徴候トハ

一三〇(昭十三、一)
一三三(昭十四、一)
一三七(昭五、一)
一三六(昭三、一)
一三六(昭四、一)
一三六(昭四、二)
一三六(昭六、一)
一三六(昭八、一)
一三三(昭十、一)
一三三(昭十一、一)
一三三(昭十二、一)
一三三(昭十二、二)
一三三(昭十二、三)
一三三(昭十二、四)
一三三(昭十二、五)
一三三(昭十二、六)
一三三(昭十二、七)
一三三(昭十二、八)
一三三(昭十二、九)
一三三(昭十二、十)
一三三(昭十二、十一)
一三三(昭十二、十二)

何ゾヤ

三三三・三三七(昭八、一)

○ヘガール氏徴候

三三三(昭九、二)

○妊娠半確徴ヲ説明セヨ

三三九(昭十、一)

○胎児死亡ノ徴候ヲ詳記セヨ

三三五(昭十、一)

○妊娠診断ニ際シ産婆トシテ注意スベキ事項ニツキ詳記セヨ

三三六(昭十、一)

第三集 正常分娩

○早産、流産、晩産ヲ簡單ニ答ヘヨ

三三二(昭六、二)

分娩ノ状態

○卵胞ニツキ簡單ニ記セ

三三九(昭二、一)

○産痛ニツキ簡單ニ説明セヨ

三三九(昭二、一)

○右顛頂骨ハ上、左顛頂骨ハ下ニ疊積セル初生兒アリ、該兒ノ分娩機轉ヲ問フ

三二六(昭二、二)

○子宮口及頸管ノ開大ルス理由

三三〇(昭二、二)

○分娩ノ胎児ニ及ボス影響ヲ問フ

三三三(昭三、一)

○子宮口及頸管ノ開大スル理由

三三〇(昭三、二)

○前羊水ヲ簡單ニ答ヘヨ

三三六(昭四、一)

○分娩時卵膜破裂ノ原因及破裂ノ最良時期ヲ問フ

三四八・三四九(昭四、一)

○排膿ヲ簡單ニ答ヘヨ

三三六(昭四、一)

○初産婦ノ分娩持続時間

三三七(昭四、二)

○排膿、撥露

三三六(昭九、一)

○分娩時ニ起ル胎児ノ變化ニ就キテ記セ

三三三(昭五、二)

○陣痛發作ト胎児心音トノ關係

三三九(昭六、二)

○産道ヲ簡單ニ答ヘヨ

三三六(昭七、一)

○前陣痛

三三三(昭七、二)

○卵胞ハ如何ニシテ形成セラルルヤ及其ノ效用ヲ問フ

三四二・三四三(昭七、二)

○後頭位分娩ノ容易ナル理由

三三二(昭七、二)

○分娩ノ胎児ニ及ボス影響

三三三(昭八、一)

○分娩持続時間

三三七(昭八、二)

○前羊水

三四六(昭八、二)

○胎盤剝離ノ徴候

三三三(昭九、二)

○努責

三三三(昭十、一)

○前陣痛

三三六(昭十、二)

○戦慄陣痛ヲ説明セヨ

三四八・三四九(昭十、一)

○分娩時卵膜破裂ヲ起ス原因、及ビ破裂ノ最良時期

三四八・三四九(昭十、二)

○收縮輪ヲ説明セヨ

三三〇(昭十、二)

○卵胞(胎胞)トハ何ゾヤ

三三三(昭十、二)

○收縮輪(環)ヲ説明セヨ

三三三(昭十、二)

○前羊水ヲ説明セヨ

三四六(昭十、二)

○子宮口全開大ヲ知り得ル徴候

三四六(昭十、二)

○分娩持続時間ヲ説明セヨ

三三七(昭十、二)

○分娩遅延ヲ來タス原因及ビ處置ニ就テ記セ

三四七・三四八(昭七、一)

○分娩第一期トハ如何ナル時期ナリヤ此ノ期ニ於テ注意スベキ事項並ニ處置

三四六・三四八(昭七、二)

○分娩開始ノ徴候ニ就キ詳記セヨ

三四三(昭七、二)

○收縮輪ニ就キ簡單ニ記セ

三四三(昭七、二)

○前羊水ニ就キ簡單ニ記セ

三四六(昭七、二)

○分娩持続時間ニ就キ簡單ニ説明セヨ

三四三・三四七(昭七、二)

○後頭位ニ於ケル胎児心音ヲ聴取シ得ベキ部位

三四〇・三四一(昭七、二)

○内診ヲ行フ場合ヲ記シ且之レニヨリテ知り得ル事項ヲ擧ゲヨ

三四六(昭十、一)

分娩取扱法

○分娩取扱上注意スベキ事項

三四五(昭二、二)

○同 上

三四五(昭三、二)

○胎児娩出後ニ於ケル胎盤剝離ノ徴候及處置ヲ記セ

三四二・三四三(昭五、一)

○會陰保護ニ際シ仰臥位ト側臥位トノ優劣ヲ答ヘヨ

三四六(昭六、一)

○クリステレル氏壓出法ニ就テ説明セヨ

三四六(昭六、一)

○分娩第二期ニ於ケル産婆ノ要務如何

三四一(昭六、二)

○會陰保護ノ目的及其時期

三四三・三四四(昭七、一)

○クレイデ氏點眼

三四八(昭八、二)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

○産褥ノ期間ヲ簡單ニ記セ

三四二(昭十一、一)

○次ノ三問ヲ簡單ニ答ヘヨ

三四二(昭十一、一)

(一)分娩後子宮底ガ一時上昇スル理由

三四二(昭十一、一)

(二)分娩後子宮底ガ臍ト恥骨聯合トノ中間ニアルハ産褥何日目ナリヤ

三四二(昭十一、一)

(三)分娩後子宮底ガ腹壁上ヨリ觸知シ得ザルハ産褥何日目以後ナリヤ

三四二(昭十一、一)

○同 上

三四二(昭十一、一)

○後陣痛トハ如何且強ク起ル場合ヲ擧ゲヨ

三四二(昭十一、一)

○産褥時ニ於ケル生殖器ノ復舊ニ就テ記セ

三四二(昭十一、一)

○分娩後子宮底ガ一時上昇スル理由如何

三四二(昭十一、一)

○惡露排泄ノ經過ヲ記セ

三四二(昭十一、一)

○褥婦ノ乳汁分泌作用ニ就テ知ル所ヲ詳記セヨ

三四二(昭十一、一)

○産褥子宮ノ復舊機轉

三四二(昭十一、一)

○後陣痛ノ發スル理由並ニ性質ニ就テ

三四二(昭十一、一)

○産褥子宮ノ復舊ニ就テ

三四二(昭十一、一)

○正規産褥ニ於ケル惡露ニ就テ

三四二(昭十一、一)

○惡露排泄ノ經過及其ノ良性ナルト悪性ナルトノ鑑別

三四二(昭十一、一)

- ◎分娩後子宮底ノ外診ニヨリ觸知シ得ザルニ至ル時期
昭三(昭十、一)
- ◎分娩後一時子宮底ノ上昇スル理由
昭三(昭十、一)
- ◎産褥子宮ノ復舊ニ就テ記セ
昭一(昭十、三)
- ◎惡露ノ性状並ニ其ノ経過ニ就キ記セ
昭三(昭十、一)
- ◎正規産褥ニ於ケル惡露ニ就テ詳記セヨ
昭三(昭十、三)
- ◎正規産褥ニ於ケル子宮ノ復舊狀況ニ就テ詳記セヨ
昭一(昭十、一)

◎初乳ト常乳トノ區別

- ◎産褥初期ニ於ケル褥婦ノ體温、脈搏、便通、尿利ニ就テ記セヨ
昭五(昭五、一)
- ◎産褥初期ニ於ケル褥婦ノ體温脈搏便通及尿利ニ就テ
昭八(昭八、一)

◎産褥初期ニ於ケル褥婦ノ體温脈搏便通及尿利ニ就テ

- ◎産褥初期ニ於ケル褥婦ノ體温脈搏便通及尿利ニ就テ
昭八(昭八、一)

◎初生兒トハ分娩後何日間ナリヤ且初生兒ニ特ニ起ル主ナル生理的現象ヲ列舉セヨ

- ◎初生兒トハ分娩後何日間ナリヤ、且初生兒ニ特ニ起ル主ナル生理的現象ヲ列舉セヨ
昭二(昭二、一)
- ◎初生兒トハ分娩後何日間ナリヤ、且初生兒ニ特ニ起ル主ナル生理的現象ヲ列舉セヨ
昭三(昭三、一)

◎初生兒ニ特ニ起ル主ナル生理的現象

- ◎初生兒ニ特ニ起ル主ナル生理的現象
昭三(昭三、一)
- ◎臍帶脱落スル経過ヲ説明シ其ノ前後ニ於ケル
昭五(昭五、一)

處置ヲ記セ

- ◎初生兒ノ體重ノ變化スル有様ヲ述ベヨ
昭五(昭五、一)
- ◎初生兒餓餓熱ニ答ヘヨ
昭六(昭六、一)
- ◎産褥ニ答ヘヨ
昭六(昭六、一)
- ◎初生兒ノ糞便ニ就テ
昭七(昭七、一)
- ◎生後第四日ニ於ケル初生兒ノ狀態
昭七(昭七、一)
- ◎初生兒ニ特ニ起ル主ナル生理的現象
昭八(昭八、一)
- ◎初生兒黃疸
昭八(昭八、一)
- ◎臍帶ノ脱落
昭八(昭八、一)
- ◎大腸門ノ閉鎖ノ時期
昭八(昭八、一)
- ◎臍帶脱落ノ経過ヲ説明セヨ
昭八(昭八、一)
- ◎新産兒ニ起ル主ナル生理的現象ニ就テ記セ
昭八(昭八、一)

産褥取扱法

- ◎産褥入浴ノ時期
昭二(昭二、一)
- ◎産褥褥婦ノ消毒法
昭三(昭三、一)
- ◎褥婦ニ起ル尿閉ノ原因ヲ列舉シ之ニ對スル處置ヲ述ベヨ
昭四(昭四、一)
- ◎褥婦ノ局部消毒法ニ就テ
昭四(昭四、一)
- ◎褥婦ニ全身浴ヲ許ス時期ヲ最モ簡單ニ答ヘヨ
昭四(昭四、一)
- ◎褥婦ノ取扱上最モ注意スベキ事項ヲ記セ
昭四(昭四、一)
- ◎褥婦ノ早期離床ノ利害ニ就テ論セヨ
昭六(昭六、一)
- ◎産褥経過良否ノ判定ニ資スベキ主ナル事項如何
昭六(昭六、一)
- ◎分娩第一日ニ於ケル褥婦ニ就テ注意スベキ事項
昭七(昭七、一)

- ◎褥婦ノ排尿障礙ニ就テ
昭八(昭八、一)
- ◎褥婦ノ飲食物及衣服ニ就テ
昭九(昭九、一)
- ◎褥婦ノ離床及入浴ノ時期ヲ説明セヨ
昭十(昭十、一)
- ◎褥婦第一週ニ於ケル處置並ニ看護上ノ注意
昭十(昭十、一)
- ◎褥婦ノ尿閉ノ原因及其ノ處置
昭十(昭十、一)
- ◎産褥ニ於ケル乳房ノ處置ニ就キ記セ
昭十(昭十、一)

◎分娩後授乳ヲ開始スベキ時期

- ◎分娩後授乳ヲ開始スベキ時期
昭十一(昭十一、一)
- ◎初生兒ニ與フル牛乳ノ稀釋法ヲ問フ
昭十一(昭十一、一)
- ◎初生兒ノ啼泣ニヨリテ如何ナル事ヲ注意スベキカ
昭十一(昭十一、一)

◎分娩後授乳ヲ開始スベキ時期ヲ最モ簡單ニ答ヘヨ

- ◎分娩後授乳ヲ開始スベキ時期ヲ最モ簡單ニ答ヘヨ
昭四(昭四、一)

◎母乳養育ノ必要ナル理由如何

- ◎母乳養育ノ必要ナル理由如何
昭五(昭五、一)
- ◎牛乳ト人乳トノ差異如何
昭六(昭六、一)

◎如何ナル母體疾患ハ授乳ヲ禁ズベキヤ並ニ新生兒ニ及ボス影響ヲ述ベヨ

- ◎如何ナル母體疾患ハ授乳ヲ禁ズベキヤ並ニ新生兒ニ及ボス影響ヲ述ベヨ
昭六(昭六、一)
- ◎離乳ノ時期及ビ方法如何
昭六(昭六、一)
- ◎離乳ノ時期及其ノ方法
昭七(昭七、一)

◎母乳量ガ其ノ乳兒ヲ營養スルニ足ルヤ否ヤヲ知ル方法

- ◎母乳量ガ其ノ乳兒ヲ營養スルニ足ルヤ否ヤヲ知ル方法
昭七(昭七、一)
- ◎授乳ニ就テ
昭七(昭七、一)

- ◎授乳ノ褥婦ニ及ボス影響
昭七(昭七、一)
- ◎母乳養育ノ必要ナル理由
昭八(昭八、一)
- ◎初乳ノ性状及效用
昭八(昭八、一)
- ◎牛乳ノ稀釋法
昭八(昭八、一)
- ◎褥婦腸チフスニ罹リタル時ノ授乳ノ可否及其ノ理由
昭九(昭九、一)
- ◎初乳ヲ與フルノ利害及初乳ト常乳トノ區別
昭九(昭九、一)

◎授乳ノ褥婦ニ及ボス影響

- ◎授乳ノ褥婦ニ及ボス影響
昭十(昭十、一)
- ◎母乳選擇ノ標準
昭十(昭十、一)
- ◎離乳ノ方法及時期
昭十(昭十、一)
- ◎生後五ヶ月間ノ人工養育法ヲ詳記セヨ
昭十(昭十、一)

◎離乳ノ方法及時期

- ◎離乳ノ方法及時期
昭十(昭十、一)

◎離乳ノ時期及方法

- ◎離乳ノ時期及方法
昭十(昭十、一)
- ◎授乳ノ褥婦ニ及ボス影響並ニ授乳ニ就テノ注意ヲ記セ
昭十(昭十、一)
- ◎新産兒ノ自然營養法ニ於ケル哺乳開始及哺乳法ニ就キ記セ
昭十(昭十、一)
- ◎新産兒ニ於テ人工營養ヲ爲ス場合ノ注意事項ヲ記セ
昭十(昭十、一)
- ◎乳母選擇ニ就テ注意スベキ事項ヲ詳記セヨ
昭十(昭十、一)

◎授乳ノ褥婦ニ及ボス影響並ニ授乳ニ就テノ注意ヲ記セ

- ◎授乳ノ褥婦ニ及ボス影響並ニ授乳ニ就テノ注意ヲ記セ
昭十(昭十、一)

◎新産兒ノ自然營養法ニ於ケル哺乳開始及哺乳法ニ就キ記セ

- ◎新産兒ノ自然營養法ニ於ケル哺乳開始及哺乳法ニ就キ記セ
昭十(昭十、一)

◎新産兒ニ於テ人工營養ヲ爲ス場合ノ注意事項ヲ記セ

- ◎新産兒ニ於テ人工營養ヲ爲ス場合ノ注意事項ヲ記セ
昭十(昭十、一)
- ◎乳母選擇ニ就テ注意スベキ事項ヲ詳記セヨ
昭十(昭十、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 葡萄狀鬼胎ノ症状並ニ其ノ取扱法 五ノ二・五ノ三(昭七、一)
- 葡萄狀鬼胎ハ何故危険ナル疾病ナリヤ 五ノ五(昭九、二)
- 前置胎盤ノ産褥熱ヲ起シ易キ理由ヲ問フ 五ノ四二(昭五、一)
- 正常位置ノ胎盤早期剝離ニツキキ原因、診斷、分娩障礙ヲ詳記セヨ 五ノ五三・五ノ五五・五ノ五九(昭六、一)
- 前置胎盤ト正常胎盤早期剝離トノ臨床的鑑別如何 五ノ五六(昭九、二)
- 前置胎盤ト胎盤早期剝離トノ鑑別及其ノ處置ヲ記セ 五ノ五四・五ノ五三・五ノ五八(昭三、一)

胎兒異常

- 妊娠中胎兒死亡ノ原因 五ノ九七(昭八、一)
- 胎兒死亡ノ徴候及其ノ胎兒ノ運命ニ就テ 五ノ三五・五ノ九九(昭八、二)
- 常習性妊娠中絶トハ如何、且其ノ原因ヲ問フ 五ノ一〇〇(昭三、一)
- 常習性妊娠中絶トハ如何、且ツ其ノ原因ヲ問フ 五ノ一〇〇(昭三、一)
- 常習性流産、早産ニ就テ知ル處ヲ記セ 五ノ一〇〇(昭五、一)
- 常習性妊娠中絶トハ如何及其ノ原因 五ノ一〇〇(昭八、一)

- 輸卵管妊娠中絶ノ原因徴候及胎兒ノ運命ニ就テ述ベヨ 五ノ一〇〇・五ノ一〇二・五ノ一〇四(昭六、二)
- 子宮外妊娠ノ種類及其ノ經過 五ノ一〇六・五ノ一〇三(昭八、一)
- 子宮外妊娠ノ徴候及其ノ取扱法 五ノ一〇二・五ノ一〇四(昭三、一)

母體性器異常

- 懸垂腹ノ原因及障礙ヲ記セ 五ノ一〇六・五ノ一〇九(昭五、二)
- 後屈妊娠子宮ノ運命ニ就テ記セ 五ノ一〇〇(昭七、二)
- 懸垂腹ノ原因症状及ビ處置ヲ記セ 五ノ一〇六(昭七、二)
- 後屈妊娠子宮ノ運命 五ノ一〇〇(昭十、一)
- 子宮後屈症ハ妊娠中母體ニ如何ナル障礙ヲ與フルヤ 五ノ一〇三(昭十、二)
- 妊娠中尿意頻數利尿困難ヲ來ス理由及其ノ取扱法 五ノ一〇二(昭十、二)

微毒ト妊娠トノ關係

- 微毒ト妊娠トノ關係 五ノ一〇三(昭七、二)
- 微毒ト妊娠トノ關係 五ノ一〇三(昭九、二)
- 妊娠中ノ微毒ハ何故注意ヲ要スルヤ 五ノ一〇三(昭十、一)
- 子宮筋腫ハ妊娠中母體ニ如何ナル障礙ヲ與ルヤ 五ノ一〇四(昭十、二)
- 微毒ト妊娠トノ關係如何 五ノ一〇三(昭十、二)
- 妊娠時ニ於ケル子宮出血ノ原因ヲ列舉セヨ 五ノ一〇八(昭四、一)
- 妊娠時ニ於ケル子宮出血ノ原因ヲ列舉セヨ 五ノ一〇八(昭六、一)
- 妊娠前半期ニ於テ子宮出血ヲ主訴トスル産科 五ノ一〇八(昭六、一)

異常三ツヲ舉ゲ且ツ其ノ鑑別診斷ヲ問フ

母體全身異常

- 妊娠中ニ發スル浮腫ノ原因及處置 五ノ二二・五ノ二九(昭二、一)
- 子癩ニ罹リ易キ素因症状産案トシテノ處置ヲ問フ 五ノ二五・五ノ三三・五ノ三七(昭四、一)
- 生理的妊娠嘔吐ト惡阻トノ區別並ニ重症惡阻ノ症状ヲ列舉セヨ 五ノ三三・五ノ三六(昭四、一)
- 妊娠中ニ起ル浮腫ニ就テ記セ 五ノ二二(昭五、二)
- 妊娠腎ノ妊娠及分娩ニ及ボス障礙ヲ記セ 五ノ二七(昭六、一)
- 惡阻ニ對スル處置ヲ記セ 五ノ三九(昭六、二)
- 妊娠性浮腫 五ノ二八(昭七、一)
- 惡阻ノ處置 五ノ三九(昭七、二)
- 生理的妊娠嘔吐及惡阻ニ就テ 五ノ三三・五ノ三三・五ノ三三(昭八、一)
- 子癩ノ原因及其ノ處置 五ノ二五・五ノ二五(昭八、一)
- 妊娠中起リ易キ母體ノ疾病ニ就テ 五ノ三三(昭八、二)
- 子癩ノ前驅症状ヲ列舉セヨ 五ノ二五(昭八、二)
- 惡阻ノ處置ヲ記セ 五ノ三九(昭八、二)
- 妊娠中注意スベキ主ナル母體ノ疾患三種ヲ舉ゲ妊娠トノ關係ヲ説明セヨ 五ノ三五(昭十、一)
- 妊婦ノ浮腫ニ就キ詳記セヨ 五ノ二二(昭十、二)
- 惡阻ノ症状ト其ノ原因ヲ記セ 五ノ二六・五ノ三五(昭十、一)
- 妊婦ニ於ケル浮腫ノ原因ヲ列舉シ其ノ處置ヲ記セ 五ノ二六・五ノ二六(昭十、二)

五ノ三三(昭八、二)

○妊娠中注意スベキ主ナル母體ノ疾患三種ヲ舉

- 腎臓炎ト妊娠トノ關係如何 五ノ三五・五ノ三六(昭三、一)
- 流行性感胃ト妊娠分産ト如何ナル關係アリヤ 五ノ三七(昭十、一)
- 肺結核ト妊娠分産ト如何ナル關係アリヤ 五ノ三三(昭三、一)
- 妊娠ト肺結核トノ相互關係ニ就テ述ベヨ 五ノ三五(昭六、二)
- 肺結核ト妊娠トノ關係 五ノ三五(昭十、一)
- 妊娠中ノ脚氣ハ何故注意ヲ要スルヤ 五ノ三〇(昭十、一)
- 妊娠中便秘無尿ヲ來ス異常ヲ舉ゲ其ノ處置ヲ問フ 五ノ二〇(昭十、二)
- 妊娠中ノ下痢ハ何故注意ヲ要スルヤ 五ノ二六(昭十、一)
- 妊娠中ノ急性蟲樣突起炎ハ何故注意ヲ要スルヤ 五ノ三三(昭十、一)
- 妊娠中ノ貧血ハ何故注意ヲ要スルヤ 五ノ三五(昭十、二)
- 肺結核ト妊娠トノ關係如何 五ノ三五(昭十、二)

第六集 異常分娩

- 分娩遲延ヲ來ス原因ヲ列舉シ其ノ處置ニ就テ記セ 六ノ七・六ノ三四・六ノ三五・六ノ三六・六ノ四四(昭十、一)
- 人工破水法ノ適應及ビ術式ヲ記セ 六ノ三六(昭二、二)
- 延滞破水ノ場合ニ起ル障礙ヲ列舉セヨ 六ノ三四(昭三、一)

胎兒附屬物異常

- 人工破水法ノ適應及ビ術式ヲ記セ 六三六(昭三、二)
- 早期破水ニヨリテ起ル障礙並ニ處置ヲ問フ 六二七・六二九(昭四、一)
- 臍帶脱出ノ母兒ニ及ボス障礙如何 六四四(昭五、二)
- 臍帶結節 六四四(昭十、一)
- 胎兒異常
 - 過熟胎兒ノ分娩ニ及ボス主要ナル障礙ヲ述ベヨ 六八八(昭六、一)
 - 晚産ノ定義原因合併症處置 六八八・六八三・六八四(昭十、一)
 - 骨盤端位ノ分娩ニ際シテ産婆ノ注意スベキ事項ヲ記セ 六二七(昭二、一)
 - 骨盤端位分娩ノ各種類ニ就キテ其ノ豫後ヲ比較セヨ 六二四(昭五、一)
 - 分娩時各胎位ニ於ケル胎兒先進部ヲ擧ゲヨ 六八六(昭九、二)
 - 内診上口腔ト肛門トノ鑑別ヲ答ヘヨ 六三三(昭六、一)
 - 骨盤端位分娩第二期ニ於ケル取扱法ヲ詳記セヨ 六一九(昭六、一)
 - 頭位ニ於テ上肢脱出ヲ來スベキ原因及ビ其ノ處置ニ就テ記セ 六二六(昭七、一)
 - 後頭位前頭位及ビ額面位各分娩ニ於ケル第三廻轉ニ於テ恥骨縫合下ニ支定サル、兒ノ部分ノ名稱ヲ答ヘヨ 六九二(昭八、二)
 - 第二後頭位・第二前頭位及ビ第二額面位各分娩ニ於ケル先進部・産瘤ノ生ズル部位・矢狀縫合又ハ額面線ガ第二廻轉ニ於テ通過スル骨盤斜線ノ名稱ヲ答ヘヨ 六九二・三六三・六九八(昭八、二)
 - 後方後頭位ニ就テ知レル所ヲ記セ 六四〇(昭十一、一)
 - 足位トハ何カソノ最モ起リ易キ場合ヲ擧ゲテ説明セヨ 六一五・六一七(昭十、二)
- 双胎ノ確徴 六一五(昭五、二)
- 双胎分娩ニ對シ取扱上注意スベキ事項ヲ詳記セヨ 六一〇(昭五、一)
- 一卵性双胎ヲ答ヘヨ 六一〇・六一〇(昭六、一)
- 胎兒數ノ診斷 六一〇(昭七、一)
- 双胎分娩ノ經過及其ノ取扱法 六一〇・六一〇(昭八、二)
- 双胎妊娠ノ鑑別診斷ニ就テ記セ 六一〇(昭十一、一)
- 分娩時胎兒窒息ノ原因 六一〇・六一〇(昭六、二)
- 子宮内窒息ノ原因徴候處置ニ就テ述ベヨ 六一〇・六一〇(昭六、二)
- 第一度假死及第二度假死ニ就キ知レル所ヲ記セ 六一〇・六一〇(昭三、一)

母體異常

- 原發性陣痛微弱ノ原因ヲ擧ゲヨ 六三六(昭六、二)
- 過激陣痛ノ原因ヲ擧ゲヨ 六三六(昭六、二)
- 痙攣性陣痛ニ依ル分娩障礙並ニ其取扱方法ヲ記セ 六三六(昭六、二)

- 過激陣痛ノ原因及其ノ處置 六三五・六三八(昭七、一)
- 痙攣性陣痛並ニ過激陣痛ノ母兒ニ及ボス影響如何 六三四・六三六(昭八、一)
- 腹壓不全ノ原因及處置 六三八・六三七(昭八、二)
- 強刺陣痛(過強又ハ過劇陣痛)ノ原因並ニ處置ニ就テ記セ 六三四・六三六(昭十一、一)
- 陣痛微弱ヲ説明セヨ 六三〇(昭十一、一)
- 過強陣痛ヲ説明セヨ 六三三(昭十一、一)
- 痙攣陣痛ヲ説明セヨ 六三三(昭十一、一)
- 一般平等狹窄骨盤及扁平骨盤ノ分娩機轉ニ於ケル特有ナル點ニ就イテ述ベヨ 六三五・六三六(昭四、一)
- ワルヘル氏懸垂位ニ就テ説明セヨ 六三三(昭六、一)
- 軟部産道異常ト分娩トノ關係ニ就テ述ベヨ 六三〇(昭六、二)
- 骨盤内臓器異常ニシテ分娩時障礙トナルベキ主ナルモノニ就テ知ル處ヲ説明セヨ 六三九(昭六、一)
- 軟部産道狹窄ノ原因及其ノ分娩ニ及ボス影響ヲ記セ 六三九・六三〇(昭七、二)
- 分娩直後ニ來ル異常出血ノ原因及徴候ヲ詳記セヨ 六四二・六四七(昭十一、一)
- 子宮内膿症ノ症状及産褥時ニ於ケル異常出血ノ種類並ニ其ノ處置ヲ問フ 六四六・六四九(昭五、一)

- 弛緩性出血ノ診斷並ニ其ノ處置 六四五・六四五(昭七、一)
- 後産期ニ於ケル子宮出血ノ種類ト其ノ處置 六四五・六四五(昭九、二)
- 弛緩性出血ノ原因並ニ其處置 六四五・六四五(昭十一、一)
- 分娩第三期ニ於ケル異常出血ノ原因及其ノ處置ニ就テ記セ 六四五・六四五(昭十一、一)
- 弛緩性出血ノ原因ヲ列擧シ其ノ處置ニ就テ記セ 六四五・六四五(昭十一、一)

第七集 異常産褥・補足知識

- 産褥時ニ來ル主ナル疾病ヲ擧ゲ其ノ原因及處置ヲ記セ 六四二(昭十一、一)
- 産褥ノ異常ナル經過トナルベキ主ナル病名ト其ノ原因ヲ問フ 六四二(昭三、一)
- 産褥時ニ來ル主ナル疾病ヲ擧ゲ其ノ原因及處置ヲ記セ 六四二(昭三、一)
- 産褥性膀胱炎ニ就テ知ル處ヲ記セ 六四二(昭四、一)
- 産褥性膀胱炎ノ原因及處置ヲ記セ 六四二(昭五、一)
- 褥瘡ノ發熱ニ就キテ知レル所ヲ記セ 六四二(昭五、一)
- 妊娠腎炎ノ症状及産褥時ニ於ケル泌尿生殖器疾患ノ種類原因並ニ其ノ處置法ヲ問フ 六四二・六四二(昭五、一)

- ◎乳汁分泌異常ニ就テ
七二六(昭八、二)
- ◎乳汁分泌異常及其ノ處置
七二六(昭八、二)
- ◎妊婦産婦梅毒ノ排尿障碍ト其ノ處置
二二七・六三九・七二五(昭九、二)
- ◎乳汁分泌異常及其ノ處置ニツイテ記セ
七二六(昭八、二)
- ◎産褥熱ノ徴候ヲ列記セヨ
七二六(昭八、二)
- ◎後陣痛ノ處置ヲ問フ
七二六(昭八、二)
- ◎初生兒羸弱病ニ就テ知ル處ヲ記セ
七二七(昭九、二)
- ◎初生兒ノ發熱ヲ來ス主ナル原因ヲ記セ
七二七(昭九、二)
- ◎産褥時ニ於ケル初生兒疾患ノ種類ヲ問フ
七二七(昭九、二)
- ◎先天性梅毒兒ノ榮養法ニ就テ記セ
七二八(昭九、二)
- ◎産褥ト血腫トノ區別及産褥ノ診斷上ノ價値ヲ問フ
七二八(昭九、二)
- ◎初生兒ニ最モ危険ナル眼疾ノ病名原因及其ノ處置
七二八(昭九、二)
- ◎驚口瘡ノ原因症候及其ノ處置
七二八(昭九、二)
- ◎産褥ト血腫トノ鑑別
七二八(昭九、二)
- ◎乳兒脚氣ニ就テ
七二八(昭九、二)
- ◎梅毒毒ニ罹レル時初生兒ニ母乳ヲ與フルノ可否ニ就テ
七二八(昭九、二)
- ◎梅毒脚氣ニ罹レル時初生兒ニ母乳ヲ與フルノ可否ニ就テ
七二八(昭九、二)
- ◎梅毒腸チフスニ罹レル時初生兒ニ母乳ヲ與フルノ可否ニ就テ
七二八(昭九、二)
- ◎梅毒腎臓炎ニ罹リタル時ノ授乳ノ可否及其ノ理由
七二八(昭九、二)
- ◎淋疾ノ梅毒及初生兒ニ及ボス影響
七二八(昭九、二)
- ◎梅毒毒ニ罹リタル時ノ授乳ノ可否及其ノ理由
七二八(昭九、二)
- ◎初生兒「メレナ」
七二八(昭九、二)
- ◎産褥脚氣ニ罹リタル時ノ授乳ノ可否及其ノ理由
七二八(昭九、二)
- ◎産褥ト血腫トノ區別
七二八(昭九、二)
- ◎乳兒脚氣
七二八(昭九、二)
- ◎血腫ヲ説明セヨ
七二八(昭九、二)
- ◎初生兒丹毒ノ原因並ニ症狀ヲ記セ
七二八(昭九、二)
- ◎新産兒丹毒ノ原因並ニ症狀ヲ記セ
七二八(昭九、二)
- ◎新産兒「メレナ」ニ就テ詳記セヨ
七二八(昭九、二)
- ◎母體ノ疾病ニヨリ起ル新産兒ノ疾病ニ種ヲ舉ゲ簡單ニ説明セヨ
七二八(昭九、二)
- ◎新産兒ニ最モ危険ナル眼疾ノ病名ヲ舉ゲ其ノ原因並ニ處置ニツキ詳記セヨ
七二八(昭九、二)
- ◎新産兒臍部ノ疾患ニ就テ記セ
七二八(昭九、二)
- ◎母體ノ疾病ニ因リ起ル新産兒ノ疾病ヲ舉ゲ簡單ニ説明セヨ
七二八(昭九、二)
- ◎新産兒丹毒ニ就テ詳記セヨ
七二八(昭九、二)
- ◎血腫ニ就キ簡單ニ記セ
七二八(昭九、二)

〔三〇〕大阪府

第一集 豫備知識

- ◎産婆ノ任務如何
一七一(昭五、一)
- ◎産婆ノ任務ヲ問フ
一七一(昭五、一)
- ◎骨盤入口及出口ノ徑線ニ就イテ記セ
一四三・一四四(昭五、一)
- ◎正規分娩ヲ遂ゲ得ベキ骨盤ノ大サヲ問フ
一四三・一四七(昭八、一)
- ◎骨盤ノ構造並ニ男女骨盤ノ差違ニ就テ
一四三・一四七(昭八、一)
- ◎正規分娩ヲ遂ゲ得ル骨盤ノ大サヲ記セ
一四三・一四七(昭九、一)
- ◎男女骨盤ノ差異ト骨盤ノ各外經線ノ長サヲ問フ
一四三・一四七(昭十、一)
- ◎骨盤外測定ニヨリ次ノ如キ數値ヲ得タリトス
レバ正常ナリヤ否ヤ並ニ推定スベキ意義如何
一四三・一四七(昭十、一)
- ◎骨盤ノ種類、骨間徑二六種、大轉子間徑二八種、外斜徑二〇種、外結合線一六種、骨盤周圍
七五種
一四三(昭十、一)
- ◎早産兒ノ榮養法及看護ニ就テ記セ
七二九(昭七、一)
- ◎早産兒ノ看護法
七二九(昭七、一)
- ◎骨盤ニ於テ産科學上内診ニ必要ナル部位ノ名稱ヲ舉ゲテ其ノ必要ナル理由ヲ説明セヨ
一四三(昭十、一)
- ◎妊娠及排卵作用ノ定義ヲ記セ
一四三(昭十、一)
- ◎グラウフ氏臍胞ニ就キ知ル處ヲ記セ
一四三(昭十、一)
- ◎消毒藥ノ種類及其稀釋法ヲ記セ
一四三(昭十、一)
- ◎微菌トハ如何其ノ主ナルモノノ種類ヲ舉ゲヨ
一四三(昭十、一)
- ◎産科ニ於イテ消毒ノ必要ナル理由ヲ簡單ニ記セ
一四三(昭十、一)
- ◎妊娠ノ定義ヲ記セ
一四三(昭十、一)
- ◎羊水ノ性状、分量及效用如何
一四三(昭十、一)
- ◎羊水ハ母兒ニ向ツテ如何ナル利益ヲ與フルカ
一四三(昭十、一)
- ◎分娩初期(第一期)陣痛發スルニ拘ラズ胎盤ノ剝離セザル理由如何
一四三(昭十、一)
- ◎絨毛膜ニ就テ知ル所ヲ記セ
一四三(昭十、一)
- ◎陣痛發スルニ關ハラズ胎盤ノ分娩第一期又
一四三(昭十、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- ◎早産兒ノ看護法
七二九(昭七、一)
- ◎早産兒ノ榮養法及看護法
七二九(昭七、一)
- ◎早産兒ノ榮養法及看護法ニ就テ記セ
七二九(昭七、一)
- ◎骨盤ニ於テ産科學上内診ニ必要ナル部位ノ名稱ヲ舉ゲテ其ノ必要ナル理由ヲ説明セヨ
一四三(昭十、一)
- ◎妊娠及排卵作用ノ定義ヲ記セ
一四三(昭十、一)
- ◎グラウフ氏臍胞ニ就キ知ル處ヲ記セ
一四三(昭十、一)
- ◎消毒藥ノ種類及其稀釋法ヲ記セ
一四三(昭十、一)
- ◎微菌トハ如何其ノ主ナルモノノ種類ヲ舉ゲヨ
一四三(昭十、一)
- ◎産科ニ於イテ消毒ノ必要ナル理由ヲ簡單ニ記セ
一四三(昭十、一)
- ◎妊娠ノ定義ヲ記セ
一四三(昭十、一)
- ◎羊水ノ性状、分量及效用如何
一四三(昭十、一)
- ◎羊水ハ母兒ニ向ツテ如何ナル利益ヲ與フルカ
一四三(昭十、一)
- ◎分娩初期(第一期)陣痛發スルニ拘ラズ胎盤ノ剝離セザル理由如何
一四三(昭十、一)
- ◎絨毛膜ニ就テ知ル所ヲ記セ
一四三(昭十、一)
- ◎陣痛發スルニ關ハラズ胎盤ノ分娩第一期又
一四三(昭十、一)

- ハ第二期ニ判離セザル理由如何
- 假羊水ヲ説明セヨ
- 假羊水ヲ説明セヨ
- 未熟兒ト成熟兒トノ異ナル徵候ヲ列記セヨ
- 胎兒ノ頭蓋ヲ構成スル骨ノ名稱並ニ大小内門ノ區別ヲ舉ゲヨ
- 胎盤完成迄ノ卵ノ榮養ヲ説明セヨ
- 胎位、胎向、胎勢ヲ説明セヨ
- 胎兒ト新産兒トノ其ノ生活機能ニ於テ如何ナル差異アリヤ
- 成人ノ血行ト胎兒ノ所謂胎盤血行トノ異ル點ヲ記セ
- 妊娠七ヶ月以後ニ於ケル各月ノ胎兒發育狀態ヲ記セ
- 子宮壁ノ構造ト其ノ妊娠變化トヲ述ベヨ
- 子宮壁ノ構造及其ノ妊娠變化
- 浮腫ヲ説明セヨ

妊婦ノ診察

- 對角結合線トハ何ゾヤ及ビ其測定法
- 胎兒心音ニ就テ記セヨ
- 妊婦ヲ診察スル時ニ如何ナル點ヲ調査シマスカ
- 小骨盤ノ廣狹ハ如何ニシテ知ルカ其方法ヲ述ベヨ
- 對角結合線ノ大小ハ如何ナル事ヲ意味スルヤ且ツ之ヲ測定スル方法ヲ問フ
- 胎兒心音ニヨツテ如何ナルコトヲ知り得ルヤ
- 眞結合線ヲ内外診ニテ知ル法ヲ述ベヨ
- 妊娠中並ニ分娩時ニ於ケル胎兒心音ノ變化ニ就イテ記述セヨ
- 妊婦ヲ診察シテ如何ナル事項ヲ知ルヤ
- 生體ニ於ケル第五腰椎棘狀突起ハ如何ニシテ見出スヤ
- 妊婦ニ於ケル外検査ノ方法及其ノ所見ヲ述ベヨ
- 妊婦ニ於ケル外検査ノ方法及其ノ所見ヲ述ベヨ
- 妊娠八ヶ月十ヶ月月鑑別法
- 妊娠末期ニ於ケル胎兒死亡ノ徵候ヲ記セ
- 妊娠末期ニ於テ初産婦ト經産婦トノ異ナル點ヲ列記セヨ
- 正規妊娠各月ニ於ケル子宮底ノ位置
- 妊娠末期ニ於ケル妊婦ノ狀態
- 妊娠八ヶ月十ヶ月トノ外診及内診所見ノ異ナル點ヲ列記セヨ
- 妊娠後半期ニ於ケル胎兒生死ノ鑑別
- 妊婦アリ最終月經不明ナリ、カハル時産婆ハ

- 如何ニシテ妊娠時期(何ヶ月カ)ヲ判定スルカ
- 妊婦アリ未ダ妊娠ノ確徵ナシ、カハル時産婆ハ如何ニシテ妊娠ナリト推定スルカ
- 體重一千五百五十一瓦身長四十一仙米ノ胎兒分娩シタリ略妊娠月數ヲ算出シ發育可能ナリヤ否ヤヲ答ヘヨ
- 妊娠月數ニ比シ子宮過度ニ増大セル場合並ニ却ツテ縮小セル場合トヲ列記セヨ
- 最終月經ヨリ起算シテ妊娠子宮ノ増大ガ妊娠月數ニ一致セザル場合如何ナルコトヲ想像スベキヤ
- 妊娠五ヶ月以前ニ胎兒ガ死亡シタル徵候ヲ舉ゲヨ
- 妊娠八ヶ月ト第十ヶ月トノ診斷上ノ異ナル點ヲ列記セヨ
- 最終月經不明ノ妊娠月數ハ如何ニシテ判定スルカ
- 妊娠八ヶ月ニ於ケル母體ノ變化ヲ述ベヨ
- 妊娠末期ニ於テ胎兒死亡セバ如何ナル症候アリヤ
- 子宮ノ大サ妊娠月數ニ相當セザル時ハ如何ナル事應ニ留意スベキカ
- 妊娠ノ決定ニ就テ

第三集 正常分娩

分娩ノ狀態

- 第二後頭位分娩時ニ於テ小内門方廻轉スル方向ヲ記セ
- 胎盤剝離ノ徵候ヲ問フ
- 分娩開始ハ如何ニシテ診斷スルカ
- 前驅陣痛トハ如何ナルモノカ及ビ其作用ヲ問フ
- 卵胞(胎胞)成立ノ原因及其效用
- 分娩開始ノ徵候
- 後産娩出ノ様式ニ就テ記セ
- 産痛トハ如何、且ツ第二後頭位ノ産痛發生ノ部位ヲ記セ
- 分娩時兒頭ノ廻轉スル方向ヲ示シ且ツ其ノ理由ヲ説明セヨ
- 分娩ノ近ゾケルヲ知ルニ足ル徵候ヲ記セ
- 第一後頭位ノ兒頭第三廻轉ヲ説明レ併セテ後頭位ガ分娩ニ最モ容易ナル理由ヲ述ベヨ
- 陣痛並ビニ腹壓ノ胎兒分娩ニ及ボス主ナル作用ノ差異
- 胎盤剝離ノ徵候如何
- 妊娠中ニ於テ如何ナル事項ヲ認メタル時難産

- ヲ推定シ得ベキカ
- ◎分娩初期ノ徴候ヲ記セ 三〇七五(昭七、一)
- ◎收縮輪並ニ産痛ハ分娩時ノ診斷上如何ナル意義ヲ有スルカ 三〇三三・三〇三四(昭八、一)
- ◎第三週轉ニヨリ娩出セル兒頭ハ其ノ後顔面ヲ母體ノ右大腿ノ内面ニ向ケタリト云フ、此ノ場合ニ於ケル胎向如何、更ニ何レノ肩胛ガ何レノ方向ヨリ先ニ娩出スルカ 三〇二六(昭八、一)
- ◎自然分娩不可能ナル母兒ノ状態 三〇七五(昭八、一)
- ◎分娩ニヨリ胎兒ノ受クル影響ヲ問フ 三〇八三(昭九、二)
- ◎娩出セル胎兒兒頭ノ所見ニヨリ分娩時ニ於ケル如何ナル事項ヲ想定シ得ベキカ 三〇六六・三〇六七・三〇六八(昭九、二)
- ◎産痛發生ノ原因並ニ産痛ノ分娩時ニ於ケル急速増大ニ如何ナル事ヲ意味スルカ 三〇七〇・三〇九四(昭十、一)
- ◎妊娠中並ニ分娩時ニ於ケル胎兒心音ノ變化ニ就イテ記述セヨ 三〇三三(昭十、一)
- ◎陣痛トハ如何ナルモノカラ述ベ其ノ作用ヲ記セ 三〇二一・三〇二五(昭十、一)
- ◎胎胞ニ就キ知ル處ヲ記セ 三〇三九(昭十、二)
- ◎産痛ニ就キ知ル處ヲ記セ 三〇三八(昭十、二)
- ◎戦慄(震戦)陣痛ニ就テ 三〇一九(昭十、二)
- ◎産痛ヲ説明セヨ 三〇一九(昭十、二)
- ◎前驅陣痛ヲ説明セヨ 三〇二六(昭十、二)

- ◎胎胞ヲ説明セヨ 三〇九六(昭十、二)
 - ◎陣痛トハ何ゾ正規分娩時ニ於ケル陣痛ノ状態ヲ記セ 三〇一〇・三〇三三(昭十一、一)
 - ◎收縮輪ヲ説明セヨ 三〇三〇(昭十一、一)
 - ◎破水ヲ説明セヨ 三〇四四(昭十一、一)
 - ◎排膿ヲ説明セヨ 三〇五〇(昭十一、一)
 - ◎前驅陣痛ヲ説明セヨ 三〇二六(昭十一、一)
 - ◎收縮輪ヲ説明セヨ 三〇三〇(昭十一、一)
 - ◎正規分娩ノ持續時間ヲ記シ且ツ之ニ影響ヲ及ボス事項ヲ説明セヨ 三〇七三・三〇七四(昭十一、一)
- 分娩時診察
- ◎第二後頭位分娩ニ於テ矢狀縫合ガ通過スル骨盤各部徑線ノ名稱ト其ノ大サトヲ記セ 三〇二四(昭十一、一)
 - ◎分娩時胎兒先進部ノ骨盤内進入ノ程度ヲ内外診ニヨリ知ル法ヲ説明セヨ 三〇三三・三〇三九(昭六、一)
 - ◎正規分娩ニ依リ娩出セル妊娠十ヶ月ノ初生兒アリ、兒頭ヲ檢スルニ大斜徑ハ延長シ小斜徑ハ短縮ス、産痛ハ右顛頂骨ノ後上方ニアリ右顛頂骨ハ左顛頂骨ヲ覆ヘリト此場合ニ於ケル胎兒ノ分娩前ノ胎向ヲ問フ 三〇二五(昭七、一)
 - ◎兒頭先進セル場合骨盤内進入ノ程度ヲ如何ニシテ知ルカ 三〇二六(昭八、一)

分娩取扱法

- ◎分娩開始ヲ知リタルトキ産婆ノ爲スベキ重要ナル取扱法ヲ記セ 三〇八四(昭二、一)
- ◎胎兒娩出直後ニ於ケル處置 三〇九〇(昭三、一)
- ◎分娩時臍帶纏絡ノ處置 三〇九〇(昭三、一)
- ◎分娩取扱上産婆ノ心得ベキ主ナル條項五ツヲ擧ゲヨ 三〇二六(昭四、一)
- ◎分娩開始ノ徴候及分娩開始セルヲ知ルトキ産婆ノナスベキ準備並ニ産婦ニ就テノ處置ヲ述ベヨ 三〇三三・三〇三九(昭四、一)
- ◎クレイデ氏胎盤壓出法ハ如何ナル場合ニ行フカ及其方法 三〇五六・三〇五七(昭四、二)
- ◎分娩第三期ニ於ケル取扱上注意スベキ要點ヲ擧ゲヨ 三〇三四(昭五、一)
- ◎初生兒臍帶ノ豫防法 三〇六一(昭五、二)
- ◎産婦ニ側臥位ヲ命ズルハ如何ナル場合如何ナル理由ニヨルヤ 三〇九七(昭五、二)
- ◎新生兒ノ臍帶ノ處置ニ就テ 三〇九七(昭五、二)
- ◎産婦ニ努責ヲ要スル時期及之ヲ禁ズル時期ヲ理由ヲ附シテ説明セヨ 三〇九八(昭六、一)
- ◎クレイデ氏胎盤壓出法ハ如何ナル場合ニ行フカ且其ノ方法ヲ記セ 三〇五六・三〇五七(昭六、二)
- ◎クレイデ氏胎盤壓出法ヲ行フ場合ニ注意スベキ事項 三〇八四(昭七、一)

- ◎胎盤娩出時ニ於ケル注意事項ヲ記セ 三〇三四(昭七、一)
- ◎會陰保護ノ目的之レヲ行フベキ時期及ビ仰臥位ニ於ケル方法ヲ記セ 三〇九〇・三〇九一(昭七、一)
- ◎分娩直後初生兒ノ取扱法 三〇九〇(昭七、一)
- ◎分娩時ニ於ケル腹壓ノ作用並ニ腹壓ヲ加フベキ時期ト之レヲ禁ズベキ時期ヲ問フ 三〇二四・三〇二五(昭八、一)
- ◎分娩直後初生兒ニ對スル産婆ノ處置ヲ問フ 三〇二七(昭八、一)
- ◎臍帶切斷ノ時期ヲ問フ又場合ニヨリ其ノ時期ヲ異ニスル時期アリヤ若シアラバ其ノ理由ヲ記セ 三〇三三・三〇三九(昭八、一)
- ◎會陰保護法ヲ理由ヲ附シテ説明セヨ 三〇三三(昭八、二)
- ◎分娩ニ際シ産婆ノ携帶スベキ器械並ニ藥品ヲ列擧セヨ 三〇九〇(昭九、一)
- ◎臍帶切斷ニ當リ第二結紮不十分ナルタメ出血セリトイフ、母兒何レヨリ出血スルカ又コノ出血ニヨリテ如何ナル害ヲ發スルカ 三〇九七(昭九、二)
- ◎分娩時産婦ニトラシムル位置ノ種類ヲ列擧シ併セテソノ理由ヲ説明セヨ 三〇二六(昭十、一)
- ◎クレイデ氏胎盤壓出法ヲ説明シ併セテ之ガ施行時ノ注意事項ヲ記セ 三〇五六・三〇五七(昭十、二)
- ◎分娩時産婦ノ努責ガ有效ナル場合ト有害ナル場合トヲ理由ヲ附シテ述ベヨ 三〇二六(昭十一、一)
- ◎會陰保護ヲ行ヘバ何故ニ會陰裂傷ヲ防ギ得ルヤ 三〇三三(昭十一、一)

- 産褥ノ経過ヲ正規ナラシムル諸注意ヲ記セ 四二四(昭十、一)
- 産褥経過ノ良否ハ何ニヨリテ判定スベキヤ 四二四(昭十、二)
- 離乳ノ時期及ビ其ノ方法 四二六〇(昭二、一)
- 不規則ナル授乳ハ何故不可ナルカ 四二六〇(昭二、二)
- 授乳時ニ於ケル注意事項ニ就テ 四二六〇(昭二、三)
- 初生児取扱上注意スベキ主ナル條項ヲ舉ゲヨ 四二六〇(昭二、四)
- 初生児ノ授乳法 四二六〇(昭二、五)
- 乳母ノ選擇ニ就キ産婆ノ心得ベキ點ヲ舉ゲヨ 四二六〇(昭二、六)
- 梅毒ノ授乳ヲ禁ズベキ場合ヲ列記セヨ 四二六〇(昭二、七)
- 乳兒第一週乃至第二週ノ牛乳稀釋法 四二六〇(昭二、八)
- 何故母乳ガ乳兒ノ最上營養料ナルカ併セテ人工營養ヲ行フ時第一週乃至第三週迄ノ牛乳ノ稀釋法ヲ記セ 四二六〇(昭二、九)
- 乳母選擇上ニ注意スベキコトヲ列記セヨ 四二六〇(昭二、一〇)
- 授乳ニ就キ注意スベキ事項ヲ記セ 四二六〇(昭二、一一)
- 初生児臍帶部ノ處置 四二六〇(昭二、一二)
- 新生児ノ吸乳障礙ノ原因ト其ノ處置 四二六〇(昭二、一三)
- 分娩後一週間以内ニ於ケル初生児取扱上ノ注意ヲ記セ 四二六〇(昭二、一四)
- 梅毒ノ乳汁不足ナリトノ訴ヘガ果シテ眞ナリヤ否ヤヲ決定スル方法如何 四二六〇(昭二、一五)
- 乳汁分泌ヲ正常ナラシムル方法如何 四二六〇(昭二、一六)

- 臍帶脱落ニ遲速アル理由並ニ臍帶斷端ノ適當ナル産婆ノ處置ヲ記セ 四二六〇(昭二、一七)
 - 梅毒ノ乳汁分泌ニ影響スル事項ヲ舉ゲヨ 四二六〇(昭二、一八)
 - 生後約一週間以内ニ於ケル生児ノ授乳ニ就イテ記セ 四二六〇(昭二、一九)
 - 母乳ノ禁ズベキ場合ヲ問フ 四二六〇(昭二、二〇)
 - 新産兒初回ノ授乳ニ就テ記セ 四二六〇(昭二、二一)
 - 母體ガ次ノ狀態ニ在ル場合授乳ハ如何ニスベキヤ其ノ理由ヲ簡單ニ附記セヨ 四二六〇(昭二、二二)
 - (1)風邪 (2)脚氣 (3)胃腸カタル (4)梅毒 (5)妊娠 四二六〇(昭二、二三)
 - 人乳ト牛乳トノ主ナル相違點ヲ記セ 四二六〇(昭二、二四)
- 第五集 異常妊娠**
- 妊婦診察ニ際シ醫師ノ診察ヲ求ムル異常ヲ列記セヨ 四二六〇(昭二、二五)
 - 葡萄狀胎ノ診斷及之ト區別スベキモノヲ舉ゲヨ 四二六〇(昭二、二六)
 - 葡萄狀胎ノ症狀ヲ舉ゲヨ 四二六〇(昭二、二七)
 - 血狀胎ニ就テ 四二六〇(昭二、二八)
 - 胎狀胎ト切迫流産トヲ鑑別シ併セテ胎狀胎胎分娩時ノ取扱法ヲ記セ 四二六〇(昭二、二九)

- 正常位ニアル胎盤ノ早期剝離ハ母兒ニ如何ナル障礙ヲ起スカ 五二七〇(昭七、一)
- 分娩第一期ニ於テ腹部ニ激痛アリ、顔面蒼白、脈搏細小頻數、子宮底部上昇アリ、如何ナル事ヲ想像スルカ此際産婆ノトルベキ態度 五二七〇(昭七、二)
- 前置胎盤及胎盤早期剝離ニ於ケル出血ニ就イテ記セ 五二七〇(昭七、三)
- 妊娠中胎兒生命ニ危害ヲ及ボス臍帶及ビ胎盤ノ異常ヲ列舉セヨ 五二七〇(昭七、四)
- 前置胎盤ニ於ケル分娩障礙及産婆ノ處置 五二七〇(昭七、五)
- 羊水過多ナルトキニ於テ特ニ産婆ノ注意ヲ要スル事項ヲ述ベヨ 五二七〇(昭七、六)
- 羊水ノ異常ニ由ル異常妊娠ニ就テ述ベヨ 五二七〇(昭七、七)
- 羊水ノ作用ヲ舉ゲ且ツ之ガ過多ナル場合ハ如何ナル障礙ヲ伴フカ 五二七〇(昭七、八)
- 羊膜水腫ト双胎妊娠トノ鑑別並ニ羊膜水腫ノ處置ヲ問フ 五二七〇(昭七、九)
- 胎兒異常 五二七〇(昭七、一〇)
- 妊娠中死亡シタル胎兒ハ如何ナル變化ヲ起シヤ 五二七〇(昭七、一一)
- 死亡セル胎兒ノ運命如何 五二七〇(昭七、一二)
- 浸軟兒ニ就テ 五二七〇(昭七、一三)

- 妊娠末期ニ於テ胎兒死亡セバ如何ナル症狀アリヤ 五二七〇(昭七、一四)
- 流産ニ對スル産婆ノ處置ヲ記セ 五二七〇(昭七、一五)
- 子宮外妊娠破裂ノ徴候及ビ處置ヲ記セ 五二七〇(昭七、一六)
- 喇叭管妊娠破裂ノ徴候ヲ舉ゲヨ 五二七〇(昭七、一七)
- 妊娠ノ初期ニ於テ突然腹痛出血貧血ヲ來セリト云フ、如何ナル産科的原因ニ基クカ又コノ場合ニ於ケル應急處置ヲ問フ 五二七〇(昭七、一八)
- 妊娠子宮ノ後屈ハ如何ナル障礙ヲ起スカ 五二七〇(昭七、一九)
- 梅毒ノ妊娠ニ及ボス影響 五二七〇(昭七、二〇)
- 花柳病ガ妊娠分娩及産褥ニ及ボス影響如何 五二七〇(昭七、二一)
- 卵巢囊腫ノ妊娠、分娩ニ及ボス影響ニ就イテ述ベヨ 五二七〇(昭七、二二)
- 妊娠前半期ニ於ケル出血ノ種類ヲ舉ゲヨ 五二七〇(昭七、二三)
- 妊娠末期ニ於ケル出血ヲ主要徴候トスル疾病ニ就テ舉ゲ之ヲ鑑別セヨ 五二七〇(昭七、二四)
- 妊娠時ニ於ケル生殖器出血ノ原因及其ノ應急處置如何 五二七〇(昭七、二五)
- 妊娠後半期ニ於ケル子宮出血ノ原因及其ノ鑑別 五二七〇(昭七、二六)

母體全身異常

- 妊婦ニ浮腫ヲ來スベキ疾病ヲ鑑別セヨ 五二九三(昭二、三)
- 浮腫ヲ伴ヘル産婦ガ俄ニ痙攣發作ヲ發シ失神セルトキニ於ケル産婆ノナスベキ救急處置ヲ述ベヨ 五二九七(昭四、五)
- 妊娠中浮腫ヲ合併スル疾病ヲ擧ゲ其ノ妊娠分娩ニ及ボス障害ヲ述ベヨ 五二九三・五二九四(昭五、六)
- 子癇ノ症狀ヲ記セ 五二九二(昭五、六)
- 妊娠時ニ現ハル、浮腫ノ原因ト之ガ鑑別法ヲ述ベヨ 五二九三(昭六、七)
- 子癇ノ症狀ニ就キ答ヘヨ 五二九三(昭七、八)
- 子癇ハ妊娠ノ如何ナル時期ニ起ルカニ答ヘヨ 五二九四(昭七、八)
- 子癇ノ如何ナル妊婦ニ起ルカヲ答ヘヨ 五二九四(昭七、八)
- 子癇ノ處置ニ就キ答ヘヨ 五二九四(昭七、八)
- 妊娠ニヨリ誘發セラレ、主ナル疾病ヲ列記セヨ 五二九七(昭八、九)
- 子癇ノ症狀並ニ産婆ノ處置ヲ述ベヨ 五二九七・五二九八(昭九、一〇)
- 妊娠時浮腫ノ原因並ニ處置ヲ記セ 五二九三・五二九四(昭九、一〇)
- 子癇發作ノ前徵及發作時ノ應急處置ヲ問フ 五二九一・五二九八(昭十、一)
- 妊娠腎臟炎ノ徵候及産婆ノ處置 五二九六・五二九七(昭三、四)
- ウイタミンB缺乏症ノ妊娠及胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 五三〇三(昭七、八)
- ウイタミンB缺乏症ノ妊娠及胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 五三〇三(昭七、八)

審問

第六集 異常分娩

- 産道及ビ胎兒ニハ何等異常ナクシテ分娩經過遅延スル理由及其際産婆ノ爲スベキ處置如何ヲ問フ 六二九二(昭二、三)
- 分娩中母體又ハ胎兒ガ遭遇スル危険ノ主ナルモノヲ擧ゲヨ 六二九三(昭二、三)
- 胎兒ガ産道ヲ容易ニ通過スル爲メニハ如何ナル條件ガ必要ナリヤ 六二九四(昭三、四)
- 産道ニ異常ナクシテ胎兒分娩セザル場合ヲ列擧セヨ 六二九四(昭三、四)
- 陣痛異常ナク子宮口開大スルモ胎兒ノ分娩シ得ザル原因ヲ擧ゲ其處置ニ就テ述ベヨ 六二九六(昭六、七)
- 分娩第二期ノ遷延ハ母兒ニ對シテ如何ナル影響ヲ及ボスカ 六二九四(昭九、一〇)
- 分娩期遷延ノ原因ト之ニ對スル産婆ノ處置ヲ問フ 六二九六・六二九七(昭十、一)
- 胎兒ノ先進部ガ分娩時ニ骨盤腔内ニ進入シ難キカ 六二九四(昭四、五)
- 早期破水ノ分娩經過ニ及ボス影響 六二九四(昭四、五)
- 胎兒ノ先進部ガ分娩時ニ骨盤腔内ニ進入シ難キカ 六二九四(昭四、五)

胎兒附屬物異常

- 胎兒腎臟炎ノ徵候及産婆ノ處置 五二九六・五二九七(昭三、四)
- ウイタミンB缺乏症ノ妊娠及胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 五三〇三(昭七、八)
- ウイタミンB缺乏症ノ妊娠及胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 五三〇三(昭七、八)
- 胎兒腎臟炎ノ徵候及産婆ノ處置 五二九六・五二九七(昭三、四)
- ウイタミンB缺乏症ノ妊娠及胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 五三〇三(昭七、八)
- ウイタミンB缺乏症ノ妊娠及胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 五三〇三(昭七、八)
- 胎兒腎臟炎ノ徵候及産婆ノ處置 五二九六・五二九七(昭三、四)
- ウイタミンB缺乏症ノ妊娠及胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 五三〇三(昭七、八)
- ウイタミンB缺乏症ノ妊娠及胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 五三〇三(昭七、八)

胎兒異常

- 胎兒腎臟炎ノ徵候及産婆ノ處置 五二九六・五二九七(昭三、四)
- ウイタミンB缺乏症ノ妊娠及胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 五三〇三(昭七、八)
- ウイタミンB缺乏症ノ妊娠及胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 五三〇三(昭七、八)
- 胎兒腎臟炎ノ徵候及産婆ノ處置 五二九六・五二九七(昭三、四)
- ウイタミンB缺乏症ノ妊娠及胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 五三〇三(昭七、八)
- ウイタミンB缺乏症ノ妊娠及胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 五三〇三(昭七、八)
- 胎兒腎臟炎ノ徵候及産婆ノ處置 五二九六・五二九七(昭三、四)
- ウイタミンB缺乏症ノ妊娠及胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 五三〇三(昭七、八)
- ウイタミンB缺乏症ノ妊娠及胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 五三〇三(昭七、八)

- 初生兒假死ノ原因及徵候ヲ記セ 六二七六・六二七九(昭三、四)
- 初生兒假死ノ徵候 六二七九(昭四、五)
- 分娩時胎兒母體内ニアリテ將ニ窒息セントスル際ノ徵候ヲ列擧セヨ 六二七六(昭六、七)
- 人工蘇生術ニ依リ辛ジテ蘇生セル初生兒アリ爾後如何ナル事ニ注意スベキカ 六二七三(昭六、七)
- 娩出期ニ於テ如何ナル徵候アル時胎兒危険ノ到來スル事ヲ豫想セネバナラヌカ 六二七六(昭八、九)
- 分娩時ニ於ケル胎糞漏出ノ意義ヲ論ジ併セテコノ場合ニ於ケル産婆ノ處置ヲ記セ 六二七三(昭十、一)
- 假死ニテ娩出シ蘇生セシ新産兒ハ其ノ後如何ナル注意ヲ以テ看護スベキカ 六二七三・六二七五(昭十、一)
- 新産兒假死トハ如何 六二七五(昭十、一)

母 體 異 常

- 産出期ニ於ル陣痛微弱ノ原因並ニ母兒兩體ニ及ボス影響如何
六三〇〇(昭六、一)
- 陣痛微弱ノ分娩ニ及ボス影響
六三〇八(昭七、二)
- 高年ノ初産婦ニ於テ特ニ産婆ノ注意ヲ要スル事項ヲ述ベヨ
六三九四(昭四、二)
- 高年ノ初産婦ノ分娩ハ一般ニ如何ナル経過ヲ取ルカ
六三九二(昭九、一)
六三六七(昭十、一)
- 扁平狭小骨盤ニ於ケル分娩機轉
六三六七(昭十、一)
- 第一度ノ狭窄骨盤ヲ有スル妊婦ノ分娩取扱ヲ依頼サレタル産婆ハ如何ナル態度ヲ取ルベキカ
六三六六(昭七、一)
- 胎兒高度ノ假死ニテ生レ續イテ母體ニ高度出血起レル場合産婆ノ取ルベキ處置如何
六三六一(昭二、二)
六三四五(昭二、二)
- 胎盤娩出遅延ノ理由ヲ問フ
六三四五(昭二、二)
六三四七(昭三、二)
- 胎兒娩出後多量ノ出血アルトキニ於ケル産婆ノナスベキ救急處置ヲ述ベヨ
六三四四(昭四、二)
- 分娩第二期ニ於ケル子宮出血ニ就テ記セ
六四〇六(六、四九)(昭五、一)
六四四二・六四四四(昭五、二)
- 第三期出血ノ原因及處置
六四四二・六四四四(昭五、二)
- 胎兒高度ノ假死ニテ生レ續イテ母體ニ高度ノ出血起ル場合如何ニ之ヲ取扱フベキカ
六四二一・六四四三(昭六、二)

- 子宮破裂ノ原因並ニ子宮ノ將ニ破裂セントスル候如何
六四二一・六四四六(昭七、一)
- 分娩第二期ニ於ケル出血ノ原因ヲ問フ
六四〇六(昭九、一)
- 子宮破裂ノ切迫候ヲ問フ
六四二六(昭十、二)
- 弛緩性出血ノ原因及其ノ處置ニ就テ記セ
六四五一・六四四四(昭七、一)

急性貧血ノ處置

六四七八(昭二、一)

第七集 異常産褥・補足知識

褥 婦 異 常

- 産褥ノ経過ヲ障碍スル異常ヲ列記セヨ
七四四(昭二、一)
- 惡露蓄積症ノ症状及原因
七二二・七三一(昭二、一)
- 産褥ニ於ケル腎孟炎ノ症候ヲ舉ゲヨ
五三四五(昭二、二)
- 産褥子宮ノ復舊不全ヲ來スベキ原因ヲ列舉セヨ
七四五(昭三、一)
- 産褥ニ於テ異常出血ヲ來ス場合ヲ列記シ其處置ノ大要ヲ舉ゲヨ
七二二・七三五(昭四、一)
- 産褥熱ヲ防止スルタメニ妊産婦ニ注意セシムベキ事項
七四〇(昭四、一)
七三七(昭四、一)
- 如何ナル原因ニ依リテ惡露ニ異常ヲ來スカ
七三七(昭四、一)
- 産褥ニ於テ子宮底ノ正規下降ノ障害ハ如何ナル原因ニヨリ來ルモノナリヤ
七三五(昭五、一)
- 産褥性創傷中毒症(吸收熱又ハ惡露蓄積症)ノ

原因症候並ニ處置ヲ問フ

- 産褥性尿漏(膀胱腫脹又ハ尿管)ノ原因豫防法並ニ其處置ヲ述ベヨ
七二〇〇(昭六、一)
- 褥婦ノ發熱ハ如何ナル原因ニヨルカ併セテ其豫防法ヲ問フ
七四四三(昭六、一)
- 褥婦ニ如何ナル所見アル時醫師ノ診察ヲ乞フベキヤ
四二二七(昭七、一)
- 乳汁分泌ニ影響ヲ與フル諸條件
七二九五(昭七、一)
- 褥婦ニ起ル主ナル病名ヲ舉ゲヨ
七二五(昭七、一)
- 腎孟炎ニ就テ記セ
五三三三(昭七、一)
- 産褥褥婦ノ取扱上消毒ヲ怠レバ母兒ニ如何ナル疾病ヲ起スカ
七四四九(昭八、一)
- 産褥ニ於テ異常出血ヲ起ス場合ヲ列記セヨ
七二七三(昭八、一)
- 産褥熱ニ就テ記セ
七二九(昭八、二)
- 産褥熱ノ原因並ニ主ナル候候ヲ問フ
七二二・七二六(昭九、一)
- 分娩後子宮ノ收縮ニ異常アル時如何ナル症状ヲ呈スルヤ
七二二・七二七(昭九、二)
- 如何ナル症状アレバ産褥經過不良ナリト云フカ
四二二六(昭九、二)
- 産褥ニ於テ胎盤、卵膜ノ遺殘セル候候並ニ之ニヨツテ來ル障碍ト處置ヲ記セ
七二六三(昭十、一)
- 産褥ニ於テ惡露ニ異常ヲ來ス場合ト其ノ處置
七二七・七二九(昭十、二)
- 産褥熱患者ヲ取扱ヘル産婆ハ如何ナル注意ト

義務トヲ要スルヤ

- 産褥ニ於ケル泌尿器ノ疾患トソノ手當
七二〇〇(昭六、一)
- 産褥熱ノ豫防法
七二〇〇(昭六、一)
- 産褥熱ノ豫防法
七二〇〇(昭六、一)

新産兒異常

- 初生兒ノ耳眼口ニ發シ易キ疾病ノ名稱及豫防法ヲ記セ
七二〇〇(昭六、一)
- 初生兒ニ發スル主ナル疾病ヲ列記セヨ
七二〇〇(昭六、一)
- 初生兒ニ起ル恐ルベキ眼疾患ハ何カ、其ノ豫防法及處置ヲ記セ
六二九〇・六二九一(昭一、一)
- 頭血腫ト産瘤トノ區別
六二九〇(昭一、一)
- 初生兒ノ消化不良ハ如何ナル場合ニ起ルカ
七二九八(昭三、一)
- 臍「ヘルニア」(臍脱腸)ニ就テ知ル處ヲ述ベヨ
七二四六(昭三、一)
- 初生兒膿漏眼ノ豫防法
七二九〇(昭三、一)
- 初生兒「メレナ」トハ如何ナル疾病ナリヤ
七二九八(昭三、一)
- 微毒性初生兒ノ特徴
七二九五(昭四、一)
- 初生兒ノ臍ニ發生シ易キ疾病ニ如何ナルモノアリヤ
七二四三(昭五、一)
- 産瘤ト頭血腫トノ鑑別及其ノ處置ヲ述ベヨ
七二九八・七二九三(昭六、一)
- 初生兒ノ發熱ハ如何ナル疾病ヲ考フベキカ
七二九三(昭六、一)
- 産瘤ト頭血腫トヲ見テ如何ナル事ヲ想像スルカ
七二二三(昭七、一)
- 初生兒ノ口腔内ニ白斑ヲ發生スル疾病ニ就キ

ヲ記セ

- 産瘤ト頭血腫トノ鑑別 七二五(昭七、一)
- 初生兒ノ發熱ハ如何ナル疾病ニ因スルモノ多キヤ 七二九(昭八、一)
- 初生兒ニ高熱ヲ發スル疾病ヲ舉ゲ併セテ産婆ニ最モ必要ナル處置ヲ述ベヨ 七三二・七三三(昭九、一)
- 初生兒ノ傳染性疾患トハ何ゾヤ 七三四(昭九、一)
- 妊婦ガ梅毒ニ罹レル場合ニ胎兒ニ及ボス影響ニ就イテ記セ 七三六(昭十、一)
- 産婆ノ不注意ニヨツテ生ズル新産兒ノ疾患ニ就テ述ベヨ 七三七(昭十、一)

- 母體ノ疾病ヨリ起ル新産兒疾病ヲ舉ゲ且ツソノ豫防法ヲ述ベヨ 七三五(昭十、一)
- 頭血腫ヲ説明セヨ 七三八(昭十、一)
- 先天梅毒兒ノ徴候及其處置ヲ問フ 七四二・七四三(昭十、一)
- 初生兒ノ肺炎疾患並ニ之ニ對スル處置 七四四(昭十、一)
- 早産兒ノ看護法 七四九(昭十一、一)
- 早産兒ノ看護法ノ要點ヲ問フ 七五一(昭十、一)
- 妊娠分娩産毒ニ必要ナル灌腸ニ就テ記セ 七五〇(昭七、一)

〔三二〕 兵庫 縣

第一集 豫備知識

- 骨盤誘導線トハ如何 一七五(昭三、一)
- 大小骨盤ノ境界 一七六(昭五、一)
- 骨盤傾斜 一七八(昭五、一)
- 對角結合線ヲ説明セヨ 一七九(昭六、一)
- 子宮ノ位置及構造ヲ記セ 一八〇(昭四、一)

- 外生殖器ノ名稱並ニ妊娠時ノ變化ニ就テ 一七五(昭七、一)
- 分娩介助ニ於ケル消毒ノ方法其順序ヲ記セ 一七六(昭十一、一)
- 左ノ藥品ハ助産上如何ナル場合如何ニシテ使用スルカ
 - (イ)昇汞 (ロ)鹽酸 (ハ)クレゾール石鹼液 (ニ)食鹽 (ホ)硝酸銀 (ヘ)石炭酸 (ト)デルマトル
- 産婆手指ノ消毒ノ方法順序ニ就テ 一七九(昭四、一)
- 消毒方法ノ種類並ニ應用 一八〇(昭十、一)
- 一八三(昭十、一)

第二集 正常妊娠

妊婦ノ状態

- 卵膜ニ就テ記セ 二一〇(昭五、一)
- 胎盤ノ構造ニ就イテ記セ 二一五(昭六、一)
- 羊水ニ就テ記セ 二一六(昭七、一)
- 羊水ニ就テ知ル處ヲ記セ 二一七(昭八、一)
- 卵子ニ就テ 二一八(昭十、一)
- 凶門ノ名稱、位置、形状 二一九(昭十一、一)
- 胎位、胎向ヲ説明セヨ 二二三・二二四(昭七、一)
- 成熟兒ニ就テ 二二五(昭九、一)
- 胎兒ノ體位胎向ニ就キテ知ル所ヲ記セ 二二三・二二四(昭十、一)
- 妊娠時ニ於ケル子宮ノ變化ヲ記セ 二二六(昭十一、一)
- 妊娠ガ母體ニ及ボス影響ノ概要ヲ記セ 二二七(昭四、一)
- 妊娠線 二二七(昭五、一)
- 妊娠ノ母體ニ及ボス變化ニ就テ略記セヨ 二二七・二二八(昭六、一)
- 妊娠各月ニ於ケル生殖器ノ變化 二二五・二二六(昭十一、一)
- 左記ノ事項ヲ記セ
 - (イ)胎兒心音ヲ聴取シ得ル時期
 - (ロ)妊婦胎動ヲ感ズル時期
 - (ハ)胎兒心音ヲ聴取スル部位

- 妊娠中聽診ニ依リ聴取シ得ル音ノ種類及鑑別ヲ記セ 二二五(昭十、一)
- 妊娠ノ半確徴及確徴ヲ記セ 二二五・二二六(昭四、一)
- 妊娠ノ徴候ヲ記セ 二二七(昭六、一)
- 妊娠中胎兒死亡ノ診斷ニ就テ記セ 二二七(昭七、一)
- 妊娠ノ類症鑑別ヲ問フ 二二八(昭八、一)
- 妊娠ノ半確徴ヲ説明セヨ 二二九(昭九、一)
- 妊娠第八ヶ月ト第十ヶ月ノ相違點ヲ舉ゲヨ 二二九(昭十、一)
- 妊娠各月ニ於ケル母體ノ變化 二二九(昭十一、一)

妊婦攝生法

- 妊婦攝生法ノ大要ヲ記セ 二二九(昭十一、一)
- 早産ノ定義ヲ簡單ニ記セ 二二九(昭四、一)
- 分娩ノ状態
 - 横軸迴轉縱軸迴轉ニ就テ記セ 二三〇(昭十一、一)
 - 娩出力ニ就テ 二三〇(昭三、一)
 - 收縮輪 二三〇(昭五、一)
 - 腹壓トハ何ゾ並ニ分娩時腹壓ニ就イテ注意スベキ事項ヲ記セ 二三〇(昭六、一)
 - 排瀉ヲ説明セヨ 二三〇(昭六、一)
 - 産瘤ヲ説明セヨ 二三〇(昭六、一)

第三集 正常分娩

- 産痛ヲ生ズル理由ト其ノ好發部位 三、九〇・三、九二(昭七、二)
- 陣痛ノ種類ニ就テ 三、一四(昭八、一)
- 陣痛ニ就イテ 三、九(昭十、一)
- 胎盤剝離ノ徴候 三、六三(昭十、二)
- 分婉時診察 (三、四六)(昭四、二)
- 内診ヲ行フベキ場合(方法ニアラズ) 分婉取扱法
- クレイデ氏胎盤壓出方法ヲ行フ時期及理由 三、五五・三、五六(昭二、二)
- 會陰保護ノ目的(理由)及時期 三、一〇四・三、一〇六(昭二、二)
- 分婉時ニ於ケル産婆ノナスベキ處置 三、一六〇(昭五、一)
- 産婆ガ其職務上常ニ携帶スベキ藥品ノ名稱ト其ノ用法ヲ記セ 三、一六九(昭七、一)
- クレイデ氏胎盤壓出法ヲ記セ 三、一五五(昭九、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 産褥子宮ノ復舊作用トハ如何 四、一〇(昭二、二)
- 産褥中生殖器ニ於ケル變化ヲ問フ 四、一〇(昭三、一)
- 惡露ニ就イテ記セ 四、三三(昭三、二)
- 正規産褥期ニ於ケル惡露ニ就キ記載セヨ 四、三六(昭四、一)
- 産褥期ニ於ケル子宮ノ變化ヲ問フ 四、二(昭五、一)
- 初乳ト成乳(常乳)ノ成分ニ就イテ記セ 四、五一(昭五、一)

産褥取扱法

- 産褥子宮ノ變化ヲ問フ 四、一一(昭五、二)
- 産褥子宮ノ組織的變化ヲ問フ 四、一七(昭六、一)
- 初乳ト成乳トニ就テ記載セヨ 四、四七・四、五〇(昭七、一)
- 惡露トハ如何ナルモノナリヤ (四、三六)(昭七、二)
- 正規産褥ニ於ケル生殖器ニ於ケル變化ヲ記セ 四、一〇(昭八、一)
- 初乳及成乳ノ成分ニ就テ 四、一〇(昭八、二)
- 惡露ノ性状及種類 四、三六(昭八、二)
- 正規ノ惡露ニ就テ記セ 四、三六(昭九、一)
- 初生兒黃疸ニ就キテ記載セヨ 四、九八(昭四、一)
- 初生兒黃疸トハ如何 四、九八(昭八、一)
- 正規産褥ノ看護法 四、三三(昭五、二)
- 正規産褥中陰部ノ處置 四、一三(昭六、一)
- 正規産褥經過中特ニ注意スベキ事項 四、三三(昭七、一)
- 産後一週間マデノ産褥ノ取扱法 四、四三(昭七、二)
- 正規産褥中ニ於ケル産褥ノ攝生 四、六八(昭七、二)
- 正規産褥中ニ於ケル産褥ノ攝生 四、六八(昭七、二)
- 胎帯切斷端及脫落面ノ處置 四、九六(昭二、一)
- 初生兒ノ自然營養ト人工營養トノ利害得失ヲ論ゼヨ 四、三〇(昭二、二)
- 産褥ノ方法ヲ記セ 四、三五(昭三、一)
- 胎帯切斷端及脫落面ノ處置 四、九六(昭三、一)

- 母乳養法中哺乳ノ方法ヲ同フ 四、三五(昭四、一)
- 初生兒哺乳ノ方法 四、三五(昭六、二)
- 胎帯切斷端ノ處置並ニ脫落面ノ處置 四、九六(昭七、二)
- 母乳ヲ禁ズル場合ヲ舉ゲヨ 四、五二(昭九、一)
- 乳媪ノ選擇ニツイテ 四、五七(昭九、二)
- 初生兒沐浴ヲ禁ズベキ場合ヲ舉ゲヨ 四、一〇五(昭十、一)
- 牛乳養養時ノ注意 四、一八二(昭十、二)
- 初生兒沐浴方法 三、二六九(昭十一、二)
- 初生兒ノ取扱法 三、二七三(昭十一、二)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 葡萄狀鬼胎ノ定義ヲ簡單ニ記セ 五、七(昭四、一)
- 葡萄狀鬼胎ト羊水過多症トノ類似點ト相違點ヲ列舉セヨ 五、一七(昭七、一)
- 肉狀鬼胎ニ就キ知ル處ヲ記セ 五、三三(昭八、一)
- 葡萄狀鬼胎トハ如何及其症狀處置ニ就テ 五、七・五、三三・五、三〇(昭十、一)
- 前置胎盤ノ定義ヲ簡單ニ記セ 五、三六(昭四、一)
- 前置胎盤ノ診斷ト處置ヲ述ベヨ 五、三三・五、三四(昭七、一)
- 胎盤早期剝離ノ原因 五、三二(昭九、一)
- 羊水過多症ト葡萄狀鬼胎トノ鑑別ヲ述ベヨ 五、七(昭四、一)

- 羊水過多症ノ定義ヲ述ベヨ 五、六九(昭五、一)
- 羊水過多症ノ種類及其ノ症狀 五、五・五、五三(昭八、二)
- 羊水過多症ノ症狀及ビ障礙 五、三・五、三三(昭九、二)
- 羊水過少症ノ症狀及ビ障礙ヲ舉ゲヨ 五、七〇(昭十、一)

胎兒異常

- 妊娠中胎兒死亡ノ主ナル原因並ニ死亡胎兒ノ運命、母體ノ症狀及處置ニ就イテ記セ 五、七〇・五、九二・三、三五・五、一〇一(昭五、一)
- 妊娠中ニ於ケル胎兒死亡原因ト其ノ徴候ヲ記セ 五、九七・二、三五(昭八、一)
- 切迫セル流産ノ徴候並ニ處置 一〇三(昭二、一)
- 常習性流産又ハ早産トハ何ゾヤ其原因及處置ヲ同フ 五、一一〇(昭二、二)
- 常習性流産早産ノ最モ主要ナル原因ヲ舉ゲ且ツ胎内ニ如何ナル變化ヲ起シテ流産早産ヲ導クカラ記セ 五、一一〇・五、一〇〇(昭四、一)
- 流産ノ徴候ト子宮外妊娠破裂ノ徴候トヲ比較セヨ 五、一一九(昭六、一)
- 子宮外妊娠ノ種類ト診斷 五、一三六・五、一四〇(昭九、一)
- 母體性器異常
- 子宮後屈症トハ何ゾヤ且ツ其ノ妊娠ハ如何ナ

- 後屈妊娠子宮軟弱症ノ定義ヲ述ベヨ 五二八四・五二八九(昭五、二)
- 妊娠後卒期ニ於ケル生殖器出血ノ原因ヲ列舉セヨ 五二七四(昭五、二)
- 妊娠時ニ於ケル生殖器出血ノ原因ヲ列舉シ其ノ診斷及處置ニ就テ簡單ニ記セ 五二四・五二〇九(昭六、二)
- 妊娠前半期ニ於ケル子宮出血ノ原因ヲ舉ゲヨ 五二二〇(昭八、二)
- 強度ノ浮腫アル産婦ニ對シテ産婆ハ如何ナル注意ヲ以テ取扱フベキヤ 五二九八(昭二、二)
- 妊娠腎臟炎ニ就テ記セ 五三三二(昭二、二)
- 子癇ノ前驅徵候及子癇發作時ノ處置ヲ述ベヨ 五三五一・五三三八(昭三、二)
- 妊娠ノ疾病中直接妊娠ト關係アルモノヲ列舉セヨ 五三三二(昭三、二)
- 子癇ノ定義ヲ簡單ニ記セ 五三二二(昭三、二)
- 惡阻ノ定義ヲ簡單ニ記セ 五三三三(昭四、二)
- 惡阻ノ處置ニ就テ記セ 五三三九(昭五、二)
- 妊娠時ニ於ケル浮腫ノ原因經過特ニソノ各々ガ妊娠婦ノ生命ニ及ボス影響及ソノ處置ニ就テ記セ 五三三三・五三三九・五三六六(昭五、二)
- 子癇ニ就テ記セ 五三三九(昭九、二)

- 妊娠ニ併合セル腎臟炎ノ恐ルベキ所以ヲ述ベヨ 五三三二(昭六、二)
- 妊娠中ニ浮腫ヲ來ス疾病ヲ列記シ其各種浮腫ノ鑑別ノ要點ヲ述ベヨ 五三三三(昭八、二)
- 子癇ノ種類及其ノ症狀 五三三三(昭八、二)
- 子癇ノ特微 五三三三(昭十、二)
- 妊娠中ニ起リ得ベキ妊娠ノ疾病三種ヲ舉ゲヨ 五三三三(昭十、二)
- 母體ノ肺結核、腎臟炎、微毒、淋疾ガ夫々胎兒ニ及ボス影響ヲ述ベヨ 五三三三・五三三九・五三八七(昭四、二)

第六集 異常分娩

- 胎兒附屬物異常
- 卵膜ノ病變ハ胎兒ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤ 六二二(昭三、二)
- 早期破水ガ母兒ニ及ボス影響ヲ述ベヨ 六二七(昭四、二)
- 胎兒異常
- 頭蓋位分娩時ニ於ケル産痛發生ノ部位ヲ記シ併セテ發生ノ理由ヲ記セ 六二〇(昭三、二)
- 後顛頂骨定位ノ定義ヲ述ベヨ 六二〇(昭五、二)
- 胎兒體位ノ異常ヲ列舉セヨ、而シテ分娩ノ困難ナルモノヨリ番號ヲ附セヨ 六二五(昭六、二)
- 横位ノ診斷 六二二(昭十、二)
- 横位ノ診斷及處置 六二二・六二五(昭十、二)

○ 一卵性及胎ト二卵性及胎トノ鑑別

- 母體異常
- 分娩第一期(開口期)ニ於ケル陣痛微弱ノ處置 六三二八(昭三、二)
- 過劇陣痛ノ障礙又取扱法ヲ問フ 六三二九・六三三六(昭十、二)
- 陣痛微弱ノ診斷及處置 六三三〇・六三三三(昭十、二)
- 陣痛微弱ノ診斷及處置 六三三三・六三三六(昭十、二)
- 陣痛微弱ノ診斷及處置 六三三三・六三三六(昭十、二)
- 陣痛微弱ノ診斷及處置 六三三三・六三三六(昭十、二)
- 導尿ノ目的ニ就テ記セ 六三三九(昭三、二)
- 狭窄骨盤ニヨリテ起ル分娩中ノ障害ヲ列舉セヨ 六三五五(昭五、二)
- 狭窄骨盤ニヨリ起ル分娩中ノ障礙ニ就テ記セ 六三五五(昭七、二)
- 單純性扁平骨盤ニ就キ知ル處ヲ記セ 六三三八(昭八、二)
- 狭窄骨盤ノ種類ト主徵候 六三五四・六三七二(昭九、二)
- 高年初産婦ノ分娩時ニ注意スベキ事項 六三九四(昭九、二)
- 弛緩性出血ト子宮頸管破裂ニヨル出血ノ鑑別ヲ記シ其ノ救急處置ニツキテ差異點ヲ舉ゲヨ 六四四六・六四四四(昭三、二)
- 子宮破裂前驅徵候並ニ破裂徵候ヲ述ベヨ 六四四三(昭三、二)
- 弛緩性出血ノ原因診斷及處置ニ就テ記セ 六四四二・六四四六(昭六、二)
- 子宮破裂ノ原因ト其ノ前徵ヲ記セ 六四四二・六四四六(昭六、二)
- 會陰破裂ノ原因ヲ列舉セヨ 六四四二(昭六、二)
- 子宮破裂ノ前徵並ニ子癇ノ前徵ヲ列舉セヨ 六四四二(昭六、二)

第七集 異常產褥・補足知識

- 會陰破裂ノ原因 六四四六・五三五(昭七、二)
- 弛緩性出血ノ原因 六四四七(昭九、二)
- 弛緩性出血ハ如何ナル場合ニ起ルカ 六四四七(昭九、二)
- 弛緩性出血トハ如何ナル場合ニ起ルカ 六四四七(昭十、二)
- 初生兒及褥婦ニ發生シ易キ疾病ノ名稱及豫防法ヲ記セ 七七一(昭十、二)
- 產褥中ニ起リ得ベキ疾病ノ名稱 七二六(昭十、二)
- 產褥時ニ於ケル異常出血ニ就テ記セ 七二七(昭三、二)
- 惡露蓄積症トハ何ゾヤ其ノ原因症狀處置ヲ記セ 七二七(昭五、二)
- 產褥子宮復古機能遲延ノ原因ト其ノ徵候ヲ問フ 七二五・七二六(昭七、二)
- 褥婦子宮復古ノ障礙ヲ列舉セヨ 七二五(昭九、二)
- 產褥熱ニ就テ知ル處ヲ記セ 七二九(昭八、二)
- 產褥中ノ泌尿障礙ヲ舉ゲ簡單ニ説明セヨ 七二四(昭十、二)
- 產褥熱ノ原因徵候 七二三・七二六(昭十、二)
- 產褥期浮腫ヲ起ス疾病 七二六(昭十、二)
- 子宮復古ノ障礙 七二三(昭十、二)
- 產褥ト頭血腫トノ鑑別ヲ記セ 七二九(昭十、二)

- 初生兒腹瀉眼ニ就テ記セ 七二四(昭三、D)
- 初生兒「メレナ」ニ就キテ記セ 七一九(昭四、D)
- 初生兒臍疾患ニ就テ記セ 七三〇(昭七、D)
- メレナ(黒吐病)ニ就キ知ル所ヲ記セ 七一九(昭八、D)
- 乳兒脚氣ノ原因症候 七三〇・七三〇A(昭八、D)
- 初生兒「メレナ」ニ就テ記セ 七一九(昭九、D)
- 早熟兒ノ看護法 七三九(昭二、D)

- 早熟兒ノ看護法 七三九(昭四、D)
- 早熟兒ノ看護及處置 七三九(昭六、D)
- 看護法及介助法 七三九(昭四、D)
- 瀉腸ノ種類及施術時ノ注意事項 七三三・七三三A・七三三B(昭六、D)
- 臍栓塞及臍灌注ハ助産上如何ナル場合ニ如何ニシテ行ハル、モノナリヤ 七三三・七三三A・七三三B(昭六、D)
- 腹部温濕法ハ助産上如何ナル場合ニ如何ニシテ行ハル、モノナリヤ 七三三(昭六、D)

〔三三〕岡山縣

第一集 豫備知識

- 小骨盤ニ於テ左ノ事項ニ答ヘヨ (イ)各部最大徑線ノ名稱及其長さ (ロ)骨盤誘導線 (ハ)眞結合線、解剖的結合線、對角結合線 一三三・一三五・一三三(昭三、D)
- 小骨盤各部最大徑線ノ名稱、測點、長サヲ問フ 一三五(昭五、D)
- 外骨盤計測法ニヨル正常骨盤各徑線ノ長サヲ問フ且ツ側結合線トハ如何ナルモノカ 一三五(昭三、D)

第二集 正常妊娠 妊娠ノ状態

- 脱落膜ニツキ知ルトコロヲ記セ 一三三(昭四、D)
- 妊娠及分娩時ニ於ケル羊水ノ效用ニ就テ 一三六(昭十、D)
- 第七ヶ月胎兒ト第十ヶ月胎兒トヲ比較セヨ 一三七(昭二、D)
- 妊娠ニヨル乳房ノ變化ト之ニ對スル妊娠中ノ注意スベキ事項ヲ記セ 一三五・一三五(昭三、D)
- 妊婦ヲ内診シ如何ナル事ヲ検査スルヤ 一三四(昭三、D)
- 子宮雜音ニツキ知ルトコロヲ記セ 一四〇(昭四、D)
- 妊婦ノ腹部聽診ニ依リテ知リ得ル事ヲ列舉セヨ 一三七(昭四、D)
- 外計測ヲ行フベキ各徑線ノ名稱、測點、長サヲ問フ 一三五(昭五、D)
- 骨盤外計測ノ際ニ測定スベキ各徑線ノ名稱測點及其ノ長サヲ問フ 一三六(昭五、D)

○胎兒心音ノ妊娠時及分娩時ニ於ケル診斷價値ヲ問フ

- 一三六(昭六、D)
- 一四二(昭七、D)

注意スベキカ

- 一三三・一三七(昭三、D)
- 一三三(昭三、D)

第三集 正常分娩 分娩ノ状態

- 産道ノ横査ニ就テ知ル所ヲ記セ 一四二(昭七、D)
- 妊婦ヲ診察シテ妊娠第五ヶ月ナル診斷ヲ得タリ其根據ヲ問フ 一四二(昭二、D)
- 「ガール」氏ノ徵候ニツキ知ルトコロヲ記セ 一三七(昭四、D)
- 妊娠月數ニ比シ子宮ノ異常ナル膨大ヲ起ス原因及其鑑別 一三〇(昭四、D)
- 正規妊娠各月ニ於ケル子宮ノ大キサ及子宮底ノ高サヲ問フ 一三〇(昭六、D)
- 妊娠中胎兒死亡ノ徵候ヲ問フ 一三五(昭六、D)
- 分娩豫定日ノ判定法ヲ列舉シ且ツ之ヲ簡單ニ説明セヨ 一三三(昭七、D)
- 妊娠中胎兒生死ノ判定如何 一三三(昭七、D)
- 妊娠ノ確數ヲ説明スベシ 一三三(昭七、D)
- 最終月經不明妊婦ニテ本月八月中旬(十五日前後)ニ胎動ヲ感シ現在(十月九日)子宮底ハ臍上三横指ニ觸ル、其ノ分娩豫定日ヲ問フ(豫定日算出ノ理由ヲモ記セ) 一三三(昭十、D)
- 妊娠時期ヲ判定スベキ諸項ニツイテ述ベヨ 一三三(昭十一、D)
- 一三三(昭十三、D)

- 第二後頭位ニ於ケル肩胛ノ分娩機轉ヲ記セ 一三二(昭二、D)
- 分娩時兒頭ハ如何ニ變形スルヤ 一三五(昭三、D)
- 産瘤ニ就キテ左ノ事ヲ問フ (イ)如何ニシテ發生セラル、ヤ (ロ)産生セザル場合ヲ舉ゲヨ (ハ)大ナル時 (ニ)小ナル時 一三〇・一三六・一三九(昭四、D)
- 産出力ノ種類及其ノ作用ヲ問フ 一三六・一三五・一三五(昭七、D)
- 分娩ノ難易ニ關係アル主ナル要素ヲ問フ 一三五(昭十、D)
- 分娩開始ノ徵候 一三六(昭十三、D)
- 分娩中腹壓ニ就テ知ル所ヲ記セ 一三三(昭十四、D)

分娩時診察

- 妊婦並ニ産婦ニ於ケル胎兒心音ノ診斷的價値ヲ述ベヨ 一三三(昭十一、D)
- 分娩時ニ於ケル兒頭ノ縫合及ビ内門ノ診斷的價値 一三六(昭六、D)
- 骨盤内ニ於ケル兒頭ノ高サ(分娩進行程度)ヲ判定スル方法如何 一三九(昭十、D)
- 分娩進行ノ程度特ニ先進兒頭下降ノ度ハ如何 一三五(昭十、D)

妊婦攝生法

○妊婦並ニ産婦ノ飲食物ニ就テハ如何ナル事ニ

ニシテ知ラルベキカ(兒頭下降ノ度ハ骨盤平面ニ就キ説明スベシ)

分娩取扱法

- 産婦外診ニヨリ分娩ノ進行程度ヲ知ラントセバ如何ナル事項ヲ觀察スベキカ(觀察スベキ事項ヲ舉ゲ且之ヲ簡單ニ説明セヨ)
- 會陰保護法ノ要點ヲ問フ
- 會陰保護實施ニ當リ其主要ナル注意事項ヲ問フ
- 初生兒沐浴ノ方法及特ニ注意スベキ點ヲ問フ
- 會陰保護ノ理論ノ要點
- 仰臥位ト側臥位ニ於ケル會陰保護ノ優劣ヲ論ゼヨ
- 娩出期ニ於ケル産婦取扱法ノ要點ヲ述ベヨ
- 分娩直後ニ於ケル褥婦ニ對シ注意スベキ事項ヲ述ベヨ
- 臍帶斷端ノ處置ニ就テ
- 臍帶斷端ノ處置ニ就テ
- 分娩直後ニ於テ産婆ノ行フベキ新産兒(初生兒)ノ處置ニ就テ
- 分娩第一期ニ於テ産婦位置(體位)ニ關シ注意スベキ點アラバ述ベヨ
- 開口期取扱上如何ナル事ニ注意スベキカ

- 三二四(昭十、一)
- 三三三(昭二、一)
- 三三三(昭四、一)
- 三三六(昭五、一)
- 三三三(昭六、一)
- 三三六(昭六、二)
- 三三六(昭七、一)
- 三三六(昭七、二)
- 三三六(昭十、一)
- 三三六(昭十、二)
- 三三六(昭十、三)
- 三三六(昭十、四)
- 三三六(昭十、五)
- 三三六(昭十、六)
- 三三六(昭十、七)
- 三三六(昭十、八)
- 三三六(昭十、九)
- 三三六(昭十、一〇)
- 三三六(昭十、一一)
- 三三六(昭十、一二)
- 三三六(昭十、一三)
- 三三六(昭十、一四)
- 三三六(昭十、一五)
- 三三六(昭十、一六)
- 三三六(昭十、一七)
- 三三六(昭十、一八)
- 三三六(昭十、一九)
- 三三六(昭十、二〇)
- 三三六(昭十、二一)
- 三三六(昭十、二二)
- 三三六(昭十、二三)
- 三三六(昭十、二四)
- 三三六(昭十、二五)
- 三三六(昭十、二六)
- 三三六(昭十、二七)
- 三三六(昭十、二八)
- 三三六(昭十、二九)
- 三三六(昭十、三〇)
- 三三六(昭十、三一)
- 三三六(昭十、三二)
- 三三六(昭十、三三)
- 三三六(昭十、三四)
- 三三六(昭十、三五)
- 三三六(昭十、三六)
- 三三六(昭十、三七)
- 三三六(昭十、三八)
- 三三六(昭十、三九)
- 三三六(昭十、四〇)
- 三三六(昭十、四一)
- 三三六(昭十、四二)
- 三三六(昭十、四三)
- 三三六(昭十、四四)
- 三三六(昭十、四五)
- 三三六(昭十、四六)
- 三三六(昭十、四七)
- 三三六(昭十、四八)
- 三三六(昭十、四九)
- 三三六(昭十、五〇)
- 三三六(昭十、五一)
- 三三六(昭十、五二)
- 三三六(昭十、五三)
- 三三六(昭十、五四)
- 三三六(昭十、五五)
- 三三六(昭十、五六)
- 三三六(昭十、五七)
- 三三六(昭十、五八)
- 三三六(昭十、五九)
- 三三六(昭十、六〇)
- 三三六(昭十、六一)
- 三三六(昭十、六二)
- 三三六(昭十、六三)
- 三三六(昭十、六四)
- 三三六(昭十、六五)
- 三三六(昭十、六六)
- 三三六(昭十、六七)
- 三三六(昭十、六八)
- 三三六(昭十、六九)
- 三三六(昭十、七〇)
- 三三六(昭十、七一)
- 三三六(昭十、七二)
- 三三六(昭十、七三)
- 三三六(昭十、七四)
- 三三六(昭十、七五)
- 三三六(昭十、七六)
- 三三六(昭十、七七)
- 三三六(昭十、七八)
- 三三六(昭十、七九)
- 三三六(昭十、八〇)
- 三三六(昭十、八一)
- 三三六(昭十、八二)
- 三三六(昭十、八三)
- 三三六(昭十、八四)
- 三三六(昭十、八五)
- 三三六(昭十、八六)
- 三三六(昭十、八七)
- 三三六(昭十、八八)
- 三三六(昭十、八九)
- 三三六(昭十、九〇)
- 三三六(昭十、九一)
- 三三六(昭十、九二)
- 三三六(昭十、九三)
- 三三六(昭十、九四)
- 三三六(昭十、九五)
- 三三六(昭十、九六)
- 三三六(昭十、九七)
- 三三六(昭十、九八)
- 三三六(昭十、九九)
- 三三六(昭十、一〇〇)

- 後産検査ノ必要トソノ方法
- 分娩第三期取扱法ニ就テ
- 分娩直後ニ於ケル新産兒及母體ノ處置ヲ問フ
- クレーデ氏點服法ノ目的如何

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 正常産褥第五日ニ於ケル子宮底ノ高サ惡露ノ性状、脈搏及體温ノ状態ヲ問フ
- 正常産褥第五日ニ於ケル惡露ノ性状
- 正常産褥第五日ニ於ケル脈搏及體温ノ状態ヲ問フ
- 初乳ニ就キテ知レル事ヲ記セ
- 健康褥婦ニ子宮ノ全ク復舊スル時期
- 健康褥婦ニ惡露ノ消失スル時期
- 初乳永久乳(眞乳)ニ就テ知ルコトヲ記セ
- 後陣痛ニツイテ述ベヨ
- 正常産褥ニ於ケル惡露ノ性状及ビ經過ニ就テ
- 正常産褥ニ於ケル體温脈搏及子宮底ノ高サニ就テ述ベヨ
- 惡露ニ就テ記セ
- 後陣痛ニ就キ簡單ニ記セ
- 正規産褥惡露ノ經過ヲ記セ

- 三二九(昭十、一)
- 三三六(昭十、二)
- 三三六(昭十、三)
- 三三六(昭十、四)
- 三三六(昭十、五)
- 三三六(昭十、六)
- 三三六(昭十、七)
- 三三六(昭十、八)
- 三三六(昭十、九)
- 三三六(昭十、一〇)
- 三三六(昭十、一一)
- 三三六(昭十、一二)
- 三三六(昭十、一三)
- 三三六(昭十、一四)
- 三三六(昭十、一五)
- 三三六(昭十、一六)
- 三三六(昭十、一七)
- 三三六(昭十、一八)
- 三三六(昭十、一九)
- 三三六(昭十、二〇)
- 三三六(昭十、二一)
- 三三六(昭十、二二)
- 三三六(昭十、二三)
- 三三六(昭十、二四)
- 三三六(昭十、二五)
- 三三六(昭十、二六)
- 三三六(昭十、二七)
- 三三六(昭十、二八)
- 三三六(昭十、二九)
- 三三六(昭十、三〇)
- 三三六(昭十、三一)
- 三三六(昭十、三二)
- 三三六(昭十、三三)
- 三三六(昭十、三四)
- 三三六(昭十、三五)
- 三三六(昭十、三六)
- 三三六(昭十、三七)
- 三三六(昭十、三八)
- 三三六(昭十、三九)
- 三三六(昭十、四〇)
- 三三六(昭十、四一)
- 三三六(昭十、四二)
- 三三六(昭十、四三)
- 三三六(昭十、四四)
- 三三六(昭十、四五)
- 三三六(昭十、四六)
- 三三六(昭十、四七)
- 三三六(昭十、四八)
- 三三六(昭十、四九)
- 三三六(昭十、五〇)
- 三三六(昭十、五一)
- 三三六(昭十、五二)
- 三三六(昭十、五三)
- 三三六(昭十、五四)
- 三三六(昭十、五五)
- 三三六(昭十、五六)
- 三三六(昭十、五七)
- 三三六(昭十、五八)
- 三三六(昭十、五九)
- 三三六(昭十、六〇)
- 三三六(昭十、六一)
- 三三六(昭十、六二)
- 三三六(昭十、六三)
- 三三六(昭十、六四)
- 三三六(昭十、六五)
- 三三六(昭十、六六)
- 三三六(昭十、六七)
- 三三六(昭十、六八)
- 三三六(昭十、六九)
- 三三六(昭十、七〇)
- 三三六(昭十、七一)
- 三三六(昭十、七二)
- 三三六(昭十、七三)
- 三三六(昭十、七四)
- 三三六(昭十、七五)
- 三三六(昭十、七六)
- 三三六(昭十、七七)
- 三三六(昭十、七八)
- 三三六(昭十、七九)
- 三三六(昭十、八〇)
- 三三六(昭十、八一)
- 三三六(昭十、八二)
- 三三六(昭十、八三)
- 三三六(昭十、八四)
- 三三六(昭十、八五)
- 三三六(昭十、八六)
- 三三六(昭十、八七)
- 三三六(昭十、八八)
- 三三六(昭十、八九)
- 三三六(昭十、九〇)
- 三三六(昭十、九一)
- 三三六(昭十、九二)
- 三三六(昭十、九三)
- 三三六(昭十、九四)
- 三三六(昭十、九五)
- 三三六(昭十、九六)
- 三三六(昭十、九七)
- 三三六(昭十、九八)
- 三三六(昭十、九九)
- 三三六(昭十、一〇〇)

産褥取扱法

- 初生兒餓餓熱(湯熱)ニツキ答ヘヨ
- 初生兒臍帶脫落ノ時期
- 生後一ケ年間ニ於ケル小兒ノ體重ノ變化ニツキテ述ベヨ
- 初生兒餓餓熱(湯熱)ニ就テ知レル事ヲ記セ
- 臍乳ニ就テ知レル所ヲ記セ
- 初生兒ノ呼吸及ビ脈搏數ニ就テ問フ
- 初生兒黃疸ニ就キテ問フ
- 生後約二週間内ニ於テ初生兒ニ起ル主ナル生理的現象ヲ述ベヨ
- 初生兒體温ニ就キ知レル所ヲ記セ
- 生後約二週間内ニ於テ初生兒ニ起ル生理的現象ニ就テ記セ
- 生後二週間内ニ於テ初生兒ニ起ル主ナル生理的現象
- 新産兒(初生兒)ノ呼吸脈搏體温體重ニ就テ
- 飢餓熱ニ就テ知レル所ヲ記セ
- 新産兒(初生兒)ノ尿及ビ大便ニ就テ
- 新産兒(初生兒)ノ黃疸ニ就テ
- 生後二週間ニ起ル新産兒ノ主ナル生理的現象ヲ列舉シ且ツ簡單ニ説明セヨ
- 新産兒大便ノ性状及排便回数ヲ述ベヨ

- 四二〇(昭三、一)
- 四二〇(昭三、二)
- 四二〇(昭三、三)
- 四二〇(昭三、四)
- 四二〇(昭三、五)
- 四二〇(昭三、六)
- 四二〇(昭三、七)
- 四二〇(昭三、八)
- 四二〇(昭三、九)
- 四二〇(昭三、一〇)
- 四二〇(昭三、一一)
- 四二〇(昭三、一二)
- 四二〇(昭三、一三)
- 四二〇(昭三、一四)
- 四二〇(昭三、一五)
- 四二〇(昭三、一六)
- 四二〇(昭三、一七)
- 四二〇(昭三、一八)
- 四二〇(昭三、一九)
- 四二〇(昭三、二〇)
- 四二〇(昭三、二一)
- 四二〇(昭三、二二)
- 四二〇(昭三、二三)
- 四二〇(昭三、二四)
- 四二〇(昭三、二五)
- 四二〇(昭三、二六)
- 四二〇(昭三、二七)
- 四二〇(昭三、二八)
- 四二〇(昭三、二九)
- 四二〇(昭三、三〇)
- 四二〇(昭三、三一)
- 四二〇(昭三、三二)
- 四二〇(昭三、三三)
- 四二〇(昭三、三四)
- 四二〇(昭三、三五)
- 四二〇(昭三、三六)
- 四二〇(昭三、三七)
- 四二〇(昭三、三八)
- 四二〇(昭三、三九)
- 四二〇(昭三、四〇)
- 四二〇(昭三、四一)
- 四二〇(昭三、四二)
- 四二〇(昭三、四三)
- 四二〇(昭三、四四)
- 四二〇(昭三、四五)
- 四二〇(昭三、四六)
- 四二〇(昭三、四七)
- 四二〇(昭三、四八)
- 四二〇(昭三、四九)
- 四二〇(昭三、五〇)
- 四二〇(昭三、五一)
- 四二〇(昭三、五二)
- 四二〇(昭三、五三)
- 四二〇(昭三、五四)
- 四二〇(昭三、五五)
- 四二〇(昭三、五六)
- 四二〇(昭三、五七)
- 四二〇(昭三、五八)
- 四二〇(昭三、五九)
- 四二〇(昭三、六〇)
- 四二〇(昭三、六一)
- 四二〇(昭三、六二)
- 四二〇(昭三、六三)
- 四二〇(昭三、六四)
- 四二〇(昭三、六五)
- 四二〇(昭三、六六)
- 四二〇(昭三、六七)
- 四二〇(昭三、六八)
- 四二〇(昭三、六九)
- 四二〇(昭三、七〇)
- 四二〇(昭三、七一)
- 四二〇(昭三、七二)
- 四二〇(昭三、七三)
- 四二〇(昭三、七四)
- 四二〇(昭三、七五)
- 四二〇(昭三、七六)
- 四二〇(昭三、七七)
- 四二〇(昭三、七八)
- 四二〇(昭三、七九)
- 四二〇(昭三、八〇)
- 四二〇(昭三、八一)
- 四二〇(昭三、八二)
- 四二〇(昭三、八三)
- 四二〇(昭三、八四)
- 四二〇(昭三、八五)
- 四二〇(昭三、八六)
- 四二〇(昭三、八七)
- 四二〇(昭三、八八)
- 四二〇(昭三、八九)
- 四二〇(昭三、九〇)
- 四二〇(昭三、九一)
- 四二〇(昭三、九二)
- 四二〇(昭三、九三)
- 四二〇(昭三、九四)
- 四二〇(昭三、九五)
- 四二〇(昭三、九六)
- 四二〇(昭三、九七)
- 四二〇(昭三、九八)
- 四二〇(昭三、九九)
- 四二〇(昭三、一〇〇)

- 健康褥婦ニ全身浴ヲ許ス時期
- 産褥時ニ於ケル尿閉ノ原因及其處置
- 産褥早期離床トハ如何ナル事ナルカ及其ノ可否ヲ問フ
- 産褥經過ノ良否ヲ判定スル根據ヲ問フ
- 健康褥婦ニ仰臥セシムベキ期間
- 健康褥婦ニ離床全身浴ヲ許スベキ時期
- 産褥經過ノ良否ハ何ニヨリテ判定スベキヤ
- 産褥經過ノ良否ヲ判断スルニ必要ナル事項並ニ離床ヲ許スベキ時期ヲ問フ
- 褥婦ニ離床ヲ許スベキ時期ヲ問フ
- 産褥經過ノ良否ヲ判定スルニ必要ナル條項ヲ舉ゲ其各ニ就テ説明セヨ
- 褥婦ニ對スル注意事項
- 産褥經過ノ良否ハ何ニヨリテ判断スルヤ
- 産褥早期離床ノ利害ヲ問フ
- 初生兒榮養法ノ種類及其優劣ヲ舉ゲ併セテ初生兒ニ最モ適シタル榮養法ヲ述ベヨ
- 褥婦が授乳スルニ當リ注意スベキ事項ヲ舉ゲヨ

- 四二〇(昭三、一)
- 四二〇(昭三、二)
- 四二〇(昭三、三)
- 四二〇(昭三、四)
- 四二〇(昭三、五)
- 四二〇(昭三、六)
- 四二〇(昭三、七)
- 四二〇(昭三、八)
- 四二〇(昭三、九)
- 四二〇(昭三、一〇)
- 四二〇(昭三、一一)
- 四二〇(昭三、一二)
- 四二〇(昭三、一三)
- 四二〇(昭三、一四)
- 四二〇(昭三、一五)
- 四二〇(昭三、一六)
- 四二〇(昭三、一七)
- 四二〇(昭三、一八)
- 四二〇(昭三、一九)
- 四二〇(昭三、二〇)
- 四二〇(昭三、二一)
- 四二〇(昭三、二二)
- 四二〇(昭三、二三)
- 四二〇(昭三、二四)
- 四二〇(昭三、二五)
- 四二〇(昭三、二六)
- 四二〇(昭三、二七)
- 四二〇(昭三、二八)
- 四二〇(昭三、二九)
- 四二〇(昭三、三〇)
- 四二〇(昭三、三一)
- 四二〇(昭三、三二)
- 四二〇(昭三、三三)
- 四二〇(昭三、三四)
- 四二〇(昭三、三五)
- 四二〇(昭三、三六)
- 四二〇(昭三、三七)
- 四二〇(昭三、三八)
- 四二〇(昭三、三九)
- 四二〇(昭三、四〇)
- 四二〇(昭三、四一)
- 四二〇(昭三、四二)
- 四二〇(昭三、四三)
- 四二〇(昭三、四四)
- 四二〇(昭三、四五)
- 四二〇(昭三、四六)
- 四二〇(昭三、四七)
- 四二〇(昭三、四八)
- 四二〇(昭三、四九)
- 四二〇(昭三、五〇)
- 四二〇(昭三、五一)
- 四二〇(昭三、五二)
- 四二〇(昭三、五三)
- 四二〇(昭三、五四)
- 四二〇(昭三、五五)
- 四二〇(昭三、五六)
- 四二〇(昭三、五七)
- 四二〇(昭三、五八)
- 四二〇(昭三、五九)
- 四二〇(昭三、六〇)
- 四二〇(昭三、六一)
- 四二〇(昭三、六二)
- 四二〇(昭三、六三)
- 四二〇(昭三、六四)
- 四二〇(昭三、六五)
- 四二〇(昭三、六六)
- 四二〇(昭三、六七)
- 四二〇(昭三、六八)
- 四二〇(昭三、六九)
- 四二〇(昭三、七〇)
- 四二〇(昭三、七一)
- 四二〇(昭三、七二)
- 四二〇(昭三、七三)
- 四二〇(昭三、七四)
- 四二〇(昭三、七五)
- 四二〇(昭三、七六)
- 四二〇(昭三、七七)
- 四二〇(昭三、七八)
- 四二〇(昭三、七九)
- 四二〇(昭三、八〇)
- 四二〇(昭三、八一)
- 四二〇(昭三、八二)
- 四二〇(昭三、八三)
- 四二〇(昭三、八四)
- 四二〇(昭三、八五)
- 四二〇(昭三、八六)
- 四二〇(昭三、八七)
- 四二〇(昭三、八八)
- 四二〇(昭三、八九)
- 四二〇(昭三、九〇)
- 四二〇(昭三、九一)
- 四二〇(昭三、九二)
- 四二〇(昭三、九三)
- 四二〇(昭三、九四)
- 四二〇(昭三、九五)
- 四二〇(昭三、九六)
- 四二〇(昭三、九七)
- 四二〇(昭三、九八)
- 四二〇(昭三、九九)
- 四二〇(昭三、一〇〇)

- 初生児ノ左記ニツキ注意スベキ事項ヲ述ベヨ
 (イ) 哺乳 昭三、(ロ) 沐浴 昭四、(ハ) 髪 昭三、(ニ) 臍帯脱落後注意スベキ諸件ヲ述ベヨ 昭三、(ホ) 初乳ノ定義及其ノ效用ニ就キテ問フ 昭四、(ヘ) 初生児沐浴ニ就キテ問フ 昭四、(ト) 授乳(母乳栄養)ニ就キテ述ベヨ 昭五、(チ) 母乳ヲ中止セバナラヌ疾病及其ノ理由 昭七、(リ) 乳兒栄養上母乳ヲ止メバナラヌ主ナル疾病ヲ舉ゲ其ノ理由ヲ簡單ニ説明セヨ 昭十、(ル) 新産兒授乳ノ開始、持續時間及ビ回数ニ就キ知ル所ヲ記セ 昭三、(レ) 適當ナル授乳法ニ就テ 昭三、(ロ) 新産兒沐浴ノ利害ヲ述ベヨ 昭三、(ハ) 授乳ヲ差シ控ユベキ母體ノ疾患及ビ人工栄養ノ大要ヲ記セ 昭六、(ニ) 臍帯脱落後ノ處置 昭七、(ホ) 新産兒沐浴ノ温度及沐浴時間 昭七、(ト) 母乳ハ何故宜シキヤ 昭十、(チ) 胎兒附屬物異常 昭三、(リ) 葡萄狀胎胎ノ診斷及豫後ニ就キテ記セ 昭三、(ル) 妊娠子宮ノ異常ナル膨大ヲ起ス主ナル原因及

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 葡萄狀胎胎ノ診斷及豫後ニ就キテ記セ 昭三、(リ) 妊娠子宮ノ異常ナル膨大ヲ起ス主ナル原因及

- 其ノ鑑別ノ要點ヲ問フ 昭五、(ト) 胞狀胎胎(葡萄狀胎胎)ノ徴候 昭三、(チ) 前置胎盤ニヨル出血ト臍帯ノ卵膜附着ニヨル出血トノ差異ヲ問フ 昭三、(リ) 正常位胎盤ノ早期剝離ト前置胎盤トノ區別ヲ記セヨ 昭五、(ト) 前置胎盤ト正常位ニ於ケル胎盤ノ早期剝離トノ鑑別點ヲ列舉セヨ 昭六、(ト) 正常位胎盤早期剝離ノ原因及徴候 昭七、(ト) 前置胎盤ノ診斷ニ就テ 昭七、(ト) 正常位胎盤早期剝離ノ診斷 昭七、(ト) 羊水過多症ノ診斷 昭七、(ト) 羊水過多症トハ如何ナルモノカ且ツ之ト鑑別スベキモノヲ述ベヨ 昭七、(ト) 妊娠中胎兒死亡ノ原因ヲ問フ 昭七、(ト) 習慣性流産早産ノ主ナル原因ヲ問フ 昭七、(ト) 流産切迫(切迫流産)ニ就キ知レル所ヲ記セ 昭七、(ト) 流産切迫ニ就キ知レル處ヲ記セ 昭七、(ト) 流早産ノ定義及徴候ヲ述ベヨ 昭七、(ト)

胎兒異常

- 胎兒異常 昭七、(ト) 習慣性流産早産ノ主ナル原因ヲ問フ 昭七、(ト) 流産切迫(切迫流産)ニ就キ知レル所ヲ記セ 昭七、(ト) 流産切迫ニ就キ知レル處ヲ記セ 昭七、(ト) 流早産ノ定義及徴候ヲ述ベヨ 昭七、(ト)

- 輸卵管妊娠中絶ノ徴候ヲ問フ 昭三、(ト) 双角子宮ニ就キ知レル所ヲ記セ 昭三、(ト) 懸垂腹ニ就キ知レル所ヲ記セ 昭三、(ト) 妊娠中ニ於ケル子宮出血ノ原因ヲ列舉セヨ 昭三、(ト) 母體全身異常 昭三、(ト) 妊娠悪阻看護上ノ要點ヲ問フ 昭三、(ト) 妊娠時浮腫ノ原因ヲ問フ 昭三、(ト) 産婦ニ屢々來ル浮腫ノ原因及其ノ處置(五、二九、三〇、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇) 子癩ノ原因及ビ主ナル症候 昭三、(ト) 子癩ノ豫防法 昭三、(ト) 妊娠中毒症トハ如何ナルモノカ 昭三、(ト) 子癩ノ種類(發病時期ニヨル分類)ヲ述ベヨ 昭三、(ト) 子癩ノ前驅徴候 昭三、(ト) 妊娠ニヨリテハ主ナル疾患ヲ舉ゲ且ツ其ノ徴候ヲ述ベヨ 昭三、(ト) 脚氣ト妊娠分娩トノ關係 昭三、(ト)

母體性器異常

母體全身異常

- 輸卵管妊娠中絶ノ徴候ヲ問フ 昭三、(ト) 双角子宮ニ就キ知レル所ヲ記セ 昭三、(ト) 懸垂腹ニ就キ知レル所ヲ記セ 昭三、(ト) 妊娠中ニ於ケル子宮出血ノ原因ヲ列舉セヨ 昭三、(ト) 母體全身異常 昭三、(ト) 妊娠悪阻看護上ノ要點ヲ問フ 昭三、(ト) 妊娠時浮腫ノ原因ヲ問フ 昭三、(ト) 産婦ニ屢々來ル浮腫ノ原因及其ノ處置(五、二九、三〇、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇) 子癩ノ原因及ビ主ナル症候 昭三、(ト) 子癩ノ豫防法 昭三、(ト) 妊娠中毒症トハ如何ナルモノカ 昭三、(ト) 子癩ノ種類(發病時期ニヨル分類)ヲ述ベヨ 昭三、(ト) 子癩ノ前驅徴候 昭三、(ト) 妊娠ニヨリテハ主ナル疾患ヲ舉ゲ且ツ其ノ徴候ヲ述ベヨ 昭三、(ト) 脚氣ト妊娠分娩トノ關係 昭三、(ト)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 脚氣ノ妊婦産婦轉變並ニ乳兒ニ及ボス影響 昭三、(ト) 妊婦ガ急性傳染病ニ罹患セル場合ニ就テ記セ 昭三、(ト) 結核患者ガ妊娠セル場合ニ就テ記セ 昭三、(ト) 胎兒異常 昭三、(ト) 畸形兒ノ種類ヲ列記シ之ニ對スル産婆ノ處置ヲ記セ 昭三、(ト) 各體位分娩ニ於テ最初恥骨弓下ニ露ハルベキ胎兒部分ヲ問フ 昭三、(ト) 第一前頭位ノ外診所見及骨盤測ニ於ケル内診所見ヲ問フ 昭三、(ト) 骨盤端位分娩ハ頭位分娩ニ比シテ胎兒ニ危険多シ其ノ理由ヲ列舉セヨ 昭三、(ト)

胎兒異常

- 胎兒異常 昭三、(ト) 畸形兒ノ種類ヲ列記シ之ニ對スル産婆ノ處置ヲ記セ 昭三、(ト) 各體位分娩ニ於テ最初恥骨弓下ニ露ハルベキ胎兒部分ヲ問フ 昭三、(ト) 第一前頭位ノ外診所見及骨盤測ニ於ケル内診所見ヲ問フ 昭三、(ト) 骨盤端位分娩ハ頭位分娩ニ比シテ胎兒ニ危険多シ其ノ理由ヲ列舉セヨ 昭三、(ト)

- 各胎位分娩ニ於テ最初胎骨弓下ニ現ルベキ胎兒部分ヲ問フ
 - 遷延横位(遷延性横位)ニ就キ知レル所ヲ記セ 六〇七(昭五、一)
 - 遷延横位トハ如何ナルモノカ 六〇六(昭十、一)
 - 紙狀胎兒ニ就キ知レル所ヲ記セ 六〇九(昭十、一)
 - 胎兒窒息ニヨリテ如何ナル徵候ヲ發スルヤ 六〇六(昭七、一)
- 母體異常
 - 微弱陣痛ノ療法 六〇四(昭十、一)
 - 狭窄骨盤ノ頭位分娩ニ際シテ起ル主ナル障礙ヲ列舉セヨ 六〇五(昭五、一)
 - 狭窄骨盤ニヨリテ起ル分娩中ノ障礙ヲ述ベヨ 六〇五(昭六、一)
 - 狭窄骨盤(狭窄骨盤)ノ診斷及分娩介助ニ就テ 六〇七・六〇八(昭十、一)
 - 狭窄骨盤ノ診斷及狭窄骨盤ヲ有スル妊婦ノ取扱方 六〇七・六〇八(昭十、一)
 - 子宮破裂ノ前驅徵候ヲ問フ 六〇六(昭三、一)
 - 後産期及分娩直後ノ出血ノ原因及其處置ヲ問フ 六〇五(昭四、一)
 - 後産期出血ノ異常出血ノ種類及其處置 六〇五・六〇七(昭四、一)
 - 不全子宮破裂ニ就キ知レル所ヲ記セ 六〇四(昭十、一)
 - 後産期出血ノ原因、鑑別診斷及産婆トシテ行フベキ處置ヲ問フ 六〇五・六〇七・六〇八(昭十、一)

- 頸管裂傷ニ就テ 六〇九(昭十、一)

第七集 異常産褥・補足知識

- 産褥熱トハ如何ナルモノカ及ビ其現ハル、主ナル徵候ヲ問フ 六〇七・六〇八(昭二、一)
- 乳汁分泌異常ニ對シテ如何ナル注意ヲ與フルカ 六〇九(昭三、一)
- 乳汁ノ分泌異常(過多過少)ニ對スル處置 六〇九(昭四、一)
- 異常惡露トハ如何ナルモノカ 六〇六(昭五、一)
- 異常惡露トハ如何ナルモノカ 六〇六(昭六、一)
- 乳汁分泌異常過多過少ノ處置 六〇九(昭六、一)
- 産褥ニ創傷傳染ノ起リ易キ理由及其ノ主ナル預防法 六〇七・六〇八(昭七、一)
- 産褥熱ノ原因及ビ之ガ預防ニ就テ記セ 六〇七・六〇八(昭十、一)
- 異常惡露ニ就キ説明セヨ 六〇七(昭十、一)
- 産褥熱ノ起リ易キ理由及其ノ預防上ノ主要點ヲ問フ 六〇七・六〇八(昭十、一)

新産兒異常

- 初生兒膿漏眼ノ原因症候 六〇七・六〇八(昭二、一)
- 妊婦脚氣ニツキテ、及脚氣母乳ノ乳兒ニ及ビス影響ニツキテ記セ 六〇七・六〇八(昭二、一)
- 乳兒脚氣ノ徵候及處置 六〇七・六〇八(昭三、一)
- 驚口瘡ノ原因症候及處置 六〇七(昭三、一)

- 先天梅毒兒ノ重ナル徵候 六〇七(昭四、一)
- 初生兒黃疸ニ就イテ知ル處ヲ記セ 六〇七(昭五、一)
- 乳兒脚氣ノ徵候 六〇七(昭五、一)
- 初生兒ノ罹リ易キ肺疾患ノ種類ヲ舉ゲ簡單ニ之ヲ説明セヨ 六〇七(昭五、一)
- 驚口瘡ノ徵候及處置 六〇七(昭六、一)
- 産褥熱血腫ノ原因及其ノ處置 六〇七・六〇八(昭六、一)
- 初産兒膿漏眼ノ原因及豫防法 六〇七・六〇八(昭六、一)
- 乳兒脚氣ノ主ナル徵候ヲ記セ 六〇七(昭十、一)
- 初産兒疾患ノ種類ヲ舉ゲ簡單ニ説明セヨ 六〇七(昭十、一)
- 淋疾ハ妊娠産褥初生兒ニ如何ナル影響ヲ及ボスカ 六〇七(昭十、一)
- 初産兒膿漏眼ニ就キ説明セヨ 六〇七(昭十、一)

- 初生兒肺疾患ヲ列舉シ之ヲ説明セヨ 六〇七(昭五、一)
- 初生兒膿漏眼ニ就テ記セ 六〇七(昭五、一)
- 早産兒看護上ニ注意スベキ事項ヲ問フ 六〇七(昭六、一)
- 早産兒看護法ノ主要點 六〇七(昭六、一)
- 産婆ニ關スル法令 六〇七(昭六、一)
- 死亡診斷書死産證書及死胎檢案書ノ區別ヲ述ベヨ 六〇七(昭七、一)
- 豫テヨリ診察中ノ妊婦突然死兒ヲ分娩シタリトテ死産證書ヲ求メ來レリ此ノ際産婆トシテ如何ニスベキカ 六〇七(昭十、一)
- 死産證書ノ交付ハ妊娠何ヶ月以後ノモノニ必要ナルヤ 六〇七(昭十、一)

〔三三〕 鳥取縣

第一集 豫備知識

- 骨盤ヲ構成スル骨ノ名稱位置並ニ男女骨盤ノ差異ヲ記セ 一〇三・一〇四(昭三、一)
- 骨盤各部ニ就キ詳記セヨ 一〇四(昭三、一)
- 骨盤ヲ形成スル骨ノ名稱並ニ其關節ニ就キテ 一〇四(昭三、一)

- 子宮ト腹膜トノ關係 一〇三(昭三、一)
- 卵巢及輸卵管ノ構造ヲ記セ 一〇三・一〇四(昭四、一)
- 子宮ト腹膜トノ關係 一〇三(昭五、一)
- 黃體 一〇三(昭五、一)
- 受精現象ニ就テ記セ 一〇三(昭五、一)

- 月經ト排卵ト妊娠トノ關係ニ付キ知ル處ヲ記セ
三二八・三三三(昭八、二)
- 橫隔膜ニ就テ記セ
一〇四九(昭二、一)
- 血液ニ就テ
一〇五五(昭二、一)
- 蟲棲突起、腸間膜ニ就テ記セ
一〇八三(昭二、一)
- 消化液ノ種類及作用
一〇八九(昭二、一)
- 副腎ニ就テ記セ
一〇三三(昭二、一)
- 腎臟ノ位置、形狀及ビ機能ヲ記セ
一〇五五・一〇九九(昭六、一)
- 腎臟ノ位置、形狀及ビ機能ヲ記セ
一〇五五・一〇九九(昭六、一)
- 連鎖狀球菌ヲ説明セヨ
一〇三五(昭五、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 胎盤ノ構造及作用
二二六・二三三(昭三、一)
- 胎盤形成前ニ於ケル胎兒ノ榮養
二二〇(昭三、一)
- 胎盤完成ノ時期
二二七(昭四、一)
- 羊水ニ就イテ記セ
二二六(昭四、一)
- 羊水ノ效用ヲ問フ
二二六(昭四、一)
- 妊娠時及分娩時ニ於ケル羊水ノ效用ヲ記セヨ
二二六(昭五、一)
- ワルトン氏膠樣質ヲ説明セヨ
二二六(昭五、一)
- 初生兒ト胎兒トノ血行ノ差異
二二六(昭四、一)

- 成熟胎兒ノ特徴ヲ記セ
一〇一〇(昭五、一)
- 妊娠三ヶ月及八ヶ月ニ於ケル胎兒ノ狀況ニ就テ記セ
三二八・三二九(昭五、一)
- 凶門ノ種類數及其ノ構成ヲ圖解セヨ
二九三(昭三、一)
- 妊娠線
二九六(昭三、一)
- 母體ニ於テ生殖器以外ニ現ハル、妊娠性變化ヲ記セ
二九三(昭四、一)
- 妊娠末期ニ於ケル診察法
二八五(昭九、一)
- 妊娠ト誤リ易キ疾患名ヲ列記シ簡單ニ説明セヨ
二二六(昭二、一)
- 妊娠ニ類スル疾病ノ名稱及妊娠トノ鑑別
二二六(昭二、一)
- 初妊婦ト經妊婦トノ鑑別ヲ記セ
二二六(昭六、一)
- 初妊婦ト經妊婦トノ鑑別ヲ記セ
二二六(昭六、一)
- 妊娠八ヶ月ニ於テ之ニ類スル疾患アラバ其ノ病名及鑑別ヲ要スベキ點ヲ記セヨ
二二六(昭八、一)
- 初妊婦ト經産婦トノ區別ヲ箇條書ニセヨ
二二六(昭九、一)
- 分娩豫定日算出法
二二六(昭九、一)
- 妊娠ト誤リ易キ疾患及ビ鑑別法ヲ記セ
二二六(昭十、一)
- 妊娠中胎兒死亡ノ徴候ヲ問フ
二二六(昭十、一)
- 分娩ノ種類ヲ問フ
二二六(昭十、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 娩出力ニ就テ
三三三(昭二、一)
- 分娩時全經過ニ於ケル胎兒ノ位置ヲ列記セヨ
三三〇(昭二、一)
- 兒頭ノ應形機能(状態)
三三三(昭三、一)
- 娩出力ニ就テ
三三三(昭四、一)
- 胎盤剝離ノ徴候
三三三(昭四、一)
- 正規分娩ニ於ケル兒頭産道通過ノ狀況ヲ記セ
三三三(昭五、一)
- 正規分娩時ニ於ケル胎兒ノ位置ト分娩難易トノ關係ヲ記セ
三三三(昭五、一)
- 産瘤ニ就キテ記セ
三三三(昭六、一)
- 産瘤ニ就キテ記セ
三三三(昭六、一)
- 娩出力ニ就テ詳記セヨ
三三三(昭七、一)
- 第一羊水(前水)ト第二羊水(後水)トノ異ナル點
三三三(昭八、一)
- 兒頭ノ排露ト撥露トノ異ナル點ヲ説明セヨ
三三三(昭八、一)
- 分娩開始ノ徴候
三三三(昭九、一)
- 正規分娩ノ所要時間及其ノ延長スル場合ハ如何ナル原因ニヨルヤ説明セヨ
三三三・三三三(昭十、一)
- 陣痛ノ種類及作用
三三三(昭十、一)
- 正規分娩ノ經過及其ノ持續時間ニツイテ
三三三・三三三(昭十一、一)
- 第一呼吸トハ如何
三三三(昭十一、一)
- 胎胞ヲ説明セヨ
三三三(昭十一、一)

分娩取扱法

- 排露ヲ説明セヨ
三三三(昭十一、一)
- 撥露ヲ説明セヨ
三三三(昭十一、一)
- 骨重ヲ説明セヨ
三三三(昭十一、一)
- 分娩第二期ニ於テ母體ニ對スル處置
三三三(昭三、一)
- 後産ノ検査事項ヲ記セ
三三三(昭四、一)
- 後産ノ検査事項ヲ記セ
三三三(昭四、一)
- 胎盤切斷端及ビ脱落面ノ處置
三三三(昭九、一)
- 胎盤切斷ノ處置ヲ問フ
三三三(昭九、一)
- 後産期(正規)ニ於ケル産婆ノ處置ヲ問フ
三三三(昭十、一)
- 分娩直後ニ於ケル褥婦外診上ノ注意點ヲ述ベヨ
三三三(昭十、一)
- 産婆ノ應招ヲ拒ミ得ベキ場合如何
三三三(昭十一、一)
- 後産ノ排出不全ヲ知ル法如何
三三三(昭十一、一)
- 産褥期間ニ於ケル子宮ノ状態ヲ記セ
三三三(昭三、一)
- 正規産褥ノ子宮收縮状態並ニ惡露ノ變化ヲ記セ
三三三(昭三、一)
- 初乳ト成乳トニ就キテ記セ
三三三(昭五、一)
- 初乳ト成乳トニ就キテ記セ
三三三(昭六、一)
- 初乳ト成乳トニ就キテ記セ
三三三(昭六、一)
- 初乳ト眞乳トノ異ナル點ヲ表示セヨ
三三三(昭八、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 分娩後ニ於ケル子宮内膜ト惡露トノ關係
昭二(昭十、二)
- 惡露ニ就テ記述セヨ
昭三(昭十、二)
- 産褥時ニ子宮ノ位置異常ヲ起シ易キ理由
昭六(昭十、二)
- 初乳ト成乳トノ鑑別
昭七(昭十、二)
- 初乳ニ就テ
昭八(昭十、二)
- 正規産褥子宮ノ組織的變化ヲ問フ
昭九(昭十、二)
- 分娩直後ニ於ケル初生兒ノ體重脈搏及體温ニ就テ記セ
昭十(昭十、二)

産褥取扱法

- 褥瘡尿閉ノ原因及處置ヲ記セ
昭十一(昭五、一)
- 早期離床ノ利害ヲ述ベヨ
昭十二(昭八、一)
- 褥瘡ノ發生及其ノ取扱法ヲ述ベヨ
昭十三(昭十、一)
- 正規産褥ノ就褥離床ニ就テ記セ
昭十四(昭九、一)
- 褥瘡ノ取扱法ヲ述ベヨ
昭十五(昭十、一)
- 乳母ノ選擇上注意スベキ事項ヲ列擧セヨ
昭十六(昭八、一)
- 授乳忌症ニ就テ記セ
昭十七(昭九、一)
- 離乳ニ就キ記セ
昭十八(昭九、一)
- 褥瘡ニ如何ナル疾病アル場合絶対的ニ授乳ヲ禁止スベキヤ
昭十九(昭十、一)
- 初生兒ノ人工栄養ニ就イテ
昭二十(昭十、一)
- 離乳期ニ於ケル乳兒營養ニ就テ
昭二十一(昭十、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 葡萄狀鬼胎トハ如何及其症狀處置ヲ記セ
昭二十二(昭十、二)
- 葡萄狀鬼胎ニ疑ハシキ徵候
昭二十三(昭十、二)
- 前置胎盤ノ種類分娩ニ及ボス影響並ニ處置ヲ記セ
昭二十四(昭三、二)
- 胎盤ノ早期剝離ト前置胎盤トノ鑑別點
昭二十五(昭十、一)
- 羊水過多症ノ原因症狀處置ヲ記セ
昭二十六(昭八、二)
- 胎兒異常
昭二十七(昭十、二)
- 妊娠中胎兒死亡ノ原因及徵候ヲ記セ
昭二十八(昭四、一)
- 妊娠中死亡シタル胎兒ノ變化ヲ記セ
昭二十九(昭十、二)
- 流産ト早産トノ異ル處如何
昭三十(昭十、一)
- 流産ノ徵候ヲ記セ
昭三十一(昭十、一)
- 早産ノ原因及胎兒ニ發現スベキ徵候ヲ述ベヨ
昭三十二(昭十、一)
- 子宮外妊娠ノ原因症狀ヲ記セ
昭三十三(昭三、一)
- 子宮外妊娠ノ原因症狀處置ヲ記セ
昭三十四(昭八、一)

母體性器異常

- 後屈セル妊娠子宮ノ嵌頓ヲ説明シ其ノ症狀處置ヲ問フ
昭三十五(昭十、一)
- 花柳病ノ妊娠及分娩ニ及ボス影響如何
昭三十六(昭十、一)
- 子宮ニ發生スル主ナル腫瘍ノ名稱ヲ擧ゲ其ノ分娩ニ及ボス影響ヲ問フ
昭三十七(昭十、一)
- 妊娠經過中ニ來タル子宮出血ノ原因ヲ問フ
昭三十八(昭十、一)
- 母體全身異常
昭三十九(昭十、一)
- 子癇ノ原因症狀及其處置ヲ記セ
昭四十(昭四、一)
- 惡阻ノ原因症狀及處置ヲ記セ
昭四十一(昭四、一)
- 妊娠腎臟炎ニ就キテ詳記セヨ
昭四十二(昭五、一)
- 子癇ニ就キテ記セ
昭四十三(昭五、一)
- 妊娠後半期ニ於テ妊婦ニ發スル浮腫ノ原因及其ノ看護法ニ就テ述ベヨ
昭四十四(昭十、二)
- 妊婦ニ來ル浮腫ニ就キ知ル所ヲ記セヨ
昭四十五(昭十、二)
- 精神患者ノ妊娠ニ就イテ知ル處ヲ述ベヨ
昭四十六(昭九、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 早期破水ノ原因及其ノ分娩ニ及ボス影響並ニ處置ヲ記セ
昭四十七(昭五、一)

胎兒異常

- 早期破水ニ就テ
昭四十八(昭十、二)
- 畸形兒ノ種類並ニ原因及之ニ對スル産婆ノ處置
昭四十九(昭九、二)
- 異常胎位
昭五十(昭十、一)
- 横位ノ外胎上ニ於ケル所見如何
昭五十一(昭十、一)
- 一卵性及胎ト二卵性及胎トノ鑑別
昭五十二(昭十、一)
- 胎兒子宮内窒息ノ原因及徵候ヲ記セ
昭五十三(昭三、一)
- 新生兒ノ假死ト眞死トノ鑑別ニ就イテ述ベヨ
昭五十四(昭十、二)
- 母體異常
昭五十五(昭三、一)
- 陣痛微弱ノ原因處置ヲ記セ
昭五十六(昭三、一)
- 陣痛微弱ノ原因及ビ母兒兩者ニ及ボス影響ヲ記セ
昭五十七(昭六、一)
- 陣痛微弱ノ原因及ビ母兒兩者ニ及ボス影響ヲ記セ
昭五十八(昭八、一)
- 微弱陣痛ノ原因ヲ問フ
昭五十九(昭八、一)
- 狭窄骨盤ノ原因及種類ヲ記セ
昭六十(昭四、一)
- 膀胱ノ充盈ト分娩ノ難易ニ就テ知ル所ヲ述ベヨ
昭六十一(昭十、一)
- 子宮破裂ノ原因徵候及處置
昭六十二(昭十、一)
- 會陰破裂ノ原因ト症狀
昭六十三(昭十、一)

- 胎盤遺残ノ原因及處置ヲ記セ 六、四五一・六、四五四(昭五、一)
- 分娩経過中ニ於ケル異常出血ノ原因症状及ビ處置ヲ記セ 六、四〇三(昭六、一)
- 會陰破裂ノ原因及處置ヲ問フ 六、四三七・六、四三三(昭八、一)
- 分娩時異常出血ノ原因及ビ急救處置ニ就イテ記セ 六、四〇三(昭十、一)

第七集 異常産褥・補足知識

- 産褥期ニ起リ易キ疾病ノ名稱並ニ症状ノ大要ヲ記セ 七、一〇〇(昭十、一)
- 乳腺炎ノ原因、徴候及豫防法 七、一〇一・七、一〇二・七、一〇三(昭一、一)
- 産褥期ニ於ケル子宮ノ復舊不全ノ原因症状及其處置ヲ記セ 七、五五・七、五六・七、五五(昭四、一)
- 産褥熱ノ原因ニ就イテ記セ 七、二二(昭六、一)
- 産褥熱ノ原因ニ就イテ記セ 七、二二(昭六、一)
- 産褥子宮復舊不全ノ原因及症状 七、五五・七、五六(昭十、一)
- 初生児「メレナ」ヲ簡單ニ説明セヨ 七、一九九(昭二、一)
- 左記事項ニ就テ記セ 七、一九九(昭二、一)
- イ、乳兒脚氣。ロ、膀胱炎ヲ起ス細菌ノ種類 七、一九九・七、二〇〇(昭二、一)
- 左記細菌ノ形態並ニ傳染経路ヲ記セ 七、一九九・七、二〇〇(昭二、一)

婦 婦 異 常

- (イ)破傷風菌 (ロ)驚口瘡菌 (ハ)淋菌 (ニ)丹毒菌 七、三三四(昭二、一)
- 初生児ニ來ル傳染性疾患ニ就テ記セ 七、三三四(昭三、一)
- 左記疾病ノ原因症状及豫防法ヲ記セ (イ)初生児膿漏眼 (ロ)臍輪炎 七、一六四・七、一四五(昭三、一)
- 先天性梅毒兒ノ症候ヲ記セ 七、一五五(昭四、一)
- 驚口瘡ノ原因處置ヲ記セ 七、一五三(昭四、一)
- 乳腺炎ノ原因、症状及其ノ豫防法ヲ記セ 七、一〇一・七、一〇二・七、一〇三(昭五、一)
- 初生児丹毒ノ原因症状及處置ヲ記セ 七、三三三(昭五、一)
- 初生児ニ發シ易キ傳染性疾患ノ名稱及其ノ病原體ヲ記セヨ 七、三三四(昭五、一)
- 乳兒脚氣ニ就イテ記セ 七、一〇〇(昭六、一)
- 乳兒脚氣ニ就キ記セ 七、一〇〇(昭六、一)
- 惡阻、産褥熱、新生児、驚口瘡ニ就キテ記セ 五、三三九・七、三三九・七、三三三(昭八、一)
- 初生児膿漏眼ノ原因症状豫防法ヲ記セ 七、一六四(昭八、一)
- 産褥ト血腫トノ鑑別 七、一七九(昭十、一)
- 先天梅毒ノ症候 七、一七九(昭十、一)
- 産婆ニ關スル法令 七、三三六(昭九、一)
- 産婆ノ「業務上不正行爲」トハ如何ナル場合ヲ謂フヤ例示説明セヨ 七、三三六(昭九、一)
- 産婆規則ニヨリ罰金刑ニ處セラルベキ場合ヲ 七、三三六(昭九、一)

列記セヨ

- 産婆規則第七條但書「臨時救急ノ手當」ニ就キ例示説明セヨ 七、三三六(昭八、一)
- 産婆ガ爲シテハナラナイコトガアルソレハ如何ナルコトカ 七、三三六(昭十、一)
- 産婆其ノ住所移轉シタ時ノ手續 七、三三六(昭八、一)
- 死胎檢案書及死産證書ヲ列記シテノ異ナル點 七、三三六(昭十、一)

〔三四〕 鳥 根 縣

第一集 豫備知識

- 骨盤ヲ構成スル骨並ニ關節ノ名稱ヲ列舉セヨ 一、三三三(昭四、一)
- 對角結合線ノ意義ヲ問フ 一、三三七(昭六、一)
- 小骨盤腔ノ區分形状及大サニ就テ記セ 一、四二二・一、四二四・一、四二五・一、四二六(昭七、一)
- 骨盤ノ構造ヲ略記シ其ノ測定法ヲ述ベヨ 一、三三三・一、三三四・一、三三五(昭十、一)
- 月經ノ意義 一、一〇〇(昭四、一)
- 排卵ノ意義ヲ問フ 一、一〇〇(昭四、一)
- 内性器ト腹膜トノ關係及内性器異常ノ種類 一、一〇七(昭六、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 産婆ガ其ノ業務ヲ停止サル、場合ヲ問フ 七、三三三(昭十、一)
- 死産證書ノ様式 七、三三三(昭十、一)
- 死胎檢案上産婆ノ留意スベキ點ニ就キ記セ 七、三三三(昭十、一)
- 産婆ノ地方長官ニ對シ届出ヲ爲スベキ事ニ就キ知ル所ヲ述ベヨ 八、一七七(昭十、一)
- 死産證書ト死胎檢案書トノ區別 七、三三三(昭十、一)
- 羊水ノ性質及其效用 一、一六五・一、一六九(昭二、一)
- 卵膜ニ就イテ 一、一〇〇(昭五、一)
- 胎落膜ノ意義ヲ問フ 一、一〇〇(昭六、一)
- 陣痛最モ劇甚ナル時期ニ胎盤ノ剝離セザル理由 一、一〇〇(昭十、一)
- 卵膜トハ如何 一、一〇〇(昭十、一)
- 成熟兒ノ頭蓋縫合及凶門ノ名稱 一、一〇六(昭二、一)
- ヲ舉ゲテ説明セヨ 一、一六五・一、一六六・一、一六七・一、一六八・一、一六九(昭十、一)
- 産婆トシテ消毒ノ必要ナル理由 一、一三八(昭七、一)
- 分娩時ニ於ケル産婆手指ノ消毒方法如何 一、一三九(昭十、一)

- 成熟児頭ノ諸徑及周圍ノ測定法 三〇三(昭二、一)
- 胎勢、胎位、胎向ヲ説明シ是等ヲ正規妊娠ニ就テ述ベヨ 三〇三(昭三、一)
- 胎兒ノ血液循環 三〇三(昭四、一)
- 胎兒下向部ノ意義ヲ向フ 三〇三(昭六、一)
- 胎兒血行ニ就テ 三〇三(昭八、一)
- 胎位ヲ説明セヨ 三〇三(昭十、一)
- 妊娠線ノ意義ヲ問フ 三〇六(昭六、一)
- 子宮ノ膨大ニ因ル影響及ビ腹部ノ變化ニ就キ且ツ其々ノ處置ヲ問フ 三〇六(昭十、一)
- 妊婦ノ性器ニ現ハル、變化ヲ記セ 三〇六(昭五、一)
- 妊婦ヲ聽診ニヨリ聽取シ得ベキ音ノ種類並ニ其各音ノ原因、時、位置、數及性質ヲ表示セ 三〇六(昭四、一)
- 双合診ノ意義ヲ問フ 三〇六(昭六、一)
- 浮球ノ感ノ意義ヲ問フ 三〇六(昭六、一)
- 妊娠ト誤リ易キ疾病及其鑑別 三〇六(昭三、一)
- 妊娠ト誤リ易キ病名並ニ其レト妊娠トノ鑑別 三〇六(昭六、一)
- ピスカツエツク氏ノ徵候ヲ説明セヨ 三〇六(昭十、一)
- 初産婦ト經産婦トノ鑑別ヲ問フ 三〇六(昭十、一)

妊婦ノ診察

- 正規分娩ニ於ケル娩出力 三〇三(昭四、一)
- 陣痛ニ就テ知ル處ヲ詳記セヨ 三〇三(昭八、一)
- 分娩ハ母體及胎兒ニ對シ如何ナル影響ヲ及ボスヤ 三〇三(昭八、一)
- 軟部産道ニ就テ知ル處ヲ記セ 三〇三(昭九、一)
- 娩出後ニ於ケル新生兒ノ主要ナル變化 三〇三(昭十、一)
- 卵膜トハ如何其ノ破裂スル原因及破裂ニ最良ナル時期ヲ問フ 三〇三(昭八、一)
- 卵膜トハ如何其ノ破裂スル原因及破裂ニ最良ナル時期ヲ問フ 三〇三(昭八、一)
- 第一後頭位ト第二後頭位トニ於ケル分娩機轉差異 三〇三(昭十、一)
- 第二後頭位ノ診察及其ノ分娩機轉 三〇三(昭六、一)
- 分娩ニ對スル準備 三〇三(昭三、一)
- 正規分娩第二期ニ於ケル處置 三〇三(昭五、一)
- 會陰保護法 三〇三(昭六、一)
- 正規分娩娩出期ニ就テ述ベ且ツ其ノ處置ヲ 三〇三(昭六、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

問フ

三〇五・三〇六(昭九、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 惡露ニ就イテ 三〇五(昭五、一)
- 正規産褥ノ全身ノ状態ニ就テ 三〇五(昭六、一)
- 吸收熱ノ意義ヲ問フ 三〇五(昭六、一)
- 産褥ト體温並ニ脈搏トノ關係ヲ詳記セヨ 三〇五(昭六、一)
- 分娩後ニ於ケル生殖器ノ復舊状態並ニ産褥時外陰部ノ處置ニツイテ 三〇五(昭九、一)
- 正規産褥ノ全身状態ニ就イテ 三〇五(昭十、一)
- 産褥ニ於ケル復舊機轉ニ就テ 三〇五(昭三、一)
- 惡露ニ就テ説明セヨ 三〇五(昭五、一)
- 正常産褥ノ經過ニ就キ知ル所ヲ記セ 三〇五(昭十、一)
- 健康初生兒ニ於ケル臍帶脱落ノ經過並ニ尿尿ニ就テ 三〇五(昭三、一)
- 娩出後ニ於ケル新生兒ノ主要ナル變化 三〇五(昭十、一)
- 新生兒ノ排尿状態並ニ體重變化ニ就テ述ベヨ 三〇五(昭十、一)
- 新生兒黄疸ニ就キ知ル所ヲ記セ 三〇五(昭三、一)
- 授乳婦人ニ守ラシムベキ攝生法 三〇五(昭二、一)

正規産褥ノ看護法

- 産褥時排尿障礙ノ原因ヲ列舉シ其ノ處置ニ就テ詳記セヨ 三〇五(昭十、一)
- 産褥時排尿困難ノ處置ニ就テ詳記セヨ 三〇五(昭十、一)
- 正常産褥ノ看護法ニ就テ記セ 三〇五(昭十、一)
- 正常産褥ノ看護法ニ就テ記セ 三〇五(昭十、一)
- 産褥中ニ於ケル排尿障害ニ就テ記セ 三〇五(昭十、一)
- 乳兒榮養法ノ種類ヲ舉ゲ其ノ利害ヲ比較セヨ 三〇五(昭二、一)
- 成熟初生兒ノ看護法 三〇五(昭三、一)
- 母乳量ガ乳兒榮養ニ十分ナリヤ否ヤヲ知ル法 三〇五(昭三、一)
- 牛乳ノ「ウキタミン」ヲ損失セシメザル消毒方法 三〇五(昭四、一)
- 最モ良キ初生兒榮養法ニ就テ 三〇五(昭四、一)
- 母乳量ガ其ノ乳兒榮養ニ充分ナリヤ否ヤヲ知ル法 三〇五(昭六、一)
- 母乳分泌ヲ多量ニスル法 三〇五(昭六、一)
- 人工榮養法ニ就テ詳記セヨ 三〇五(昭六、一)
- 人工榮養ノ際ニ注意スベキ點ヲ列舉セヨ 三〇五(昭九、一)
- 離乳期ノ乳兒合理的養護法及ビ注意事項 三〇五(昭八、一)
- 母乳ヲ禁ズベキ場合及ビ禁ザル時ハ如何ナル方法ヲ取ルベキヤ 三〇五(昭十、一)

- 母乳栄養ノ人工栄養ニ優ル重要ナル點 四〇三〇(昭十、二)
- 妊娠中ニ於ケル栄養上留意事項又牛乳ノウイターミンヲ損ゼシメズシテ消毒スル方法 四〇九二・四〇九五(昭十、二)
- 天然栄養法ト人工栄養法ト何レガ可ナルヤ其ノ理由ヲ記セ 四〇三〇(昭十、二)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 前置胎盤ノ種類及症狀 五二七・五三〇(昭三、二)
- 前置胎盤ニヨル分娩障礙ヲ述ベヨ 五三〇(昭八、二)
- 妊娠時及分娩時胎盤ノ早期剝離ノ原因症狀並ニ處置 五二二・五二五・五二六(昭十、二)
- 羊水過多症ノ原因及症狀如何 五七〇・五七三(昭十、二)
- 妊娠及分娩經過中胎兒死亡ノ原因並ニ徵候ヲ記セ 五九七・二三五(昭八、二)
- 流産早産ノ種類症狀並ニ處置 五二〇・五二六・五二七(昭五、二)
- 子宮外妊娠ノ種類及其症狀 五二六・五二四(昭二、二)
- 石胎ノ意義ヲ問フ 五二五(昭六、二)
- 慢性腹腔妊娠ノ徵候並ニ處置ヲ記セ 五二〇(昭十、二)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 早期破水ノ原因症狀及處置 六二六・六二五・六二九(昭二、二)
- 早期破水ノ意義ヲ問フ 六二五(昭六、二)
- 延滞破水ト分娩トノ關係 六三三(昭十、二)
- 延滞破水ハ分娩ニ如何ナル影響アリヤ 六三三(昭十、二)
- 早期破水ノ原因並ニ分娩ニ及ボス影響ヲ問フ 六二六・六二七(昭十、二)
- 分娩經過中ニ於ケル臍帶ノ纏絡並ニ脱出一就イナ 六五九・六六一(昭四、二)

母體性器異常

- 子宮癌ト妊娠分娩產褥トノ關係ヲ詳記セヨ 五二〇五(昭九、二)
- 妊娠中ノ異常出血及其ノ處置 五二〇五・五二〇九(昭四、二)

母體全身異常

- 子癩ノ症狀及其ノ處置 五二五二・五二五七(昭六、二)
- 子癩ト分娩トノ關係ニ就テ述ベヨ 五二五三(昭八、二)
- 妊娠時ニ腎臟疾患ヲ合併セル場合ニ於ケル徵候並ニ處置ヲ記セ 五二五三・五二五五(昭十、二)
- 妊娠分娩及產褥ト肺結核ノ關係並ニ注意事項 五三二八・五三三〇(昭三、二)

- 分娩異常ヲ來スベキ臍帶異常ヲ列舉シ其ノ分娩障礙並ニ處置ヲ問フ 六四九・六四八(昭九、二)
- 過熟胎兒ノ分娩經過並ニ處置 六八三・六八四(昭八、二)
- 骨盤端位分娩機轉ヲ臀位第一胎向ニ就キ説明シ且ツ後頭位分娩ニ比シ危險ナル理由ヲ記セ 六二五九・六二六三(昭十、二)
- 四肢ノ下垂及脱出ノ原因及其ノ處置 六一五(昭十、二)
- 四肢ノ下垂及脱出ノ原因及其ノ處置 六一五(昭十、二)
- 分娩中胎兒危險ノ徵候及處置 六三六・六三九(昭二、二)
- 初生兒假死ノ取扱法 六二二(昭十、二)

胎兒異常

- 微弱陣痛ノ原因ニ就イテ 六三三(昭六、二)
- 過強陣痛ノ原因並ニ處置 六三三・六三六(昭六、二)
- 産婆ノ行ヒ得ル娩出力増強法及輕減法ヲ記セ 六三七(昭十、二)
- 産婆ノ行ヒ得ル娩出力増強法及輕減法ヲ記セ 六三七(昭十、二)
- 狭窄骨盤ノ種類ヲ舉ゲ分娩ニ及ボス主要ナル事項ヲ述ベヨ 六三四・六三七(昭九、二)
- 狭小骨盤ノ原因及種類ニ就テ 六三〇・六三四(昭十、二)
- 會陰破裂ノ原因及症狀 六四七・六四三(昭十、二)

第七集 異常產褥・補足知識

褥婦異常

- 產褥ニ於ケル子宮恢復不全ニ就テ 七二二(昭二、二)
- 產褥ニ於ケル異常出血ノ原因 七二二(昭三、二)
- 惡露滯留症ニ就テ 七二二(昭三、二)
- 產褥性潰瘍並ニ產褥性白股腫 七二二(昭四、二)
- 產褥ニ於ケル異常出血ニ就テ 七二二(昭五、二)
- 產褥ニ於テ熱發スル疾病ノ名稱及原因處置豫防法ニ就テ詳記セヨ 七二二(昭七、二)
- 膀胱及直腸ノ過度ノ充盈ノ妊娠分娩產褥ニ及 七四五(昭七、二)

分娩取扱法

- 産婦ニ左侧臥ヲ取ラシムベキ場合ヲ記セ 三〇六(昭二、一)
- 初生児沐浴ノ方法並注意事項 三〇九・三二〇(昭六、一)
- 會陰保護法ノ目的時期及方法 三二四・三二六・三二九(昭十、一)
- クレーデル氏脐盤壓出法ニ就テ記セ 三二五(昭十、一)
- 分娩第二期ニ於ケル處置 三三〇(昭十、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 正規産褥ノ経過 四七〇(昭五、一)
- 正規産褥ノ経過 四七〇(昭五、一)
- 後陣痛ノ意味ヲ説明セヨ 四七〇(昭六、一)
- 産褥ニ於ケル尿閉ノ原因 四七〇(昭七、一)
- 産褥中ニ於ケル子宮復古ノ経過 四七〇(昭八、一)
- 産褥中ニ於ケル惡露ノ経過 四七〇(昭九、一)
- 惡露ニ就テ 四七〇(昭十、一)
- 後陣痛ニツキ簡明ニ記セ 四七〇(昭十、一)
- 産褥早期ノ起床ハ如何ナル危害ヲ起スコトアリヤ 四七〇(昭十一、一)
- 産褥中ニ於ケル褥婦ノ攝生法ニ就テ 四七〇(昭十二、一)
- 産褥第一週マデノ褥婦ノ看護法 四七〇(昭十三、一)
- 早期離床ノ利害 四七〇(昭十四、一)

産褥取扱法

- 四七〇(昭十一、一)
- 四七〇(昭十二、一)
- 四七〇(昭十三、一)
- 四七〇(昭十四、一)

- 褥婦ニ入浴ヲ許ス時期 四七〇(昭十五、一)
- 分娩後授乳ヲ開始スベキ時期 四七〇(昭十六、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 葡萄状鬼胎ノ診断 四七〇(昭十七、一)
- 胎盤早期剝離ノ原因及徴候ヲ記セ 四七〇(昭十八、一)
- 妊娠中ニ於ケル正常位胎盤ノ早期剝離ノ原因並ニ徴候 四七〇(昭十九、一)
- 葡萄状鬼胎ト羊水過多症トノ鑑別 四七〇(昭二十、一)
- 羊水過多症ノ分娩ニ及ボス障害ヲ記セ 四七〇(昭二十一、一)
- 羊水過多症ノ徴候及ビ分娩ニ及ボス影響ヲ記セ 四七〇(昭二十二、一)
- 胎兒異常 四七〇(昭二十三、一)
- 胎兒死亡ノ原因及徴候 四七〇(昭二十四、一)
- 子宮外妊娠ノ種類及正規妊娠トノ鑑別ヲ記セ 四七〇(昭二十五、一)
- 母體性器異常 四七〇(昭二十六、一)
- 懸垂腹ノ原因及其ノ分娩時ニ於ケル影響 四七〇(昭二十七、一)
- 妊娠中生殖器官出血ノ原因 四七〇(昭二十八、一)

- 妊娠前半期ニ於ケル出血及取扱法 五二六(昭六、一)
- 妊娠後半期ニ於ケル出血ノ原因並ニ其取扱 五二七(昭七、一)
- 妊娠中ニ於ケル出血ノ原因 五二八(昭七、一)
- 妊娠前半期ニ於ケル出血ノ原因 五二九(昭九、一)
- 妊娠前半期ニ於ケル出血ノ原因並ニ處置 五三〇(昭九、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 早期破水ノ原因並ニ其分娩ニ及ボス影響ヲ記セ 六二六・六二七(昭二、一)
- 早期破水ノ原因及分娩ニ及ボス影響 六二六・六二七(昭三、一)
- 妊婦ニ左侧臥ヲ取ラシムベキ場合ヲ記セ 六三三(昭二、一)
- 脐帶下垂時ニ産婆ノ取ル可キ處置 六三六(昭五、一)
- 胎兒異常 六三三(昭五、一)
- 横位ニテ自然分娩ヲナシ得ル場合ヲ説明セヨ 六三七(昭五、一)
- 横位ノ診断並ニ處置 六三八・六三九(昭六、一)
- 横位ノ徴候 六四〇・六四一(昭十、一)
- 顔面位ニテ自然分娩ヲ遂ゲ得ザルハ如何ナル場合ナリヤ及其理由 六四二(昭十二、一)
- 足位分娩時足ノ左右ハ如何ニシテ知ルカ 六四三(昭十四、一)
- 双胎ノ種類及其ノ胎盤ノ相異ニ就テ記セ 六四四(昭五、一)
- 双胎妊娠ノ診断要點ヲ述ベヨ 六四四(昭五、一)

第七集 異常産褥・補足知識

- 初生児假死ノ手當ヲ記セ 六三三(昭三、一)
- 初生児假死ニ對スル蘇生術 六三三(昭七、一)
- 初生児ノ假死ト眞死トノ鑑別 六三六(昭十三、一)
- 母體異常 六三六(昭十三、一)
- 正規陣痛及異常陣痛ノ種類ヲ記セ 六三六(昭十四、一)
- 微弱陣痛ノ處置ヲ記セ 六三六(昭十八、一)
- 痙攣性陣痛ノ原因 六三六(昭十八、一)
- 弛緩性出血ト裂傷出血トノ鑑別ヲ記セ 六三六(昭三、一)
- 會陰破裂ノ種類及其影響ヲ記セ 六三六・六三九(昭三、一)
- 産褥子宮回復不全ノ徴候並ニ原因ヲ記セ 七二五・七二六(昭四、一)
- 産褥熱ノ徴候 七二六(昭八、一)
- 産褥時ニ於ケル異常出血ノ原因 七二六(昭十、一)
- 産褥時異常出血ノ原因及處置 七二七(昭十、一)
- 産褥熱トハ如何ナルモノカ並同患者ヲ取扱ヒタル産婆ノ業務上注意ヲ記セ 七二七(昭十、一)
- 新産兒異常 七二七(昭十一、一)
- 産褥ト頭血腫トノ鑑別 七二七(昭十一、一)
- 初生児臍ノ炎症及息肉ノ原因症狀ヲ記セ 七二七(昭十一、一)

- 初生児ノ水痘疹ニ就テ記セ 七二四(昭四、一)
- 頭血腫ノ原因徴候及處理ヲ記セ 七二九(昭五、一)
- 初生児「メレナ」ニ就テ記セ 七三〇(昭七、一)
- 初生児疾病ヲ列記セヨ 七三〇(昭九、一)
- 初生児ニ來ル疾病ノ名稱 七三九(昭九、一)
- 初生児「メレナ」ノ症状 七三九(昭九、一)

- 新産児黄疸ニ就キテ記セ 七四〇(昭十、一)
- 早産児ノ看護上ノ注意點 七四一(昭二、一)
- 未熟生児ノ看護法 七四九(昭六、一)
- 早産児ノ看護法ヲ記セ 七五二(昭八、一)
- 早産児ノ看護法 七五九(昭九、一)

〔三六〕山口縣

第一集 豫備知識

- 骨盤出口(下口)ヲ形成スル骨ノ名稱、諸徑線ノ平均長サヲ問フ 一四四(昭六、一)
- 骨盤ノ構造ヲ記セ 一三三(昭七、一)
- 受精(受精)ニ就テ記シ受精ト排卵機能及月經ノ相互關係ヲ舉ゲヨ 一三三・一三三(昭三、一)
- 消毒法ノ種類並ニ消毒上ノ注意要件ヲ記セ 一三三(昭三、一)
- 産科領域ニ於ケル消毒實行上ノ諸點ニ就テ記セ 一三九(昭四、一)
- 消毒ノ意義及各種消毒法ノ特徴ヲ列記セヨ 一三九・一三三(昭四、一)
- 完全ナル手指ノ消毒法ハ如何ニスベキヤ 一四〇(昭五、一)

- 産科領域ニ於ケル消毒方法ノ種類ヲ詳細ニ説明セヨ 一三三(昭八、一)
- 産科領域ニ於ケル消毒法ヲ述ベヨ 一三三・一四〇(昭八、一)
- 産科領域ニ於ケル消毒薬ノ種類及稀釋度ヲ記シ併セテ手指ノ消毒法ヲ舉ゲヨ 一三九・一四一(昭九、一)
- 分娩時外陰部ノ消毒 一四四(昭九、一)
- 産腔ノ消毒法ヲ記セ 一四四(昭十、一)
- 手指ノ消毒法ヲ記セ 一四四(昭十、一)
- 分娩時外陰部ノ消毒法 一四四(昭十、一)
- 産腔消毒法ハ如何ニシテ行フヤ 一四五(昭十、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 胎盤ノ構造及作用ヲ問フ 一四五・一四六(昭五、一)
- 胎盤ハ妊娠第何ヶ月頃ヨリ發生スルカ完成ス 一四五(昭五、一)

ルハ何ヶ月カ

- 胎盤ノ構造及其ノ作用如何 一四五・一四六(昭七、一)
- 羊水(胎水)ノ性状並ニ效用ヲ記セ 一四五・一四六(昭十、一)
- 胎児ノ血行ヲ記セ 一四五(昭四、一)
- 正規胎勢(體勢)ニ就キ記セ 一四七(昭六、一)
- 妊娠第七ヶ月ニ於ケル胎児ノ發育状態ニ就キテ記セ 一四九(昭七、一)
- 胎児ノ血液循環ニ就テ記セ 一四九(昭八、一)
- 子宮腔内ニ於ケル胎位(體位)ノ種類ヲ詳細ニ説明セヨ 一五〇(昭九、一)
- 成熟胎児ノ特徴ヲ記セ 一五〇(昭十、一)
- 妊娠五ヶ月及六ヶ月ニ於ケル胎児發育状態ノ差異ヲ記セ 一五〇・一五七(昭十、一)
- 成熟胎児ノ徴候ヲ記セ 一五〇(昭十、一)
- 妊婦全身ニ於ケル變化 一五七(昭二、一)
- 妊娠初期ニ子宮體部ニ起ル變化ノ内主ナルモノニツテテ記セ 一五七(昭四、一)
- 妊娠五箇月以後ノ各月ニ於ケル子宮ノ變化ニ就テ記セ 一五六(昭六、一)
- 妊娠時母體ノ變化ニ就テ記セ 一五七(昭七、一)
- 妊娠時子宮體ノ變化ニ就テ記セ 一五六(昭七、一)
- 妊娠五ヶ月以後ノ各月ニ於ケル子宮ノ變化ニ就テ記セ 一五六(昭七、一)

就テ記セ

妊婦ノ診察

- 妊娠時子宮體ノ變化ニ就テ記セ 一五〇(昭十、一)
- 妊婦ノ腹部ニ於テ確診上知り得ベキ音ノ種類並ニ音ノ特徴及要點ヲ記セ 一五〇(昭三、一)
- 最終月經三月十六日ヨリ六日間アリテ正規ノ經過ヲ取レル初妊婦アリ八月上旬及十月下旬ノ外診所見ヲ記セ、又分娩豫定日ハ何日カ 一五二(昭二、一)
- 妊婦子宮ノ大サガ正常ヨリ過大ナル時ノ原因ヲ舉ゲ且其各ノ場合ノ鑑別法ヲ記セ 一五〇(昭四、一)
- 妊娠ノ確徴、半確徴、不確徴ニ就キ記セ 一五〇(昭五、一)
- 昭和六年九月三日ヨリ一週間通常ノ如ク在リシ最終月經ヲ有スル初妊婦ニ異常ナキモノトスレバ現在(昭和七年四月十九日)ノ診察ニ依リ知り得タル點並ニ分娩豫定日ハ何日ナルカニ就キテ記セ 一五二(昭七、一)
- 妊娠確徴及其ノ發現時期ニ就テ記セ 一五二・一五三(昭八、一)
- 妊娠ノ確徴並ニ妊娠ト誤診シ易キ各種疾病ヲ舉ゲ其ノ區別スベキ要點ヲ記セ 一五二・一五七(昭八、一)
- 妊娠ノ確徴及半確徴(疑徴)ニ就テ簡明ニ記載セヨ 一五二・一五五(昭九、一)

○胎児生死ノ診斷ニ就テ記セ

三三三(昭十二)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

○分娩第一期ニ於ケル子宮口開大ノ原因並ニ初産婦ト經産婦トニ於ケル子宮頸管及外子宮口開大ニ關スル經過ノ差異

三三〇・三三三(昭三)

○分娩方正常ニ經過シツツアルコトヲ如何ニシテ外診ノミニ依ツテ知ルカ

三三〇(昭四)

○第二後頭位ノ分娩機轉ヲ問フ

三二九(昭五)

○正規分娩持續時間ヲ説明セヨ

三二九(昭七)

○第二後頭位ノ分娩機轉ヲ問フ

三二九(昭七)

○分娩が正常ニ經過シツ、アルコトヲ如何ニシテ外診ノミニ依リテ知り得ルカ

三二八(昭九)

○正規分娩第二期(娩出期)ニ於ケル經過ヲ記セ

三二五(昭九)

○第二後頭位ノ分娩機轉ヲ問フ

三二五(昭十)

○陣痛ノ效用及種類ヲ問フ

三二五(昭十)

○分娩時ニ於ケル陣痛ノ効用並ニ特性ヲ記セ

三二五(昭十)

分娩取扱法

○正規分娩ニ於ケル胎児娩出後ヨリ着衣安臥セシムル迄ノ處置ヲ問フ

三二六・三二七(昭十二)

○分娩第二期トハ如何ナル時期ナルヤ並ニ其時期ニ於ケル處置ヲ記セ

期ニ於ケル處置ヲ記セ

三二六・三二七(昭十二)

○會陰保護ノ要件及其ノ時期ヲ問フ

三二六・三二七(昭十二)

○初生兒第一回沐浴後ニ於ケル産婆ノ處置ヲ問フ

三二六(昭三)

○分娩第二期トハ如何ナル時期ナルヤ並ニ其時期ニ於ケル處置ヲ述ベヨ

三二六・三二七(昭六)

○會陰保護ノ要件及其ノ時期ヲ問フ

三二六・三二七(昭七)

○胎帯切斷時及沐浴時ノ注意スベキ點ヲ記セ

三二六・三二七(昭七)

○初生兒沐浴ニ際シ適當ナル浴湯ノ温度及沐浴時間ヲ問フ

三二六(昭五)

○分娩第二期ニ於ケル處置ハ如何ニスベキヤ

三二六(昭八)

○會陰保護ノ目的ヲ説明セヨ

三二六(昭八)

○正規分娩第二期ニ於テ産婆ノ行フベキ處置

三二六(昭八)

○會陰保護ノ要件及時期ヲ問フ

三二六・三二七(昭十)

○分娩直後初生兒ニ對スル二三ノ重要ナル注意スベキ處置ヲ記セ

三二七(昭十二)

○正規分娩直後ニ於ケル初生兒ノ處置ヲ記セ

三二七(昭十二)

○正規分娩第三期ニ於ケル處置

三二八(昭十二)

○分娩直後ニ於ケル初生兒ノ處置ヲ記セ

三二八(昭十三)

○正規分娩第一期ニ産婆ハ如何ナル處置ヲナスヤ

三二八(昭十四)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

○産褥ニ於ケル子宮底ノ高サ及惡露ノ性質ノ變化ヲ問フ

四三三・四三六(昭二)

○惡露ノ性状及經過ヲ記セ

四三〇(昭四)

○正規産褥ニ於ケル生殖器ノ變化ヲ記セ

四三〇(昭四)

○正規産褥ニ於ケル子宮體及子宮内臓ノ復舊現象ヲ記セ

四三三・四三六(昭五)

○惡露ノ性状及其ノ經過ヲ記セ

四三〇(昭六)

○惡露ニ就テ説明セヨ

四三〇(昭九)

○正規産褥ニ於ケル子宮底ノ高サ及惡露ニ就テ知ルトコトヲ記セ

四三三・四三六(昭九)

○正規産褥ニ於ケル惡露ニ就テ知ルトコトヲ記セ

四三六(昭九)

○惡露ヲ説明シ且ツ産褥中惡露ノ經過ヲ記セ

四三六(昭十)

○惡露ニ就テ記セ

四三六(昭十)

○正規産褥ニ於ケル子宮底ノ高サト産褥時日トノ關係ヲ記セ

四三三(昭十一)

○正規産褥ノ經過ヲ記セ

四三〇(昭十一)

○正規産褥ニ於ケル子宮ノ變化ヲ記セ

四三二(昭十一)

○初生兒ノ黃疸ニ就イテ

四三六(昭十二)

○産褥ノ看護法

四三七(昭十二)

○早期離床ニ就キテ記セ

四二七(昭十二)

○産褥中褥婦ノ外陰部ニ對スル處置

四二五(昭三)

○褥婦臥床ヲハナレテ差支ナキ時期ヲ説明セヨ

四二七(昭七)

○褥婦臥床ヲ離レテ差支ヘナキ時期ヲ説明セヨ

四二〇(昭八)

○褥婦ニ對スル看護ヲ記シ併セテ此際ニ於ケル臨洗滌ノ可否ヲ問フ

四三六・四三六(昭八)

○正規産褥ノ早期離床ノ利害ニ就イテ記セ

四二七(昭九)

○正規産褥ノ就褥離床ニ就テ記セ

四二六(昭十)

○母乳分泌量及其性質ニ影響ヲ及ボス主ナル事項

四二九(昭十二)

○初生兒ノ母乳養法ヲ問フ

四三三(昭三)

○初生兒ノ看護法ヲ問フ

四二九(昭四)

○乳母ノ選定上注意スベキ點ヲ舉ゲヨ

四二七(昭四)

○母乳分泌ノ催進法及制止法ヲ問フ

四二五・四三〇(昭五)

○授乳法ニ就キ知ル處ヲ記セ

四三三(昭五)

○母乳養法ヲ禁ズベキ場合ヲ列舉シ人工養法ノ方法ヲ記セ

四二五・四三六(昭六)

○初生兒ノ看護法ヲ問フ

四二九(昭六)

○初生兒ニ對シ母乳禁忌ノ場合ヲ説明セヨ

四二九(昭七)

○哺乳兒ニ用フル牛乳ノ稀釋度及哺乳回数ヲ記セ

四二九・四三〇(昭七)

○初生兒沐浴ノ温度ヲ説明セヨ

四三〇(昭八)

○授乳ニ就テ注意スベキ事項ヲ問フ

四三三(昭八)

- 初メテ授乳スル時期ヲ説明セヨ 四〇三八(昭八、一)
- 初生児取扱上人工榮養法ヲ説明セヨ 四〇三九(昭八、二)
- 初生児取扱上臍帯ノ處置ヲ説明セヨ 四〇四〇(昭八、三)
- 初生児ノ看護法ヲ問フ 四〇四一(昭九、一)
- 人乳ト牛乳ト初生児榮養上ニ如何ナル差異アリヤ 四〇四二(昭九、二)
- 母乳榮養ヲ禁ズベキ場合ヲ列擧シ人工榮養ノ方法ヲ記セ 四〇四三(昭九、三)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 葡萄狀胎ヲ説明シ羊水過多症トノ鑑別ヲ問フ 五〇七(昭二、一)
- 葡萄狀胎ノ經過及救急處置ヲ記セ 五〇八(昭二、二)
- 前置胎盤ノ種類ト其ノ分娩經過並ニ處置ヲ問フ 五〇九(昭二、三)
- 羊水過多症ノ妊娠經過ニ及ボス影響ヲ問フ 五一〇(昭四、一)
- 羊水過多症ノ診斷並ニ之ガ妊娠及分娩ニ及ボス障礙ヲ問フ 五一〇(昭四、二)
- 羊水過多症ノ妊娠經過ニ及ボス影響ヲ問フ 五一〇(昭四、三)
- 羊水過少症ヲ説明セヨ 五一〇(昭四、四)

胎兒異常

- 妊娠時ノ胎兒死亡ノ原因ヲ記セ 五〇七(昭五、一)
- 妊娠中胎兒死亡ノ原因ニ就テ詳記セヨ 五〇七(昭九、一)
- 妊娠中胎兒死亡ノ原因ヲ問フ 五〇七(昭九、二)
- 流産ノ症狀及處置ヲ問フ 五〇八(昭九、三)
- 子宮外妊娠ノ種類及徵候ヲ擧ゲヨ 五〇九(昭六、一)
- 子宮外妊娠ノ種類並ニ症狀ヲ問フ 五〇九(昭六、二)
- 子宮外妊娠ニ就テ記セ 五〇九(昭六、三)
- 母體性器異常
 - 梅毒ト妊娠トノ關係並ニ先天性梅毒ノ徵候ヲ問フ 五〇九(昭三、一)
 - 妊娠ノ淋病 五〇九(昭三、二)
 - 妊娠時ノ異常出血ノ原因ヲ記セ 五〇九(昭五、一)
 - 妊娠時ニ於ケル子宮出血ノ原因及其ノ應急處置ヲ問フ 五〇九(昭五、二)
- 母體全身異常
 - 惡阻ニ就テ記セ 五〇九(昭四、一)
 - 妊娠中浮腫ノ原因及惡阻ノ療法ヲ問フ 五〇九(昭四、二)
 - 妊娠時ノ浮腫、異常出血及胎兒死亡ノ原因ヲ記セ 五〇九(昭五、一)
 - 妊娠惡阻ノ徵候及其ノ取扱法ヲ記セ 五〇九(昭六、一)
 - 子癩ノ原因、發作時ノ急救處置ヲ問フ 五〇九(昭六、二)

○惡阻ノ原因症狀及其ノ處置ヲ問フ

- 惡阻ノ起ル時期ヲ説明セヨ 五〇九(昭七、一)
- 妊娠腎臟炎ノ原因、母體ニ及ボス影響、産婆トシテノ處置ヲ記セ 五〇九(昭八、一)
- 妊娠ニ浮腫ヲ來ス原因及疾病ノ種類ヲ記セ 五〇九(昭八、二)
- 子癩ノ原因及産婆トシテノ處置ハ如何ニスルキカ 五〇九(昭八、三)
- 妊娠腎臟炎ヲ簡單ニ説明セヨ 五〇九(昭九、一)
- 子癩ノ處置ニ就テ記セ 五〇九(昭九、二)
- 妊娠時ニ於ケル腎臟炎ノ原因症狀並ニ處置ヲ問フ 五〇九(昭十、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 早期破水ノ起ル原因ヲ擧ゲ之ヲ説明シ其ノ分娩及ビ産褥ニ及ボス影響ヲ記セ 六一〇(昭二、一)
- 早期破水(卵胞ノ早期破裂)ノ原因ヲ問フ 六一〇(昭四、一)
- 臍帯盤絡ニヨリテ來ル障礙及其ノ處置ヲ問フ 六一〇(昭六、一)
- 胎兒異常
 - 横位ノ分娩經過 六一〇(昭二、一)

- 骨盤端位分娩ガ頭位分娩ニ比較シテ種々ナル障礙ヲ起シ易キ理由ヲ問フ 六一〇(昭三、一)
- 骨盤端位分娩ハ一般ニ頭位分娩ニ比シテ危険ナル理由ヲ説明セヨ 六一〇(昭五、一)
- 横位ノ分娩經過及産婆トシテノ處置ヲ記セ 六一〇(昭七、一)
- 骨盤端位分娩ニシテ初生児ノ危険ニ陥リ易キ理由ヲ問フ 六一〇(昭八、一)
- 骨盤端位分娩ガ頭位分娩ニ比較シテ種々ナル障礙ヲ起シ易キ理由ヲ述ベヨ 六一〇(昭九、一)
- 横位ノ外陰所見ヲ問フ 六一〇(昭十、一)
- 如何ナル徵候アル時ニ双胎ヲ疑フベキカ 六一〇(昭七、一)
- 双胎妊娠ノ特徴ヲ記セ 六一〇(昭十、一)
- 初生児假死ノ原因症狀處置 六一〇(昭二、一)
- 胎兒窒息ノ原因及徵候ヲ問フ 六一〇(昭三、一)
- 早期呼吸(胎兒ノ子宮内呼吸)ノ原因ヲ問フ 六一〇(昭四、一)
- 分娩經過中胎兒窒息ノ原因徵候及其ノ處置ヲ問フ 六一〇(昭五、一)
- 母體異常
 - 慢性性陣痛微弱ノ原因並ニ其ノ處置ヲ問フ 六一〇(昭六、一)
 - 陣痛微弱ノ原因及ビ其ノ處置 六一〇(昭八、一)

◎陣痛微弱ノ分娩ニ及ボス影響ヲ記シ併セテ其ノ場合ニ於ケル處置 六三〇・六三三(昭九、一)

◎陣痛微弱ハ分娩第三期(後産期)ニ如何ナル障礙ヲ及ボスヤ併セテ産婆トシテ執ルベキ處置ヲ記セ 六三二(昭九、二)

◎骨盤計ヲ用ヒズシテ如何ニシテ狭窄骨盤ナル事ヲ推知スルカ又狭窄骨盤ガ分娩ニ及ボス影響ヲ問フ 六三九・六三二(昭三、一)

◎狭窄骨盤ノ種類並ニ開口期(分娩第一期)ニ於ケル分娩經過 六三四・六三七(昭五、一)

◎膀胱及直腸ノ充滿セル場合分娩經過ニ及ボス影響ヲ記セ 六三九(昭六、一)

◎骨盤計ヲ使用セズシテ如何ニシテ狭窄骨盤ナルコトヲ推知スルカ、又狭窄骨盤ガ分娩ニ及ボス影響ヲ問フ 六三九・六三七(昭七、一)

◎分娩直後他ニ何等認ムベキ原因ナクシテ急ニ大出血ヲ起セリ、子宮ハ收縮不完全ニシテ著シク柔軟ナリ、診斷並ニ産婆ノ執ルベキ救急處置ヲ問フ 六四三・六四四(昭三、一)

◎子宮破裂ノ原因症状及産婆トシテノ處置ヲ記セ 六四二・六四三・六四四(昭三、二)

◎弛緩性出血ノ原因徴候及處置ヲ問フ 七四〇(昭六、一)

◎分娩第一期第二期ト第三期及分娩直後ニ來ル異常出血ノ原因ヲ各別ニ記載セヨ 六四三・六四四・六四五(昭五、一)

◎胎兒又ハ後産分娩後子宮體ハ甚ダ柔軟ニシテ子宮底ハ臍ヨリ高位ニアリ其ノ時子宮體ヲ壓迫スルニ出血増加ス此ノ場合産婆ノ取扱上ノ方針ヲ簡單ニ記セ 六四四(昭六、一)

◎子宮破裂ノ原因症状及處置ヲ問フ 六四二・六四三・六四四(昭十、一)

◎弛緩性出血ノ原因並ニ處置 六四二・六四五(昭十、二)

◎分娩第三期ニ於ケル異常出血ノ原因並ニ處置 六四二・六四五(昭十、三)

◎後産期ニ於ケル微弱陣痛ニ就テ記セ 六四三・六四五(昭十、四)

第七集 異常産褥・補足知識 褥婦異常

◎惡露蓄積症(吸收熱)膿毒症敗血症ノ區別ヲ記セ 六四三・七二〇(昭二、一)

◎産褥熱ノ原因及豫防法ヲ問フ 七二〇・七二一(昭三、一)

◎産褥熱患者ヲ取扱ヒタル後他家ヨリ分娩開始ノ報ニ接シタル場合産婆トシテ取扱上ノ方針ヲ簡單ニ記セ 七二〇(昭六、一)

◎子宮復古不全症ノ原因及其ノ處置 七二五・七二七(昭六、二)

◎産褥熱ノ起リ易キ理由ヲ述べ併セテ豫防上主要ナル點ヲ記セ 七二四・七二〇(昭七、一)

◎産褥中異常出血ノ原因ヲ簡單ニ説明セヨ 七二七(昭九、一)

◎産褥性敗血症ノ原因症状並ニ處置ヲ問フ 七二八・七二二(昭十二、一)

◎乳汁ノ分泌量及性質ニ影響ヲ及ボス重ナル事項ヲ説明セヨ 七二九(昭十二、二)

◎産褥熱患者ヲ取扱ヒタル産婆ハ如何ナラザ義務ヲ有スルヤ 七三三(昭十二、三)

◎産褥熱ノ原因及其ノ豫防法ヲ問フ 七三三・七三〇(昭十二、四)

◎産褥時異常出血ニ就テ記セ 七三二(昭十二、五)

◎先天性微毒兒及驚口瘡ニ就テ記セ 七三三・七三三(昭十二、六)

◎初生兒膿漏眼ニ就テ記セ 七三三(昭十二、七)

◎「ヘルニア」ノ原因及處置 七三三(昭十二、八)

◎初生兒腸漏眼ニ就テ記セ 七三三(昭十二、九)

◎初生兒ノ傳染性疾患ニ就テ知ル所ヲ記セ 七三三(昭十二、十)

◎初生兒丹毒ノ原因並ニ病源ノ侵入門ヲ記シ其ノ豫防法ヲ問フ 七三三・七三三(昭十二、十一)

◎乳兒脚氣ノ原因症状及處置 七三三(昭十二、十二)

◎産褥ト頭血腫トノ區別及處置 七三三(昭十二、十三)

◎驚口瘡ノ症状及處置 七三三(昭十二、十四)

◎初生兒臍ヘルニア 七三三(昭十二、十五)

◎驚口瘡トハ如何ナル疾病ナリヤ 七三三(昭十二、十六)

◎産褥ト頭血腫トノ區別ヲ記セ 七三三(昭十二、十七)

◎早熟兒ノ看護法及處置 七三三(昭十二、十八)

◎早熟兒ノ看護法及處置 七三三(昭十二、十九)

【三七】 香川 縣

第一集 豫備知識

- 妊婦骨盤ノ外計測ニヨル普通ノ大サヲ問フ 一五六(昭二、一)
- 妊婦骨盤ノ各徑線ニ就テ知ル所ヲ記セ(外計測法ニ依ル) 一五六(昭四、一)
- 骨盤軸ニ就キ記セ 一五七(昭六、一)
- 骨部産道各部ニ於ケル最大徑線ヲ記セ 一五七(昭八、一)
- 外結合線ニ就テ記セ 一五七(昭六、一)
- 眞結合線ニ就テ記セ 一五七(昭六、一)
- 骨盤入口ニ就テ記セ 一五七(昭七、一)
- 卵巢ノ位置形狀及生理的機能ヲ記セ 一五七(昭六、一)

第二集 正常妊娠

- 羊水ニ就テ知ル處ヲ記セ 一五六(昭三、一)
- 羊水ニ就テ述ベヨ 一五六(昭七、一)
- 胎盤ニ就テ知ル所ヲ記セ 一五六(昭十、一)
- 羊水ニ就キ知ル所ヲ記セ 一五六(昭三、一)
- 羊水ノ效用ニ就キ記セ 一五六(昭七、一)

- 大肉門ト小肉門トノ位置及其ノ區別ヲ記セ 一五六(昭三、一)
- 成熟胎兒ノ頭ノ大サニ就テ知ル處ヲ記セ 一五六(昭四、一)
- 成熟胎兒頭小斜徑線ニ就テ記セ 一五六(昭六、一)
- 胎盤血行ニ就テ記セ 一五六(昭七、一)

- 妊娠ニ依ル子宮ノ變化ヲ記セ 一五六(昭六、一)
- 正常妊娠ニ依ル妊婦變化ヲ記セ 一五六(昭九、一)
- ビスカチエツク氏徵候、ヘガール氏妊娠徵候ヲ説明セヨ 一五六(昭七、一)

妊婦ノ診察

- 胎兒心音ノ診察的價値ヲ記セ 一五六(昭四、一)
- 妊婦ノ産科的診察法ヲ記セ(問診ヲ除ク) 一五六(昭六、一)
- ミハエリス氏變形ニ就テ記セ 一五六(昭六、一)
- 兒心音聴取時ノ注意並ニ診察上ノ意義 一五六(昭七、一)

胎兒生死ノ診察

- 胎兒生死ノ診察 一五六(昭三、一)
- 妊娠第八ヶ月ト第十ヶ月トノ區別 一五六(昭三、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ狀態

- 正常分娩各期ニ於ケル陣痛ニツキ知ル所ヲ記セ 一五六(昭二、一)
- 正常分娩轉ノ兒頭ニ及ボス影響ヲ問フ 一五六(昭二、一)
- 胎兒娩出後産期陣痛ノ發現スル迄ノ時間 一五六(昭三、一)

○收縮輪ヲ説明セヨ

- 分娩中如何ナル場合ニ子宮頸部ハ消失スルカ 一五六(昭三、一)
- 正常分娩ノ胎兒ニ及ボス影響ヲ略記セヨ 一五六(昭三、一)
- 陣痛ト他ノ疼痛トノ區別ヲ問フ 一五六(昭四、一)
- 胎盤剝離ノ徵候ヲ記セ 一五六(昭四、一)
- 正常陣痛ニ就テ知ル所ヲ記セ 一五六(昭四、一)
- 正常陣痛ノ種類及作用 一五六(昭四、一)
- 正常陣痛ニ就テ記セ 一五六(昭七、一)
- 正常陣痛ノ種類及其ノ作用ヲ記セ 一五六(昭八、一)
- 卵胞形成、理由及其ノ效用ヲ記セ 一五六(昭八、一)
- 正常分娩ノ經過時間及コレニ影響ヲ及ボス事項ヲ擧ゲヨ 一五六(昭八、一)
- 胎胞ノ形成ト其作用 一五六(昭八、一)
- 分娩ノ胎兒心音及ヒ頭部ニ及ボス影響ニ就テ記セ 一五六(昭八、一)

分娩取扱法

- 分娩直後初生兒ノ處置 一五六(昭二、一)
- 初生兒臍帶切斷端及脫落面ニ對スル處置ヲ問フ 一五六(昭二、一)
- 正常分娩第一期ノ取扱法ヲ問フ 一五六(昭三、一)
- 臍帶切斷ノ方法及ソノ時期ヲ問フ 一五六(昭四、一)
- 分娩第二期ニ於ケル兒頭娩出後ノ取扱ニ就テ記セ 一五六(昭四、一)

- 娩出期ノ取扱法ヲ問フ 一五六(昭八、一)
- 臍帶切斷ノ處置ヲ問フ 一五六(昭八、一)
- 後産期ニ於ケル産婆ノ處置ヲ問フ 一五六(昭九、一)
- 會陰保護法ニ就テ記セ 一五六(昭十、一)
- 會陰保護法ヲ記セ 一五六(昭十、一)
- クレーデ氏點眼法ヲ説明セヨ 一五六(昭十、一)
- 臍帶切斷ノ處置 一五六(昭十、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ狀態

- 外診上正規産褥子宮底ノ高サヲ問フ 一五六(昭三、一)
- 正規惡露ニ就テ記セ 一五六(昭三、一)
- 正常惡露ニ就テ知ル所ヲ記セ 一五六(昭四、一)
- 初乳ト眞乳トノ分泌時期ニ就テ記セ 一五六(昭六、一)
- 正規産褥子宮復舊狀態ヲ記セ 一五六(昭七、一)
- 正規産褥子宮復舊狀態ニ就テ記セ 一五六(昭八、一)
- 正規ノ惡露ニ就テ記セ 一五六(昭九、一)
- 初乳分泌ノ期間ヲ記セ 一五六(昭九、一)
- 惡露ニ就テ記セ 一五六(昭十、一)
- 惡露ニ就テ記セ 一五六(昭十、一)
- 臍帶脫落期 一五六(昭十、一)
- 臍帶脫落期ヲ記セ 一五六(昭十、一)

- 新産兒ノ體温脈搏呼吸體重授乳回数ニ就イテ 四八九・四八六・四二四(昭三、三)
- 新産兒ノ糞便ニ就イテ 四九三(昭三、一)
- 新産兒糞便ノ性状ト排便回数ニ就テ記セ 四九三(昭三、二)
- 產褥取扱法
- 產褥離床ノ時期 五九〇(昭三、二)
- 產褥ニ指示スベキ攝生法ヲ問フ 四二六(昭七、一)
- 產褥ノ攝生法ヲ記セ 四二六(昭八、一)
- 產褥ノ離床時期ヲ記セ 四二七(昭九、一)
- 正常產褥ノ攝生法 四二六(昭三、二)
- 產褥ノ離床時期ノ標準ヲ記セ 四二七(昭三、二)
- 初乳ノ效用 四二五(昭三、一)
- 初乳ノ效用 四二五(昭三、二)
- 授乳ノ開始時期、回数及一回ノ持續時間ニ就テ記セ 四三六・四四二(昭六、一)
- 初生兒ニ對スル牛乳ノ稀釋法ニ就テ記セ 四三三(昭六、一)
- 初生兒ニ對スル授乳ニ就テ 四三八(昭六、二)
- 初生兒ノ取扱法ニ就テ記セ 四三三(昭七、一)
- 生母ノ授乳ニ就テ記セ 四三三(昭八、一)
- 授乳ノ回数及一回時間ヲ記セ 四三三(昭九、一)
- 梅毒ニ授乳ヲ禁ズベキ場合ヲ問フ 四三三(昭十、一)
- 母乳榮養法ヲ述ベヨ 四三三(昭十、二)

第五集 異常妊娠

- 胎兒附屬物異常
- 葡萄狀鬼胎ノ症狀及其經過ヲ問フ 五二二・五二三(昭三、一)
- 葡萄狀鬼胎ノ症狀ヲ記セ 五二三(昭八、一)
- 葡萄狀鬼胎ノ症狀ヲ問フ 五二三(昭十、一)
- 胎狀鬼胎ノ症狀及經過ヲ記セ 五二三・五二三(昭三、二)
- 胎狀鬼胎ノ徴候ト經過 五二三・五二三(昭十、一)
- 胎盤早期剝離ノ原因及症狀 五三三・五三三(昭二、一)
- 前置胎盤ノ徴候 五三三(昭六、一)
- 胎盤早期剝離ト前置胎盤トノ徴候ヲ列擧シ且ツ鑑別セヨ 五三三・五三三(昭七、一)
- 胎兒異常
- 流産ノ原因症狀ヲ問フ 五三三・五三三(昭八、一)
- 母體性器異常
- 妊婦淋疾ノ徴候及分娩後母兒ニ及ボス障害 五三八・五三九(昭六、一)
- 妊婦淋疾ノ症狀及母兒ニ及ボス障害ヲ記セ 五三八・五三九(昭九、一)
- 妊娠中出血ヲ來ス場合ヲ問フ 五三六(昭八、一)
- 母體全身異常
- 妊婦ニ來ル浮腫ニ就テ知ル所ヲ記セ 五三三(昭三、一)

- 子癩ノ原因症狀及處置ヲ問フ 五三〇・五三三・五三七(昭九、一)
- 妊娠中特ニ起リ易キ疾病三ツヲ擧ゲ説明シ且ツ產婆トシテ取扱上注意スベキ事項ヲ述ベヨ 五三三(昭三、二)
- 子癩ノ前驅徴候ト鑑別スベキ疾病ノ名稱及產婆トシテノ看護法 五三九・五三九(昭三、一)
- 妊娠中浮腫ヲ起シ易キ疾病三ツヲ擧ゲ簡單ニ説明シ且ツ產婆トシテ取扱上注意スベキ事項ヲ述ベヨ 五三〇(昭三、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 卵膜ノ異常ニ就イテ知ル處ヲ記セ 六二三(昭三、一)
- 早期破水ノ原因及其理由ヲ記セ 六二六(昭四、一)
- 臍帶脫垂ノ原因及其ノ處置ヲ記セ 六三三・六三三(昭四、二)
- 臍帶下垂及纏絡ノ處置ヲ問フ 六三三・六三三(昭六、一)
- 臍帶纏絡ノ處置 六三三(昭五、一)
- 胎兒異常
- 横位ノ原因ヲ問フ 六一〇(昭七、一)
- 分娩中胎兒危險ノ徴候 六二六(昭三、一)
- 第一度假死ノ處置ヲ問フ 六二六(昭三、二)
- 初生兒第一度ノ假死(輕度ノ假死)ニ對スル處置ヲ問フ 六二六(昭四、一)
- 初生兒第一度(輕度)假死ノ徴候及其ノ處置ヲ問フ 六二六・六二六(昭七、一)
- 新産兒假死ノ原因症狀處置ヲ記セ 六二六・六二六(昭三、二)
- 母體異常
- 陣痛微弱ニ對シ產婆ノ取ルベキ處置ヲ問フ 六三三(昭三、二)
- 會陰破裂ニ就イテ 六三三(昭一、一)
- 分娩第一期及第二期ニ於ケル異常出血ノ原因ヲ問フ 六四〇(昭三、一)
- 弛緩性子宮出血ノ原因及其處置ヲ問フ 六四二・六四二(昭四、二)
- 子宮破裂ノ原因徴候及處置ヲ記セ 六四二・六四二(昭四、二)
- 子宮破裂ノ原因ヲ問フ 六四二・六四二(昭六、一)
- 子宮破裂ノ原因ヲ問フ 六四二・六四二(昭七、二)
- 胎盤娩出遲延ノ原因及ビ之ニ對スル處置ヲ問フ 六四四・六四四(昭九、一)
- 弛緩性出血ノ處置ヲ問フ 六四四(昭十、一)
- 胎兒分娩直後多量ノ出血アリ醫師ノ來着迄二時間ヲ要スコノ場合產婆ノ探ルベキ處置如何 六四四(昭三、一)
- 會陰破裂ノ種類及產婆トシテ取ルベキ處置 六四四(昭三、一)

○分娩後多量ノ子宮出血アリ醫師ヲ迎ヘル事困難ナリ此ノ際産婆ノ取ルベキ處置
 (六)昭四(昭十、一)

第七集 異常産褥・補足知識

褥婦異常

- 産褥時ニ於ケル異常出血ノ原因 七、七(昭二、一)
- 子宮復舊不全ノ原因ヲ問フ 七、五(昭四、一)
- 子宮回復不全ノ原因ニ就テ記セ 七、五(昭六、一)
- 産褥時ニ於ケル膿毒症敗血症ノ原因及症候 七、六(昭六、一)
- 産褥熱ノ症候ヲ記セ 七、六(昭七、一)
- 産褥初期ニ於テ母兒兩者ニ發熱スル場合ヲ列舉セ 七、五(昭十、一)
- 産褥熱ノ傳染経路及之ガ豫防上産婆トシテ心得ベキ事項ヲ舉ゲ 七、三(昭十、一)
- 分娩後第三乃至第四日頃ヨリ母兒兩者ニ來ル發熱ヲ伴フ主ナル疾病三種ヲ舉ゲ 七、四(昭十、一)
- 産褥熱ノ病原菌及豫防方法並ニ患者取扱上注意スベキ事項ヲ列記セ 七、一〇・七、一〇・七、一一(昭十、一)

○乳腺炎ノ原因症状及産婆トシテ爲シ得ル豫防法
 七、一〇・七、一〇・七、一一(昭十、一)

新産兒異常

- 初生兒ノ膿漏眼ニツイテ 七、一四(昭二、一)
- 乳兒脚氣ノ症状及其ノ取扱法ヲ記セ 七、一〇・七、一一(昭三、一)
- 初生兒消化不良症ノ原因及症状ヲ記セ 七、一〇(昭三、一)
- 初生兒先天性微毒ノ微候ヲ記セ 七、一五(昭四、一)
- 驚口瘡ニ就キ知ル所ヲ記セ 七、一五(昭七、一)
- 臍部傳染ニ就テ知ル所ヲ記セ 七、一五(昭七、一)
- 初生兒先天性微毒ノ微候ヲ記セ 七、一五(昭七、一)
- 頭血腫ト産瘤トノ區別ヲ問フ 七、一〇(昭七、一)
- 初生兒膿漏眼ノ原因症状處置ヲ問フ 七、一四(昭八、一)
- 初生兒先天性微毒ヲ記セ 七、一五(昭八、一)
- 産褥ニ淋疾アル場合産後母兒取扱上特ニ注意スベキ事項ヲ記セ 七、一〇(昭十、一)
- 新産兒ニ現ハル、微毒ノ症状ヲ記セ 七、一〇(昭十、一)
- 生活力微弱兒ノ看護法 七、一〇(昭十、一)

【三八】德島縣

第一集 豫備知識

- 外骨盤計測ノ際ニ測定スベキ各徑線ノ名稱測點及其長サヲ問フ 一、六(昭三、一)
- 薦骨ノ位置形狀聯繫ヲ記セ 一、三(昭三、一)
- 女子内生殖器ノ名稱及其相互位置ノ關係ヲ記シ各個ノ生理的作用ヲ簡單ニ述ベ 一、八・一、八(昭二、一)
- 内生殖器ノ名稱ヲ舉ゲ骨盤内ニ於ケル其位置ヲ圖解セ 一、八(昭四、一)
- 受精卵ノ發育經過ヲ略記セ 一、三(昭十、一)
- 肺臓ノ位置構造機能 一、五(昭二、一)
- 消化器ノ名稱ヲ順記セ 一、七(昭三、一)
- 膀胱ノ位置形狀構造並其利尿作用ヲ記セ 一、一〇・一、一〇(昭十、一)
- 皮膚ノ機能ヲ記セ 一、二(昭十、一)
- 動脈血ト靜脈血ト異ナル點ヲ記セ 一、七(昭十、一)
- 外呼吸及内呼吸トハ何ゾ 一、七(昭十、一)
- 腎臓ノ構造ヲ記セ 一、六(昭十、一)
- 音聲發生ノ理由ヲ問フ 一、六(昭十、一)
- 關節ノ構造ヲ記セ 一、三(昭十、一)

○澱粉ヲ主成分トスル食品ヲ舉ゲ且ツ其ノ消化機轉ヲ記セ 一、二(昭三、一)

- 眼球ノ構造ヲ記セ 一、二(昭三、一)
- 膀胱ノ利尿作用ヲ記セ 一、一〇(昭三、一)
- 唾液消化作用ヲ記セ 一、一(昭三、一)
- 消毒法ノ種類 一、三(昭二、一)
- 制腐法及防腐法トハ何ゾヤ 一、三(昭三、一)
- 護模製品ノ消毒方法ヲ記セ 一、三(昭十、一)
- 葡萄球菌ヲ説明セ 一、三(昭十、一)
- 手指ニ附着スル病原體ヲ滅殺スル方法如何 一、三(昭十、一)
- 「プロルムアルデヒド」ノ性状並ニ其ノ應用ヲ記セ 一、三(昭十、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 羊水ノ效用 二、九(昭二、一)
- 卵膜ニ就イテ知ル處ヲ記セ 二、一〇(昭二、一)
- 臍帯ノ構造及其ノ作用 二、四・二、五(昭三、一)
- 胎盤ハ何ケ月ニ於テ發生スルヤ並ニ胎盤ノ構造ヲ記セ 二、四・二、六(昭四、一)
- 羊水ノ效用ヲ記セ 二、九(昭五、一)

- 胎盤ノ構造及其ノ作用ヲ記セ 三二六・三二七(昭七、二)
- 羊水ノ性状及其ノ效用ヲ記セ 三二五・三二六(昭八、二)
- 羊水ノ性状及其ノ效用ヲ記セ 三二五・三二六(昭九、一)
- 胎盤ノ構造及其ノ作用ヲ問フ 三二六・三二七(昭九、二)
- 胎盤ノ構造及其ノ作用ヲ問フ 三二七(昭十、二)
- 胎盤ノ生成並ニ構造ヲ記セ 三二七(昭十、二)
- 胎盤ノ形状並ニ其ノ構造ヲ記セ 三二七(昭十、二)
- 肉門及頭蓋線ニ就テ詳記セヨ 三二七・三二八(昭二、二)
- 生熱兒ト不熱兒トノ區別 三二二(昭三、一)
- 兒頭ノ縫合及肉門ノ種類ヲ記シ且ツ之ヲ圖解セヨ 三二二(昭三、一)
- 妊娠八ヶ月ノ早産兒ヲ識別セヨ 三二二(昭五、一)
- 成熟胎兒ノ特徴ヲ詳記セヨ 三二二(昭六、一)
- 胎兒ニ於ケル頭部ノ縫合ヲ記セ 三二七(昭十、二)
- 妊娠各月ニ於ケル子宮ノ大サヲ問フ 三二五(昭七、二)

妊婦ノ診察

- 妊婦ノ聽診ニ際シ聽取シ得ベキ音ニ就テ記載セヨ 三二〇(昭八、一)
- 胎兒心音ノ聽取シ得ザル場合ヲ記セ 三二〇(昭十、一)
- 聽診上兒心音ノ診斷的價値ヲ聽取時期胎位音ノ性質ヨリ論述セヨ 三二〇(昭十、一)

第三集 正常分娩

- 產道ニ就テ記セ 三二二(昭二、一)
- 分娩開始ノ確證トハ如何 三二二(昭三、一)
- 分娩ノ胎兒ニ及ボス影響ヲ詳記セヨ 三二二(昭五、一)
- 正規分娩第二期ニ於テ胎兒ノ受クル影響如何 三二二(昭五、二)
- 後産期ニ於テ胎盤ノ完全剝離ノ徴候ヲ記セ 三二二(昭六、一)
- 胎盤剝離ノ徴候ヲ說明セヨ 三二二(昭六、二)
- 分娩ノ胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 三二二(昭八、一)
- 腹壓ト分娩トノ關係ヲ記セ 三二二(昭十、一)
- 妊娠中胎兒死亡ノ徴候 三二二(昭二、一)
- 妊娠中胎兒死亡ノ徴候 三二二(昭二、二)
- 初妊婦ニ於ケル妊娠第八ヶ月末ト第十ヶ月末トノ區別ニ就テ記セ 三二二(昭四、一)
- 胎兒生死ノ診斷上留意スベキ諸點ヲ說明セヨ 三二二(昭六、一)
- 妊娠八ヶ月ト十ヶ月トノ區別ヲ記セ 三二二(昭七、一)
- 初妊婦ト經産婦トノ區別 三二二(昭九、一)
- 胎兒生死ノ診斷ニ就テ詳記セヨ 三二二(昭九、二)
- 妊娠ノ類症區別ヲ記セ 三二二(昭九、三)
- 初妊婦ト經産婦トノ區別法ヲ記シ且ツ何故其ノ鑑別ガ必要ナルカラ説明セヨ 三二二・三二二(昭十、一)
- 妊娠ノ攝生法ニ就テ記セ 三二二(昭四、一)

分娩ノ状態

- 產道ニ就テ記セ 三二二(昭二、一)
- 分娩開始ノ確證トハ如何 三二二(昭三、一)
- 分娩ノ胎兒ニ及ボス影響ヲ詳記セヨ 三二二(昭五、一)
- 正規分娩第二期ニ於テ胎兒ノ受クル影響如何 三二二(昭五、二)
- 後産期ニ於テ胎盤ノ完全剝離ノ徴候ヲ記セ 三二二(昭六、一)
- 胎盤剝離ノ徴候ヲ說明セヨ 三二二(昭六、二)
- 分娩ノ胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 三二二(昭八、一)
- 腹壓ト分娩トノ關係ヲ記セ 三二二(昭十、一)

第四集 正常産褥

- 分焼開口期ニ於ケル取扱如何 三二二(昭三、一)
- 分焼時會陰保護ヲ行フ理由ヲ詳述セヨ 三二二(昭三、二)
- 臍帶切斷ニ就テ說明セヨ 三二二(昭三、三)
- 正規産褥ニ於ケル子宮復古ノ状態ヲ述ベヨ 三二二(昭三、一)
- 正規分焼直後ニ於ケル産褥ノ状態ヲ記セ 三二二(昭四、一)
- 正規産褥ノ經過ヲ問フ 三二二(昭四、二)
- 正常産褥ニ於ケル乳汁分泌ノ状態 三二二(昭五、一)
- 産褥ニ於ケル復舊作用ヲ詳記セヨ 三二二(昭六、一)
- 惡露ノ性状及其ノ種類ヲ問フ 三二二(昭七、一)
- 正規産褥ニ於ケル經過ヲ問フ 三二二(昭九、一)
- 子宮ノ復舊作用ヲ說明セヨ 三二二(昭九、二)
- 分焼後ニ於ケル子宮ノ復舊作用ヲ記セ 三二二(昭十、一)
- 分焼後ニ於ケル子宮内壁ノ變化ヲ記セ 三二二(昭十、二)
- 産褥時ニ於ケル子宮ノ復舊作用ヲ略述セヨ 三二二(昭十、三)
- 新産兒ノ體温及脈搏ニ就テ記セ 三二二(昭十、一)
- 焼後ニ於ケル初生兒ノ體温及脈搏ニ就テ記セ 三二二(昭十、二)
- 正規産褥ノ看護法ヲ記セ 三二二(昭六、一)
- 正規産褥ノ取扱法ヲ記セ 三二二(昭七、一)

分娩時診察

- 分焼ノ胎兒ニ及ボス影響如何 三二二(昭七、一)
- 陣痛發作ト子宮壁トノ關係如何 三二二(昭七、二)
- 焼出時ニ於ケル軟部産道ノ擴張ニ就テ記セ 三二二(昭七、三)
- 分焼時ニ於ケル軟部産道擴張ニ就テ記セ 三二二(昭七、四)
- 分焼第二期トハ如何其ノ經過ヲ說明セヨ(頭位ヲ例トス) 三二二(昭七、五)
- 分焼時ノ内診ニ於テ兒頭ノ大小肉門ヲ如何ニシテ區別スルヤ 三二二(昭五、一)
- 後頭位分焼ノ際ニ於ケル兒頭矢狀縫合ノ意義ヲ問フ 三二二(昭九、一)
- 第一後頭位分焼ニ於テ兒頭ガ骨盤洞部ニ於ケルトキノ内診所見如何 三二二(昭九、二)

分娩取扱法

- 臍帶結紮ノ方法及其斷端ノ處理 三二二(昭二、一)
- 分焼第一期ニ於テ注意スベキ要件ヲ記セ 三二二(昭四、一)
- 會陰保護ノ目的並ニ之ガ實施法ヲ詳記セヨ 三二二(昭五、一)
- 初生兒沐浴並ニ點眼上ニ於ケル注意スベキ點ニ就テ說明セヨ 三二二(昭七、一)
- 臍帶切斷ノ場合ニ於ケル注意如何 三二二(昭八、一)
- 會陰保護ノ目的及其ノ方法ヲ記セ 三二二(昭八、二)
- 分焼第一期ニ於ケル母體ノ處置如何 三二二(昭十、一)

- 正規産褥ニ於ケル産婆ノ注意スベキ諸點ヲ舉ゲヨ 四二九(昭八、二)
- 褥婦ノ早期離床ノ利害ヲ論ゼヨ 四七五(昭十、二)
- 母乳ヲ禁ズベキ疾病ヲ舉ゲ其理由 四二五(昭二、一)
- 母乳ヲ忌ム場合ヲ記セ 四二五(昭二、一)
- 正規産褥ニ於ケル乳汁分泌ノ状態及ビ畜乳ノ處置ヲ記セ 四二七・四二七(昭五、一)
- 初生兒ノ人工營養法ヲ記セ 四二九(昭六、一)
- 初生兒看護法(分娩直後) 四三三(昭七、二)
- 乳母ノ選擇標準如何 四三七(昭七、二)
- 初生兒ニ對スル人工營養法ヲ説明セヨ 四二九(昭八、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 葡萄狀胎ノ症候 五三三(昭四、一)
- 葡萄狀胎ノ主徴候ヲ記セ 五三三(昭六、一)
- 葡萄狀胎ノ症候ヲ記セ 五三三(昭八、二)
- 前置胎盤ノ診斷 五三三(昭二、一)
- 前置胎盤ノ症候 五三三(昭二、一)
- 前置胎盤ノ種類及其處置 五三三・五三四(昭四、一)
- 胎盤早期剝離ノ症候及其ノ處置ヲ記セ 五三三・五三八(昭五、一)
- 前置胎盤ノ定義及其ノ種類ヲ詳記セヨ 五二六・五二七(昭六、二)

母體性器異常

- 前置胎盤ノ種類及其ノ處置ヲ記セ 五二七・五三三(昭八、二)
- 胎盤早期剝離ノ症候及其ノ處置ヲ問フ 五三三・五三八(昭九、一)
- 妊娠中胎兒死亡ノ原因症狀並ニ其ノ處置ヲ詳記セヨ 五二七・五三三・五三四(昭五、一)
- 浸軟胎兒ノ所見如何 五三三(昭七、一)
- 死亡胎兒ノ運命ヲ問フ 五三三(昭八、一)
- 妊娠中死亡シタル胎兒ノ變化ヲ記セ 五三三(昭七、一)
- 妊娠中絶ノ原因ヲ記セ 五二七(昭十、二)
- 喇叭管妊娠ノ症候及其取扱上注意スベキ要點 五二四・五二四(昭三、一)
- 後屈子宮ノ妊娠ニ依リ起ル障礙ヲ記セ 五二四(昭五、一)
- 妊娠後半期ニ於ケル出血ノ原因及其ノ處置方法ヲ問フ 五二七(昭五、一)
- 妊娠中出血ヲ來スベキ場合及其ノ症候ヲ略記セヨ 五二四(昭七、一)
- 妊娠前半期ニ出血ヲ起ス病名ヲ列舉セヨ 五三三(昭九、一)
- 子癩ニ就テ 五三三(昭二、一)
- 妊娠腎臟炎ノ母兒ニ及ボス影響如何 五三三(昭三、一)

- 惡阻ノ原因徴候及處置 五二五・五二六・五二九(昭四、二)
- 妊娠腎臟炎ノ症候及其ノ危險ニ就キテ説明セヨ 五三三・五三四(昭六、二)
- 子癩ノ徴候ニ就テ詳記セヨ 五三三(昭七、一)
- 妊娠浮腫ノ原因及其ノ處置如何 五二六・五二九(昭九、二)
- 子癩ノ原因及症候ヲ記セ 五二五・五二五(昭九、二)
- 妊娠中ニ發スル痙攣發作及其ノ處置ニ就イテ記セ 五二六・五二七・五二七(昭十、一)
- 妊娠中毒症トハ何ゾヤ其ノ内主ナルモノニ就テノ症狀ヲ舉ゲヨ 五二五・五二五(昭十、二)
- 子癩ヲ簡單ニ説明セヨ 五二五(昭十、二)
- 妊娠中ニ於ケル腎盂炎ノ發生並ニ其ノ症狀ヲ記セ 五二五・五二五(昭十一、二)
- 脚氣ノ症候及妊娠分娩産褥トノ關係ヲ問フ 五二五・五二五(昭十一、二)
- 妊娠ノ經過中ニ於ケル合併症ノ名稱ヲ列舉セヨ 五三〇(昭八、一)

- 人工破水ヲ簡單ニ記セ 六三六(昭十三、二)
- 胎兒異常
- 骨盤端位分娩ノ取扱上注意スベキ主要點 六二七(昭三、一)
- 第一臀位ノ分娩機轉ヲ問フ 六二九(昭四、一)
- 第一顔面位ノ診斷ニ就テ詳記セヨ 六二七(昭七、二)
- 横位ノ診斷並ニ分娩經過ヲ記セ 六二二・六二九(昭十、一)
- 顔面位ニ於ケル分娩機轉ヲ記セ 六二四(昭十一、一)
- 足位ノ分娩機轉ヲ記セ 六二七(昭十二、一)
- 頭位ト骨盤位トニ就キテ胎兒ノ豫後上ヨリ比較説明セヨ 六二五(昭十三、二)
- 骨盤位分娩ニ際シ注意スベキ事項ヲ列舉セヨ 六二七(昭十三、二)
- 双胎妊娠ノ分娩經過ニ及ボス危險ヲ問フ 六二五(昭六、一)
- 初生兒假死ノ原因及處置 六二八・六二八(昭四、一)
- 分娩中ニ起ル胎兒ノ危險徴候ヲ列舉セヨ 六二六(昭四、一)
- 蘇生法奏効セル初生兒ノ徴候如何 六二五(昭六、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 早期破水ノ分娩ニ及ボス影響 六二七(昭三、一)
- 早期破水ノ分娩ニ及ボス影響ヲ記セ 六二七(昭八、一)
- 早期破水ノ原因障害及處置如何 六二六・六二七・六二九(昭十三、二)

母體異常

- 陣痛微弱ノ種類及其ノ處置 六三三・六三四(昭三、一)
- 陣痛微弱ノ爲ニ起ル障害ヲ記セ 六三三(昭十三、一)
- 微弱陣痛ノ原因並ニ其ノ際産婆トシテナスベキ處置ヲ述ベヨ 六三三・六三四(昭十三、一)
- 過強陣痛ノ原因並ニ分娩ニ及ボス影響如何 六三三(昭十三、一)

- 帝王切開術、禁忌、緊張、産婦ヲ説明セヨ 六三三(昭七、一)
- 狭窄骨盤ノ分娩經過ニ及ボス影響如何 六三六(昭七、一)
- 弛緩性出血ノ症候及其應急處置 六四三・六四四(昭三、一)
- 後産期出血ノ原因及處置 六四二・六四三(昭五、一)
- 子宮破裂ノ原因及徴候 六四二・六四三(昭九、一)
- 子宮破裂ノ原因及徴候ヲ記セ 六四二・六四三(昭九、一)
- 胎盤稽留トハ如何其ノ診斷及處置ハ、三・八、三・八、三(昭七、一)

第七集 異常産褥・補足知識

褥婦異常

- 産褥熱ノ症候ニ就テ 七〇六(昭二、一)
- 産褥性膀胱炎ノ原因並ニ診斷 七〇二・七〇三(昭四、一)
- 惡露分泌ノ障害ヲ記セ 七〇五(昭五、一)
- 産褥性膿毒症及敗血症ノ原因症狀及處置ヲ記セ 七〇八・七〇九(昭六、一)
- 産褥時ニ於ケル發熱ハ如何ナル場合ニ來ルヤ 尙其ノ際ニ於ケル産褥ノ注意スベキ事項如何 七〇三・七〇四(昭八、一)
- 産褥時ニ於テ異常出血ヲ伴フ疾患ノ名稱ヲ列舉セヨ 七〇六(昭九、一)
- 産褥性膀胱炎ノ原因症狀並ニレガ處置如何 七〇八(昭十、一)

- 産褥性膀胱炎ノ原因診斷並ニ處置ヲ記セ 七二八(昭十、一)
- 惡露蓄積症ノ原因症狀並ニ處置ヲ記セ 七二九(昭十、一)
- 産褥子宮ノ復舊不全ヲ起ス原因ヲ列記シ且ツ之ガ處置ヲ記セ 七三〇・七三一(昭十、一)
- 分娩後ニ於ケル細菌性疾患ヲ列記シ其ノ主要症狀ヲ述ベヨ 七三二(昭十、一)
- 惡露蓄積症ノ原因症狀並ニ其處置如何 七三三(昭十、一)
- 鴉口瘡ノ症候ニ就テ 七三六(昭十、一)
- 遺傳梅毒兒ノ症狀 七三九(昭三、一)
- 初生兒消化不良症ニ就テ記セ 七四〇(昭三、一)
- 乳兒脚氣ノ症候及其ノ注意 七四一・七四二(昭三、一)
- 産褥トハ如何並ニ頭血腫トノ區別 七四三・七四四(昭四、一)
- 乳兒脚氣ノ原因症狀並ニ其ノ處置ヲ詳記セヨ 七四五(昭五、一)
- 鴉口瘡ノ原因症狀及其ノ處置 七四六(昭五、一)
- 母體梅毒ハ胎兒ニ如何ナル影響ヲ與フルヤ 七四七(昭六、一)
- 所謂乳兒腸膜炎ノ原因主要ナル症候及其ノ豫防法ヲ記セヨ 七四八(昭六、一)
- 初生兒梅毒ノ症候ヲ記セ 七四九(昭七、一)
- 初生兒「メレナ」ノ定義症狀及處置ヲ問フ 七五〇(昭八、一)
- 初生兒「メレナ」ノ定義症狀及處置ヲ問フ 七五〇(昭八、一)
- 初生兒膿漏眼ノ症狀及其處置ヲ問フ 七五〇(昭九、一)
- 乳兒脚氣ノ症狀及其ノ處置ヲ問フ 七五〇・七五一(昭九、一)

- ゲイタミンB缺乏ノ乳兒ニ及ボス影響如何 七〇六(昭十、一)
- 新生兒破傷風ノ原因症狀及處置ヲ記セ 七〇三(昭十、一)
- 頭血腫ヲ簡明ニ記セ 七〇七(昭十、一)
- 新産兒ニ來ル事アル傳染性眼疾患ヲ舉ゲ其ノ原因主症狀及其ノ豫防法ヲ記セ 七〇八(昭十、一)

- 早産兒ノ看護上ノ注意點 七二二(昭二、一)
- 早産兒ノ看護法及其ノ處置如何 七二三(昭八、一)
- 早熟兒ノ看護法ヲ記セ 七二四(昭九、一)
- 導尿法ニツイテ詳記セヨ 七二五(昭三、一)

〔三九〕 愛媛縣

第一集 豫備知識

- 骨盤入口ヲ形成セル骨ノ名稱及各徑線ニ就テ記セ 一〇三(昭四、一)
- 小骨盤入口ヲ形成セル骨ノ名稱及各徑線ニ就テ記セ 一〇三(昭六、一)
- 大骨盤及小骨盤ノ形ノ差異及之ヲ構成スル骨ニ就テ説明セヨ 一〇五(昭六、一)
- 大小骨盤ノ境界ヲ簡單ニ説明セヨ 一〇四(昭八、一)
- 正規分娩ヲ遂ゲ得ベキ骨盤ノ大キサヲ問フ 一〇六・一〇七(昭十、一)
- 骨盤誘導線トハ如何 一〇七(昭十、一)
- 月經ノ生理的意義ニ就テ記セ 一〇八(昭八、一)

- 月經ナクトモ妊娠可能ナル理由ヲ説明セヨ 一一〇(昭八、一)
- 月經ト排卵トノ關係ヲ記セ 一一一(昭九、一)
- 月經ナクシテ妊娠シ得ルヤ其ノ理由ヲ記セ 一一二(昭十、一)
- 胎帯ニ就イテ 一一三(昭二、一)
- 胎帯ノ構造及效用 一一四・一一五(昭二、一)
- 胎帯ノ作用ニ就テ記セ 一一四(昭三、一)
- 胎落膜ニ就テ記セ 一一三(昭五、一)
- 胎盤完成ノ時期ニ就テ 一一三(昭五、一)
- 胎盤完成ノ時期及其ノ完成ニ至ル迄ノ經過ヲ問フ 一一三・一一四(昭六、一)
- 胎盤ノ效用 一一三(昭七、一)
- 胎帯ノ構造及其ノ胎盤附着ノ種類 一一四・一一五(昭七、一)
- 假羊水ト前羊水トノ區別ヲ簡單ニ説明セヨ 一一六(昭八、一)

第二集 正常妊娠 妊娠ノ状態

- 分娩ノ胎兒頭部ニ及ス種々ノ影響ヲ記セ 三九五(昭七、一)
- 胎盤剝離セル徴候及経過 三九三・三九五(昭七、一)
- 陣痛ノ種類及性質ヲ問フ 三九四・三九三(昭八、一)
- 子宮収縮輪ヲ簡單ニ説明セヨ 三九三(昭八、一)
- 成熟胎兒ノ自然分娩ヲ遂ゲザル場合ヲ略記セ 三九七(昭八、一)
- 陣痛ノ性質及種類ヲ記セ 三九三・三九四(昭八、一)
- 分娩ニ對スル産後收縮ノ效用 三九八(昭九、一)
- 分娩ニ對スル産後收縮ノ效用ヲ問フ 三九八(昭九、一)
- 收縮輪並ニ産後ハ分娩時診斷上如何ナル意義ヲ有スルカ 三九三・三九四(昭十、一)
- 各頭位分娩ニ於ケル胎兒頭ノ形状變化ニ就テ記セ 三九六(昭十、一)
- 分娩時排尿ノ必要ナル理由及徴候ヲ記セ 三九二(昭十、一)
- 第一後頭位ニ於ケル分娩機轉ヲ問フ 三九〇(昭十、一)
- 胎盤形成ノ時期ヲ簡單ニ説明セヨ 三九二(昭十、一)
- 胎盤剝離ノ様式及各ノ場合ノ出血状態 三九五(昭十、一)
- 産後發生ノ時期ヲ簡單ニ説明セヨ 三九一(昭十、一)
- 胎盤ノ剝離及排出ノ機轉ヲ記セ 三九五(昭十、一)
- 收縮環(輪)ノ發生部位及其意義ニ就テ記セ 三九〇・三九三(昭十、一)
- 正常分娩ノ経過時間及之レニ影響ヲ及ボス事項ヲ記セ 三九三・三九四(昭十、一)
- 分娩第三期ニ胎盤剝離ノ起ル理由及其ノ様式 三九三・三九四(昭十、一)

- 就テ記セ 三九四・三九五(昭十、一)
- 初産婦及経産婦ニ於ケル分娩時子宮開大ノ様式ヲ説明セヨ 三九三(昭十、一)
- 骨盤測部ニ於ケル第一後頭位ノ内診所見ヲ記セ 三九五(昭六、一)
- 分娩進行程度ヲ外診ニテ知ル方法如何 三九四(昭十、一)
- 先進部位位置ヲ判定スベキ骨盤内目録ヲ述ベヨ 三九三(昭十、一)
- 分婁取扱法 三九六(昭二、一)
- クレイデ氏胎盤壓出法ヲ施ス時期ニ就テ記セ 三九六・三九七(昭二、一)
- 初生兒沐浴方法及ビ注意ハ如何 三九六・三九七(昭二、一)
- 分娩中腹壓ヲ利用シ又ハ停止スベキ時期ニ就テ 三九三(昭三、一)
- 初生兒沐浴ニツキテ記セ 三九六(昭三、一)
- 正規分娩ニ於ケル肩胛骨出術ヲ記セ 三九三(昭五、一)
- 胎盤剝離ノ徴候並ニクレイデ氏胎盤壓出法ヲ記セ 三九三・三九五(昭六、一)
- 臍帯纏絡ノ妊娠分娩ニ及ボス影響ト其ノ診斷ヲ記セ 三九三・三九三(昭七、一)
- 胎盤排出ノ完全ナルヤ否ヤノ検査法ヲ記セ 三九三(昭七、一)
- 腹壓ヲ動メ或ハ之ヲ禁止スベキ時期及理由 三九七(昭八、一)
- クレイデ氏胎盤壓出法ヲ施スベキ理由方法及其ノ際ニ起リ得ベキ有害作用ト其ノ豫防法ヲ記セ 三九三・三九四(昭十、一)

- 腹壓ヲ動メ或ハ之ヲ禁止スベキ時期及理由ヲ問フ 三九七(昭八、一)
- クレイデ氏胎盤壓出法ハ如何ナル場合ニ行フベキカ及其ノ實施法ヲ述ベヨ 三九五・三九七(昭八、一)
- 分娩第二期ニ於ケル産後ノ注意スベキ事項ヲ記セ 三九〇(昭九、一)
- クレイデ氏胎盤壓出法ヲ施スベキ理由及方法 三九〇・三九二(昭九、一)
- クレイデ氏胎盤壓出法ノ目的方法及施行時ノ注意ヲ記セ 三九七(昭十、一)
- 妊婦ヲ産床ニ就カシムル時期ヲ簡單ニ説明セヨ 三九五(昭十、一)
- 會陰保護ヲ行フベキ時期ヲ簡單ニ説明セヨ 三九五(昭十、一)
- 産婦ニ腹壓又ハ努責ヲ命ズル時期ト禁止スベキ時期ニ就テ記セ 三九三(昭十、一)
- 兒頭排露スルニ陣痛微弱トナル時産後ノ取ルベキ處置ヲ問フ 三九三(昭十、一)

- 褥婦ノ全身ニ現ハル、變狀ヲ記セ 三九三(昭三、一)
- 正規産後ノ経過ヲ問フ 三九七(昭四、一)
- 正規悪露ノ経過ヲ説明セヨ 三九七(昭四、一)
- 正規産後ノ経過ヲ記セ 三九七(昭四、一)
- 正規産後ニ於テ子宮ノ完全ニ復舊スベキ時期ヲ略述セヨ 三九三(昭五、一)
- 正規産後ニ於テ悪露ノ消失スル時期ヲ略述セヨ 三九三(昭六、一)
- 産後ニ於ケル子宮復舊現象 三九二(昭七、一)
- 産後時ニ於ケル子宮底ノ高サヲ記セ 三九三(昭七、一)
- 正規産後ニ於ケル子宮底ノ高サ及ビ悪露ノ變化ト産後日時トノ關係ヲ記セ 三九三・三九六(昭八、一)
- 子宮腔部ハ妊娠初期ヨリ産後ノ末期ニ至ル迄如何ニ變化スルカ 三九五(昭八、一)
- 産後第一週ニ於ケル悪露ノ性状 三九三(昭九、一)
- 産後第一週目ニ於ケル子宮ノ状態悪露ノ性状 三九三・三九六(昭九、一)
- 産後中ニ於ケル泌乳機能ニ就テ記セ 三九七(昭十、一)
- 悪露ノ種類及産後二週間迄ノ悪露ノ變化ヲ記セ 三九四(昭十、一)
- 乳汁分泌ニ影響スル種々ナル事項ヲ記セ 三九五(昭十、一)
- 初生兒ノ黄疸ニ就イテ 三九六(昭四、一)
- 初生兒餓餓熱トハ如何 三九〇(昭五、一)
- 初生兒餓餓熱トハ如何 三九〇(昭六、一)

第四集 正常産後

産後ノ状態

- 初生兒黃疸ニ就テ 四〇六(昭六、二)
- 初生兒ノ體溫脈搏便通及排尿ニ就テ記セ 四〇八(昭八、二)
- 初生兒臍帶ノ變化ニ就テ記セ 四〇三(昭九、一)
- 初生兒黃疸ニ就テ知ル所ヲ記セ 四〇六(昭七、一)
- 生後一週間内ニ初生兒ニ起ル主ナル生理現象ヲ説明セヨ 四二四(昭七、一)

產褥取扱法

- 正規產褥ニ於テ產婆ノ最モ注意スベキ事項ヲ記セ 四〇三(昭四、一)
- 產褥經過ノ良否ハ何ニ依リ判斷スルヤ 四〇三(昭四、一)
- 產褥時ニ於ケル尿閉ノ原因及處置ヲ記セ 四〇三(昭五、一)
- 正規產褥ニ於テ全身浴ヲ許スベキ時期ヲ略述セヨ 四〇四(昭六、一)
- 正規產褥ニ於テ離床ヲ許スベキ時期ヲ略述セヨ 四〇七(昭六、一)
- 正規產褥ニ於テ常食ヲ與フベキ時期ヲ略述セヨ 四〇八(昭六、一)
- 產後母體外陰ノ處置 四〇八(昭六、一)
- 產褥經過ノ良否ハ何ヲ根據トシテ判定スルカ 四〇三(昭六、一)
- 產褥時ノ排尿障礙トハ如何ナルコトカ其ノ原因及處置ヲ問フ 四〇三(昭十、一)
- 產褥經過ノ良否ヲ判定スヘキ事項ヲ詳細ニ舉ゲヨ 四〇三(昭七、一)
- 產褥經過ノ良否ヲ判定スベキ事項ヲ詳細ニ舉ゲヨ 四〇三(昭七、一)

ゲヨ

- 初乳ノ效用ニツキ知ル處ヲ記セ 四〇三(昭三、一)
- 母乳ヲ禁ズベキ病症ヲ列舉セヨ 四〇三(昭三、一)
- 授乳ニ就テ知ル所ヲ記セ 四〇三(昭三、一)
- 乳兒哺乳ニ際シ母乳ヲ避クベキ場合如何 四〇三(昭四、一)
- 初生兒ニ下劑ヲ與フル必要アリヤ其ノ理由ヲ併記セヨ 四〇三(昭四、一)
- 特ニ母乳ヲ避ケザルベカラザル疾患ヲ列舉セヨ 四〇三(昭四、一)
- 小兒哺乳上ノ注意ニ就イテ 四〇三(昭五、一)
- 初乳ノ効用及其ノ性質ヲ成乳ト比較セヨ 四〇三(昭六、一)
- 特ニ母乳ヲ避ケザルベカラザル疾患ト其ノ理由 四〇三(昭六、一)
- 產後初生兒臍部ノ處置及母體外陰部ノ處置ヲ記セ 四〇三(昭六、一)
- 母乳榮養ト牛乳榮養トノ優劣ヲ説明セヨ 四〇三(昭八、一)
- 母乳ヲ禁ズベキ場合ヲ記セ 四〇三(昭九、一)
- 初乳兒初回ノ授乳ノ時期及母乳ヲ禁ズベキ場合ヲ記セ 四〇三(昭九、一)
- 初生兒ニ母乳ヲ與フベカラザル場合如何 四〇三(昭十、一)
- 母乳榮養ノ人工榮養ニ優ル理由ヲ記セ 四〇三(昭十、一)
- 一般授乳上ノ注意ヲ述ベヨ 四〇三(昭十一、一)
- 生兒榮養上母乳ノ最モ優ル所以並ニ一般授乳上ノ注意ヲ述ベヨ 四〇三(昭十一、一)

○病的ナラズシテ初生兒發熱スル場合アリヤアラバ詳述セヨ

四〇八(昭七、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 葡萄狀鬼胎ノ診斷及分娩ノ經過ヲ記セ 五〇七・五〇三(昭二、一)
- 妊娠子宮ガ過度ニ膨大スル種々ナル疾病ヲ略述シ其ノ分娩ニ及ボス影響ヲ記セ 五〇七・五〇三(昭二、一)
- 葡萄狀鬼胎ノ診斷及豫後ヲ問フ 五〇七・五〇三(昭七、一)
- 葡萄狀鬼胎ノ診斷 五〇七(昭七、一)
- 前置胎盤ト正常位胎盤ノ早期剝離トノ症狀ヲ比較セヨ 五〇五(昭三、一)
- 前置胎盤ノ診斷如何 五〇五(昭四、一)
- 常位胎盤早期剝離ノ徵候(症狀) 五〇五(昭五、一)
- 產婆ノ應急處置トシテ人工破水ヲ行ヒ得ベキ適應症ニ就キテ述ベヨ 五〇五(昭五、一)
- 羊水過多症ト葡萄狀鬼胎トノ診斷上ノ區別 五〇七(昭五、二)
- 羊水過多症ノ分娩時ニ於ケル障礙ヲ問フ 五〇七(昭八、一)
- 羊水過多ノ分娩ニ及ボス影響ヲ記セ 五〇七(昭九、一)
- 羊水過少ハ母體並ニ胎兒ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤ 五〇七・五〇九(昭十一、一)

胎兒異常

- 急性羊水過多症ノ症狀ヲ記シ之ト鑑別スベキモノヲ舉ゲヨ 五〇七・五〇九(昭七、一)
- 羊水過多症ニテ心音聽取困難ナル時產婆ノ取ルベキ處置ヲ問フ 五〇七(昭七、一)
- 妊娠中胎兒生死ノ診斷ニ就イテ記セ 二〇三(昭四、一)
- 妊娠中死亡セル胎兒ノ運命ヲ問フ 五〇九(昭四、一)
- 妊娠中胎兒死亡セル母體ニ如何ナル影響ヲ與フルカ 五〇九・二〇三(昭九、一)
- 妊娠中胎兒死亡ノ原因及徵候記セ 五〇九・二〇三(昭十、一)
- 常習性流産ニツキテ記セ 五〇九(昭十一、一)
- 常習性流産及早産ニ就テ記セ 五〇九(昭三、一)
- 流産ノ切迫セル徵候ト其處置ヲ記セ 五〇九(昭四、一)
- 普通流産、子宮外妊娠、葡萄狀鬼胎ノ各出血ノ特徵ヲ記セ 五〇九(昭六、一)
- 妊娠中絶ノ原因及徵候ニ就テ記セ 五〇九・五〇三(昭八、一)
- 稽留性流産トハ如何 五〇九(昭八、一)
- 流産ト早産トノ區別及流産ニ於ケル二期二期ノ區別ヲ記セ 五〇九(昭九、一)
- 不完全流産ノ經過ニ就テ記セ 五〇九(昭十、一)
- 流産ノ種類ニ就テ記セ 五〇九(昭十一、一)

- 子宮外妊娠ノ症狀ヲ記セ 五二四一(昭三、二)
- 妊娠ノ初期ニ於テ突然腹痛出血貧血ヲ來セリトイフ如何ナル原因ヲ考ベフキカ又此場合ノ應急處置ヲ問フ 五二三八(昭十、一)
- 子宮外妊娠ノ診斷ニ就テ記セ 五二四二(昭十、二)
- 子宮外妊娠ノ症狀ヲ記セ 五二四二(昭十、二)
- 母體性器異常
 - 子宮後屈(後轉)妊娠ノ經過ニ就テ 五二七九(昭三、二)
 - 子宮後屈妊娠ノ運命ニ就テ記セ 五二八〇(昭六、二)
 - 子宮後屈妊娠ノ運命ヲ問フ 五二八〇(昭十、一)
 - 懸垂腹ヲ有スル産婦ノ分娩障害並ニ其ノ處置ヲ問フ 五二八九・五二九〇(昭十、一)
 - 妊娠子宮脱出症ニ就テ記セ 五二八五(昭十、一)
 - 後屈妊娠子宮嵌頓症ニ就テ記セ 五二七五・五二七六(昭十、一)
 - 淋疾ハ母體及初生兒ニ如何ナル障碍ヲ與フルヤ 五二八九(昭十、二)
 - 妊娠時ニ於ケル生殖器出血ノ原因ヲ記セ 五二〇八(昭三、一)
 - 妊娠末期ニ於ケル子宮出血ノ原因及處置ヲ説明セヨ 五二二七(昭九、二)
- 子癩ノ症狀ヲ記セ 五二五三(昭三、二)
- 高度ノ妊婦靜脈痛ハ如何ナル危険アリヤ及其ノ處置ニ就イテ 五二〇五・五二〇六(昭四、一)
- 悪性妊娠惡阻ト生理的妊娠嘔吐トノ區別 五二三四(昭五、二)
- 子癩ニ就キ記セ 五二四七(昭六、一)
- 妊娠中ニ於ケル浮腫ノ原因及其處置 五二八三・五二九六(昭六、一)
- 妊娠中毒症トハ如何 五二三三(昭八、一)
- 妊娠浮腫ニ就テ記セ 五二八四(昭八、二)
- 妊娠中毒症ヲ列記セヨ 五二三三(昭九、一)
- 妊娠ニ來ル浮腫ノ原因ヲ略記セヨ 五二八三(昭九、一)
- 妊娠浮腫ニ就テ記セ 五二八四(昭十、一)
- 妊娠中毒症トハ如何ナルモノカ 五二三三(昭十、二)
- 妊娠中毒症トハ何ゾ及其ノ種類ヲ問フ 五二三三・五三三二(昭十、一)
- 妊婦浮腫ヲ訴フ此ノ際如何ナル疾病ヲ考フルカ又産婆トシテ取ルベキ處置如何 五二八三・五二九六(昭十、二)
- 子癩前驅症ヲ記セ 五二五二(昭十、一)
- 肺結核ト妊娠及分娩トノ關係ヲ記セ 五三三五・五三三六(昭八、二)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 早期破水ノ主ナル原因ヲ記セ 六二六(昭三、一)
- 延滞破水ノ時産婆ノ取ル可キ處置並ニ其ノ處置ニ就イテ 六二六(昭三、一)
- 第一前頭位ノ分娩機轉 六二〇五(昭一、一)
- 骨盤端位ガ胎兒ニ危険アル理由ヲ記セ 六二〇二(昭二、一)
- 遷延性横位ノ經過ヲ記セ 六二〇六(昭四、一)
- 骨盤端位分娩ノ取扱上注意スベキ主要點如何 六二〇三(昭四、二)
- 頭位ニ於ケル四肢脱垂ノ原因及處置 六二〇六(昭五、一)
- 胎胞(卵胞)破裂後ニ於ケル第二顔面位ノ内診所見 六二〇九(昭五、二)
- 外週轉術施行上ノ條件適應症及ビ其ノ實施法ヲ記セ 六二〇八(昭五、二)
- 骨盤端位分娩ノ頭位分娩ニ比シ一般ニ危険多キ理由 六二〇六(昭六、一)
- 骨盤端位ト頭位トノ分娩ノ難易ヲ比較セヨ 六二〇五(昭七、一)
- 上肢脱出ヲ來シ易キ原因並ニ其ノ脱出ノ母兒兩者ニ及ボス影響ヲ述ベヨ 六二〇九(昭八、一)
- 骨盤端位ニ於ケル分娩機轉ヲ記セ 六二〇九(昭十、一)
- 上肢脱出ト下肢脱出トハ何レガ分娩困難ナルヤ其ノ理由ヲ記セ 六二〇九(昭十、二)
- 第一前頭位ニ於ケル分娩機轉ヲ問フ 六二〇九(昭十、二)
- 双胎妊娠ト羊膜水腫トノ鑑別診斷ヲ記セ 六二〇二(昭一、一)
- 雙胎分娩後ニ於テ一卵性雙胎ト二卵性雙胎ヲ鑑別シ得ル諸點 六二〇三(昭三、一)
- 羊水過多症ト双胎トノ鑑別 六二〇三(昭三、一)

胎兒異常

- 放置セバ如何ナル經過ヲ取ルカヲ記セ 六二〇七・六二〇八(昭六、一)
- 早期破水ヲ起シ易キ場合ヲ舉ゲ其ノ分娩トノ關係ヲ略記セヨ 六二〇六・六二〇七(昭七、一)
- 分娩第二期ニ於テ兒頭ノ骨盤入口上ニ固定セザル場合ヲ列舉シ産婆ノ之ニ對スル處置ヲ記セ 六二〇五・六二〇八(昭八、一)
- 早期破水ノ分娩ニ及ボス影響ヲ記セ 六二〇七(昭九、一)
- 人工破水ヲ行フ場合及其方法ヲ記セ 六二〇六(昭九、二)
- 産婆ノ破水術ヲ行ヒ得ベキ場合及其ノ方法ヲ記セ 六二〇六(昭十、一)
- 臍帶脱出ノ原因並ニ其ノ處置ヲ記セ 六二〇五・六二〇六(昭六、一)
- 臍帶脱垂ニ對スル處置 六二〇五(昭七、一)
- 臍帶脱出ト下垂トノ區別及其ノ母體胎兒ニ及ボス影響ヲ問フ 六二〇五・六二〇六(昭十、一)
- 頭位ニテ臍帶ノ下垂脱出ニ際シ産婆トシテ處置如何 六二〇五(昭十、二)
- 異常分娩取扱上産婦ニ側臥位ヲ命ズル場合及其ノ理由ヲ記セ 六二〇九(昭十、二)
- 臍帶脱出ヲ來スベキ場合並ニ其處置ヲ記セ 六二〇九(昭十、二)
- 頭位ニテ臍帶下垂アル時ノ産婆ノ取ルベキ處置 六二〇五(昭十、二)

- ◎ 双胎妊娠ノ分娩経過ヲ記セ 六三〇(昭三、二)
- ◎ 双胎分娩ニ起リ易キ障碍及取扱上特ニ注意スベキ事項ヲ舉ゲヨ 六二〇(昭八、一)

- ◎ 初生児假死ノ原因及眞死トノ區別 六三八・六三九(昭三、一)
- ◎ 初生児假死ノ原因及其ノ處置ヲ問フ 六三八・六三九(昭六、二)
- ◎ 初生児假死ノ原因徴候並ニ之ニ對スル處置ヲ記セ 六三八・六三九・六四〇(昭九、一)

母 體 異 常

- ◎ 産婆ノナシ得ル陣痛増強法及ビ輕減法ヲ記セ 六三七(昭三、一)
- ◎ 分娩第二期ニ於ケル陣痛微弱ノ處置 六三九(昭四、一)
- ◎ 微弱陣痛ノ應急處置ヲ略記セヨ 六三四(昭五、二)
- ◎ 狭窄骨盤ニヨリテ起ル分娩異常 六三五(昭二、一)
- ◎ 過大骨盤ノ分娩ノ経過ヲ問フ 六三六(昭二、一)
- ◎ 過大骨盤ノ分娩経過 六三六(昭二、二)
- ◎ 狭窄骨盤ノ分娩経過ヲ記セ 六三六(昭五、一)
- ◎ 狭窄骨盤ノ主ナル種類ヲ舉ゲヨ 六三五(昭六、一)
- ◎ 狭窄骨盤ニヨリテ起ル分娩中ノ障害及其ノ處置 六三五・六三六(昭三、一)
- ◎ 過廣骨盤ノ分娩ニ及ボス影響 六三六(昭九、一)
- ◎ 弛緩性(無力性)出血ニ就テ詳記セヨ 六四〇(昭二、一)
- ◎ 子宮破裂ノ前徴ヲ問フ 六四六(昭二、二)

- ◎ 弛緩性後出血ノ處置 六四三(昭三、二)
- ◎ 胎盤遺殘ノ症狀及其ノ處置ヲ記セ 六四三・六四四(昭四、二)
- ◎ 胎盤積留ノ原因及處置ヲ記セ 六四四・六四五・六四六(昭五、一)
- ◎ 弛緩性子宮出血ノ原因 六四六(昭六、一)
- ◎ 子宮破裂ト頸管破裂トノ區別ヲ記セ 六四四(昭六、二)
- ◎ 子宮破裂ノ切迫徴候ヲ記セ 六四六(昭九、一)
- ◎ 會陰破裂ニヨリテ起ル障害 六四六(昭九、二)
- ◎ 子宮破裂ノ原因並ニ其ノ切迫徴候ヲ記セ 六四二・六四六(昭十、一)

- ◎ 子宮破裂ノ原因並ニ徴候ヲ記セ 六四二(昭十、二)
- ◎ 弛緩性出血ノ時産婆ノ取ルベキ處置ヲ問フ 六四五(昭三、一)
- ◎ 後産期ニ於ケル異常ノ生殖器出血トソノ區別診斷如何 六四三(昭五、二)
- ◎ 胎盤殘留ノ原因及處置ヲ記セ 六四五(昭十、一)
- ◎ 産婦急性貧血ノ原因症狀及處置ヲ問フ 六四五(昭十、二)

第七集 異常産褥・補足知識 産 褥 異 常

- ◎ 子宮復舊不全症ノ原因及症狀ヲ記セ 七五五・七五六(昭二、一)
- ◎ 乳腺炎ノ原因、徴候及豫防法 七〇一・七〇二・七〇三(昭三、一)
- ◎ 産褥熱患者ヲ取扱ヘル産婆ノ注意事項如何 七三三(昭三、一)
- ◎ 産褥中ニ於ケル膀胱及直腸ニ起ル障害ニ就テ 六四〇(昭三、二)

- ◎ 産褥熱ニ現ハル、主ナル徴候如何 七二六(昭四、一)
- ◎ 産褥中ノ創傷傳染トハ如何 七三三(昭五、一)
- ◎ 産褥時ニ於ケル異常出血ノ原因ヲ舉ゲヨ 七三三(昭五、二)
- ◎ 産褥中ニ於ケル創傷傳染トハ如何 七三三(昭六、一)
- ◎ 産褥中生殖器復舊現象ノ障害ニ就テ記セ 七三三(昭六、二)
- ◎ 乳腺炎ノ原因處置及豫防法ニ就テ記セ 七〇一・七〇二・七〇三(昭八、一)
- ◎ 産褥熱ノ原因徴候及處置ヲ記セ 七〇一・七〇二・七〇三(昭八、二)
- ◎ 乳房炎ノ原因、徴候並ニ處置ヲ記セ 七〇四(昭九、一)
- ◎ 産褥時ニ於ケル泌尿器ノ疾病ヲ略記セヨ 七二二(昭九、二)
- ◎ 生殖器復舊障害トハ如何及其ノ症狀ヲ問フ 七五三・七五五(昭十、一)
- ◎ 産褥熱診斷ノ目標トナルベキ徴候ニツイテ述ベヨ 七一九(昭十、二)
- ◎ 産褥熱患者ヲ取扱ヘル場合産婆トシテノ態度如何 七三四(昭十、三)
- ◎ 最も重症ナル産褥熱ノ症狀ヲ記セ 七二八(昭十、一)
- ◎ 産褥熱ノ病原菌ト其ノ傳染徑路ヲ述ベヨ 七二三(昭十、二)

新 産 兒 異 常

- ◎ 先天性梅毒ノ徴候 七二五(昭二、一)
- ◎ 初生児臍部ノ疾患ニツイテ記セ 七二五(昭二、二)
- ◎ 初生児臍部ノ疾患ニ就テ記セ 七二五(昭三、一)

- ◎ 初生児眼炎ノ原因症狀及ビ處置 七二六(昭三、二)
- ◎ 初生児臍疾ニ就テ問フ 七二五(昭三、一)
- ◎ 産褥ト頭血腫ノ區別ヲ記セ 七二〇(昭三、二)
- ◎ 遺傳性梅毒兒ノ徴候ヲ記セ 七二五(昭四、一)
- ◎ 驚口瘡トハ如何及豫防法 七二六(昭五、一)
- ◎ 初生児臍腫ノ症狀及ビ豫防法 七二六・七二七(昭五、二)
- ◎ 初生児發熱ヲ來ス疾患並ニ之ガ原因ヲ問フ 七二〇(昭六、一)
- ◎ 初生児ノ胃腸障礙ニ就テ 七二六(昭七、一)
- ◎ 初生児臍部ノ炎症性疾患ヲ略述セヨ 七二〇(昭七、二)
- ◎ 乳兒脚氣ニ就テ記セ 七二〇(昭八、一)
- ◎ 先天性梅毒兒ノ徴候ヲ記セ 七二五(昭八、二)
- ◎ 産後數日ニ新生児ガ吐乳スル時ハ如何ナル病症ヲ考ヘルカ 七二三(昭九、一)
- ◎ 先天性梅毒兒ノ徴候及其ノ榮養法ヲ記セ 七二五・七二六(昭九、二)
- ◎ 初生児臍疾ヲ列記セヨ 七二五(昭十、一)
- ◎ 驚口瘡ノ原因症狀及豫防法ヲ記セ 七二六(昭十、二)
- ◎ 母體ニ梅毒脚氣及妊婦腎アリシ場合ノ新産兒ノ榮養法ヲ問フ 七二五(昭十、三)
- ◎ 頭蓋産褥ト頭蓋血腫トノ區別ヲ問フ 七二〇(昭十、一)
- ◎ 臍部ヨリ感染スル新生児疾患ヲ列舉シ簡單ニ説明セヨ 七二五(昭十、二)
- ◎ 新産兒頭蓋内出血ノ症狀ヲ記セ 七二〇(昭十、三)
- ◎ 新産兒ノ臍出血ヲ起ス場合ヲ列舉セヨ 七二五(昭十、四)

- クレーデ氏胎盤壓出法ノ實施上必要ナル條件ヲ記セ 三二六(昭六、一)
- 兒體娩出直後ヨリ臍帶ニ對スル處置ト注意及ビ其ノ經過ヲ記セ 三二四(昭十、二)
- 初生兒臍帶斷端及脫落面ノ處置ヲ記セ 三二六・四一九(昭五、一)
- 分娩直後ニ於ケル新産兒ノ處置ヲ問フ 三二六(昭五、二)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 分娩直後ヨリ三日間ニ至ル産褥ノ全身的变化ヲ記セ 四七六(昭二、一)
- 惡露ノ經過ニ就テ記セ 四九〇(昭三、一)
- 産褥ノ經過ヲ記セ 四九〇(昭四、二)
- 正規分娩後子宮ノ復舊經過ニ就テ記セ 四九二(昭五、一)
- 分娩直後ヨリ一週間マデノ尿大便ノ排泄状態ヲ問フ 四九二(昭七、一)
- 子宮ノ復舊現象ヲ問フ 四九二(昭七、二)
- 子宮ノ復舊現象ヲ問フ 四九三(昭十、一)
- 漿液性惡露ヲ簡單ニ説明セヨ 四九二(昭十、二)
- 子宮體ノ復舊現象ニ就キ知レル處ヲ記セ 四九三(昭十、二)
- 惡露ニ就テ詳述セヨ 四九三(昭十、二)
- 正規産褥ノ經過ヲ記セ 四九三(昭十、二)
- 産褥期ニ於ケル子宮復舊ノ經過ヲ問フ 四九三(昭十、二)

- 初生兒ノ消化機轉ニ就テ記セ 四九二(昭三、一)
- 初生兒黃疸ニ就テ記セ 四九六(昭六、一)
- 初生兒黃疸ニ就テ記セ 四九六(昭八、一)
- 新産兒排便ノ性状ニ就キ知ル所ヲ記セ 四九六(昭十、一)

産褥取扱法

- 産褥ノ看護法ヲ記セ 四九七(昭四、一)
- 産褥ノ經過及攝生ノ注意事項ヲ記セ 四九七・四九八(昭四、二)
- 産褥ノ取扱上注意スヘキ事項ヲ記セ 四九七(昭五、一)
- 産褥離床ノ時期並ニ産褥經過ノ良否ハ何ニヨリテ判定スベキカヲ記セ 四九七・四九八(昭五、二)
- 産褥經過ノ良否ハ何ニヨリ判定スベキヤ知ル所ヲ記セ 四九七(昭五、二)
- 産褥ノ授乳ニ就テ記セ 四九七(昭二、一)
- 母乳ヲ禁ズル場合ヲ舉グ其理由ヲ概述セヨ 四九七(昭三、一)
- 母乳ヲ選擇スルニ必要ナル條件 四九七(昭三、二)
- 初生兒ノ處置ニ就テ記セ 四九七(昭三、三)
- 授乳ノ方法ヲ記セ 四九七(昭四、一)
- 異常ナル初生兒養法ニ就テ記セ 四九七(昭七、一)
- 異常ナル初生兒養法ニ就テ記セ 四九七(昭七、二)
- 初生兒第一回沐浴ニ就テ 四九七(昭八、一)
- 臍帶斷端ノ處置ヲ問フ 四九七(昭九、一)
- 乳母ノ資格ニ必要ナル條件ヲ記セ 四九七(昭十、二)

- 新産兒ノ看護ニ就テ注意スベキ事項ヲ記セ 四九二(昭三、二)
- 臍帶脫落前ニ於テ新産兒ニ沐浴ヲ禁ズベキ場合ヲ記セ 四九三(昭五、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 正常位胎盤早期剝離ノ診斷、原因、徵候及其ノ處置ニ就テ記セ 五二五・五二六・五二七・五二八(昭八、一)
- 前置胎盤ニ就キ知ル處ヲ記セ 五二五(昭八、一)
- 前置胎盤ノ症狀ト處置ヲ記セ 五二五・五二六(昭八、二)
- 羊水過多症ト葡萄胎胎トノ鑑別ヲ記セ 五二七(昭七、一)
- 同上 五二七(昭七、二)
- 羊水ノ異常ト其ノ障礙ヲ記セ 五二七・五二八(昭七、二)
- 羊膜水腫ノ症狀及分娩時ノ危険ニ就キ知ル所ヲ記セ 五二九・五三〇(昭十、一)

胎兒異常

- 胎兒死亡ノ原因及其ノ症狀ニ就キ知ル所ヲ記セ 五二九・五三〇(昭十、一)
- 流産ノ處置 五三〇(昭三、一)
- 喇叭管妊娠ニ於ケル早期中絶ノ徵候ヲ記セ 五三〇(昭三、二)

- 子宮外妊娠ニ就キ知ル所ヲ記セ 五三六(昭八、二)
- 輸卵管妊娠中絶ノ徵候ヲ記セ 五三六(昭十、二)

母體性器異常

- 後屈妊娠ノ症狀及其取扱ヲ記セ 五三六・五三七(昭四、一)
- 數回早産或ハ死産ヲ反覆シ一回モ健康兒ヲ得ザル妊婦ヲ取扱ヒタル産婆ハ如何ナル心得ヲ要スルヤ 五三六(昭四、二)
- 妊娠前半期ニ於ケル子宮出血ノ主ナル物ヲ舉ゲ其ノ症狀ヲ記セ 五三六(昭五、一)
- 妊娠中ニ於ケル出血ノ原因ヲ舉ゲヨ 五三六(昭五、二)
- 妊婦ニ浮腫ヲ起スベキ場合ヲ列記シ、且ツ之ニ對スル處置ヲ記セ 五三六・五三六(昭二、一)
- 子癇ノ原因並ニ處置ニ就テ記セ 五三六・五三七(昭三、一)
- 惡阻トハ如何其ノ處置ヲ問フ 五三六・五三七(昭九、一)
- 子癇トハ如何其ノ處置ヲ問フ 五三七(昭十、一)
- 妊娠中ニ發スル浮腫ノ原因及ビ處置ヲ記セ 五三六・五三六(昭五、一)
- 妊娠中ニ發スル浮腫ノ原因及處置ヲ問フ 五三六・五三六(昭五、二)
- 妊婦腎盂炎ニ就テ記セ 五三六(昭五、一)

第六集 異常分娩

胎兒附物屬異常

- 卵膜ノ過早破綻(早期破水)ニ就イテ 六二四(昭八、一)
- 延滞破水ヲ簡單ニ説明セヨ 六三三(昭十、一)
- 初妊婦第十ヶ月ニ於テ兒頭ノ骨盤上口ニ固定セザル場合ハ何ヲ意味スルカ知ル所ヲ記セ 六二五(昭七、一)

胎兒異常

- 臍帶ノ纏絡及其ノ處置 六二九(昭十、一)
- 臍帶下垂及脱出ノ原因及其ノ處置ヲ問フ 六二五・六二六(昭七、一)
- 横位ノ分娩經過 六二五(昭三、一)
- 骨盤端位ノ症狀及診斷ヲ記セ 六二二・六二四(昭四、一)
- 陣痛及骨盤ニ異常ナクシテ分娩遷延スル場合ニ如何ナル原因ヲ考フベキヤ 六二七(昭五、一)
- 前頭位ニ於ケル診斷所見ヲ問フ 六二四(昭十、一)
- 骨盤端位ニ就テ完全位ト不完全位トノ區別ヲ記セ 六二五(昭十一、一)
- 骨盤端位分娩ガ頭位分娩ニ比シ一般ニ危險多キ主ナル理由 六二六(昭十一、一)
- 分娩時ニ於ケル胎兒ノ位置ト分娩難易トノ關係ヲ記セヨ 六二六(昭十一、一)
- 頭位分娩ニ於テ上肢脱出セル時ノ處置ヲ記セ 六二六(昭十一、一)

骨盤端位分娩ガ頭位分娩ニ比シ一般ニ危險多キ主ナル理由ヲ記セ

六二五(昭十一、一)

雙胎妊娠ト羊水過多症トノ鑑別

六三三(昭二、一)

雙胎妊娠ノ診斷及之ト誤診サレ易キ疾病ヲ舉ゲヨ

六三三(昭八、一)

雙胎妊娠ノ種類並ニ其ノ胎盤卵膜ニ就イテ説明セヨ

六二四(昭八、一)

- 初生兒假死ノ原因及症狀ニ就イテ記セ 六二八・六二九(昭二、一)
- 死産(分娩時胎兒ノ死亡)ノ原因ト處置 六三五・六三六(昭十、一)
- 初生兒假死ノ原因及ビ處置ヲ記セ 六二八・六二九(昭十一、一)
- 新産兒假死ノ原因ト症狀ヲ記セ 六二八・六二九(昭十一、一)

母體異常

- 陣痛微弱ノ原因及ビ處置ヲ記セ 六三〇・六三一(昭十一、一)
- 陣痛微弱ノ症狀並ニ分娩經過ニ就キ記セ 六三〇(昭十一、一)
- 狭窄骨盤ノ疑ヲ起スベキ症狀 六二八(昭二、一)
- 早期娩出ノ要件ヲ記セ 六二八(昭二、一)
- 扁平骨盤ノ分娩ニ際シ兒頭ノ狀態ヲ記セ 六二七(昭十一、一)
- 無力性(弛緩性)出血ノ原因並ニ處置 六二五・六二六(昭三、一)
- 弛緩性子宮出血トハ如何ナルモノカ其ノ原因徴候ヲ記セ 六二五・六二六(昭四、一)
- 分娩時ニ於ケル出血ノ原因ヲ記セ 六二六(昭七、一)

- 分娩時ニ於ケル出血ノ原因ヲ記セ 六二四(昭七、一)
- 弛緩性出血ノ原因及其ノ處置ヲ記セ 六二五・六二六(昭九、一)
- 分娩各期ニ於ケル子宮出血ノ原因ヲ列記セヨ 六二四(昭十、一)
- 會陰裂傷ノ原因及ビ處置ヲ記セ 六二五・六二六(昭十、一)
- 胎盤稽留ノ徴候ト褥婦ニ及ボス影響ヲ記セ 六二五(昭十一、一)
- 胎盤娩出遅延ノ原因ヲ記セ 六二五(昭十一、一)
- 子宮内腫症ノ原因並ニ處置ヲ記セ 六二六・六二七(昭十一、一)
- 弛緩性出血ニ就テ記セ 六二四(昭十一、一)

第七集 異常産褥・補足知識

褥婦異常

- 産褥ニ於テ醫治ヲ要スベキ疾病ヲ列記セヨ 七二三(昭四、一)
- 子宮復故(復舊)不全ニ就テ記セ 七二五(昭二、一)
- 産褥性敗血症ト膿毒症トノ區別 七二八(昭五、一)
- 産褥中ニ來ル排尿障礙ノ種類及其ノ處置ヲ述ベヨ 七二二(昭七、一)
- 産褥中ニ來ル排尿障礙ノ種類及其ノ處置ヲ述ベヨ 七二二(昭七、一)
- 産褥時血性惡露ノ長引ク原因及處置如何(七二七・七二八) (昭八、一)
- 惡露ノ異常ニ就テ 七二五(昭八、一)
- 乳腺炎ノ症狀、處置ヲ述ベヨ 七二〇・七二一(昭九、一)
- 白股腫ヲ簡單ニ説明セヨ 七二四(昭十、一)

新産兒異常

- 尿瘻ヲ簡單ニ説明セヨ 六二四(昭十、一)
- 後陣痛異常ノ原因ト其ノ處置ヲ記セ 七二七(昭十一、一)
- 産褥婦ニ起リ易キ疾病ノ名稱ヲ記セ 七二八(昭十一、一)
- 産褥期異常出血ノ原因ト症狀ヲ記セ 七二七・七二八(昭十一、一)
- 初生兒ノ臍疾患ノ名稱並ニ其ノ症狀ヲ簡單ニ記セ 六二四(昭十一、一)
- 産褥ト頭血腫トノ鑑別 七二七(昭十一、一)
- 先天性梅毒兒ニ就テ記セ 七二五(昭三、一)
- 驚口瘡ノ原因及豫防法ヲ記セ 七二五(昭四、一)
- 先天性梅毒ノ徴候ヲ記セ 七二五(昭四、一)
- 初生兒膿漏眼ノ原因及豫防法ヲ記セ 七二五・七二六(昭四、一)
- 初生兒「メレナ」ノ病狀看護法ヲ記セ 七二九(昭四、一)
- 初生兒ニ發スル丹毒ノ部位及其ノ徴候 七二九(昭五、一)
- 頭部産褥ト頭血腫トノ區別 七二九(昭八、一)
- 初生兒ノ分娩外傷ニ就テ簡單ニ記セヨ 七二九(昭八、一)
- 初生兒膿漏眼ニ就テ記セ 七二六(昭九、一)
- 初生兒「メレナ」ニ就テ記セ 七二六(昭十、一)
- 初生兒丹毒ノ原因經過ニ就テ記セ 七二六・七二七(昭十一、一)
- 乳兒脚氣ノ症狀ト其ノ處置ヲ記セ 七二〇・七二一(昭十一、一)
- 新産兒皮膚硬變症ニ就テ知ル所ヲ記セ 七二七(昭十一、一)
- 臍部ヨリ感染スル新産兒疾患ニ就テ記セヨ 六二四(昭十一、一)

- 内診ヲ要スベキ實際ノ場合三例ヲ舉ゲ其ノ際注意スベキ事項ヲ記セ (三)四〇・三二四(昭十、二)
- 頭位分娩ノ際骨盤内ニ於ケル兒頭ノ高サノ決定ハ如何ナル點ニ目標ヲ置キテナサルベキヤ其ノ各ノ場合ニ就キテ之ヲ記セ (三)三〇(昭十、一)

分娩取扱法

- 會陰保護ノ目的 (三)四〇(昭三、一)
- 分娩時ニ於ケル準備ニ就テ (三)三三(昭四、一)
- 分娩ノ準備ニ就テ (三)三二(昭五、一)
- 分娩第三期ノ取扱法如何 (三)三六(昭六、一)
- 分娩直後ニ於ケル子宮内洗滌ヲ行フ場合ヲ列記シ其ノ實施上ノ注意 (三)三九(昭十二、二)
- 産婆ノ携帶スベキ機械及ビ藥品ヲ記セ (三)四〇(昭十一、一)
- 臍帶切斷ニ當リ第二結紮ハ必要ナリヤ其ノ理由ヲ問フ (三)四一(昭十一、二)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 産褥ノ乳房子宮及惡露ノ検査法ヲ記セ (四)一五六・(四)一四〇(昭二、一)
- 正規産褥ニ於ケル産褥ノ身體及子宮ノ臨床的並ニ解剖的變化ヲ記セ (四)一五二・(四)一四一(昭二、二)
- 惡露ノ性状及經過ヲ記セ (四)一四〇(昭二、一)

- 惡露ニ就キ記セ (四)一七〇(昭三、一)
- 産褥ノ乳汁分泌作用ヲ記セ (四)一七〇(昭四、一)
- 正規産褥ニ於ケル生殖器ノ變化 (四)一七〇(昭四、一)
- 惡露ニ就テ (四)一七〇(昭六、一)
- 分娩産褥ヲ通ジ子宮底ノ昇降状態如何 (四)一七〇・(四)一七三(昭六、一)
- 正規産褥ニ於ケル生殖器ノ變化ニ就テ (四)一七〇(昭六、一)
- 惡露ニ就テ (四)一七〇(昭六、一)
- 授乳ト月經並ニ排卵トノ關係 (四)一七〇(昭六、一)
- 生後初生兒體重ノ減量ハ如何ニシテ起ルヤ其ノ生理的限度ハ如何 (四)一七〇(昭七、一)
- 胎糞トハ如何之ガ消化不良便トノ差異ヲ述ベ (四)一七〇(昭七、一)
- 臍帶ノ構造ト其ノ離脱ノ理由 (四)一七〇(昭九、一)
- 生後約二週間ノ初生兒ニ起ル生理的現象ヲ述ベ (四)一七〇(昭十一、二)

- 産褥ノ看護上注意スベキ事項ヲ舉ゲ (四)一七〇(昭四、一)
- 産褥時ニ於ケル外陰部ノ處置 (四)一七〇(昭五、一)
- 産褥ノ攝生法ヲ述ベ (四)一七〇(昭七、一)
- 産褥時ニ於ケル排尿異常ニ就テ (四)一七〇(昭七、一)
- 産褥ノ攝生ニ就テ (四)一七〇(昭八、一)
- 尿閉ニ就テ記セ (四)一七〇(昭八、一)
- 産褥生殖器ノ處置ヲ述ベ (四)一七〇(昭九、一)

産褥經過ノ良否ヲ判定スルニ必要ナル條項ヲ舉ゲ其ノ各項ニ就テ説明セヨ

- 産褥ノ尿閉ニ就テ述ベヨ (四)一三四(昭十、一)
- 産褥經過良否判定ノ目標トナルベキ事項ヲ列記シ簡單ニ説明ヲ付セ (四)一三四(昭十、一)
- 産褥時ニ於ケル排尿異常ニ就テ (四)一三三(昭十、一)
- 産褥早期離床ノ利害ヲ論ゼヨ (四)一三二(昭十、一)
- 早期離床ト早期安静トノ利害ヲ論ジ最モ適當ナル産褥ノ離床方針ヲ述ベヨ (四)一三二(昭十、一)

- 初生兒ノ人工栄養法ヲ記セ (四)一三〇(昭二、一)
- 初生兒ノ理想的栄養法ヲ記セヨ (四)一三〇(昭三、一)
- 初生兒哺乳ノ注意ニ就テ (四)一三〇(昭四、一)
- 乳汁分泌ニ影響ヲ來ス主ナル事項ヲ記セ (四)一三〇(昭五、一)
- 母乳栄養ニ對スル注意ヲ記セ (四)一三〇(昭六、一)
- 乳母選定上注意スベキ事項ヲ記セ (四)一三〇(昭七、一)
- 初生兒ノ沐浴時ニ於ケル注意事項ヲ記セ (四)一三〇(昭八、一)
- 授乳ヲ禁ズベキ場合ハ如何 (四)一三〇(昭八、一)
- 混合栄養法ニ就テ (四)一三〇(昭九、一)
- 初生兒ノ哺乳シ得ザル場合ヲ列舉シ産婆トシテノ處置ヲ問フ (四)一三〇(昭九、一)
- 哺乳ノ開始及回数ト量ニ就テ (四)一三〇・(四)一三一(昭九、一)
- 廢乳ト離乳トノ區別並ニ離乳ノ方法及其ノ目 (四)一三〇(昭九、一)

的

- 初生兒ノ栄養上母乳ノ最モ優レル所以並ニ一般授乳上ノ注意ヲ述ベヨ (四)一三三・(四)一三二(昭十、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 葡萄狀胎兒ニ就キ記セ (五)一六〇(昭四、一)
- 前置胎盤ノ徴候及處置 (五)一六〇・(五)一六三(昭二、一)
- 胎盤早期離離ニ就テ記セ (五)一六〇(昭四、一)
- 常位胎盤ノ早期離離ヲ起スベキ原因ヲ記セ (五)一六〇(昭九、一)
- 妊卵着床部位ノ異常ヲ説明シ其ノ主ナル種類ヲ列舉セヨ (五)一六〇・(五)一六三・(五)一六六(昭十、一)

胎兒異常

- 羊水過多症ノ妊娠分娩及産褥ニ及ボス影響 (五)一六三(昭九、一)
- 妊娠中死亡胎兒ノ運命ヲ問フ (五)一六三(昭十、一)
- 妊娠中絶ノ原因ニ就テ (五)一六三(昭十一、一)
- 子宮外妊娠ノ原因並ニ種類 (五)一六三・(五)一六六(昭二、一)

母體性器異常

- 妊娠ト梅毒トノ關係ニ就テ記セ (五)一六三(昭十一、一)
- 妊娠時ニ於ケル生殖器出血ノ原因ヲ記セ (五)一六三(昭五、一)

- ◎妊娠中子宮出血ノ原因ニ就テ 五〇八(昭六、一)
 - ◎妊娠中如何ナル場合ニ出血ヲ來スヤ 五〇八(昭八、一)
 - ◎妊娠中ニ起ル生殖器出血ノ原因 五〇八(昭十、一)
 - ◎妊娠中ニ起ル生殖器出血ノ原因ヲ列記セヨ 五〇八(昭十、一)
- 母體全身異常
- ◎子癇ノ症候及應急處置ヲ問フ 五〇三・五〇六(昭二、一)
 - ◎妊娠腎ノ症候及ビ之ガ妊娠分娩ニ及ボス障礙ニ就テ記セ 五〇三・五〇四(昭七、一)
 - ◎子癇ノ徵候ヲ記セ 五〇三(昭七、一)
 - ◎惡阻ノ症候ヲ記セ 五〇三(昭八、一)
 - ◎如何ナル妊婦ニ子癇ハ起リ易キカ 五〇三(昭十、一)
 - ◎腎孟炎ニ就テ記セ 五〇三(昭八、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- ◎早期破水ノ障害 六〇七(昭二、一)
- ◎早期破水ニヨル分娩ノ障礙及其ノ處置 六〇七・六〇八(昭七、一)
- ◎早期破水ノ場合ニ如何ナル處置ヲ施スヤ 六〇九(昭十、一)
- ◎最終月經ヨリ計算シ妊娠第十ヶ月末ニ達セル初妊婦ニ於テ胎兒先遣部ノ骨盤内ニ嵌入セザル場合ニ如何ナル事ヲ考フルヤ及其時ノ處置ヲ問フ 六〇五・六〇六(昭十、一)

- ◎人工破膜ヲ行フベキ場合ヲ列舉シ理由ヲ述ベヨ 六〇九・六一〇(昭十、一)
 - ◎人工破水ヲ行フベキ場合及其理由 六〇九・六一〇(昭十、一)
 - ◎破水ノ有無ニ依リ分娩取扱ヲ急ニシ或ハ緩ニスル理由 六一三(昭十、一)
 - ◎臍帶ニ因ツテ起ル分娩異常及其處置 六一四(昭五、一)
 - ◎臍帶異常ニ就テ 六一四(昭五、一)
- 胎兒異常
- ◎屢々遭遇スル畸形兒ノ種類及畸形兒分娩ニ於ケル産婆ノ心得 六一六(昭九、一)
 - ◎遲延性横位トハ如何及之ガ母兒ニ及ボス危險性ニ就テ 六一六・六一七(昭九、一)
 - ◎各種胎位ニ於ケル分娩ノ難易ニ就テ述ベ且其ノ理由ニ就テ 六一七(昭十、一)
 - ◎外過轉ヲ要スル場合要約及禁忌ニ就テ 六一八(昭十、一)
 - ◎分娩時最初恥骨弓下ニ現ハルベキ身體部分ヲ各種胎位ニ就テ記セ 六一七(昭十、一)
 - ◎及胎ノ分娩ノ際ニ於ケル處置 六一八(昭三、一)
 - ◎初生兒假死ノ處置 六一八(昭四、一)
 - ◎初生兒假死ノ徵候ヲ記セ 六一九(昭八、一)

◎分娩中ニ於ケル胎兒危險ノ徵候ヲ列記セヨ

六〇六(昭十、一)

母體異常

- ◎微弱陣痛ノ原因ニ就テ 六〇五(昭六、一)
- ◎娩出力トハ如何、其ノ微弱ナル時ノ危險並ニ此ノ處置 三〇五・六〇八・六〇九(昭六、一)
- ◎原發性微弱陣痛ノ原因ニ就テ 六〇六(昭八、一)
- ◎陣痛微弱ノ母兒兩者ニ及ボス影響ヲ分娩各期ニ就テ記セ 六〇二(昭十、一)
- ◎娩出期陣痛微弱ニ對スル處置並ニ經過觀察上特ニ注意スベキ點ヲ問フ 六〇九(昭十、一)
- ◎狭窄骨盤ノ分娩時ニ於ケル處置 六一三(昭三、一)
- ◎狭窄骨盤ノ分娩障礙並ニ之レガ母體及胎兒ニ對スル危險ニ就テ 六一三・六一四(昭七、一)
- ◎狭窄骨盤ノ分娩ニ及ボス影響 六一三(昭九、一)
- ◎狭窄骨盤ニヨリテ起ル分娩中ノ障礙ヲ述ベヨ 六一三(昭十、一)
- ◎骨盤狭窄ニ於ケル頭位分娩ノ經過ヲ左右ス可キ要件 六一三(昭十、一)
- ◎軟部産道ノ異常ハ分娩ニ如何ナル障礙ヲ與フベキヤ且ツ其ノ分娩ノ豫後ヲ問フ 六一三(昭十、一)
- ◎分娩直後異常出血ノ原因及處置 六一三・六一四(昭二、一)
- ◎弛緩性出血ノ原因處置 六一三・六一四(昭三、一)
- ◎子宮破裂ノ前驅症狀及其ノ處置 六一三・六一四(昭四、一)

◎子宮破裂ノ原因ヲ列舉セヨ

六一二(昭八、一)

◎弛緩性出血ヲ説明シ子宮頸管破裂トノ差異ヲ述ベヨ

六一三(昭十、一)

◎子宮破裂ノ前兆ニ就テ知レル所ヲ記セ

六一三(昭十、一)

◎弛緩性子宮出血ノ原因

六一三(昭十、一)

◎弛緩性子宮出血ト鑑別スベキ異常出血ヲ舉ゲ其ノ鑑別ヲ舉ゲヨ

六一三(昭十、一)

◎陰險裂傷ヲ起スベキ原因ヲ列舉シ其ノ豫防法ノ方針ヲ問フ

六一三(昭十、一)

◎分娩後ニ於ケル急性貧血ノ處置

六一三(昭十、一)

◎妊婦及産婦ニ急性貧血ヲ起スベキ場合ヲ舉ゲ

六一三(昭十、一)

第七集 異常産褥・補足知識

褥婦異常

- ◎産褥熱ノ原因及豫防法 七一三・七一四(昭二、一)
- ◎産褥時ニ於ケル異常出血ノ原因及處置 七一三・七一五(昭四、一)
- ◎乳腺炎ニ就テ記セ 七一四(昭四、一)
- ◎産褥性膀胱炎ニ就テ 七一四(昭五、一)
- ◎産褥熱ノ初期徵候ニ就テ 七一四(昭六、一)
- ◎乳汁分泌ノ不足セル時ノ處置 七一四(昭七、一)
- ◎褥婦ニ起ル主ナル病名ヲ記セ 七一三(昭八、一)
- ◎産褥熱ノ原因及主ナル徵候ヲ記セ 七一三・七一四(昭九、一)

- 産褥時出血ヲ來スベキ原因 七〇三(昭九、一)
- 褥婦ノ乳汁分泌ニ影響スル事項ヲ舉ゲヨ 七〇五(昭十、二)
- 産褥熱ノ豫防法ニ就テ 七〇〇(昭十、二)
- 産褥ニ於ケル創傷傳染病ノ種類ヲ問フ 七〇五(昭十、二)

新産兒異常

- 驚口瘡ノ原因、症狀、處置 七〇七(昭二、一)
- 産痛ト頭血腫ノ區別及ビ其ノ處置ニ就テ 七〇〇・七〇一(昭二、一)
- 初生兒消化不良症ニ就テ 七〇八(昭四、一)
- 初生兒丹毒ノ好發部位症狀及其ノ處置 七〇三・七〇三(昭四、二)
- 初生兒ニ淋菌傳染ヲ起シタル時ハ如何ナル疾 七〇三(昭五、一)
- 病ヲ生ズルヤ其ノ豫防方法ハ如何 七〇三(昭五、一)

- 産痛ト頭血腫トノ鑑別點ヲ記セ 七〇九(昭六、一)
- 初生兒臍部ノ疾病ニ就テ 七〇三(昭六、一)
- 初生兒皮膚癢癢症ニ就テ記セ 七〇七(昭七、一)
- 初生兒膿漏眼ニ就テ 七〇六(昭八、一)
- 頭蓋血腫ノ成因及其ノ産痛トノ鑑別ニ就テ記セ 七〇五・七〇九(昭十、一)

- 初生兒膿漏眼ノ徴候並ニ助産婦トシテノ處置及注意事項ヲ記セ 七〇六・七〇九(昭十、一)
- 初生兒疾患ノ主ナルモノヲ列舉セヨ 七〇〇(昭十、一)
- 早産兒ノ看護法 七〇九(昭九、一)
- 早産兒ノ取扱法 七〇八(昭十、二)
- 早産兒及ビ生活微弱ナル乳兒ノ看護法ヲ記セ 七〇五(昭十、一)

〔四二〕 福岡縣

第一集 豫備知識

- 大骨盤ト小骨盤トハ如何ニシテ區別スルカ 一〇三(昭三、一)
- 大小骨盤ノ境界ヲ簡單ニ答ヘヨ 一〇三(昭七、一)
- 骨盤外計測ニ於テ測定スベキ各徑線ノ名稱計測點及其正規的長サヲ問フ 一〇三(昭九、一)

- 月經ノ休止スル場合ヲ舉ゲヨ 一〇二(昭六、一)
- 會陰ニ就キ説明セヨ 一〇八(昭十、一)
- 手指ノ消毒方法ヲ述ボヨ 一〇〇(昭四、一)
- ゴム製器械消毒材料ノ消毒法ヲ詳記セヨ 一〇八・一〇九(昭四、一)
- 分娩ニ臨ミ産婆ガ消毒スベキ位置及其藥品ノ使用法 一〇三(昭八、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 羊水トハ如何其效用 一〇三・一〇六(昭二、一)
- 胎盤ノ構造及其ノ作用ニ就テ記セ 一〇三・一〇三(昭三、一)
- 卵膜ノ構造 一〇三(昭五、一)
- 胎盤ニ於ケル血行狀態並ニ其ノ作用 一〇三・一〇三(昭五、一)
- ホワートン氏(ワルトン氏)膠樣質ヲ説明セヨ 一〇三(昭五、一)
- 分娩時ニ於ケル羊水ノ效用ヲ記セヨ 一〇三(昭六、一)
- 胎盤ノ形成構造及機能ヲ記セ 一〇三・一〇三(昭七、一)
- 胎盤完成ノ時期ヲ簡單ニ答ヘヨ 一〇三(昭七、一)
- 臍帶及胎盤ノ構造並ニ作用ヲ記セ 一〇三・一〇三・一〇三(昭九、一)
- 胎盤ノ構造及機能ヲ問フ 一〇三・一〇三(昭十、一)
- 胎兒ノ體勢、體位、體向ニ就テ記セ 一〇三・一〇三(昭三、一)
- 成熟胎兒ノ徴候 一〇三(昭四、一)
- 胎兒血液循環ニ就テ記セ 一〇三(昭八、一)
- 胎兒ノ位置ニ就テ記セ 一〇三(昭八、一)
- 産合、内門ヲ説明セヨ 一〇三(昭十、一)
- 妊娠ニ依ル母體ノ全身ノ變化ヲ舉ゲヨ 一〇三(昭十、一)
- 乳房ノ位置構造及妊娠時ニ於ケル變化ヲ記セ 一〇三(昭十、一)

妊婦ノ診察

- 妊娠ニ依リテ母體ニ起ル性器以外ノ主ナル變化ヲ問フ 一〇三(昭十、一)
- 骨盤測定ノ方法ヲ問フ 一〇三(昭四、一)
- 妊婦ノ聴診法及聴診ニ依テ得ル處ヲ記セ 一〇三・一〇三(昭五、一)
- 妊娠末期腹部ニ於テ聴取シ得ル音ノ種類各音ノ位置數性質及ビ其ノ診斷的價値ヲ問フ 一〇三・一〇三(昭七、一)
- 骨盤外計測法ニ就キ其ノ方法、其ノ測定スルキ徑線及周圍ノ名稱、測點、正常ノ長サ並ニ其ノ診斷的價値ヲ記セ 一〇三・一〇三(昭十、一)
- 兒心音兒頭縫合及ビ内門ハ分娩時如何ナル診斷的價値ヲ有スルヤ知ル所ヲ記セ 一〇三・一〇三(昭十、一)
- 妊娠ノ確徵ヲ問フ 一〇三(昭二、一)
- 最終月經ヨリスル分娩豫定日ノ算法 一〇三(昭三、一)
- 妊娠ト誤診シ易キ疾病ヲ舉ゲ其ノ區別スベキ要點ヲ記セ 一〇三(昭十、一)
- 診斷的價値ニツキ妊娠徴候ヲ分類セヨ 一〇三(昭十、一)
- ツォンデツク、アシニハイム氏反應ヲ簡單ニ述ベヨ 一〇三(昭十、一)

第三集 正常分娩

○早産兒ヲ簡單ニ説明セヨ (三三三) (昭七、一)

○胎胞、産瘤、兒頭撥露、排臨、破水ニ就キテ説明セヨ 三三九・三三八・三三六・三四四 (昭二、一)

○第一後頭位ノ診断及其ノ分娩機轉ヲ詳記セヨ 三三四・三三〇・三二六 (昭二、一)

○第一後頭位ノ診断及其分娩機轉ヲ詳記セヨ 三三〇・三二六 (昭二、一)

○娩出力(排出力、産出力)トハ何ゾヤ詳細ニ説明セヨ 三二〇・三二六 (昭二、一)

○排臨及撥露 三二六 (昭三、一)

○正常陣痛ヲ説明セヨ 三二六 (昭三、一)

○シユルツエ氏胎盤娩出法ヲ説明セヨ 三二六 (昭五、一)

○胎盤剝離ノ徴候ヲ問フ 三二六 (昭六、一)

○陣痛ノ特有ナル點ヲ記セ 三二六 (昭七、一)

○子宮收縮輪ヲ簡單ニ答ヘヨ 三二六 (昭七、一)

○産瘤ガ左顛頂骨ノ後部ニ生ジタル場合ノ胎位胎向ヲ簡單ニ答ヘヨ 三二六 (昭七、一)

○分娩開始ノ徴候ヲ問フ 三二六 (昭八、一)

○軟部産道ノ構成及其分娩時ニ於ケル擴張ニ就テ記セ 三二六・三二六 (昭八、一)

○正規分娩ヲ遂グルニ必要ナル要件ヲ列舉セヨ 三二六 (昭十、一)

○分娩時各胎位ニ於ケル胎兒先進部ヲ舉ゲヨ 三二六 (昭十一、一)

○分娩ノ開始ノ徴候ヲ問フ 三二六 (昭十二、一)

○分娩ノ胎兒ニ及ボス影響ニツキ記セ 三二六 (昭十二、一)

○分娩ガ愈々數日乃至十數日後ニ迫レル事ハ如何ニシテ知ルベキカ又既ニ分娩開始ノ診斷如何 三二六・三二六 (昭十二、一)

○陣痛ト分娩トノ關係ニツキ知ル所ヲ記セ 三二六・三二六 (昭十二、一)

○兒頭ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六・三二六 (昭十二、一)

○娩出力トハ如何知ル所ヲ詳記セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

○胎胞ノ應形機能ヲ説明セヨ 三二六 (昭十二、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

○正規悪露ノ性状及其經過ヲ問フ 四〇四 (昭二、一)

○正規悪露ニ就テ記セ 四〇四 (昭三、一)

○正規産褥ニ於ケル生殖器ノ變化ヲ問フ 四〇四 (昭三、一)

○産褥子宮復舊ノ經過ヲ記セ 四〇四 (昭四、一)

○正規産褥ニ於ケル子宮底下降ノ經過ヲ問フ 四〇四 (昭九、一)

○正規産褥ニ於ケル悪露ノ經過及性状ヲ記セ 四〇四 (昭九、一)

○分娩第二期ニ於ケル産婆ノ處置 四〇四 (昭九、一)

○クレーデ氏點眼法ヲ施スベキ目的的方法並ニ此ノ際起リ得ベキ有害作用ト其ノ豫防法トヲ記セ 四〇四・四〇四・四〇四 (昭九、一)

○胎盤ハ完全ニ排出セラレタルヤ否ヤヲ検査スル方法ヲ記セ 四〇四 (昭十、一)

○分娩直後新産兒ニ對シテ産婆ハ如何ナル處置ヲナスベキヤ 四〇四 (昭十、一)

○クレーデ氏點眼法ノ目的ニ就キ説明セヨ 四〇四 (昭十、一)

○分娩直後ノ母體ニ對スル處置ヲ述ベヨ 四〇四 (昭十、一)

○産褥ニ腹壓ヲ命ジ又ハ禁ズル時期並ニ其ノ理由ヲ記セ 四〇四 (昭十、一)

○會陰保護法ニ就キ知ル所ヲ記セ 四〇四 (昭十、一)

○惡露ヲ説明セヨ 四〇四 (昭十、一)

○初乳及ビ成乳ヲ説明セヨ 四〇四 (昭十、一)

○褥汗ト盜汗ヲ説明セヨ 四〇四 (昭十、一)

○惡露ニ就キ説明セヨ 四〇四 (昭十、一)

○初乳ヲ説明セヨ 四〇四 (昭十、一)

○新産兒黃疸ニ就キ説明セヨ 四〇四 (昭十、一)

○褥汗ト盜汗トノ時期ニ就テ知ル所ヲ記セ 四〇四 (昭十、一)

○正規産褥ノ取扱法 四〇四 (昭十、一)

○産褥時排尿障碍ノ原因並ニ其ノ處置 四〇四 (昭十、一)

○正常産褥ノ看護上注意スベキ主要點ヲ列舉シ且ツ産褥經過ノ良否ハ何ニヨリテ判斷スルヤヲ記セ 四〇四・四〇四 (昭十、一)

○乳母トシテハ如何ナル婦人ヲ適當ナリトスルヤ 四〇四 (昭十、一)

○初生兒ノ人工栄養法ニ就テ述ベヨ 四〇四 (昭十、一)

○離乳ノ時期及其ノ注意ヲ記セ 四〇四・四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

○胎兒附屬物異常 四〇四 (昭十、一)

- ◎ 正常位置ノ胎盤早期剝離ノ原因並ニ徵候ヲ問フ 五〇三・五〇五 (昭二、一)
- ◎ 正常位置ニ於ケル胎盤早期剝離ノ原因症狀及處置ヲ問フ 五〇三・五〇五・五〇六 (昭四、一)
- ◎ 正常位ニアル胎盤ノ早期剝離ノ原因及徵候ヲ問フ 五〇三・五〇五 (昭九、一)
- ◎ 正常位ニ於ケル胎盤ノ早期剝離ト前置胎盤トノ鑑別點ヲ述ベヨ 五〇四 (昭十一、一)

- ◎ 羊水過多症ニ就テ知ル處ヲ記セ 五〇六 (昭二、一)
- ◎ 羊水過多症ノ症候並ニ胎兒ニ及ボス影響 五〇三・五〇八 (昭三、一)
- ◎ 羊水過多症ノ診斷並ニ之ト鑑別ヲ要スベキ疾患ヲ記セ 五〇三・五〇四 (昭七、一)

胎兒異常

- ◎ 妊娠中胎兒死亡ノ原因症狀並ニ其處置ヲ問フ 五〇七・五〇八・五〇九 (昭三、一)
- ◎ 妊娠中胎兒死亡ノ症狀診斷及死亡胎兒ノ運命ヲ述ベヨ 二〇三・五〇九 (昭七、一)
- ◎ 妊娠中胎兒死亡ノ原因症狀及診斷ヲ述ベヨ 五〇七・五〇八 (昭四、一)
- ◎ 流産及早産ノ種類並ニ其症狀 五〇四・五〇八・五〇九 (昭八、一)
- ◎ 完全及不完全流産ノ特徴 五〇二 (昭十、一)

- ◎ 子宮外妊娠ノ徵候ヲ記セ 五〇四 (昭五、一)

母體性器異常

- ◎ 妊娠子宮後屈症ニ就テ記セ 五〇七 (昭六、一)
- ◎ 後屈妊娠子宮嵌頓症ニ就テ記セ 五〇七 (昭七、一)
- ◎ 後屈妊娠子宮嵌頓症ノ經過ヲ記セ 五〇七 (昭七、一)
- ◎ 妊娠中生殖器出血ヲ來ス原因 五〇八 (昭五、一)

母體全身異常

- ◎ 子癇ノ症狀及處置 五〇三・五〇五 (昭二、一)
- ◎ 惡阻ノ症狀及其ノ處置ハ如何 五〇三・五〇九 (昭三、一)
- ◎ 妊娠腎臟炎ニ就テ知ル處ヲ記セ 五〇三 (昭四、一)
- ◎ 子癇ニ就テ記セ 五〇三 (昭五、一)
- ◎ 妊婦ノ浮腫ニ就テ記セ 五〇三 (昭五、一)
- ◎ 妊娠腎ノ診斷及處置 五〇三・五〇五 (昭五、一)
- ◎ 妊婦ノ浮腫ヲ來ス場合ヲ列記シ之ニ對スル處置ヲ問フ 五〇三・五〇六 (昭七、一)
- ◎ 妊婦ガ浮腫ヲ起ス場合ヲ列記セヨ 五〇三 (昭八、一)
- ◎ 子癇ノ症狀及處置 五〇三・五〇五 (昭十、一)
- ◎ 惡阻ヲ説明セヨ 五〇三 (昭十、一)
- ◎ 妊娠中毒症トハ如何其ノ主ナル症狀ヲ記セ 五〇三・五〇四 (昭十一、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- ◎ 幸帽兒 六〇三 (昭三、一)
- ◎ 卵膜癒着ノ分娩ニ及ボス影響及其ノ處置如何 六〇三 (昭三、一)
- ◎ 胎兒異常
- 内診上口ト肛門ハ如何ニシテ之ヲ鑑別スルヤ 六〇三 (昭七、一)
- 内診上臀部ト頭部ハ如何ニシテ之ヲ鑑別スルヤ 六〇三 (昭七、一)
- 内診上手ト足及右左ノ區別ハ如何ニシテ之ヲ鑑別スルヤ 六〇三 (昭七、一)
- 各種胎位ニ於ケル分娩ノ難易ニ就テ述ベヨ 六〇三 (昭八、一)
- 横位ノ分娩經過ニ就テ記セ 六〇三 (昭九、一)
- 骨盤端位ノ分娩經過ニツキ略述セヨ 六〇三 (昭十、一)
- 頭位分娩ノ屈位及反屈位ヲ説明シ各其ノ分娩ノ難易並ニ後ヲ論ゼヨ 六〇三 (昭十一、一)
- 横位分娩ニ對スル産婆ノ處置ヲ記セ 六〇三 (昭十四、一)

- 初生兒假死ノ原因症狀及處置 六〇三・六〇九・六〇九 (昭五、一)
- シュルツニ氏方式ヲ應用スベキ場合ヲ列舉シ其ノ方法ヲ述ベヨ 六〇三・六〇五 (昭九、一)
- 新産兒假死ノ原因症狀並ニ其ノ處置法ヲ記セ 六〇三 (昭九、一)

母體異常

- ◎ 陣痛微弱ノ原因及處置 六〇三・六〇四 (昭二、一)
- ◎ 微弱陣痛ノ分娩各期ニ及ボス影響ヲ問フ 六〇三 (昭七、一)
- ◎ 妊娠及分娩經過中狹窄骨盤ニ疑ハシキ徵候ヲ舉ゲヨ 六〇三 (昭七、一)
- ◎ 狹小骨盤ノ分娩經過ヲ問フ 六〇三 (昭七、一)
- ◎ 妊娠中又ハ分娩中ニ狹窄骨盤ヲ疑フベキ徵候ヲ述ベヨ 六〇三 (昭十、一)
- ◎ 骨部産道ノ異常ナル場合ヲ舉ゲ且ツ其ノ分娩ニ及ボス影響ヲ略述セヨ 六〇三・六〇四・六〇五 (昭十三、一)
- ◎ 分娩經過中ノ異常出血ニ就テ記セ 六〇三 (昭十一、一)
- ◎ 弛緩性出血ト裂傷性出血トノ鑑別 六〇三 (昭六、一)
- ◎ 子宮破裂ノ切迫徵候ヲ問フ 六〇三 (昭九、一)
- ◎ 妊娠及分娩經過中ニ於ケル生殖器異常出血ノ原因ヲ列舉セヨ 五〇八・六〇四 (昭九、一)
- ◎ 後産期出血ノ原因ヲ列舉セヨ 六〇三 (昭七、一)
- ◎ 會陰破裂ノ原因 六〇三 (昭八、一)
- ◎ 胎盤ノ自然的娩出不能ノ原因及其ノ處置 六〇三・六〇四 (昭十、一)
- ◎ 分娩第三期ニ於ケル裂傷性出血ト弛緩性出血 六〇三 (昭十、一)

トノ鑑別ヲ記セ
○子宮頸管破裂ト弛緩性出血トノ鑑別ヲ述ベ之
ニ對スル産薬トシテノ處置ヲ記セ

六四六(昭十二、D)
六四六ノ二・六四五・六四四(昭十四、D)

第七集 異常産褥・補足知識

褥 婦 異 常

- 産褥期ニ於ケル異常出血ニ就テ記セ 七〇二(昭十二、D)
- 産褥時ニ於ケル異常出血ノ原因ヲ略記セヨ 七〇三(昭十四、D)
- 乳腺炎ノ原因症状及豫防法 七〇二・七〇三・七〇三(昭十四、D)
- 産科領域ニ於ケル創傷傳染病トハ如何ナルモ
ノカ及其ノ豫防法 七〇三・七〇三(昭十六、D)
- 乳腺炎ノ原因症状及處置 七〇九(昭九、D)
- 膿毒症敗血症ヲ説明セヨ 七〇八(昭十、D)
- 惡露蓄積症ノ症状並ニ處置ニツキ記述セヨ 七〇三・七〇三(昭十一、D)
- 産褥熱ノ原因及ソノ豫防法ヲ記セ 七〇三・七〇三(昭十一、D)
- 惡露滯溜(蓄積症)ニ就キ説明ヲ加ヘヨ 七〇九(昭十一、D)
- 産褥熱ヲ簡單ニ説明セヨ 七〇九(昭十一、D)
- 産褥時ニ於テ出血ヲ來ス原因ヲ記セ 七〇三(昭十一、D)

○惡露蓄積症ノ原因症状並ニ其ノ處置ヲ記セ 七〇九(昭十一、D)
○褥婦ノ乳汁分泌量及其ノ性質ニ影響ヲ及ボス
主ナル事項ヲ記セ 七〇九(昭十一、D)

新産兒異常

- 初生兒「メレナ」(黒吐病)ニ就テ記セ 七〇九(昭十二、D)
- 驚口瘡ノ原因症状及豫防處置ヲ問フ 七〇九(昭十二、D)
- 初生兒ニ發シ易キ傳染病ノ名稱及其ノ豫防法
ハ如何 七〇三(昭十三、D)
- 先天性梅毒兒ノ特徴ヲ問フ 七〇九・七〇九(昭八、D)
- 頭痛(産褥)ト頭血腫トノ鑑別診斷及ビ其ノ各
ノ處置法ヲ問フ 七〇九・七〇九(昭八、D)
- 脚氣ノ妊娠分娩及産褥ニ及ボス影響ヲ記セ 七〇三(昭十一、D)
- 新産兒メレナニ就キ説明ヲ加ヘヨ 七〇九(昭十一、D)
- 新産兒膿漏眼ヲ簡單ニ説明セヨ 七〇九(昭十一、D)
- 虛弱初生兒ノ哺育法 七〇三(昭十五、D)
- 早産兒ノ看護法ヲ述ベヨ 七〇九(昭十七、D)

看護法及介助法

- 褥婦ノ清潔及更衣ニ就テ述ベヨ 七〇九(昭十、D)
- 産褥時ニ於テ消毒ノ必要ナル理由及ビ外陰部
ノ消毒法ヲ記セ 七〇三・七〇三(昭十一、D)

〔四三〕 佐 賀 縣

第一集 豫備知識

- 薦骨ノ位置形状各部ノ名稱並ニ聯接ヲ記セ 一二三(昭三、D)
- 正常ナル骨盤トハ如何 一二六(昭十、D)
- 氣管及氣管支ノ構造ヲ記セ 一二七(昭二、D)
- 呼吸器管ノ名稱並ニ位置ヲ記セ 一二九(昭三、D)
- 澱粉質ヲ含有スル主ナル食品ノ名稱ヲ記シ且
ツ之ガ消化ニ就テ詳記セヨ 一二九(昭三、D)
- 空氣中ニ於テ呼吸スル際其ノ呼吸ニ白霧ヲ生
ズル理由ヲ記セ 一二七(昭三、D)
- 腔ノ位置、形状、構造及區別名稱ヲ詳記セヨ 一二八(昭四、D)
- 尿ノ性状及成分ヲ記セ 一二四(昭四、D)
- 胃ノ位置形状構造ヲ記セ 一二九(昭六、D)
- 内呼吸トハ何ゾ 一二六(昭六、D)
- 皮膚ト體溫調節トノ關係如何 一二五(昭八、D)
- 血管ノ種類並ニ其ノ構造ヲ記セ 一二三(昭八、D)
- 脊椎骨ニ就テ記セ 一二五(昭八、D)
- 赤血球ノ生理的機能ヲ記セ 一二六(昭八、D)
- 眼球ノ構造ヲ述ベヨ 一二五(昭九、D)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 身體中ニ於ケル炭酸ハ如何ニシテ發生スルヤ 一二〇(昭九、D)
- 産褥時ニ於テ消毒ノ必要ナル理由及ビ外陰部
ノ消毒法ヲ記セ 一二三・一二三(昭十一、D)
- 卵膜トハ何ゾヤ 一二八(昭三、D)
- 卵膜ノ發生並ニ其ノ構造ヲ記セ 一二〇・一二一(昭八、D)
- 胎兒血行ト成人血行トノ區別ヲ詳記セヨ 一二三(昭二、D)
- 胎兒ノ血液循環ノ成人ト異ナル點ヲ示セ 一二三(昭二、D)
- 胎兒肉門ノ生ズル理由並ニ頭部ノ縫合ニ就テ
記セヨ 一二五・一二七(昭八、D)
- 胎位トハ何ゾ其ノ種類ヲ舉ゲテ説明セヨ 一二三(昭十、D)
- 胎位及胎向ノ聽診ヲ問フ 一二三(昭十一、D)
- 妊娠時ニ於ケル子宮腔部ノ變化ヲ記セ 一二六(昭三、D)
- 妊娠ニ依テ起ル子宮腔部ノ變化ヲ記セ 一二六(昭六、D)
- 内診法ト内診ヲ行フ場合ノ注意 一二三・一二三(昭四、D)
- 内診ノ目的並ニ實施法ヲ記セ 一二三・一二三(昭十、D)
- 兒心音ニ依ル胎位ノ判定如何 一二三(昭十、D)
- 臍帶雜音ニ就テ 一二三(昭十一、D)

- 子宮雜音ニツイテ記セ
- 子宮雜音ニツイテ記セ
- 胎兒心音ニ就テ記セ

- (一〇) (昭三、一)
- (一一) (昭三、一)
- (一二) (昭三、一)

○胎兒ノ生死ノ診斷ヲ問フ

- (一三) (昭三、一)

妊婦攝生法

○妊婦ノ食餌ニツイテ記セ

- (一四) (昭三、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 娩出力ニ就テ
- 分娩時ニ於テ腹壓ヲ増強又ハ減弱セシムル場合及其ノ方法如何
- 分娩ノ母體ニ及ボス影響如何
- 分娩ノ種類
- 分娩ノ胎兒ニ及ボス影響如何
- 分娩ノ母體ニ及ボス影響如何
- 分娩ノ胎兒ニ及ボス影響如何
- 腹壓ヲ説明セヨ
- 腹壓ト分娩トノ關係ニ就テ記セ
- 腹壓ト分娩トノ關係ニ就テ記セ
- 收縮輪ヲ簡單ニ説明セヨ
- 胎胞破裂ニ就テ知ル所ヲ記セ

- (一五) (昭三、一)
- (一六) (昭三、一)
- (一七) (昭三、一)
- (一八) (昭三、一)
- (一九) (昭三、一)
- (二〇) (昭三、一)
- (二一) (昭三、一)
- (二二) (昭三、一)
- (二三) (昭三、一)
- (二四) (昭三、一)
- (二五) (昭三、一)
- (二六) (昭三、一)

分娩時診察

- 陣痛ノ種類及分娩陣痛ニ就テ説明セヨ
- 内診ニ伴フ危険ヲ記シ併テ内診時ノ注意ヲ詳記セヨ
- 第二後頭位ノ診斷ヲ問フ
- 分娩開口期ノ取扱法ヲ述ベヨ
- 臍帶斷端ノ處置ヲ問フ

- (二七) (昭三、一)
- (二八) (昭三、一)
- (二九) (昭三、一)
- (三〇) (昭三、一)
- (三一) (昭三、一)

第四集 正常產褥

產褥ノ状態

- 正規產褥ニ於ケル惡露ノ經過
- 產褥ニ於ケル子宮ノ復舊作用ヲ記セ
- 子宮復舊作用
- 惡露ニ就テ説明セヨ
- 產褥時ニ於ケル排尿困難ノ原因並ニ處置ヲ記セ
- 褥婦ノ排便排尿ニ對スル注意如何
- 早期離床ニ就テ述ベヨ
- 產褥婦ノ離床ニ對スル注意如何

- (三二) (昭三、一)
- (三三) (昭三、一)
- (三四) (昭三、一)
- (三五) (昭三、一)
- (三六) (昭三、一)
- (三七) (昭三、一)
- (三八) (昭三、一)
- (三九) (昭三、一)
- (四〇) (昭三、一)
- (四一) (昭三、一)
- (四二) (昭三、一)
- (四三) (昭三、一)
- (四四) (昭三、一)
- (四五) (昭三、一)
- (四六) (昭三、一)
- (四七) (昭三、一)
- (四八) (昭三、一)
- (四九) (昭三、一)
- (五〇) (昭三、一)

產褥取扱法

- 子宮嵌頓症ヲ簡單ニ解説セヨ
- 妊娠子宮前屈ノ原因並ニ其分娩經過ヲ記セ
- 妊娠子宮脱出ノ原因症狀及處置如何
- 妊娠ト微毒トノ相互關係並ニ先天微毒兒ノ特徴ヲ述ベヨ

○產褥時ニ於テ消毒ノ必要ナル理由及ビ外陰部ノ消毒法ヲ記セ

- (五一) (昭三、一)

○早期離床ニ就キ述ベヨ

- (五二) (昭三、一)

○正規褥婦ノ兩便ノ通利及泌乳機能ノ保護ニ就テ記セ

- (五三) (昭三、一)

○褥婦清潔ノ必要ナル理由ヲ述ベ且ツ外陰ノ清潔方法ヲ記セ

- (五四) (昭三、一)

○臍帶ノ切斷端及其ノ脫落面ノ注意如何

- (五五) (昭三、一)

○新産兒ノ養養法ヲ問フ

- (五六) (昭三、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

○正常並ニ異常位置ニ在ル胎盤ノ早期剝離ノ出血状態如何

- (五七) (昭三、一)

胎兒異常

- 羊水過多症及胎葡萄狀胎ノ鑑別診斷ヲ記セ
- 流産ノ原因及處置
- 子宮外妊娠ノ診斷如何
- 子宮外妊娠ノ原因妊娠經過ヲ記セ
- 子宮外妊娠ノ部位ヲ簡單ニ説明セヨ

- (五八) (昭三、一)
- (五九) (昭三、一)
- (六〇) (昭三、一)
- (六一) (昭三、一)
- (六二) (昭三、一)
- (六三) (昭三、一)
- (六四) (昭三、一)
- (六五) (昭三、一)
- (六六) (昭三、一)
- (六七) (昭三、一)
- (六八) (昭三、一)
- (六九) (昭三、一)
- (七〇) (昭三、一)
- (七一) (昭三、一)
- (七二) (昭三、一)
- (七三) (昭三、一)
- (七四) (昭三、一)
- (七五) (昭三、一)
- (七六) (昭三、一)
- (七七) (昭三、一)
- (七八) (昭三、一)
- (七九) (昭三、一)
- (八〇) (昭三、一)
- (八一) (昭三、一)
- (八二) (昭三、一)
- (八三) (昭三、一)
- (八四) (昭三、一)
- (八五) (昭三、一)
- (八六) (昭三、一)
- (八七) (昭三、一)
- (八八) (昭三、一)
- (八九) (昭三、一)
- (九〇) (昭三、一)
- (九一) (昭三、一)
- (九二) (昭三、一)
- (九三) (昭三、一)
- (九四) (昭三、一)
- (九五) (昭三、一)
- (九六) (昭三、一)
- (九七) (昭三、一)
- (九八) (昭三、一)
- (九九) (昭三、一)
- (一〇〇) (昭三、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 胎胞(卵胞)保存法如何
- 胎胞(卵胞)保存法如何
- 腦水腫ノ診斷並ニ分娩經過如何
- 外廻轉術ノ要約ヲ記セ
- 内廻轉術ヲ簡單ニ説明セヨ

- 及胎妊娠ノ種類並ニ其ノ診斷ヲ問フ 六三〇(昭六、二)
- 双胎ノ種類及ビ其ノ鑑別法ヲ記セ 六三〇(昭六、二)
- 月經閉止後五ヶ月ノ妊婦子宮底ハ臍上二横指上ニ在リ子宮稍々球狀ヲ呈シ波動性ナク子宮雜音ヲ聴取スルモ兒心音明カナラズ自覺的ニハ胎動ヲ感ゼズ出血ヲ見ズ如何ナル異常ト考フベキヤ 六二七(昭五、一)

母體異常

- 續發性微弱陣痛ノ原因診斷並ニ母體ニ及ボス影響如何 六三〇・六三〇(昭八、一)
- 過廣骨盤ノ種類診斷處置如何 六三三・六三三(昭三、二)
- 廣骨盤ノ異常分娩經過ニ就テ記セ 六三三(昭三、二)
- 分娩中ノ異常出血 六四〇(昭二、一)
- 子宮内膿症ノ原因及症狀ヲ記セ 六四七・六四八(昭二、一)
- 分娩第三期ニ於ケル弛緩性子宮出血ノ原因診斷並ニ處置如何 六四三・六四三(昭三、一)
- 子宮破裂ノ前驅症狀並ニ其ノ處置如何 六四六・六四六(昭三、一)
- 頸管破裂ノ原因診斷並處置如何 六四〇・六四三・六四五(昭四、一)
- 分娩直後ノ異常出血ノ起ル場合ヲ問フ 六四三(昭四、一)
- 分娩時ニ於ケル急性貧血ノ症狀並ニ其ノ處置ヲ問フ 六四七・六四八(昭二、一)

- 分娩時ニ於ケル母體死亡ノ原因如何 六四八(昭八、一)

第七集 異常產褥・補足知識

褥婦異常

- 乳腺炎ノ原因症狀並ニ處置ヲ記セ 七〇四(昭三、一)
- 產褥時ニ於ケル子宮出血ノ原因徵候並處置如何 七〇二(昭六、三)
- 產褥時ニ於ケル膀胱炎ノ原因診斷並其ノ處置ヲ記セ 七二八(昭八、一)
- 產褥性白腹腫ノ原因症狀及處置ヲ記セ 七〇四(昭八、三)
- 產褥時ニ於ケル異常出血ノ原因並ニ其ノ處置ヲ記セ 七〇三・七〇五(昭九、一)
- 產褥子宮ノ復舊不全症ノ原因症狀及處置如何 七〇五・七〇六・七〇七(昭十、一)
- 產褥子宮復舊不全ノ原因及其ノ處置ヲ記セ 七〇五・七〇七(昭十、一)

新産兒異常

- 乳兒脚氣ノ原因症狀及豫後ヲ記セ 七二七(昭二、一)
- 初生兒皮膚漏ノ症狀及處置如何 七三〇(昭三、一)
- 先天性梅毒兒ノ徵候診斷並ニ處置如何 七二五・七二六・七二七(昭四、一)
- 乳兒鉛中毒ノ原因症狀並處置如何 七二五(昭六、三)
- 臍ヘルニアノ徵候及之レガ處置如何 七三〇(昭八、一)
- 初生兒消化不良症ノ原因症狀及ビ處置ヲ記セ 七三〇(昭八、一)

長崎縣

第一集 豫備知識

第二集 正常妊娠

- 產瘤ト頭血腫トノ鑑別及其ノ處置ヲ記セ 七一九(昭九、一)
- 新産兒ノ臍口瘡ヲ簡單ニ説明セヨ 七一九(昭十、一)
- 新産兒メレナヲ簡單ニ説明セヨ 七一九(昭十、一)
- 新産兒ノ臍ヘルニアニ就テ簡單ニ説明セヨ 七二四(昭十、一)
- 早熟兒ノ處置如何 七二九(昭八、一)

- 早熟兒トハ如何並ニ其ノ看護法ニ就テ記セ 七二九(昭十、一)
- 早熟兒トハ如何並ニ之ガ養護及處置ニ就テ記セ 七二九(昭十、一)
- 早熟兒トハ如何並ニ之ガ養護法及處置ニ就イテ記述セヨ 七二九(昭十、一)
- 產婦腔内ノ消毒法ヲ記セ 七三二(昭十、一)

- 胎勢、胎位、胎向ニ就テ記セ 七三三・七三三(昭八、二)
- 胎兒ノ成熟徵候ヲ記セ 七三〇(昭十、一)

妊婦ノ診察

- 胎兒ノ各位置ニ就イテ胎兒心音ヲ最モ明瞭ニ聴取シ得ル部位ヲ記セ 七三〇(昭九、一)
- 胎兒心音ノ診斷上ノ價値如何 七三三(昭五、一)
- 妊娠ノ確徵及其ノ發現時期ニ就テ記セ 七三六・七三六(昭四、二)
- 胎兒生死ノ鑑別方法ヲ記セ 七三三(昭九、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 正規分娩ニ於ケル兒頭ノ産道通過ノ状態ヲ記セ 七四〇・七四〇(昭二、一)
- 陣痛ノ種類及ビ各其ノ作用ニ就テ記セ 七三三(昭三、一)

- 初産婦ト經産婦ニ於ケル子宮頸管及外子宮口開大ニ關スル經過ノ差異ヲ記セ 三三三(昭五、一)
- 胎盤ノ剝離セル徵候ヲ記セ 三三三(昭六、一)
- 正規分娩時ニ胎兒ハ如何ナル迴轉ヲ起スヤ、又其ノ理由ヲ簡單ニ記セ 三三三・三三三・三三三(昭八、一)
- 分娩開始ノ徵候ヲ記セ 三三三(昭十、一)
- 胎胞ニ就テ知ル所ヲ記セ 三三三(昭十、一)
- 胎胞ノ形成竝ニ其ノ作用ニ就テ知ル所ヲ記セ 三三三・三三三(昭十、一)
- 産痛ニ就テ知ルトコロヲ記セ 三三八(昭十、一)
- 産痛ニ就テ知ル所ヲ記セ 三三八(昭十、一)

分娩時診察

- 骨盤内ニ於ケル兒頭ノ下降程度ヲ知ル方法ヲ記セ 三三三・三三三(昭五、一)
- 第二後頭位ノ診斷並産兒ノ所見ヲ記セ 三三三・三三三(昭八、一)
- 分娩ニ際シ内診ヲ要スベキ場合ヲ舉ゲ内診施行時ノ注意並ニ内診ヲ制限スル理由ヲ記セ 三三三・三三三・三三三(昭九、一)
- 分娩直後ニ於ケル初生兒ノ處置ニ就テ知ルトコロヲ記セ 三三三(昭十、一)
- 産婦ニ腹壓ヲ命ジ又ハ禁ズル時期並ニ其ノ理由ヲ記セ 三三三(昭十、一)

分娩取扱法

- 初生兒飢餓熱ニ就テ知ルトコロヲ記セ 三三三(昭五、一)
- 産婦ノ離床ノ時期並ニ其ノ理由ニ就テ記セ 三三三(昭三、一)
- 産婦經過ノ良否ハ何ニヨリテ判定スルヤ知ル所ヲ記セ 三三三(昭四、一)
- 褥婦離床ノ時期並ニ産婦時ニ於ケル尿閉ノ原因ヲ記セ 三三三・三三三(昭五、一)
- 初乳ノ效用並ニ初乳ト永久乳トノ區別 三三三・三三三(昭三、一)
- 分娩後授乳ヲ開始スベキ時期ニ就テ知ルトコロヲ記セ 三三三(昭四、一)
- 牛乳ノ稀釋法ヲ記セ 三三三(昭四、一)
- 初生兒ニ最モ適當シタル營養法ト牛乳ノ稀釋法ヲ記セ 三三三・三三三(昭六、一)
- 乳母ノ資格上必要ナル條件ヲ記セ 三三三(昭七、一)
- 新産兒營養法ニ就テ記セ 三三三(昭十、一)
- 母乳營養ノ有利ナル理由ヲ記セ 三三三(昭十、一)

産褥取扱法

- 胎狀鬼胎ハ如何ニシテ診斷スルカ 三三三(昭十、一)
- 前置胎盤ト正常位置ニ於ケル胎盤早期剝離トノ區別ヲ記セ 三三三(昭八、一)
- 胎兒異常 三三三(昭九、一)
- 流産ノ切迫セル徵候ト其處置ヲ記セ 三三三(昭十、一)
- 流産ノ徵候ヲ記セ 三三三(昭四、一)
- 輸卵管妊娠中絶ノ徵候ヲ記セ 三三三(昭四、一)
- 後屈妊娠子宮嵌頓症ノ經過ヲ記セ 三三三(昭五、一)
- 妊娠前半期ニ於ケル子宮出血ノ主ナルモノヲ舉ゲ其ノ症候ヲ簡單ニ記セ 三三三(昭八、一)
- 母體性器異常 三三三(昭六、一)
- 子癇ニ罹リ易キ妊娠ノ狀態並ニ子癇發作時ニ於ケル産婆トシテノ處置ヲ記セ 三三三・三三三(昭六、一)
- 惡阻ノ症候ヲ記セ 三三三(昭十、一)
- 子癇ノ症候ヲ記セ 三三三(昭十、一)
- 人工妊娠中絶ヲ要スル主ナル母體疾患ノ名稱並ニ妊娠子宮ノ異常ナル膨大ヲ起ス主ナル原因ヲ記セ 三三三・三三三(昭四、一)
- 妊娠時腎臟疾患ノ母兒ニ及ボス影響ニ就テ記セ 三三三(昭十、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 胎狀鬼胎ノ徵候ヲ記セ 三三三(昭十、一)

○人工妊娠中絶ヲ要スル主ナル母體ノ疾患ヲ舉
グ且ツ流産ト早産ノ區別ヲ記セ 五三二・五三三(昭七、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

○早期破水ノ分娩ニ及ボス影響及其ノ處置方法
ヲ記セ 六二七・六二九(昭四、一)

胎兒異常

○骨盤端位分娩ガ頭位分娩ニ比シ一般ニ危險多
キ理由ヲ記セ 六二六(昭四、一)

○骨盤並ニ陣痛ニ異常ナク分娩ノ遷延ヲ來ス原
因ニツイテ知ルトコロヲ記セ 六二七(昭九、一)

○双胎ノ確實ナル徵候並ニ双胎妊娠ノ種類ト其
ノ鑑別點ヲ記セ 六二〇・六二一(昭七、一)

○胎兒窒息ノ徵候ヲ記セ 六二六(昭六、一)

○初生兒假死ノ種類及其ノ原因ヲ記セ 六二〇・六二九(昭八、一)

○分娩中胎兒死亡ノ原因及其ノ徵候ヲ記セ 六二五・六二七(昭八、一)

母體異常
○開口期陣痛微弱ノ處置ニ就イテ記セ 六二八(昭三、一)

○陣痛微弱ノ母兒兩者ニ及ボス影響ヲ分娩各期
ニ就イテ記セ 六三二(昭四、一)

○微弱陣痛並ニ其ノ處置ニ就テ記セ 六三三・六三四(昭七、一)

○狭窄骨盤ノ分娩經過及診斷方法ニ就テ記セ 六三六・六三七(昭二、一)

○狹窄骨盤ノ分娩經過及診斷方法ニ就テ記セ 六三七・六三九(昭三、一)

○分娩中ニ起ル異常出血ノ主ナル原因ヲ記セ 六四〇(昭三、一)

○胎盤稽留ノ原因及其ノ影響ヲ記セ 六四六(昭七、一)

○子宮破裂ノ原因及徵候ヲ記セ 六四二・六四三(昭五、一)

○弛緩出血ノ原因及處置ヲ記セ 六四二・六四四(昭五、一)

第七集 異常產褥・補足知識

產褥異常

○產褥熱ノ原因及症狀ヲ記セ 七二二・七二六(昭二、一)

○產褥熱ノ原因及症狀ヲ記セ 七二二・七二六(昭三、一)

○子宮復舊不全症ヲ起ス原因並ニ其ノ徵候ヲ記
セ 七二五・七二六(昭五、一)

○產褥熱ノ徵候ト其ノ豫防方法ヲ記セ 七二六・七三〇(昭六、一)

○產褥時異常出血ノ原因ヲ記セ 七二七(昭六、一)

○子宮復舊不全ノ原因症狀及其ノ處置ヲ記セ 七二五・七二七(昭九、一)

○異常惡露ノ原因及其處置ニ就イテ知ルトコロ
ヲ記セ 七二七・七二九(昭九、一)

○產婦ノ乳汁分泌量其性質ニ影響ヲ及ボス主ナ
ル事項ヲ記セ 七二五(昭九、一)

○產褥熱ノ原因及豫防法ヲ記セ 七二二・七二六(昭十、一)

○產褥時ニ起リ易キ泌尿器疾患ニ就テ知ル處ヲ
記セ 七二二(昭七、一)

○子宮復舊不全症ノ原因徵候及處置ヲ記セ 七二五・七二六・七二七(昭三、一)

○胎盤殘留ノ徵候及產婦ニ及ボス其ノ影響ニ就
テ記セ 七二六(昭八、一)

○產褥ニ於ケル乳腺炎ノ徵候並ニ處置ヲ記セ 七二九(昭七、一)

〔四五〕熊本縣

第一集 豫備知識

○同業者ニ對スル心得如何 一二六(昭四、一)

○同 一二六(昭七、一)

○小骨盤ヲ構成スル骨ノ名稱並ニ其ノ各部ニ於

新産兒異常

○初生兒消化障礙ニ就イテ 七二八(昭二、一)

○初生兒肺炎ニ就テ知ルトコロヲ記セ 七二〇(昭三、一)

○初生兒肺炎ニ就テ詳記セヨ 七二〇(昭四、一)

○初生兒「メレナ」ト假性「メレナ」トニ就イテ知
ルトコロヲ記セ 七二〇(昭五、一)

○產褥ト頭血腫トノ鑑別ニツイテ知ルトコロヲ
記セ 七二九(昭七、一)

○新産兒肺炎ノ種類ヲ舉グ簡單ニ説明セヨ 七二四(昭七、一)

○驚口瘡ノ徵候及其處置ヲ記セ 七二五(昭七、一)

○新産兒丹毒ノ原因症狀及其ノ處置ニ就テ記セ 七二五(昭七、一)

○新産兒ノ徵毒ニ就テ記セ 七二五(昭七、一)

○早産兒ノ看護方法ヲ記セ 七二九(昭十、一)

ケル最大徑線ノ名稱及距離ヲ示セ 一三九・一四〇(昭三、一)

○小骨盤ヲ構成スル骨ノ名稱及ビ其ノ部ニ於ケ
ル最長最短ノ徑線ヲ記セ 一三九・一四〇・一四一(昭五、一)

○骨盤内臟器ノ名稱其相互關係 一四一・一四二(昭八、一)

○骨盤内ニ於ケル臟器ノ名稱及腹膜トノ關係ヲ
問フ 一四五・一四六(昭二、一)

○月經ノ初潮ノ時期月經ノ持續日數及分量並ニ
經閉ノ時期 一四三(昭二、一)

○手指ノ消毒法ノ順序方法ヲ詳記セヨ 三二〇(昭五、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 胎盤完成ノ時期 三二七(昭二、一)
- 妊娠末期ニ於ケル胎盤ノ重量、臍帶ノ長さ及羊水量 三二二・三二三・三二四(昭二、一)
- 羊水ニ就テ知ルトコロヲ記セ 三二二(昭四、一)
- 胎盤ニ就テ知ルトコロヲ記セ 三二六(昭五、一)
- 胎盤ノ構造及其ノ作用 三二三(昭七、一)
- 胎盤ノ効用ニ就テ記セ 三二六・三二七(昭七、一)
- 妊娠各月ニ於ケル胎兒ノ身長及體重 三二七(昭二、一)
- 分娩後初生兒ノ血行系統ニ起ル變化ヲ記セ 三二四(昭三、一)
- 胎兒榮養及胎兒血行ト初生兒血行トノ差異點ヲト説明セヨ 三二二・三二三(昭四、一)
- 胎盤血行ヲ説明セヨ 三二四(昭八、一)
- 胎盤血行ヲ説明セヨ 三二四(昭九、一)
- 妊娠中ニ於ケル子宮ノ變化ニ就テ記セ 三二五(昭十、一)
- 妊娠各月ニ於ケル子宮ノ變化ニ就テ記セ 三二五(昭十、一)

妊婦ノ診察

○胎動初感ノ時期 三二〇(昭二、一)

○生體ニ於テ骨盤内及外計測ヲ行フベキ部位並ニ其距離 三二六・二二七(昭二、一)

○妊娠診察ノ目的ヲ問フ 三二二(昭五、一)

○妊娠子宮異常増大ヲ來ス場合並ニ其ノ特點ヲ略記セヨ 三二九(昭二、一)

○妊娠中子宮異常ノ増大及ビ其特點 三二九(昭二、一)

○妊娠ノ半確微トハ如何 三二九(昭三、一)

○妊娠子宮異常過小ヲ來ス場合ヲ列舉セヨ 三二七(昭四、一)

○妊娠第八ヶ月末ト十ヶ月末トノ鑑別ニ必要ナル諸點ヲ舉ゲヨ 三二五(昭六、一)

○妊娠ノ半確微ニ就テ知ル處ヲ記セ 三二九(昭九、一)

○診察所見ニ依ル妊娠時期ノ鑑別 三二四(昭十、一)

○妊娠時期診斷要項 三二二(昭十、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

- 胎盤剝離ノ徴候及後産娩出ノ様式ヲ問フ 三二三・三二四(昭二、一)
- 各胎位ニ於ケル産瘤發生ノ部位並ニ産瘤ト頭蓋血腫トノ關係 三二二・三二三(昭二、一)
- 收縮輪ニ就テ知レル處ヲ記セ 三二〇(昭三、一)
- 收縮輪ノ發生部位及其ノ理由ヲ記シ併セテ其注意スベキ場合ヲ示セ 三二〇・三二一(昭四、一)

○胎盤形成ノ時期ヲ記セ 三二二(昭五、一)

○産瘤發生ノ時期ヲ記セ 三二二(昭五、一)

○分娩經過ハ如何ナル場合ニ延長サル、ヤ 三二四(昭五、一)

○後頭位分娩ニ於ケル兒頭ノ第二第三週轉ヲ説明シ併テ第三週轉ノ取扱法ヲ記セ 三二〇・三二一(昭五、一)

○第一後頭位第一分類ノ第二期ノ經過ヲ略記セヨ 三二五(昭六、一)

○收縮輪ノ發生部位及其發生理由ヲ記シ併セテ注意スベキ場合ヲ示セ 三二〇・三二一(昭七、一)

○後産期ノ處置ニ就テ述べ且ツ胎盤剝離ノ徴候ヲ附記セヨ 三二六・三二七(昭八、一)

○分娩時兒頭ノ機械的機轉ヲ記セ 三二〇・三二一(昭八、一)

○陣痛ト分娩痛トノ區別ヲ問フ 三二〇・三二一(昭八、一)

○收縮輪ノ發生部位及其ノ理由ヲ記シ併セテ特ニ其ノ注意ヲ要スベキ場合ヲ問フ 三二〇・三二一(昭十、一)

○第一後頭位ト第二後頭位分娩ノ異同ニ就テ述べヨ 三二〇・三二一(昭十、一)

○分娩時外診ニヨリテ子宮口開大ノ程度ヲ知ル方法 三二四(昭七、一)

○分娩時ニ於ケル子宮口ハ如何ニシテ擴大セラレルヤ 三二六(昭二、一)

○産瘤就褥ノ時期ヲ記セ 三二五(昭五、一)

分娩取扱法

- 産褥就褥ノ時期ヲ記セ 三二五(昭五、一)

○會陰保護ヲ行フベキ時期ヲ記セ 三二〇(昭五、一)

○胎盤切斷法及其處置如何 三二二(昭五、一)

○分娩第二期ニ於ケル取扱方法如何 三二二(昭七、一)

○初生兒娩出後ノ取扱法ヲ述べヨ 三二二(昭八、一)

○分娩時ノ注意事項ヲ問フ 三二二(昭九、一)

○新生兒娩出後ノ取扱法ヲ述べヨ 三二三(昭九、一)

○後産期ニ於ケル處置法 三二三(昭十、一)

○正規分娩第二期ニ於ケル取扱法 三二〇(昭十、一)

○正規分娩第三期ニ於ケル取扱法 三二一(昭十、一)

○開口期ニ於ケル産婦ノ取扱法ヲ述べヨ 三二二(昭十、一)

○分娩時ニ於ケル産褥ノ消毒ニ就テ 三二二(昭十、一)

○第一後頭位分娩第二、三期ニ於ケル取扱法 三二二(昭十、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 産褥子宮ノ變化及其ノ原因 三二二(昭四、一)
- 惡露ノ性状分量及持續期間ヲ問フ 三二〇(昭五、一)
- 産褥トハ何ゾヤ 三二〇(昭六、一)
- 初乳ニ就テ知ル處ヲ記セ 三二〇(昭六、一)
- 惡露ノ性状分量及持續期間ヲ問フ 三二〇(昭七、一)
- 惡露ニ就テ知ルトコロヲ記セ 三二〇(昭七、一)
- 正規産褥ノ經過ニ於ケル乳汁及惡露ノ變化ヲ記セ 三二二(昭九、一)

第六集 異常分娩

○分娩時ニ於テ母兒ノ危險ヲ豫知スベキ徴候ヲ問フ

六九・六二六(昭四、二)

胎兒附屬物異常

六二七(昭五、一)

○早期破水ニ因セル分娩障害ヲ問フ
○卵膜ノ薄弱ニ過グル場合ハ分娩ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤ並ニ其ノ理由ヲ記セ

六二七(昭七、一)

胎兒異常

○分娩障礙ヲ惹起スル胎兒ノ畸形及疾病ノ種類ヲ列舉セヨ

六二七・六二八(昭二、一)

○骨盤端位ニ於ケル分娩ハ何故ニ胎兒ニ危害多キヤ其理由ヲ問フ

六二五(昭四、二)

○横位ノ原因症狀ヲ記セ

六一〇・六一五(昭九、二)

○骨盤端位ノ分娩機轉ニ就テ

六一五(昭七、一)

○骨盤端位分娩ニ於テ胎兒ニ及ボス時期及其ノ原因ニ就テ述ベヨ

六一三(昭七、一)

○前頭位分娩ノ經過及其ノ位置

六一〇・六一三(昭七、一)

○双胎妊娠ノ診斷及其ノ發生上ノ區別ニ就テ述ベヨ

六一〇・六一〇〇(昭七、二)

○初生兒假死ノ原因症狀處置 六二八・六二九・六三〇(昭二、二)

○分娩中胎兒假死ヲ來ス場合及其ノ徴候 六三〇・六三六(昭四、一)

○新生兒假死ノ原因及其ノ看護法 六二八・六三〇(昭九、一)

○新生兒假死ノ原因並ニ其處置ヲ問フ 六二八・六三〇(昭九、二)

○新生兒ノ假死ノ原因症狀及其ノ處置ヲ略記セ 六二八・六二九・六三〇(昭十、一)

母體異常

○陣痛微弱ノ原因症狀及處置ヲ問フ

六三〇・六三〇・六三三(昭三、一)

○陣痛微弱ノ原因及處置

六三〇・六三三(昭六、二)

○狭窄骨盤ニ於ケル分娩經過ヲ記セ

六三六(昭二、二)

○狭窄骨盤ノ程度並分娩ニ對スル措置 六三四・六三八(昭八、二)

○妊娠婦ニ於ケル異常出血ノ原因及其ノ處置ヲ記セ

六四三(昭四、二)

○卵膜胎盤ノ一部遺殘ヲ知ル方法及遺殘ノ危險 六四三(昭六、一)

○胎盤遺殘ノ原因症狀及ビ其ノ取扱法ヲ問フ

六四二・六四三・六四四(昭七、一)

○胎盤遺殘ノ原因及其ノ處置ヲ述ベヨ 六四二・六四四(昭七、二)

○後出血ノ原因及其處置 六四二・六四四(昭八、一)

○胎盤遺殘ノ原因、症狀及其處置ニ就テ記セ 六四二・六四三・六四四(昭九、一)

新産兒異常

○各胎位ニ於ケル産瘤發生ノ部位並ニ産瘤ト頭血腫トノ鑑別 三二二・三二七・三二九(昭二、一)

○驚口瘡ノ症狀及其ノ豫防法 三二二(昭二、二)

○臍輪炎ノ症狀及其ノ取扱法 三二二(昭二、三)

○初生兒消化不良症ノ徴候及取扱上ノ注意點ヲ問フ 三二二(昭三、一)

○初生兒メレナ(黒吐病)ノ症狀及其ノ取扱法 三二二(昭四、一)

○初生兒ニ發生スル主ナル疾病ノ種類及其原因ヲ舉ゲヨ 三二二(昭四、二)

○初生兒ニ現ハル、微毒ノ症狀ヲ問フ 三二二(昭四、三)

○初生兒頭血腫ト産瘤トノ鑑別並ニ其處置 三二二(昭五、一)

○初生兒ノ膿漏眼ノ原因及豫防法ヲ記セ 三二二・三二二(昭七、二)

○母體ノ病氣カラ起ル初生兒(乳兒)疾病ノ名前ト其ノ豫防法ヲ記セ 三二二(昭八、一)

○新生兒膿漏眼ニ就テ 三二二(昭八、二)

○新生兒ノ臍部傳染性疾患 三二二(昭十一、一)

○新生兒ノ頭血腫ト産瘤トノ鑑別並ニ其ノ處置 三二二・三二二(昭十一、二)

○新生兒メレナノ症狀及其ノ取扱法 三二二(昭十一、三)

○新生兒臍出血ノ原因症狀處置 三二二(昭十一、四)

○後産期ニ於ケル異常出血ノ原因及其處置 六四三・六四四(昭十、一)

○分娩中ニ於ケル異常出血ノ原因症狀及其ノ取扱法 六四三(昭十一、二)

○分娩中ニ於ケル異常出血ノ原因症狀並ニ其ノ取扱法ニ就テ問フ 六四三(昭十一、三)

第七集 異常産褥・補足知識

褥 婦 異常

○子宮復古不全ノ原因及其ノ處置ヲ問フ 七二五・七二七(昭二、一)

○産褥中乳房ニ發シ易キ疾病ノ種類及處置ヲ記セヨ 七二〇・七二二(昭三、一)

○産褥熱トハ如何及同患者ニ接シタル時ノ注意事項ヲ問フ 七二二・七二四(昭四、一)

○産褥時ニ於ケル異常出血ノ原因及其取扱法ヲ記セヨ 七二五・七二五(昭五、一)

○産褥敗血症ノ症候 七二五(昭八、二)

○産褥熱ノ原因主徴候及ビ其ノ豫防法ヲ問フ 七二二・七二六・七二七(昭九、二)

○産褥時ニ於ケル異常出血ノ原因並ニ其ノ處置 七二五・七二五(昭十一、一)

○産褥時ニ起リ易キ子宮ノ位置異常並ニ其豫防法 七二七(昭十一、二)

- 第一後頭位ノ分娩機轉
三〇二六(昭九、一)
- 分娩ノ前驅徵候トハ如何
三〇二五(昭十、一)
- 兒頭ノ排臨及撥露トハ如何ナル状態カ
三〇二六(昭十、二)
- 分娩初期(第一期)ニ就テ説明セヨ
三〇二七(昭十、二)
- 第二頭蓋位ノ分娩機轉ニ就テ
三〇二八(昭十、二)
- 陣痛ノ種類及ビ其ノ作用ニ就テ記セ
三〇二九(昭十、二)
- 後頭位分娩時胎位ニ於テ先進部ハ如何ナル周圍徑ヲ以テ會陰ヲ通過スルカ其ノ名稱及ビ大サ並頭蓋ノ變型ヲ記セ
三〇三〇・三〇三〇(昭十一、一)

分娩時診察

- 分娩中ニ於ケル内診ノ目的如何
三〇三一(昭七、一)
- 分娩各期ニ於ケル内診ニ就テ其ノ目的及ビ内診ニ際シテ注意スベキ點ヲ述ベヨ
三〇三二(昭七、一)

分娩取扱法

- 會陰保護ノ目的(理由)及時期
三〇三三・三〇三三(昭十一、一)
- 會陰保護ノ目的時期及仰臥位ニ於ケル會陰保護法ヲ記セ
三〇三三・三〇三三(昭十一、二)
- 脐帶ノ纏絡ノ障害及ビ其ノ位置
三〇三三・三〇三三(昭三、一)
- 會陰保護法ヲ行フ時期目的及仰臥位ニ於ケル其ノ方法如何
三〇三三・三〇三三(昭五、一)
- 脐帶斷端ノ處置ニ就テ記セ
三〇三三(昭五、二)
- クレデ氏點眼法及硝酸銀水ノ濃度
三〇三三・三〇三三(昭五、一)

- 分娩第三期ノ取扱法及注意スベキ事項
三〇三六・三〇三六(昭五、一)
- 分娩第一期ノ取扱法ニ就テ記セ
三〇三八(昭五、一)
- 分娩第三期取扱法及注意事項ヲ記セ
三〇三八・三〇三八(昭五、一)
- クレデ氏點眼法及硝酸銀水ノ濃度ヲ答ヘヨ
三〇三九(昭五、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 惡露ノ性質及經過ヲ記セ
三〇四〇(昭二、一)
- 産褥ノ期間ニツイテ
三〇四一(昭三、一)
- 惡露ノ閉止期ニ就テ記セ
三〇四二(昭三、一)
- 産褥期ニ於ケル子宮體ノ復舊現象(子宮體ノ縮小)ニ就テ記セ
三〇四三(昭三、一)
- 正規産褥ニ於ケル惡露ニ就テ記セ
三〇四四(昭四、一)
- 産褥期ニ起ル全身ノ變化並ニ子宮收縮ノ状態ニ就テ記セ
三〇四四・三〇四四(昭六、一)
- 分娩後ニ於ケル子宮ノ復舊状態ニ就テ
三〇四四(昭八、一)
- 正規産褥ノ惡露ノ經過ニ就テ
三〇四四(昭七、一)
- 産褥期ノ一般状態ニ就テ
三〇四四(昭七、一)
- 初生兒ノ黃疸ニ就テ
三〇四四(昭三、一)
- 母乳ニ就テ答ヘヨ
三〇四四(昭三、一)
- 産出後初生兒ノ一時體重減少ニ就テ知レル所ヲ記セ
三〇四四(昭五、一)

産褥取扱法

- 産褥ノ離床期、外出期、入浴期ニツイテ
三〇四四・三〇四四・三〇四四(昭三、一)
- 産褥中外陰部ノ處置ニ就テ記セ
三〇四四(昭四、一)
- 産褥ノ就床期間ニ就テ記セ
三〇四四(昭五、一)
- 早起離床ノ利害ニ就テ説明セヨ
三〇四四(昭五、一)
- 産褥ノ全身清潔法ヲ問フ
三〇四四(昭五、一)
- 早期離床ノ可否ト其ノ理由ヲ問フ
三〇四四(昭五、一)
- 乳母ノ選定ニ就テ記セ
三〇四四(昭四、一)
- 初生兒沐浴ノ利害ニ就テ記セ
三〇四四(昭五、一)
- 母乳ヲ禁ズベキ場合ヲ舉ゲ其ノ使用方法ニ就テ記セ
三〇四四(昭五、一)
- 産褥中ニ於ケル授乳ノ母兒ニ及ボス影響如何
三〇四四(昭六、一)
- 母乳ヲ禁ズベキ場合ニ就テ記セ
三〇四四(昭七、一)
- 牛乳ノ稀釋法ニ就テ記セ
三〇四四(昭七、一)
- 産褥中ニ於ケル授乳ノ母兒ニ及ボス影響ヲ記セ
三〇四四(昭九、一)
- 人乳養育ト牛乳養育トノ主ナル差異點
三〇四四(昭十、一)
- 授乳ヲ禁ズベキ母體ノ疾病ヲ列記セヨ
三〇四四(昭十、一)
- 初生兒入浴ノ注意及利害ヲ述ベヨ
三〇四四・三〇四四(昭十、一)
- 新産兒看護法
三〇四四(昭十、一)
- 乳母選定ノ條件ニ對シ簡明ニ箇條書ニテ答ヘヨ
三〇四四(昭十、一)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 妊娠中起リ易キ疾病ヲ舉ゲ簡單ニ説明セヨ
三〇四四(昭五、一)
- 葡萄狀胎ノ症狀及處置ニ就テ記セ
三〇四四(昭四、一)
- 葡萄狀胎ノ診斷上必要ナル症狀ヲ列記セヨ
三〇四四(昭十、一)
- 葡萄狀胎ノ診斷
三〇四四(昭五、一)
- 胎盤早期剝離ノ原因徵候及處置
三〇四四・三〇四四・三〇四四(昭三、一)
- 前置胎盤ノ診斷及處置ニ就テ記セ
三〇四四・三〇四四(昭四、一)
- 前置胎盤ノ徵候(症狀)ニ就テ
三〇四四(昭八、一)
- 前置胎盤ノ徵候(症狀)如何
三〇四四(昭十、一)
- 胎盤早期剝離ト前置胎盤トノ區別(鑑別)如何ヲ説明セヨ
三〇四四(昭十、一)
- 正常位置ノ胎盤早期剝離ト前置胎盤トノ鑑別點ヲ列記セヨ
三〇四四(昭十、一)
- 羊膜水腫(羊水過多症)ノ妊娠及分娩ニ及ボス影響ニ就テ
三〇四四(昭四、一)

- 羊膜水腫(羊水過多症)ノ妊娠分娩ニ及ボス影響ニ就テ記セ 五(七七)(昭六、一)
- 羊水過多症ノ妊娠分娩ニ及ボス影響 五(七七)(昭八、一)
- 羊膜水腫ノ妊娠分娩ニ及ボス影響ニ就イテ 五(七七)(昭十、一)

胎 兒 異 常

- 妊娠中胎兒死亡ノ原因及徴候如何 五(七〇・二三五)(昭七、一)
- 妊娠中胎兒死亡ノ原因及徴候如何 五(七〇・二三五)(昭五、一)
- 流産ノ位置ニ就テ記セ 五(一〇)(昭六、一)
- 妊娠早期中絶ノ原因ヲ列記セヨ 五(一〇五)(昭十一、一)

子 宮 外 妊 娠 早 期 中 絶 徴 候

- 子宮外妊娠ニ就テ知ル處ヲ記セ 五(一四三)(昭三、一)
- 子宮外妊娠ニツイテ知ル處ヲ記セ 五(一三六)(昭六、一)
- 子宮外妊娠ニツイテ知ル處ヲ記セ 五(一三六)(昭九、一)

母 體 性 器 異 常

- 妊娠性後屈子宮ノ嵌頓症狀及其處置ヲ記セ 五(一七六・一七六)(昭十一、一)
- 妊娠ト微毒トノ關係ニ就テ記セ 五(一七六)(昭六、一)
- 妊娠中ノ出血ノ原因症狀ニ就テ述ベヨ 五(一三三・一三三)(昭十一、一)

母 體 全 身 異 常

- 子癩ノ原因症狀及ビ其ノ處置ヲ記セ 五(一五〇・一五三)(昭十一、一)

- 子癩ノ症狀及ビ其ノ處置 五(一五三・一五三)(昭三、一)
- 妊娠悪阻ノ症狀ニ就イテ 五(一三六)(昭五、一)
- 子癩ノ症狀及其ノ取扱上産婆トシテ必要ナル注意事項ヲ記セ 五(一五三・一五三)(昭五、一)
- 子癩ニ對スル應急處置如何ヲ説明セヨ 五(一三六)(昭十一、一)
- 子癩患者ノ取扱上産婆トシテ必要ナル注意事項ヲ列記セヨ 五(一五三)(昭十一、一)

第 六 集 異 常 分 娩

胎 兒 附 屬 物 異 常

- 臍帶脫出下垂ノ原因及其ノ處置ニ就テ記セ 六(五・六五)(昭七、一)
- 帶脫出下垂ノ原因及其ノ處置 六(五・六五)(昭十、一)
- 臍帶異常ノ種類ヲ舉ゲ其ノ最モ多ク來ルモノノ症狀及處置ニ就テ 六(四八)(昭十一、一)
- 臍帶纏絡ノ及ボス影響 三(一三三)(昭十一、一)

胎 兒 異 常

- 骨盤端位ノ取扱ニ就イテ記セ 六(一〇六)(昭四、一)
- 横位ノ原因並ニ其診斷上ニ於ケル所見ヲ記セ 六(一〇六・六(一〇六)(昭六、一)
- 前額位及顔面位分娩時先進部ハ如何ナル周圍 六(一〇六)(昭九、一)

- 徑ヲ以テ會陰ヲ通過スルカ其ノ名稱及ビ大サ並ニ頭蓋ノ變型ヲ記セ 六(一四四・六(一四四)(昭十一、一)
- 深在横定位及前頭頂骨定位トハ如何ナルモノカ 六(九八・六(九八)(昭十一、一)

雙 胎 ノ 卵 膜 及 胎 盤 ニ 就 テ 記 セ

分 娩 時 ニ 於 ケ ル 胎 兒 窒 息 ノ 原 因 及 ビ 其 ノ 徴 候

- 分娩時ニ於ケル胎兒死亡ノ徴候ヲ記セ 六(一三〇・六(一三〇)(昭十一、一)
- 氣管カテーターノ挿入法ヲ説明セヨ 六(二九五)(昭十一、一)
- 初生兒假死ノ原因ト其ノ取扱法ヲ問フ 六(二七八・六(二七八)(昭十一、一)

母 體 異 常

- 陣痛微弱ノ原因及其ノ母兒ニ及ボス影響如何 六(一〇五・六(一〇五)(昭五、一)
- 過激陣痛ノ障碍及處置ニ就イテ 六(三三九・六(三三九)(昭八、一)
- 陣痛微弱ノ分娩各期ニ於ケル障碍ヲ列記セヨ 六(三三二)(昭十一、一)
- 陣痛微弱ノ原因症狀及取扱法ヲ問フ 六(三〇五・六(三〇五)(昭十三、一)
- 陣痛微弱ノ原因ト其ノ取扱法ヲ述ベヨ 六(三〇五・六(三〇五)(昭十四、一)
- 狭窄骨盤ノ分娩障害ニ就イテ記セ 六(三五五)(昭三、一)
- 狭窄骨盤ノ分娩ニ及ボス影響如何 六(三五三)(昭七、一)
- 狭窄骨盤ノ分娩障碍ニ就イテ 六(三五五)(昭七、一)

- 狭窄骨盤ニ據テ起ル分娩障碍如何 六(三五五)(昭十一、一)
- 狭窄骨盤ノ分娩障碍ニ就テ 六(三五五)(昭十一、一)
- 分娩中子宮出血ノ原因ヲ問フ 六(四四二・六(四四二)(昭六、一)
- 弛緩性子宮出血ノ原因及處置ニ就テ記セ 六(四四二)(昭五、一)
- 子宮破裂ノ原因及徴候如何 六(四四二・六(四四二)(昭七、一)
- 弛緩性子宮出血ノ原因及處置ニ就イテ 六(四四二・六(四四二)(昭九、一)
- 會陰破裂ノ原因ヲ列記セヨ 六(四四七)(昭十一、一)
- 分娩中子宮出血ノ原因ヲ列記セヨ 六(四四〇)(昭十一、一)
- 分娩中子宮出血ノ原因ニ就テ記セ 六(四四〇)(昭十一、一)

第 七 集 異 常 產 褥 ・ 補 足 知 識

褥 婦 異 常

- 産褥熱ノ豫防法及ビ産褥熱ニ對スル一般處置 六(一〇・七(一〇)(昭三、一)
- 子宮復舊(回復)不全ノ原因徴候及其處置ニ就テ記セ 七(五五・七(五五)(昭四、一)
- 良性惡露ト悪性惡露トノ鑑別ニ就イテ記セ 七(七〇)(昭五、一)
- 異常惡露ノ原因症狀及處置ニ就イテ記セ 七(七五)(昭七、一)
- 乳房炎乳腺炎ノ原因症狀及處置ニ就テ記セ 七(七五)(昭七、一)
- 褥婦ニ於ケル乳腺炎ノ症狀及處置ニ就テ 六(一〇一・七(一〇一)(昭十、一)

- 産褥熱患者ニ對スル處置如何 七ノ三三(昭七、一)
- 産褥熱ノ原因及其ノ取扱法ヲ問フ 七ノ三三(昭七、一)
- 産褥時異常出血ヲ起ス原因ヲ舉ゲヨ 七ノ三三(昭七、一)

新産兒異常

- 初生兒丹毒ノ原因症狀及其處置ヲ記セ 七ノ三三(昭七、一)
- 驚口瘡ノ症狀及處置ニ就イテ記セ 七ノ三三(昭七、一)
- 初生兒臍漏眼ノ原因及症狀ニ就イテ記セ 七ノ三三(昭七、一)
- 初生兒丹毒ノ症狀及處置ニ就キ記セ 七ノ三三(昭七、一)
- 初生兒丹毒ノ原因症狀ニ就テ記セ 七ノ三三(昭七、一)
- 先天性梅毒ノ徴候ヲ説明セヨ 七ノ三三(昭七、一)
- 初生兒臍疾患ニ就イテ簡單ニ説明セヨ 七ノ三三(昭七、一)
- 新産兒臍漏眼ノ症狀ヲ述べ且ツ其ノ豫防法ヲ記セ 七ノ三三(昭七、一)
- 早産兒及生活能力微弱ナル乳兒ノ看護法ニ就テ記セ 七ノ三三(昭七、一)
- 未熟兒(早生兒)ニ對スル看護法ニ就テ記セ 七ノ三三(昭七、一)
- 流産早産ノ區別及未熟兒ノ看護ニ就テ記セ 七ノ三三(昭七、一)
- 未熟兒ノ取扱法ニ就テ記セ 七ノ三三(昭七、一)

産婆ニ關スル法令

○開業ノ産婆故ナク産家ノ招ニ應ゼザル時ニハ

- 如何ナル處罰アルヤニ就テ記セ 三ノ三三(昭九、一)
- 地方長官ガ産婆ノ業ヲ停止シ又ハ産婆名簿ノ取消ヲ爲スニハ如何ナル場合ナルヤ 七ノ三三(昭九、一)
- 墮胎ヲ説明シ併セテ産婆ガ墮胎ノ罪ヲ犯シタル時ノ處罰ニ就テ記セ 七ノ三三(昭九、一)
- 産婆廢業失踪又ハ死亡シタルトキハ如何ナル手續ヲ取ルカ 七ノ三三(昭九、一)
- 産婆管轄地方廳ヲ異ニセル地ニ其ノ住所ヲ移轉シタル場合如何ナル手續キヲ取ルヤ 七ノ三三(昭九、一)
- 開業ノ産婆故ナク妊産婦ノ招キニ應ゼザル時ノ處罰如何 三ノ三三(昭十、一)
- 産婆ガ藥品ヲ投與シ又之ガ指示ヲナシタル時ノ處罰如何 七ノ三三(昭十、一)
- 産婆名簿登錄ノ開業産婆ガ他縣へ轉住開業スル時ノ手續如何 七ノ三三(昭十、一)
- 産婆開業ノ資格ニ就テ 七ノ三三(昭十、一)
- 産婆名簿登錄ノ手續ニ就テ 七ノ三三(昭十、一)
- 死産證書ト死胎検査書トノ區別及ビ其ノ交付ハ妊娠第何ヶ月以上ニ必要ナリヤ 七ノ三三(昭十、一)

〔四七〕 鹿兒島縣

第一集 豫備知識

- 尾椎骨ニツキ説明セヨ 一ノ三三(昭七、一)
- 骨盤上口ニ就テ知ル處ヲ記セ 一ノ三三(昭七、一)
- 骨部産道ニ於ケル諸徑線ノ長サノ變化及其ノ兒頭娩出ニ及ボス影響ヲ記セ 一ノ三三(昭七、一)
- 骨盤軸ヲ簡單ニ説明セヨ 一ノ三三(昭七、一)
- 男女骨盤ノ相違ヲ記セ 一ノ三三(昭七、一)
- 骨盤外計測ノ際ニ測定スベキ各徑線ノ名稱測點並ニ其ノ正常ノ長サ等ヲ表記セヨ 一ノ三三(昭七、一)
- 會陰ニツキ説明セヨ 一ノ三三(昭七、一)
- 剪線ニツキ説明セヨ 一ノ三三(昭七、一)
- 輸卵管ノ構造及作用ヲ説明セヨ 一ノ三三(昭七、一)
- 剪線(部)ニツキ簡單ニ説明セヨ 一ノ三三(昭七、一)
- 女子ノ腹腔内ニ存在スル諸臓器ノ名稱ヲ舉ゲ 一ノ三三(昭七、一)
- グラマー氏臍胞ヲ簡單ニ説明セヨ 一ノ三三(昭七、一)
- 受胎及妊娠ニ必要ナル生殖器ノ名稱ヲ記セ 一ノ三三(昭七、一)
- 直腹筋ニツキ簡單ニ説明セヨ 一ノ三三(昭七、一)

第二集 正常妊娠

妊娠ノ状態

- 延髓ニツキ簡單ニ説明セヨ 一ノ三三(昭七、一)
- 泌尿系ニツキ簡單ニ説明セヨ 一ノ三三(昭七、一)
- 成人ニ於ケル一日ノ尿量ニツキ簡單ニ説明セヨ 一ノ三三(昭七、一)
- 劍狀突起ヲ簡單ニ説明セヨ 一ノ三三(昭七、一)
- 臍帯ノ構造ニ就テ 一ノ三三(昭七、一)
- 羊水ノ效用 一ノ三三(昭七、一)
- 胎盤ノ構造ニ就テ 一ノ三三(昭七、一)
- 胎盤ノ構造及作用ヲ問フ 一ノ三三(昭七、一)
- 大凶門ニ就イテ 一ノ三三(昭七、一)
- 胎脂ニツキ説明セヨ 一ノ三三(昭七、一)
- 循環系統ニ於ケル胎兒ト成人トノ相違點ヲ舉ゲ 一ノ三三(昭七、一)
- 妊娠第四、第六、第八ヶ月末ニ於ケル胎兒ノ發育状態ヲ記セヨ 一ノ三三(昭七、一)
- 成熟胎兒頭蓋ノ徑線及ビ其ノ長サヲ問フ 一ノ三三(昭七、一)
- 胎位、胎勢、胎向トハ何ゾヤ詳細ニ説明セヨ 一ノ三三(昭七、一)

- 胎兒血行ニ就テ記セ
ニ一三四(昭七、二)
- 縫合及肉門トハ何ゾヤ且各其ノ種類ヲ問フ
ニ一七五・ニ一七六(昭七、二)
- 成熟胎兒ノ頭蓋骨ノ名稱ヲ記シ且ソノ各徑線ヲ圖示シ長サヲ記入セヨ
ニ一八九・ニ一九〇(昭十、一)
- 妊娠第三ヶ月及第五ヶ月末ニ於ケル胎兒ノ發育狀態(徵候)ヲ問フ
ニ一七六(昭十、一)
- 胎兒ノ成熟徵候ヲ問フ
ニ一七三(昭十四、一)
- 妊娠初期ニ於ケル妊婦ノ消化器系統ノ變化ニ就テ述ベヨ
ニ一七三(昭十、一)

妊婦ノ診察

- 心音聴取部位ト胎兒ノ位置トノ關係
ニ一三〇(昭三、一)
- 妊婦内診時ニ於ケル主ナル診定事項ヲ記セ
ニ一四三(昭六、二)
- 妊婦ノ腹部ニ於テ聴診シ得ル音ノ種類性質及其ノ診斷的價值ヲ記セ
ニ一〇九・ニ一一〇(昭八、一)
- 軟部産道ニ於ケル初妊婦ト及産婦トノ相違點ヲ説明セヨ
ニ一六六(昭二、二)
- 妊娠後半期ニ於ケル胎兒死亡ノ徵候ヲ列記セヨ
ニ一三七(昭二、二)
- 左ニ就テ簡單ニ説明セヨ
ニ一三七(昭二、二)

- 一 妊娠徵候トモ云フ
○本年六月二十八日少量ノ月經一日間アリ五月ニハ二十九日ヨリ五日間正常ノ月經アリ現在子宮底ハ臍下一指横徑ノ高サニアリ此ノ婦人(初産婦)ノ現在ノ妊娠月數及分娩豫定日ヲ問フ
ニ一三六・ニ一三四(昭三、一)
- 妊娠月數ニ比シ子宮ガ過度ニ増大スル場合ヲ説明セヨ
ニ一三六(昭四、一)
- 正規妊娠第八ヶ月ニ於ケル徵候ヲ記セ
ニ一四四(昭四、一)
- 妊娠ト誤リ易キ病氣及其ノ鑑別點ヲ記セ
ニ一七六(昭三、一)

妊婦攝生法

- 妊娠中特ニ旅行ヲ避クベキ時期ヲ述ベ且其ノ理由ヲ記セ
ニ一三三(昭十、一)

第三集 正常分娩

分娩ノ狀態

- 收縮輪トハ何ゾ
ニ一三〇(昭二、一)
- 兒頭ノ排臨及撥露ニ就テ
ニ一六(昭二、一)
- 胎兒頭部ノ第四廻轉トハ如何其ノ際産婆ノ取ルベキ處置ヲ記セ
ニ一〇八・ニ一〇九(昭三、一)
- 腹壓ト分娩トノ關係ヲ問フ
ニ一四(昭五、一)
- 娩出力トハ何ゾヤ
ニ一五(昭六、一)
- 第二後頭位ノ診斷及分娩廻轉
ニ一五二・ニ一五三(昭六、一)

- 正規分娩第三期ニ於ケル胎盤剝離ノ徵候ヲ問フ
ニ一六二(昭七、一)
- 收縮輪ヲ簡單ニ答ヘヨ
ニ一三〇(昭七、二)
- 卵膜トハ何ゾヤ之レガ破裂スル原因及破裂ニ最良ナル時期ヲ問フ
ニ一九・ニ二〇・ニ二一(昭八、一)
- 分娩ニ依リ胎兒ノ頭部ハ如何ナル影響ヲ蒙ルカ
ニ一五(昭八、一)
- 分娩開始ハ如何ニシテ知ルヤ
ニ一八(昭八、二)
- 正規分娩ヲ遂グルニ必要ナル主要條件ヲ列舉セヨ
ニ一六(昭九、一)
- 胎盤ノ剝離及排出ノ模様ヲ説明セヨ
ニ一五(昭十、一)
- 第二後頭位分娩機轉ヲ問フ
ニ一七(昭十、二)
- 子宮口開大以後ニ於ケル胎兒下向部娩出ノ經過ヲ述ベヨ
ニ一〇・ニ一一・ニ一二(昭十、二)
- 分娩開始ハ如何ナル徵候ニヨリ知ラルルカ
ニ一八(昭十、一)
- 分娩開始ノ徵候ヲ問フ
ニ一八(昭十、二)
- 胎盤剝離ノ徵候ヲ問フ
ニ一六(昭十、二)
- 正常分娩ヲ遂グルニ必要ナル條件ヲ記セ
ニ一六(昭十、一)
- 破水後ニ於ケル頭部ト臀部ノ内診上鑑別點ヲ問フ
ニ一三(昭十、二)
- 氣管カテーテルニツキ説明セヨ
ニ一六(昭二、一)

分娩時診察

分娩取扱法

第四集 正常産褥

産褥ノ狀態

- 正規産褥ニ於ケル惡露ニ就テ
ニ一六(昭二、一)
- 正規産褥第五日目ニ於ケル子宮底ノ高サト惡露ノ性狀ヲ記セ
ニ一五・ニ一六(昭三、一)
- 分娩後第二日及第七日ニ於ケル子宮底ノ高サ如何
ニ一五(昭三、二)
- 後陣痛ニ就テ
ニ一三(昭四、一)
- 惡露トハ何ゾヤ及其ノ正規産褥中ニ於ケル經過ヲ問フ
ニ一六(昭五、一)
- 産褥子宮底ノ高サト産褥時日トノ關係
ニ一三(昭六、一)
- 乳汁分泌量及ビ其ノ性質ニ及ボス主ナル事項ヲ記セ
ニ一五(昭七、一)

- 産褥性遷脈ヲ簡單ニ答ヘヨ (四六三) (昭七、三)
- 褥汗ヲ簡單ニ答ヘヨ (四六八) (昭七、三)
- 産褥第四日ニ於ケル子宮底ノ高サ及惡露ノ性質ヲ記セ (四七五・四七六) (昭八、三)
- 産褥第十日ニ於ケル子宮底ノ高サ及惡露ノ性質ヲ記セ (四七五・四七六) (昭八、三)
- 分娩直後ニ於ケル子宮底ノ高サ及惡露ノ性質ヲ記セ (四七五・四七六) (昭八、三)
- 惡露ノ種類ヲ問フ (四七五・四七六) (昭八、三)
- 惡露停止ノ時期ヲ簡單ニ答ヘヨ (四七六) (昭九、一)
- 正規産褥ニ於ケル子宮底下降ノ經過如何ヲ記セ (四七三) (昭三、一)
- 初生兒黃疸ニ就イテ (四六六) (昭二、一)
- 初生兒ノ黃疸ニ就イテ (四六六) (昭二、一)
- 胎糞ヲ簡單ニ答ヘヨ (四六九) (昭七、三)
- 初生兒ノ尿利及便通ニ就テ (四六九) (昭九、一)
- 新生兒黃疸消失ノ時期ヲ簡單ニ答ヘヨ (四六八) (昭十、一)
- 臍帶脱落ノ時期ヲ簡單ニ答ヘヨ (四六八) (昭十、一)
- 胎糞トハ如何ナルモノナルカヲ説明セヨ (四六九) (昭十、一)
- 生後約二週間ニ於テ新産兒ニ起ル主ナル生理的現象ヲ述ベヨ (四六六) (昭三、一)

産褥取扱法

- 褥毒尿閉ニ就イテ (四六六) (昭二、一)

- 産褥外陰部ノ處置 (四七三) (昭四、三)
- 正規産褥ノ看護法 (四七三) (昭五、三)
- 褥瘡ヲ簡單ニ説明セヨ (四八三) (昭八、一)
- 早期離床ノ得失ヲ記シ且ツソレノ正當ト認ムベキ時期ヲ述ベヨ (四七三・四七四) (昭十、一)
- 産褥早期離床ハ如何ナル利害アリヤ且ツ離床ノ許サルベキ條件ヲモ述ベヨ (四七三・四七四) (昭十、一)
- 分娩直後ニ於ケル初生兒取扱法ニ就イテ (三六七) (昭五、一)
- 乳母ノ選擇ニ就テ (四七五) (昭五、一)
- 人乳ト牛乳トノ相違點ヲ記セ (四八五) (昭六、一)
- 人工榮養ニ於ケル牛乳稀釋法 (四七三) (昭六、一)
- 乳母ノ選擇ニ就キ知レル處ヲ記セ (四七五) (昭七、一)
- 第一回ノ授乳ノ時期ヲ簡單ニ答ヘヨ (四七三) (昭十、一)
- 離乳ノ時期ヲ簡單ニ答ヘヨ (四七三) (昭十、一)
- 新産兒臍帶脱落ノ經過狀況ヲ記セ (四六八) (昭十、一)
- 母體自ラ授乳スベキ場合及然ラザル場合ヲ舉ゲヨ (四七三) (昭十、一)
- 母乳榮養ヲ爲ス場合ノ注意事項ヲ記セ (四七三) (昭十、一)

第五集 異常妊娠

- 胎兒附屬物異常 (四六六) (昭五、一)

○胎狀鬼胎ノ定義ト主ナル要徴及ビ其ノ經過ヲ問フ

- 副胎盤ニツキ説明セヨ (五七三) (昭二、一)
- 胎盤早期剝離ノ徵候ヲ記セ (五七三) (昭三、一)
- 正常位置ニ於ケル胎盤早期剝離ノ原因及其ノ處置 (五七三・五七四) (昭六、一)
- 正常位ニ在ル胎盤早期剝離ノ原因及其ノ徵候ヲ記セ (五七三・五七四) (昭六、一)
- 羊水過多症ト誤リ易キ疾病ヲ列舉セヨ (五七四) (昭九、一)
- 羊水過多症ノ分娩經過如何並ニツノ處置ヲ問フ (五七三・五七四) (昭十、一)

胎兒異常

- 浸軟胎兒ニツキ説明セヨ (五七三) (昭二、一)
- 妊娠後半期ニ於テ胎兒死亡セル徵候ヲ舉ゲヨ (五七三) (昭三、一)
- 妊娠中胎兒死亡ノ原因及徵候 (五七三・五七四) (昭六、一)
- 妊娠中母體ヨリ來ル胎兒死亡ノ原因ヲ列舉セヨ (五七三) (昭六、一)
- 流産早産時ニ於ケル救急處置ニ就テ (五七三) (昭七、一)
- 流産及早産時ニ於ケル救急處置ニ就テ (五七三) (昭七、一)
- 流早産後ニ於ケル處置ヲ問フ (五七三) (昭十、一)
- 流産ノ切迫セル徵候及其ノ處置ヲ問フ (五七三・五七四) (昭十、一)

○子宮外妊娠トハ如何ナルモノカ且ツ輸卵管流産(又ハ破裂)ノ症狀ヲ問フ

- 懸垂腹ニツキ説明セヨ (五七三) (昭二、一)
- 子宮脱ニツキ説明セヨ (五七三) (昭二、一)
- 懸垂腹ノ原因及妊娠分婁ニ及ボス障礙並ニ其ノ處置ヲ記セ (五七三) (昭二、一)
- 妊娠中生殖器出血ヲ來ス原因ヲ列舉セヨ (五七三) (昭六、一)
- 子癩ノ前徵 (五七三) (昭四、一)
- 妊娠ニ因ツテ妊婦ニ發生シ易キ主ナル全身病名ヲ列舉セヨ (五七三) (昭五、一)
- 子癩ノ前驅症狀及ビ本症ヲ起シ易キ原因ヲ記セ (五七三・五七四) (昭八、一)
- 妊婦ニ發現スル浮腫ノ原因豫後及ビ其ノ處置ヲ問フ (五七三・五七四) (昭八、一)
- 妊娠腎ノ妊娠分婁産褥ニ對スル影響及ビ之ガ處置ヲ記セ (五七三・五七四) (昭十、一)
- 妊娠ノ腎孟炎ノ症狀及其ノ處置 (五七三・五七四) (昭十、一)
- 胎兒ノ通過ヲ妨グル産道ノ異常ヲ列舉セヨ (五七三) (昭三、一)

第六集 異常分娩

胎兒附屬物異常

- 早期破水ニツキ説明セヨ 六二四(昭二、一)
- 早期破水ノ分曉ニ及ボス影響 六二七(昭三、一)
- 早期破水ノ原因及之ガ分曉トノ關係ヲ述ベ且ツツノ處置ヲ記セ 六二六・六二七・六二九(昭七、一)
- 早期破水ノ原因及之ガ分曉トノ關係ヲ述ベ且ツツノ處置ヲ記セ 六二六・六二七・六二九(昭七、一)
- 早期破水ヲ起ス可キ原因ヲ列舉シ其ノ分曉ニ及ボス影響其ノ豫防法及處置ヲ問フ 六二四(昭三、一)
- 臍帶脱出ヲ起シ易キ場合ヲ舉ゲ母兒ニ及ボス影響及其ノ處置ヲ述ベヨ 六二五・六二六・六二七(昭九、一)
- 臍帶纏絡ノ原因障碍及其ノ處置ヲ問フ 六二五(昭十、一)

胎兒異常

- 鎖肛ヲ簡單ニ答ヘヨ 六二四(昭七、一)
- 胎兒畸形ノ名稱ヲ舉ゲヨ 六二六(昭四、一)
- 後方後頭位ニツキ説明セヨ 六二四(昭二、一)
- 後頭位ニ於ケル破格的分曉機轉ノ場合 六二九・六三〇(昭四、一)
- 骨盤端位診斷上ノ徵候 六二四(昭四、一)
- 第二類面位、第一臀位、第二後頭位、第二前額位、第一前額位ニ於ケル産瘤發生部位ヲ問フ 六三二(昭十、一)

- 骨盤位ニ於テハ胎兒ハ何故ニ危險ニ陥リ易キカ 六二五(昭七、一)
- 第二後頭位及第二臀位ノ分曉機轉ヲ問フ 三二四・六二〇(昭七、一)
- 破水後ニ於ケル肛門ト口ト内診上ノ鑑別點ヲ問フ 六二三(昭七、一)
- 破水後ニ於ケル手足ノ内診上ノ鑑別點及其左右ノ區別ヲ問フ 六二四(昭七、一)
- 分曉時ニ於ケル各種胎位ヲ表記シ且ツ其ノ最初胎位下ニ露ル可キ部分ヲ記入セヨ 三二〇・六二七(昭七、一)
- 各種及位ニ於ケル分曉ノ難易ヲ説明セヨ 六二五(昭七、一)
- 双兒妊娠ノ診斷ニ就イテ 六二五(昭四、一)
- 初生兒假死ノ原因及之ニ對スル處置 六二六・六二七(昭四、一)
- 初生兒假死ノ原因及其ノ症狀ヲ記セ 六二六・六二七(昭八、一)

母體異常

- 微弱陣痛ノ原因ヲ問フ 六三四(昭二、一)
- 微弱陣痛ノ原因ヲ問フ 六三四(昭六、一)
- 分曉第一期ニ於テ胎兒骨盤及軟部産道ニ異常ナクシテ分曉ノ遅延スルハ如何ナル場合カ及此ノ場合ノ處置 六二七・六二七(昭十、一)
- 續發性微弱陣痛ノ原因ヲ問フ 六二七(昭十、一)
- 妊娠中及分曉經過中ニ起ル可キ徵候ニシテ狭

小骨盤ヲ疑ハシムルモノ(狭小骨盤ニ疑ハシキ徵候)ヲ舉ゲヨ

- 軟部産道ノ異常ノ名稱ヲ舉ゲヨ 六三六(昭三、一)
- 膀胱及ビ直腸ノ過度充盈ハ分曉産褥ニ如何ナル影響ヲ及ボスカ 六三六・六四〇(昭十、一)

- 妊娠中及分曉時ニ出血ヲ來ス場合ヲ列舉セヨ 六四三(昭四、一)
- 會陰破裂ノ原因 六四七(昭四、一)
- 弛緩性出血トハ何ゾヤ詳記セヨ 六四四(昭五、一)
- 分曉時ニ於ケル異常出血ノ原因ヲ列舉セヨ 六四四(昭五、一)
- 會陰破裂ヲ起シ易キ主ナル原因ヲ記セ 六四七(昭八、一)
- 弛緩性出血ト裂傷性出血トノ鑑別如何 六四六(昭八、一)
- 子宮破裂ノ症狀ヲ問フ 六四三(昭十、一)
- 子宮頸管破裂ノ診斷及其ノ處置ヲ述ベヨ 六四三・六四五(昭十、一)
- 分曉中ニ起ル異常出血ノ主ナル原因ヲ記セ 六四四(昭十、一)

第七集 異常産褥・補足知識

褥婦異常

- 産褥中發熱ノ原因ヲ舉ゲヨ 七二四(昭二、一)
- 産褥中ノ泌尿障碍ヲ舉ゲ簡單ニ説明セヨ 七二四(昭三、一)
- 産褥時膀胱障碍ニ就テ 七二六(昭四、一)

- 乳腺炎ニ就イテ詳記セヨ 七二四(昭五、一)
- 産褥性敗血症ニ就テ 七二〇(昭五、一)
- 産褥熱ノ種類ヲ列舉シ本病患者ニ對スル産褥ノ心得及注意 七二五・七二五(昭六、一)
- 産褥性敗血症ノ症狀及處置 七二〇・七二二(昭六、一)
- 産褥時ニ於ケル異常出血ノ主ナル原因ヲ列舉セヨ 七二七(昭七、一)
- 産褥時ニ於ケル異常出血ノ主ナル原因ヲ列舉セヨ 七二七(昭七、一)
- 弛張熱ヲ簡單ニ説明セヨ 七二五(昭八、一)
- 産褥時ノ排尿障碍トハ如何ナルモノカ又之ガ原因及處置ヲ問フ 七二五(昭八、一)
- 産褥性乳腺炎ニ就テ 七二九(昭八、一)
- 産褥熱ニ現ハルル主ナル徵候ヲ問フ 七二六(昭九、一)
- 産褥熱ハ如何ナル場合ニ發生シ易キカ、且如何ナル病原ニヨルカ 七二四・七二五(昭十、一)
- 乳腺炎ノ症狀及處置ニ就テ記セ 七二〇・七二四(昭十、一)
- 産褥子宮周圍炎ニ就テ記セ 七二〇(昭七、一)
- 産褥性膿毒症ニ對スル處置如何 七二三(昭十、一)
- 産褥子宮復舊不全症ノ主ナル原因及症狀ヲ問フ 七二五・七二五(昭十、一)
- 産褥時ニ於ケル異常出血ノ原因ヲ問フ 七二七(昭十、一)
- 如何ナル場合産褥熱ト認ムベキヤ 七二九(昭十、一)

新産兒異常

- 初生兒「メレナ」ヲ簡單ニ説明セヨ 七〇九(昭二、一)
- 初生兒黃疸ニ就イテ記セ 七〇三(昭二、一)
- 初生兒ノ頭血腫ニ就テ 七〇七(昭三、一)
- 頭血腫ト産瘤トノ區別 七〇〇(昭三、一)
- 初生兒ニ發生シ易キ傳染性疾患ノ名稱ヲ列舉セヨ 七〇三(昭五、一)
- 初生兒膿漏眼ニ就イテ記セ 七〇四(昭五、一)
- 産瘤ト頭血腫トノ鑑別如何 七〇九(昭六、一)
- 初生兒丹毒ニ就テ 七〇三(昭六、一)
- 初生兒ニ發生シ易キ主ナル傳染性疾患ヲ列舉シ各々ニ就キ其ノ處置ヲ記セ 七〇三(昭七、一)
- 初生兒臍疾患ヲ列舉シ各其ノ症狀ヲ述べ且ツソノ中傳染性ノモノニハ特ニ標印ヲ附セ 七〇三(昭八、一)
- 初生兒脚氣ノ徴候ヲ列舉セヨ 七〇三(昭九、一)

○胃口瘻ニ就テ

- 臍輪炎(臍膿漏症)ニ就テ 七〇九(昭十、一)
- 新産兒淋毒性陰門腫炎ニ就テ述べヨ 七〇六(昭十、一)
- 新産兒消化不良症ノ徴候ヲ記セ 七〇九(昭十、一)
- 先天性微毒兒ノ特徴ヲ記セ 七〇五(昭十、一)
- 新産兒臍疾患ノ種類ヲ舉ゲ簡單ニ之ヲ説明セヨ 七〇三(昭十、一)
- 産瘤ト血腫トノ區別及其等ノ發生原因ニ就キ記セ 七〇〇(昭十、一)
- 早産兒ノ看護及處置ヲ問フ 七〇三(昭六、一)

産婆ニ關スル法令

- 産婆規則ニ於テ産婆ガ禁止セラレタル行爲ヲ列舉セヨ 七〇三(昭十、一)

〔四八〕 沖繩縣

第一集 豫備知識

- 骨盤内ニ於ケル臓器ノ名稱ト其ノ作用ヲ略述セヨ 七〇

一三三(昭二、一)

- 成人ノ骨盤腔(廣義ニ於ケル)ノ構成ヲ記セ 一三三(昭三、一)
- 骨盤ニ於ケル産科學上必要ナル部位ノ名稱ヲ舉ゲテ説明セヨ 一三三(昭六、一)
- 誘導線ヲ説明セヨ 一三五(昭七、一)
- 生體ニ於ケル骨盤計測法並ニ正規骨盤ノ諸徑線ヲ問フ 一三三・一三六(昭七、一)

一三三・一三六(昭七、一)

○骨部産道ニ於ケル最大徑線ヲ記セ

一三五(昭九、一)

- 骨盤ヲ構成スル諸骨ノ名稱聯接並ニ産科ニ於テ注意スベキ諸點ヲ問フ 一三五(昭十、一)

一三五(昭十、一)

- 胸廓内及婦人小骨盤ニ存在スル臓器ノ名稱ヲ記セ 一三七・一三九(昭十、一)

一三七・一三九(昭十、一)

- 男女骨盤ノ差異並ニ婦人小骨盤内ニ存在スル各臓器ノ名稱ヲ記セ 一三八・一四〇(昭十、一)

一三八・一四〇(昭十、一)

- 女子内生殖器ノ名稱及作用並ニ所在ヲ記セ 一四一(昭三、一)

一四一(昭三、一)

- 黃體ノ生成及作用 一四〇(昭六、一)

一四〇(昭六、一)

- グララーフ氏體胞ノ生成機轉ヲ説明セヨ 一四〇(昭七、一)

一四〇(昭七、一)

- モントゴメリー氏腺ヲ説明セヨ 一四三(昭十、一)

一四三(昭十、一)

- 排卵機能ト月經トノ關係 一四八(昭八、一)

一四八(昭八、一)

- 子宮ノ位置形狀及各部分の名稱ヲ記セ 一四九・一五〇(昭十、一)

一四九・一五〇(昭十、一)

- フニールプリンゲル氏手指消毒法ヲ述べヨ 一五〇(昭四、一)

一五〇(昭四、一)

- 防腐ト制菌ノ區別ト業務上必要ナル二三消毒薬ノ種類ヲ舉ゲ使用上ノ注意ヲ説明セヨ 一五〇・一五三(昭八、一)

一五〇・一五三(昭八、一)

○羊水ノ效用如何

一六三(昭二、一)

第二集 正常妊娠 妊娠ノ状態

- 眞生脫落膜ヲ説明セヨ 一六二(昭七、一)
- 假羊水ヲ説明セヨ 一七五(昭八、一)
- 羊水ノ性状及効用並ニ假羊水トノ鑑別ヲ問フ 一七五・一七六(昭八、一)
- 假羊水ヲ説明セヨ 一七五(昭十、一)
- 羊水ノ性状及其ノ效用ヲ記セ 一七五・一七六(昭十、一)
- 未熟兒ト成熟兒トノ異ナル徴候ヲ列舉セヨ 一七二(昭二、一)
- 正規妊娠月數ニ相當スル胎兒身長測定法 一七〇(昭四、一)
- 胎兒ノ血液循環系統ト成人ノモノト異ナル箇處ヲ説明セヨ 一七五(昭七、一)
- 胎兒栄養ハ如何ナル臓器ニ依リテ行ハル、ヤ其ノ名稱及構造機能ヲ記セ 一七五・一七六(昭十、一)

一七五(昭十、一)

- 妊娠五ヶ月以後ノ各月ニ於ケル子宮ノ變化並ニ胎兒ノ状態ニ就テ記セ 一七五・一七六(昭十、一)
- 聽診器ヲ以テ妊婦ヨリ聽取シ得可キ聽診音ヲ列舉シ説明セヨ 一七〇(昭六、一)
- 眞結合線測定法ノ説明 一七三(昭八、一)
- 骨盤入口ニ兒頭ノ嵌入セルヤ否ヤヲ如何ニシテ知ルヤ 一七〇(昭八、一)
- 胎兒心音ヲ最モ明瞭ニ聽取シ得ル部位ト胎兒位置トノ關係如何 一七〇(昭十、一)

一七〇(昭十、一)

- 妊婦ノ腹部聽診ニ際シ聽取シ得ベキ音ノ種類及其ノ性質ニ就テ記セ (一)二〇七(昭三、一)
- 胎兒死亡ノ徵候(他覺的診察ヲ述ベヨ) (一)三三(昭三、一)
- 正規分娩ノ豫定日計算方法(最確實ナリト信ズル方法一種) (一)二九(昭三、一)
- 正規妊娠第八ヶ月ト第十ヶ月ノ診定上ノ要項ヲ記セ (一)二五(昭三、一)
- 正規妊娠各月子宮底ノ高さ (一)二五(昭三、一)
- 胎兒死亡ノ徵候 (一)二五(昭三、一)
- 妊娠經過中ニ子宮ノ異常ニ膨大スル場合ヲ列舉シ其ノ類症鑑別法ヲ述ベヨ (一)二五(昭三、一)
- 想像妊娠ノ診斷 (一)二五(昭三、一)
- 最終月經三月十六日ヨリ六日間アリテ正規ノ經過ヲ取レル初妊婦アリ、八月上旬及十月下旬ノ外診所見ヲ記セ、又分娩豫定日ハ何日カ (一)二五(昭三、一)
- 妊娠ノ徵候又妊娠ト鑑別ヲ要スル疾病ノ名稱ヲ問フ (一)二五(昭三、一)
- ヘガール氏徵候ヲ説明セヨ (一)二五(昭三、一)
- 妊娠五ヶ月末ニ於ケル妊娠ノ不確徵及確徵ニ就テ記セ (一)二五(昭三、一)
- 正規妊娠第八ヶ月ト第十ヶ月ノ診定上ノ要項ヲ記セ (一)二五(昭三、一)

- 正規分娩ノ豫定日計算方法一種ヲ記載セヨ (一)二九(昭三、一)
- 妊娠診斷ニ對シ産婆トシテ最モ注意スベキ事項ヲ述ベヨ (一)二六(昭三、一)
- 妊婦ノ一般攝生法中重要ナルモノヲ記述セヨ (一)二九(昭三、一)
- 品胎ヲ説明セヨ (一)二九(昭三、一)
- 正規分娩ノ持續時間ヲ述ベヨ (一)二九(昭三、一)
- 正規分娩ニ於ケル陣痛ノ種類ヲ舉ゲテ之ヲ説明セヨ (一)二九(昭三、一)
- 胎盤後血腫ヲ説明セヨ (一)二九(昭三、一)
- 卵胞ヲ説明セヨ (一)二九(昭三、一)
- 收縮輪ヲ説明セヨ (一)二九(昭三、一)
- 娩出力ヲ説明セヨ (一)二九(昭三、一)
- 卵膜トハ何ゾヤ又其ノ破裂ニ最良ノ時期ヲ問フ (一)二九(昭三、一)
- 各胎位ニ於ケル産痛發生ノ部位ヲ記セ (一)二九(昭三、一)
- 娩出力ヲ説明セヨ (一)二九(昭三、一)
- 娩出力トハ如何其ノ種類其ノ成因ニ就テ記セ (一)二九(昭三、一)
- 第一後頭位ノ分娩機轉ニ就テ記セ (一)二九(昭三、一)

妊婦攝生法

第三集 正常分娩

分娩ノ状態

分娩取扱法

- 會陰保護ノ目的並ニ其術式 (一)二〇七(昭三、一)
- クレーデ氏胎盤壓出法應用時ノ注意並ニ術式 (一)二〇七(昭三、一)
- 後産分娩遅延ノ場合ニ於ケル最モ主ナル處置一、ニヲ舉ゲヨ (一)二〇七(昭三、一)
- 臍帯切斷ニ關スル處置方法及注意ヲ述ベヨ (一)二〇七(昭三、一)
- クレーデ氏胎盤壓出法ノ時期及方法コレヲ限リテ行フ時ハ如何ナル障礙アリヤ (一)二〇七(昭三、一)
- クレーデ氏點眼法ノ目的施行ノ注意要項如何 (一)二〇七(昭三、一)
- 會陰保護術ノ種類ヲ舉ゲ其ノ優劣ヲ論ゼヨ (一)二〇七(昭三、一)
- 分娩直後初生兒ニ對スル産婆ノ處置 (一)二〇七(昭三、一)
- 分娩第一期及第二期ニ於ケル産婆ノ注意スベキ事項並ニ取ル可キ處置法ニ就キテ記セ (一)二〇七(昭三、一)
- 分娩第二期中兒頭娩出後ニ於ケル注意及取扱法ヲ記セ (一)二〇七(昭三、一)
- 正規分娩ノ取扱法ヲ問フ(會陰保護術ヲ除ク) (一)二〇七(昭三、一)

第四集 正常産褥

産褥ノ状態

- 産褥子宮復舊ノ時期ヲ答ヘヨ (一)二〇七(昭三、一)
- 初乳分泌ノ期間ヲ答ヘヨ (一)二〇七(昭三、一)
- 惡露ノ性状及其經過ヲ問フ (一)二〇七(昭三、一)
- 産褥ニ於ケル生殖器ノ状態及褥婦取扱上注意スベキ諸點ニ就テ記セ (一)二〇七(昭三、一)
- 分娩直後ヨリ三日間ニ至ル褥婦ノ全身的变化ヲ記セ (一)二〇七(昭三、一)
- 分娩直後ヨリ三日間ニ至ル褥婦ノ全身的变化ヲ記セ (一)二〇七(昭三、一)
- 惡露ノ性状及其ノ經過ニ就キ詳記セヨ (一)二〇七(昭三、一)
- 初生兒黃疸ニ就イテ述ベヨ (一)二〇七(昭三、一)
- 臍帯脱落スル時期ヲ答ヘヨ (一)二〇七(昭三、一)
- 初生兒ノ體重、體温、身長、脈搏、呼吸、尿管ヲ記述セヨ (一)二〇七(昭三、一)
- 産褥ノ說明セヨ (一)二〇七(昭三、一)
- 健康ナル初生兒ノ呼吸體温體重尿及大便ニ就テ述ベヨ (一)二〇七(昭三、一)
- 産褥經過ノ良否ヲ判斷スルニ必要ナル事項併テ述ベヨ (一)二〇七(昭三、一)

産褥取扱法

- セテ離床ヲ許可スベキ時期ヲ説明セヨ 四一三四・四一七〇(昭七、二)
- 梅毒早期離床ノ可否ヲ説明セヨ 四一七五(昭四、一)
- 梅毒臥床ヲ離レテ差支ナキ時期ヲ答ヘヨ 四一七〇(昭六、二)
- 梅毒ニ離床ヲ許可スベキ時期ヲ記セ 四一七〇(昭七、二)
- 梅毒早期離床ノ利害ヲ説明セヨ 四一七五(昭八、一)
- 梅毒取扱上注意スベキ諸點ニ就テ 四一三三(昭九、二)
- 正規梅毒ノ一般狀態中體温、脈搏、兩便、通利、後陣痛ニ就テハ如何ナル點ヲ注意スベキヤ之ヲ述ベヨ 四一六〇(昭三、一)
- 正規産褥婦ニ於テ離床入浴普通食攝取作業ヲ問フ 四一四〇・四一八〇・四一九九・四二六〇(昭三、二)
- 産褥中ニ於ケル子宮底ノ高サ及褥婦早期離床ハ如何ナル障礙アルカ 四一三三・四一七五(昭三、二)
- 離乳ノ時期及其ノ方法 四一六〇(昭二、二)
- 初メテ授乳スベキ時期ヲ答ヘヨ 四一三八(昭六、二)
- 母乳栄養ニ就テ記セ 四一三三(昭八、二)
- 母乳ノ分泌量及其ノ性質ニ影響ヲ及ボス主ナル事項ヲ擧ゲヨ 四一五九(昭九、二)
- 新生児沐浴ニ就テ述ベヨ 四一四〇(昭三、一)
- 新生児人工栄養ニ就テ述ベヨ 四一六〇(昭三、二)
- 離乳ノ時期及其ノ注意ヲ述ベヨ 四一六〇(昭三、二)

第五集 異常妊娠

胎兒附屬物異常

- 葡萄狀胎ノ症狀及類症鑑別 五二二・五二五(昭六、二)
- 前置胎盤ノ分娩時障礙並ニ處置 五三七・五三四(昭三、二)
- 正常位置ニ於ケル胎盤早期剝離ノ原因及其ノ診斷處置 五三二・五三五・五三八(昭七、二)
- 前置胎盤ト正常位置胎盤早期剝離トノ鑑別ヲ記セ 五三四(昭九、二)
- 前置胎盤ノ種類並ニ其ノ處置ヲ問フ 五二七・五三四(昭三、二)
- 羊水過多症ノ徴候及其處置 五三三・五三五(昭三、二)
- 羊水過少症ノ診斷及處置 五三七〇(昭四、一)
- 羊水過多症ノ診斷及分娩ニ及ボス影響ヲ問フ 五七三・五七五(昭三、二)
- 胎兒異常 五二〇(昭八、二)
- 妊娠早期中絶ノ原因ヲ説明セヨ 五二〇・五二五(昭三、二)
- 流産ト早産ノ區別並ニ其ノ原因症狀ヲ記セ 五二〇・五二五(昭七、二)
- 子宮外妊娠ノ原因及其ノ徴候ヲ記セ 五二〇・五二五(昭三、二)
- 輸卵管(喇叭管)妊娠ノ原因及診斷 五二〇・五二五(昭七、二)

母體性器異常

- 妊娠子宮嵌頓症狀及處置 五二六・五二八(昭七、二)
- 後屈子宮ノ妊娠徴候ヲ記セ 五二七三(昭三、二)
- 淋疾ハ母體及初生児ニ如何ナル障礙ヲ與フルヤ 五二八九(昭十、二)
- 子癩ノ原因及其處置 五二五〇・五二五七(昭三、二)
- 妊娠腎炎ノ原因症狀及處置 五三三五・五三三六・五三四二(昭七、二)
- 惡阻ノ原因症狀處置 五三三五・五三三六・五三三九(昭八、二)
- 子癩ノ原因及徴候ヲ記セ 五二五〇・五二五七(昭九、二)
- 浮腫ノアル産婦ニ對シ取扱上注意スベキ事項ヲ問フ 五二九七(昭七、二)
- 妊娠「ネフローゼ」ノ原因症狀豫防法ヲ記セ 五二七三・五二七六(昭三、二)
- 惡阻ノ原因並ニ其ノ症狀ヲ記セ 五二三五(昭四、一)
- 肺結核ト妊娠及分娩トノ關係ヲ記セ 五三三五・五三三六(昭九、二)

第六集 異常分娩

- 分娩開始シ陣痛正常ナルニ拘ラズ先進セル兒頭ノ骨盤内ニ進入セザル時ハ如何ナル疾病ヲ考フベキヤ 六二五(昭六、一)
- 分娩開始後分娩遲延スル原因ヲ列擧セヨ 六二六(昭六、二)

胎兒附屬物異常

- 早期破水ノ原因及症狀ヲ述ベヨ 六二六・六二五(昭四、二)
- 人工破水ノ方法並ニ其適應時期ヲ記セヨ 六二六(昭六、二)
- 早期破水ヲ説明セヨ 六二五(昭八、二)
- 延滞破水ヲ説明セヨ 六二二(昭八、二)
- 早期破水ノ原因障礙及處置 六二六・六二七・六二九(昭九、二)
- 早期破水ノ原因障害及處置ヲ記セ 六二六・六二七・六二九(昭三、二)
- 臍帶異常ヲ擧ゲ其影響及處置ヲ問フ 六四九・六四八(昭六、二)
- 第一胎向純臀位(骨盤端位)ノ分娩機轉 六二五九(昭四、二)
- 頭位廻轉術ノ適應症禁忌及方式 六二六八(昭七、二)
- 各種胎位ニ於ケル分娩ノ難易ニ就テ記セ 六二六・六二七(昭三、二)
- 双胎分娩ノ際ニ於ケル産婆ノ注意スベキ事項ヲ記セ 六二〇〇〇(昭三、一)
- 双胎妊娠ノ診斷 六二〇五(昭四、二)
- 羊膜水腫ト双胎妊娠トノ鑑別ヲ記セ 六二二二(昭十、二)
- 初生児假死ノ原因因候ヲ述ベヨ 六二七八・六二七九(昭二、二)
- 初生児假死ノ蘇生法 六二八二(昭三、二)
- 初生児假死ノ原因症狀及其ノ處置ニ就イテ記セ 六二七〇・六二七九・六二八二(昭九、二)
- 初生児假死ノ原因因候及其ノ處置ニ就イテ記セ 六二七〇・六二七九・六二八二(昭九、二)